

彦根市地域防災計画

資料編

彦根市防災会議

目 次

第 1 部 災害リスクに関する資料.....1-1-1

1 自然的条件.....1-1-1

- (1) 地質・地形条件の整理.....1-1-1
- (2) 気象状況の概要・記録等.....1-1-4
- (3) 林野面積.....1-1-4

2 社会的条件.....1-2-1

- (1) 市土地利用の状況.....1-2-1
- (2) 事業所の概況.....1-2-2

3 風水雪害関係.....1-3-1

- (1) 水防区域・水門・水害地区.....1-3-1
- (2) 雨量計・量水標（各河川の水位）.....1-3-7
- (3) 記録（河川水位観測集計表）.....1-3-9
- (4) 水防倉庫.....1-3-10
- (5) 水防資機材.....1-3-11
- (6) 雨量計・量水標・水防倉庫の位置.....1-3-13
- (7) 農業用水施設.....1-3-15
- (8) 防災重点ため池.....1-3-17
- (9) 洪水ハザードマップ.....1-3-18
- (10) ため池ハザードマップ.....1-3-36

4 土砂災害関係.....1-4-1

- (1) 急傾斜地崩壊危険区域・急傾斜地崩壊危険箇所.....1-4-1
- (2) 土石流危険溪流.....1-4-3
- (3) 山地災害危険地区.....1-4-5
- (4) 土砂災害の要注意地区.....1-4-7
- (5) 土砂災害警戒区域等.....1-4-9
- (6) 土砂災害ハザードマップ.....1-4-21
- (7) 土砂災害ハザードマップ付属資料.....1-4-69

5 地震関係.....1-5-1

- (1) Jアラートシステム設置施設一覧.....1-5-1
- (2) 滋賀県の観測点配置図.....1-5-2
- (3) 気象庁震度階級関連解説表.....1-5-3

(4) 大規模な地震に関する情報の種類と発表条件	1-5-8
(5) 地震ハザードマップ等	1-5-11
(6) 本市近辺の主な活断層	1-5-15
(7) 海溝型地震（南海トラフを震源域とする地震）	1-5-18
6 災害履歴	1-6-1
(1) 風水雪害（土砂害を含む。）	1-6-1
(2) 地震	1-6-21
(3) その他の災害	1-6-25
第2部 防災の体制に関する資料	2-1-1
1 関係機関の処理すべき事務または業務の大綱	2-1-1
(1) 風水雪害等、事故災害、震災対策	2-1-1
(2) 原子力災害対策	2-1-6
(3) 防災関係機関各社の対策	2-1-7
(4) 自衛隊災害派遣要請関係	2-1-13
(5) 各種法令に基づく従事命令等	2-1-15
2 応援協定	2-2-1
(1) 彦根市における災害時協定締結機関一覧	2-2-1
3 関係機関の連絡先等	2-3-1
(1) 放送各社の連絡先	2-3-1
(2) 鉄道各社の連絡先	2-3-1
(3) ライフライン各社の連絡先等	2-3-1
(4) その他	2-3-2
4 自主防災組織関係	2-4-1
(1) 区別の自主防災組織状況（連合含む）	2-4-1
(2) 自主防災組織一覧（届出順）	2-4-1
第3部 情報伝達・避難に関する資料	3-1-1
1 彦根市災害通信連絡網	3-1-1
2 彦根市防災行政無線局	3-2-1
(1) 彦根市防災行政 IP 無線番号表	3-2-1

3 気象等情報関係	3-3-1
(1) 情報の種類	3-3-1
(2) 特別警報発表基準一覧	3-3-1
(3) 特別警報の指標及び危険警報・警報・注意報発表基準一覧表	3-3-2
(4) 警報・注意報や天気予報の発表区域図	3-3-4
(5) 警報・注意報や天気予報の細分区域一覧表	3-3-4
(6) 気象等の情報伝達系統	3-3-5
(7) 火災気象通報	3-3-5
(8) 河川氾濫の警報等（指定河川洪水予報）	3-3-6
(9) 水防警報	3-3-6
(10) レベル4土砂災害危険警報	3-3-7

4 避難関係	3-4-1
(1) 土砂災害に関する避難指示等発令の判断基準	3-4-1
(2) 河川氾濫に関する避難指示等発令の判断基準	3-4-3
(3) 避難情報等の発令判断基準水位のまとめ	3-4-6

第4部 防災拠点、物資・輸送に関する資料 4-1-1

1 避難場所（避難施設）	4-1-1
(1) 指定緊急避難場所の指定方針	4-1-1
(2) 指定避難所の指定方針	4-1-2
(3) 広域避難地の指定方針	4-1-3
(4) 指定緊急避難場所、指定避難所	4-1-4
(5) 福祉避難所候補施設一覧	4-1-15
2 避難経路として想定される主要道路	4-2-1
3 非常用品備蓄	4-3-1
(1) 防災用備蓄資機材庫の必要資機材	4-3-1
(2) 食糧およびその他の生活必需品等の備蓄目標	4-3-2
(3) 非常用品備蓄	4-3-3
(4) 県の備蓄倉庫および備蓄物資	4-3-5
4 物資供給関係	4-4-1
(1) 地震発生時の時間経過に応じた対策	4-4-1
(2) 災害時等における応急食糧の緊急引渡し取扱要領(滋賀県)	4-4-2

5 道路・輸送関係	4-5-1
(1) 道路の整備現況	4-5-1
(2) 緊急時確保路線	4-5-1
(3) 緊急輸送ネットワーク図	4-5-3
(4) 車両等の調達先	4-5-5
(5) 市道等の除雪体制（実施区分）	4-5-6
(6) 橋りょうの一覧	4-5-10
(7) 除雪体制関係図	4-5-11
6 施設関係	4-6-1
(1) 要配慮者利用施設	4-6-1
(2) 学校関係	4-6-6
(3) 文化財	4-6-9
(4) 上水道施設および給水用資機材等の状況	4-6-10
(5) ごみ処理施設およびし尿処理施設	4-6-10
(6) 都市公園の状況	4-6-11
(7) 応急仮設住宅設置予定地	4-6-12
(8) がれき仮置場候補地	4-6-13
(9) 活動拠点候補地の選定にあたっての考え方（南海トラフ地震の場合）	4-6-14
(10) 遺体安置所候補地	4-6-15
(11) 市内配送拠点	4-6-15
7 防災ヘリコプター指定離着陸場等	4-7-1
(1) 防災ヘリコプター指定離着陸場	4-7-1
(2) 緊急援助隊ヘリコプター発着予定地	4-7-1
(3) その他の災害時緊急ヘリコプター発着予定地	4-7-2

第5部 消防、医療に関する資料 **5-1-1**

1 消防関係	5-1-1
(1) 消防本部・消防署・消防団の所在地	5-1-1
(2) 消防車両保有状況	5-1-2
(3) 特殊消防用資機材保有状況	5-1-3
(4) 消防水利	5-1-3
(5) 道路狭あい地区警防計画樹立ブロック	5-1-4
2 医療関係	5-2-1
(1) 医療関係調達先	5-2-1

(2) 感染症指定医療関係（滋賀県）	5-2-2
--------------------	-------

第6部 災害復旧に関する資料 6-1-1

1 被災者台帳作成にかかるデータ項目の例示 6-1-1

2 被災者支援関係 6-2-1

(1) 被災者生活再建支援金の支給内容	6-2-1
(2) 滋賀県被災者生活再建支援制度による支給内容	6-2-2
(3) 災害弔慰金の支給内容	6-2-2
(4) 災害障害見舞金の支給内容	6-2-3
(5) 彦根市障害見舞金の支給内容	6-2-3
(6) 災害援護資金の貸付内容	6-2-4
(7) 生活福祉資金の貸付内容	6-2-4
(8) 天災融資法による融資制度	6-2-5

3 公共施設の復旧事業関係 6-3-1

(1) 災害復旧事業の種類	6-3-1
(2) 激甚災害に係わる財政援助措置の対象	6-3-2
(3) 局地激甚災害に係わる財政援助措置の対象	6-3-3

第7部 その他資料 7-1-1

1 例規関係 7-1-1

(1) 彦根市防災会議条例	7-1-1
(2) 彦根市防災会議規程	7-1-4
(3) 彦根市防災会議委員・幹事・書記名簿	7-1-6
(4) 彦根市防災会議ライフライン部会設置要綱	7-1-7
(5) 彦根市防災会議ライフライン部会名簿	7-1-8
(6) 彦根市災害対策本部条例	7-1-9
(7) 彦根市災害対策本部規程	7-1-10
(8) 彦根市防災行政デジタル無線局運用管理規程	7-1-36
(9) 彦根市消防団規則	7-1-45
(10) 彦根市自主防災組織整備推進要綱	7-1-55
(11) 彦根市自主防災組織活動事業補助金交付要綱	7-1-59
(12) 彦根市災害対策基金の設置、管理および処分に関する条例	7-1-70
(13) 災害救助法関係	7-1-71
(14) 災害救助用米穀引渡要請書	7-1-84

(15) 火災・災害等即報要領	7-1-85
(16) 災害即報事項例示	7-1-107
(17) 災害の被害認定基準	7-1-109
(18) 災害確定報告（第1号様式）	7-1-111
(19) 緊急車両指定	7-1-114
(20) 放送事業者との連携体制における連絡様式	7-1-121
(21) 防疫関係	7-1-122
(22) 彦根市災害時避難行動要支援者制度実施要綱	7-1-124
2 内部報告書等資料	7-2-1
(1) 災害対策配備体制召集連絡表	7-2-1
(2) 職員動員・活動報告書	7-2-2
(3) 参集途上報告書	7-2-3
(4) 応援要請・指示命令書	7-2-4
(5) 彦根市災害対策本部情報処理票	7-2-5
(6) 災害危険箇所調書	7-2-8
(7) 広報文例	7-2-10
(8) 避難所関係様式	7-2-16
(9) り災証明関係	7-2-19
(10) 外国人安全確認関係	7-2-24
3 原子力災害関連資料	7-3-1
(1) 大気シミュレーションモデルによる放射性物質拡散予測結果	7-3-1
(2) 原子力災害防護措置基準表（OILと防護措置について）	7-3-3
(3) 安定ヨウ素剤服用に関する基本事項	7-3-4
(4) 食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性セシウム基準値	7-3-8
4 その他	7-4-1
(1) 標識および腕章の概要図	7-4-1
(2) 国民保護法が適用されると疑われる事案が発生した際の「避難に関する事項」報告書	7-4-2

第1部 災害リスクに関する資料

1 自然的条件

(1) 地質・地形条件の整理

地震で揺れやすい地盤や大雨により浸水しやすい地形等、災害の発生・拡大要因となる地形、地質等について地域特性を整理した。

ア 地質

(ア) 中・古生層（固結堆積物、火成岩類）

市域東部の山地の地質は、琵琶湖(近江盆地)の基盤をなす中・古生層の固結堆積物と火成岩類からなる。固結堆積物は、塩基性火山岩、砂岩、泥岩、チャートに分類される。火成岩類は、湖東流紋岩などの火山岩類と鈴鹿花崗岩などの深成岩類に分類される。

(イ) 洪積層（半固結堆積物）

鈴鹿山脈西麓の丘陵部を中心に分布しており、砂礫層が卓越し、一部に年度、亜炭、火山灰を挟んでいる。

(ウ) 沖積層（未固結堆積物）

沖積層は、平野の表層に堆積している最も新しい地層であり、現在も河川等の堆積作用が及んでいる地層である。この地層は、未固結の泥、砂等よりなり、軟弱な地盤で、特に湖岸部は、締めりの緩い砂層が多くなっている。

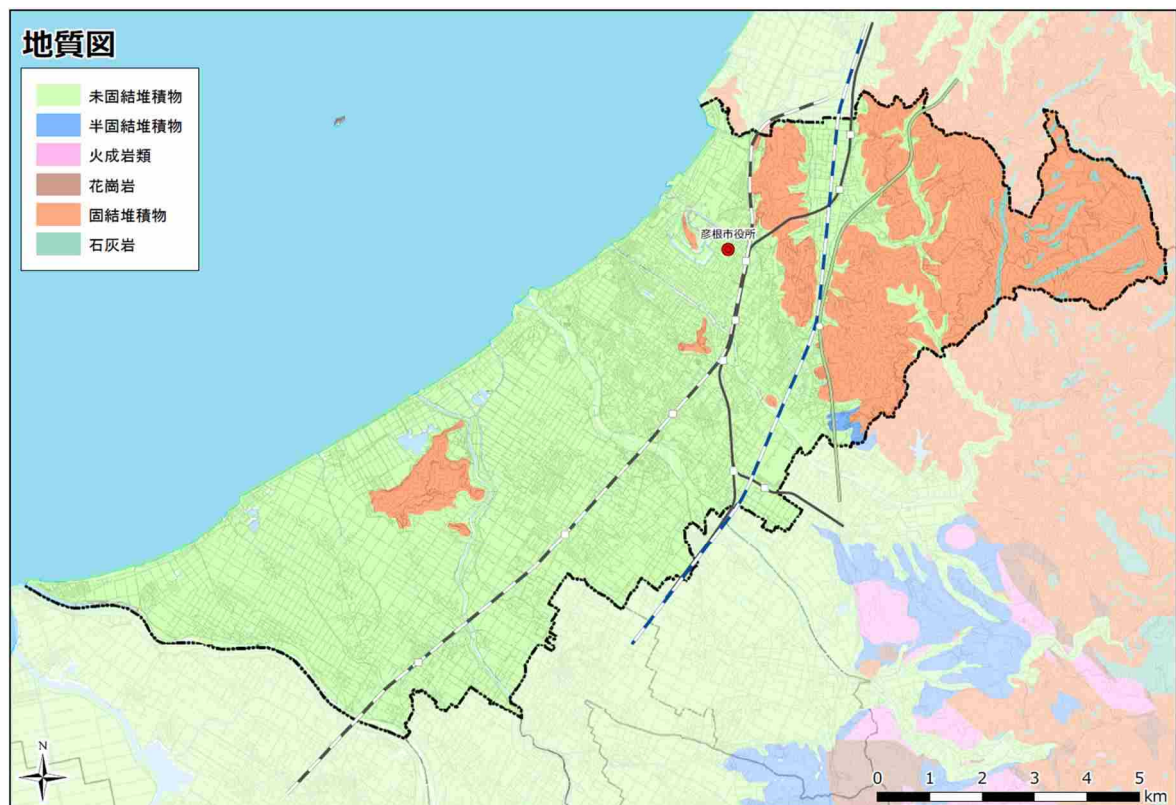


図 地質図（「5万分の1 都道府県土地分類基本調査」（表層地質図）国土交通省国土情報課）

第1部 災害リスクに関する資料

1 自然的条件

イ 地形

彦根市は、琵琶湖の東岸に位置し、北東部には鈴鹿山系が連なり、北西部には琵琶湖が広がっている。そのあいだに湖東平野が形成されており、芹川、犬上川、宇曽川、愛知川といった河川が流れ、平野部には佐和山、雨壺山、荒神山など独立した山がある。以下に地形分類ごとの災害危険性および、彦根市の微地形区分図を示す。

表 地形分類と災害危険性

地形分類	地形概要	彦根市での分布	浸水可能性	揺れやすさ	液状化の可能性
山地・山麓地	山地は、地殻の突起部である山の集まりが一つのまとまりをなしている地域。山麓地は、山のふもと、すそ周辺の地域。	主に市域東部の東海道本線より東側に分布する。その他、中西部に荒神山、市街地部に彦根山、雨壺山が点在する。	ない (土砂災害の危険あり)	小 (土砂災害の危険あり)	なし
丘陵地	概ね高度 300m 程度で、頂部が丸みを帯びた起伏の少ない稜線を形成した地形。地表面は平坦で比較的良好な地盤。	正法寺長、野田山町等の山地縁辺部に分布するが、ほとんどない。	ない (土砂災害の危険あり)	小 (土砂災害の危険あり)	なし
砂礫台地	洪水時に河川によって運ばれた土砂の堆積によって形成された台地。谷底平野と後背湿地・デルタの間に分布する。	善谷町に少し分布するが、ほとんどない。	低い	中	なし
谷底平野	山地、丘陵地などの間を流れる河川沿いの細い低地。砂、粘土などからなる部分の地盤は軟弱。	矢倉川等、山地部を流れる川沿いに分布する。	高い	やや大	大きい
扇状地	河川が山地から出た地点に河川が運び出す土砂が堆積して形成された扇形の地形。	多賀町、甲良町境界から東海道本線付近および鳥居本町に分布する。	ある	中	大きい (緩扇状地)
自然堤防	洪水時に河川によって運ばれた土砂の堆積によって形成された河川沿いの微高地。周辺の低地に比べて水はけは良い。	芹川、犬上川、宇曽川、愛知川島の河川沿いに分布する。	ある	やや大	大きい
後背湿地・デルタ	洪水時に自然堤防を越えてあふれた氾濫水が、ほかの自然堤防や、台地の間に長期間停滞し細粒の堆積物が沈殿した土地。非常に水はけが悪く、地盤は軟弱。	市域の平地の大部分を占める。	高い	大	大きい
砂州（浜堤）	砂州は、沿岸流や波浪により作られた砂礫質の高まり。	琵琶湖沿岸部に分布する。	ある	やや大	大きい
人工改変地	人為的に地形面の改変を行って形成された地形。	彦根駅東部や鳥居本町島の山地部に分布する	ある (切土地)	小 (切土地)	なし (切土地)
干拓地	湖や海を堤防などで締め切ったのちに排水し、湖底や海底を干上げて陸地化した土地。	松原の旧松原内湖や曾根沼が干拓されている。	高い	大	非常に大きい

出典：「土地条件図の数値データを使用した簡便な災害危険性評価手法」国土地理院 H19.3

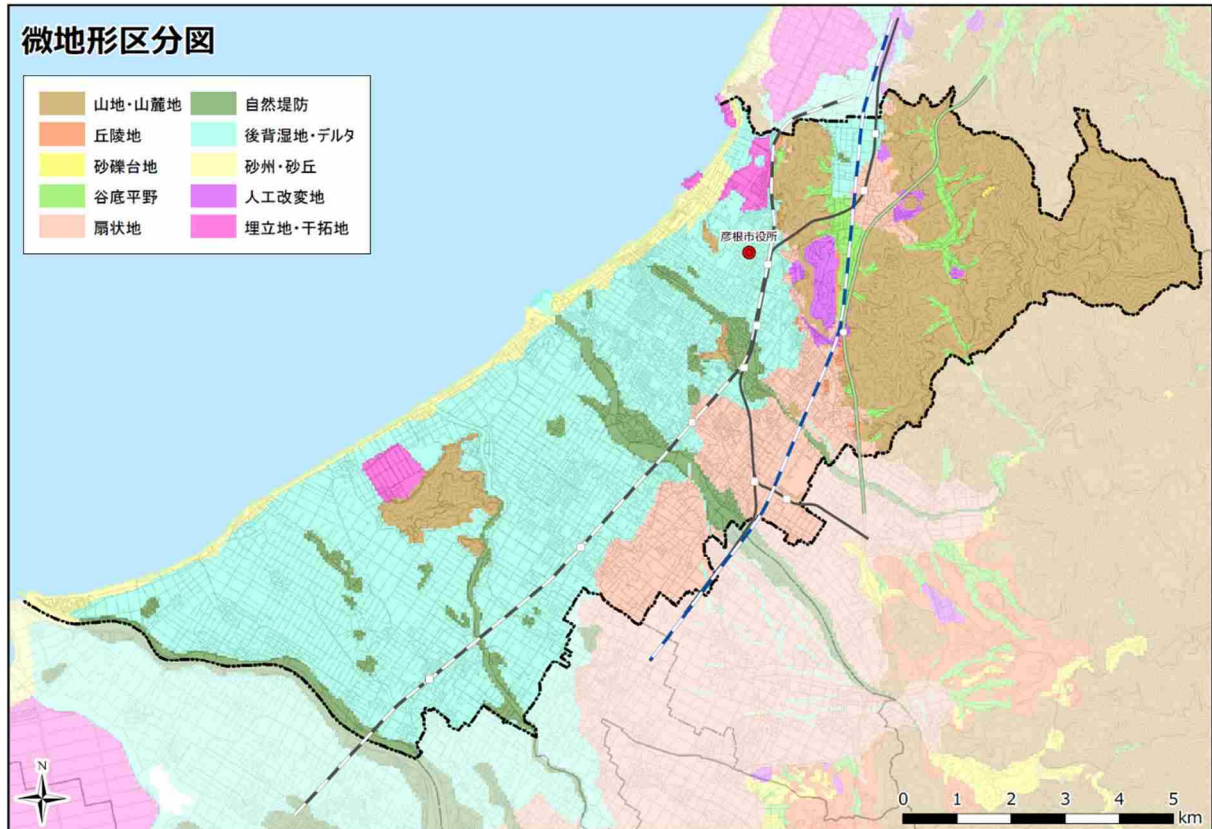


図 微地形区分図
(「5万分の1 都道府県土地分類基本調査」(地形分類図) 国土交通省国土情報課)

(ア) 地形からみた特徴

彦根市の大部分の地域を後背湿地・デルタが占め、浸水の可能性や揺れやすさ、液状化の可能性が高い。その他、大きな範囲の山地では、土砂災害の危険性があり、扇状地では、後背湿地・デルタと比較して災害危険性は低い、災害が起こる地域である。

地形から見た彦根市は、全域で災害を受ける可能性の大きい地域であることが読み取れる。

第1部 災害リスクに関する資料

1 自然的条件

(2) 気象状況の概要・記録等

ア 彦根市の気象概要（平年値）

項目内容	内容
年平均気温	15.0℃
年間降水量	1610.0mm
年間降雪量	81cm
年平均相対湿度	74%
年間日照時間	1863.3時間
年平均風速	3.0m/s
年最多風向	北西

（平年値：1991～2020年）

イ 彦根市の気象記録（極値）

項目	最大値	年月日
日最大10分間降水量	27.5mm	2001.7.17
日最大1時間降水量	63.5mm	2001.7.17
日降水量	596.9mm	1896.9.7
月降水量	1,018.8mm	1896.9
年降水量	3,065.5mm	1896
日最大風速・風向	31.2m/s・南南東	1934.9.21
日最大瞬間風速・風向	46.2m/s・南東	2018.9.4
月最深積雪	93cm	1918.1.9

統計期間（1893年10月～2026年3月）

（注）日最大10分間降水量の統計期間については、1937年～2026年3月

（注）日最大1時間降水量の統計期間については、1894年～2026年3月

（注）日最大瞬間風速の統計期間については、1920年～2026年3月

(3) 林野面積

（単位：ha）

区分 年度	総数	人工林		天然林		竹林	無立木地		更新 困難地
		針葉樹	広葉樹	針葉樹	広葉樹		伐採跡地	未立木地	
R7	2,529	804	7	903	663	92	—	53	7

資料：県森林政策課

2 社会的条件

(1) 市土地利用の状況

ア 市街化区域の用途地域の内訳

地域名	面積(ha)
第1種低層住居専用地域	68.0
第1種中高層住居専用地域	606.3
第1種住居地域	844.0
第2種住居地域	34.5
準住居地域	10.2
近隣商業地域	250.1
商業地域	60.5
準工業地域	312.8
工業地域	231.2
工業専用地域	154.0
用途地域	2,571.6

(令和5年4月1日現在)

イ 地目別土地利用状況

区分	総数	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地	その他
面積(k m ²)	98.28	29.33	3.42	19.60	0.17	18.52	0.34	4.39	22.51

(令和7年1月1日現在)

第1部 災害リスクに関する資料

2 社会的条件

(2) 事業所の概況

区分	総数	農林 漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ ガス・ 熱供 給・水 道業	情報 通信業	運輸 業・ 郵便業
事業所数	4,759	34	－	405	358	17	34	101
従業者数	55,711	352	－	2,481	11,703	174	201	1,917
区分	卸売・ 小売業	金融・ 保険業	不動産 業・物 品賃貸 業	学術研 究、専 門・技 術サー ビス	飲食サ ービス 業・宿 泊業	生活関 連サー ビス 業、娯 楽業	教育、 学習支 援業	医療、 福祉
事業所数	1,115	92	276	203	568	397	219	432
従業者数	11,148	1,204	1,287	1,153	4,999	1,616	3,956	7,527
区分	複合サ ービス 業	サービス 業（他に 分類され ないもの）	公務					
事業所数	32	442	34					
従業者数	617	4,241	1,135					

（令和3年6月1日現在）

3 風水雪害関係

(1) 水防区域・水門・水害地区

ア 水防区域

番号	河川名	右岸 左岸	管理 水防団体	要水防区域		重要水防区域		特に重要な水防区域		左の 理由	防御すべ き施設	対策水 防工法
				区域	延長 m	区域	延長 m	区域	延長 m			
1 2 2	愛知川	右岸	彦根市 愛荘町	愛知川河口より 上流 愛荘町境界まで 8,450m	8,450	同左	8,450	同左	8,450	河積狭小 水衡部	人家5,500 戸 田 129.5ha 道路 2,000m	木流し工 積土俣工
1 2 3	不飲川	右岸 左岸	彦根市 愛荘町	県道彦根近江八 幡線より県道大 津能登川長浜線 まで 両岸 4,100m	8,200							
1 2 4	文録川	右岸 左岸	彦根市	つぶり橋から上 流額戸川合流部 今川新橋まで 右岸 150m つぶり橋から上 流へ 左岸 250m 市道大藪金田線 金田橋より上下 流 両岸 50m	500	つぶり橋から上 流額戸川合流部 今川新橋まで 右岸 150m つぶり橋から上 流へ 左岸 250m 市道大藪金田線 金田橋より上下 流 両岸 50m JR琵琶湖線より 400m 下流地点か ら県道稲枝沢線 まで 両岸 600m	1,700		河積狭小	人家 5 戸 県道・市道		
				広域農道より上 流県道稲枝沢線 まで両岸 3,750 m	7,500							
1 2 5	宇曽川	右岸 左岸	彦根市 愛荘町 豊郷町 東近江市	県道彦根近江八 幡線（港橋）よ り上流愛荘町界 まで左岸 7,600 m豊郷町境界ま で右岸 7,000m	14,600	港橋から J R 琵 琶湖線下流 右岸 5,000m 港橋から上流 左岸 2,000m	7,000					
1 3 5	犬上川	左岸 右岸	彦根市 多賀町 甲良町	河口から上流 甲良町(多賀町) 境まで 両岸 6,400m	12,800	同左	12,800	琵琶湖より上流 宇尾大橋まで左 岸 2,450m 今橋より上下流 へ 両岸 100m 犬上橋より上下 流へ 両岸 100m 千鳥橋より下流 左岸 700m 河口より上流 彦根市清掃セン ター付近まで右 岸 1,800m 春日大橋より下 流 右岸 300m 高宮橋より上流 右岸 500m	6,150	護岸老朽 河積狭小	人家 9000 戸 田 190ha 道路 8,000m	木流し工
1 3 6	安食川	左岸 右岸	彦根市	琵琶湖から 国道 8 号線まで 両岸 6,200m	12,400	県道神郷・彦根 線から国道 8 号 まで(安食中町) 両岸 600m	1,200	県道神郷・彦根 線から上流へ 両岸 400m	800	河積狭小	人家 30 戸	
1 3 7	太田川	左岸	彦根市	犬上川合流点か ら高宮町市道ま で 両岸 2,530 m	5,060							
		右岸	多賀町									

第1部 災害リスクに関する資料
3 風水害関係

番号	河川名	右岸 左岸	管理 水防団体	要水防区域		重要水防区域		特に重要な水防区域		左の 理由	防御すべ き施設	対策水 防工法
				区域	延長 m	区域	延長 m	区域	延長 m			
1 4 1	平田川	左岸 右岸	彦根市	河口より県道彦根環状線まで 両岸 5,200m	10,400	彦根市平田町よりJR琵琶湖線 上流 100m の地点まで 両岸 1,500m 彦根市東沼波町堀ノ下公園より 下流へ 両岸 50m 県道彦根環状線より下流 100m 上流 50m 両岸 150m	3,400	彦根市平田町より県道神郷・彦根線平田橋まで 両岸 700m	1,400			
1 4 2	芹川	左岸 右岸	彦根市 多賀町	河口より多賀町境界まで 両岸 5,800m	11,600	琵琶湖より東海道新幹線まで 左岸 4,700m 琵琶湖より上流 右岸 5,200m	9,900	琵琶湖より上流 右岸 400m 中藪橋より上下流へ 両岸 100m 池州橋より下流 右岸 150m 琵琶湖から上流 1,500m 地点より 1,600m 地点 左岸 100m 後三条橋より上下流へ両岸 100m 芹橋より上下流へ 両岸 100m 中藪橋より上下流へ 両岸 100m 西沼波橋下流 100m 地点より 国道 8 号まで 左岸 500m 西沼波橋より上下流へ 右岸 100m 国道 8 号より下流へ 右岸 200m 大堀橋より上流へ 両岸 200m 東海道新幹線より下流へ 右岸 100m	2,750	河積狭小 護岸老朽	人家 21300 戸	
1 4 5	矢倉川	左岸 右岸	彦根市	米原市境より高橋(寒谷川)合流部まで 両岸 3,250m	6,500	米原市境より名神高速道路まで 左岸 2,150m	2,150	国道 8 号から名神高速道路まで 左岸 1,100m 名神高速道路から上流へ両岸 50m 井堰橋より上流 両岸 50m	1,300	水衝部 河積狭小	人家 110 戸 田 55ha 道路 1,000m	積土俣工 継ぎ釜張 工
1 4 6	小野川	左岸 右岸	彦根市	矢倉川合流点上流 100m より上流小野町まで 左岸 1,900m 右岸 2,500m	4,400	鳥居本町内町から小野町まで 両岸 1,300m	2,600					
1 4 7	四の井川	左岸	彦根市	犬上川合流点より上流甲良町境まで両岸 700m	1,400							
		右岸	甲良町									

第1部 災害リスクに関する資料
3 風水害関係

番号	河川名	右岸 左岸	管理 水防団体	要水防区域		重要水防区域		特に重要な水防区域		左の 理由	防御すべ き施設	対策水 防工法
				区域	延長 m	区域	延長 m	区域	延長 m			
2 1 6	野瀬川	左岸 右岸	彦根市	琵琶湖から JR 琵琶湖線まで 両岸 3,500m	7,000	琵琶湖から県道 大津能登川長浜 線まで 両岸 2,000m	4,000	琵琶湖から上流 1,600m 地点よ り 1,800m 地点 まで両岸 200m	400	合流部 屈曲部 河積狭小 農業用堰	人家 10 戸	積土のう 工
2 1 9	額戸川	左岸	彦根市	文禄川合流部 今川新橋から上 流へ 両岸 50m	100							
		右岸		広城農道より上 岡部町地先河川 湾曲部まで河川 湾曲部まで 両岸 1,220	2,400							
2 2 1	江面川	左岸 右岸	彦根市	琵琶湖より上流 両岸 4,450m	8,900							

※彦根市水防計画を参照

第1部 災害リスクに関する資料
3 風水害関係

イ 水防上重要な水門、樋門

整理番号	河川名	設置場所	水門形式	重要度	管理者
1	— 猿ヶ瀬川	正法寺町	スライドゲート	A	地蔵町
2	— 不知谷川	正法寺町	スライドゲート	A	地蔵町
3	一級河川 平田川	平田町	面戸堰	A	平田町
4	一級河川 平田川	平田町	面戸堰	A	平田町
5	一級河川 平田川	平田町	面戸堰	A	平田町
6	一級河川 平田川	小泉町	面戸堰	A	
7	一級河川 平田川	東沼波町	面戸堰	A	東沼波用水組合
8	— 至野瀬川 (1)	西今町	面戸堰	A	
9	一級河川 野瀬川	西今町	面戸堰	A	大藪町農業組合
10	一級河川 野瀬川	西今町	起伏ゲート	A	宇尾町
11	一級河川 野瀬川	野瀬町	起伏ゲート	A	野瀬町
12	一級河川 野瀬川	野瀬町	起伏ゲート	A	野瀬町
13	一級河川 野瀬川	西今町	起伏ゲート	A	西今町
14	一級河川 太田川	高宮町	スライドゲート	A	竹ヶ鼻町
15	一級河川 太田川	高宮町	起伏ゲート	A	高宮西部
16	— 新ノ木川	高宮町	スライドゲート	A	高宮農水
17	一級河川 江面川	甘呂町	面戸堰	A	甘呂町
18	一級河川 江面川	甘呂町	面戸堰	A	甘呂町
19	一級河川 江面川	甘呂町	スライドゲート	A	甘呂町
20	一級河川 江面川	宇尾町	面戸堰	A	宇尾町農業組合
21	一級河川 江面川	宇尾町	面戸堰	A	宇尾町農業組合
22	一級河川 江面川	宇尾町	面戸堰	A	
23	— 雲川	日夏町	スライドゲート	A	安田
24	— 雲川	日夏町	起伏ゲート	A	日夏町筒井
25	— 泉川	日夏町	起伏ゲート	SA	日夏町泉
26	— 日夏大川	日夏町	転倒ゲート	SA	日夏町中沢
27	— 日夏大川	日夏町	スライドゲート	A	日夏町中沢
28	— 日夏大川	川瀬馬場町	起伏ゲート	A	川瀬馬場町
29	— 日夏大川	川瀬馬場町	起伏ゲート	A	川瀬馬場町
30	— 清崎川支川-1	清崎町	スライドゲート	A	清崎東
31	— 鯉川支川-2	清崎町	スライドゲート	A	清崎東
32	— 清崎川支川-1	南川瀬町	スライドゲート	A	清崎東
33	— 清崎川支川-1	南川瀬町	スライドゲート	A	清崎東
34	— 茂賀川	賀田山町	スライドゲート	A	賀田山町小山
35	— 茂賀川	賀田山町	スライドゲート	A	賀田山町小山
36	— 茂賀川	賀田山町	スライドゲート	A	
37	— 茂賀川支川-1	賀田山町	スライドゲート	A	茂賀
38	一級河川 宇曾川	肥田町	ゴム引布製起伏ゲート	A	三津屋土地改良区
39	一級河川 額戸川	石寺町	起伏ゲート	A	上石寺町
40	一級河川 文録川	稲部町	起伏ゲート	A	稲部町
41	一級河川 文録川	稲枝町	面戸堰	A	稲部町
42	一級河川 文録川	稲枝町	スライドゲート	A	稲枝東
43	一級河川 文録川	野良田町	面戸堰	A	野良田町
44	一級河川 文録川	野良田町	スライドゲート	A	野良田町
45	— 18号水路	金田町	スライドゲート	A	金田町
46	一級河川 平田川	大堀町	面戸堰	A	

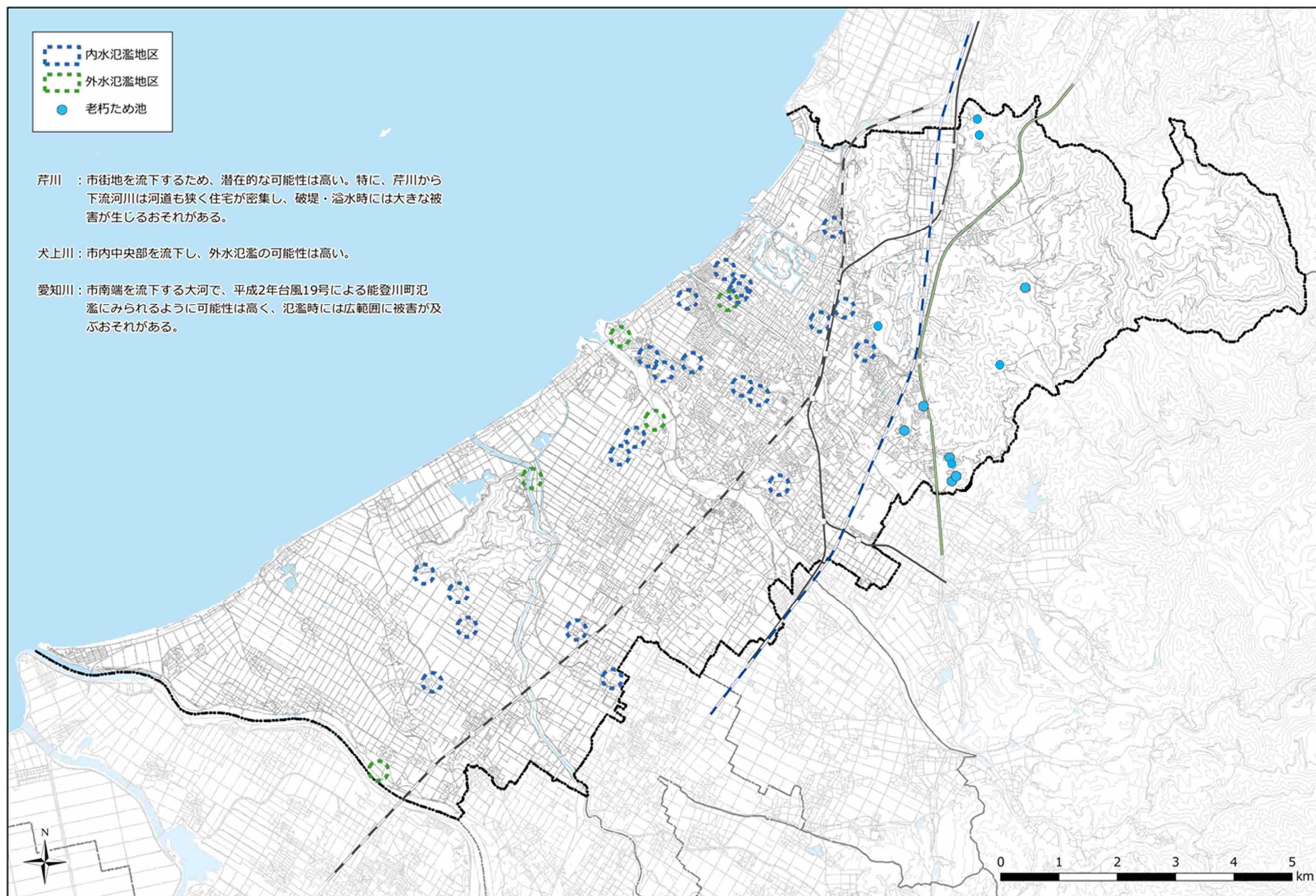
重要度 A：市街地の一級河川及び重要幹線排水路水門

B：その他の一級河川及び幹線水路水門

C：その他排水路の面戸等

S：彦根市道路河川課施工水門

水害の要注意地区



(2) 雨量計・量水標（各河川の水位）

ア 雨量計

観測所名	位置	自記テレメーターの別	管理者	電話番号
彦根	城町2丁目5-25	アメダス	彦根地方気象台	22-6142
彦根	馬場2丁目	テレメーター	琵琶湖河川事務所	077-546-0844
彦根	元町4-1	テレメーター	湖東土木事務所河川砂防課	27-2248
仏生寺	仏生寺町	テレメーター	湖東土木事務所河川砂防課	27-2248
清崎	清崎町古城山	テレメーター	湖東土木事務所河川砂防課	27-2248
城南小	西今町380	テレメーター	彦根市危機管理課	30-6150
河瀬小	極楽寺町118	テレメーター	彦根市危機管理課	30-6150
稲枝北小	下岡部町597	テレメーター	彦根市危機管理課	30-6150

イ 量水標

観測所名	河川名	位置	種別	水 位				計画高 水位	管 理 者
				水防団待 機	氾濫注 意	避難 判断	氾濫危 険		
馬場	琵琶湖	馬場2丁目	テレメーター	0.55	0.70	0.80	1.15		琵琶湖河川事務所
井堰橋	矢倉川	鳥居本高根	水位標識						彦根市
下芹橋	芹川	長曾根町	簡易量水標						湖東土木事務所
中藪橋	芹川	中藪1丁目	簡易量水標						湖東土木事務所
池州橋	芹川	池州町	簡易量水標 水位標識						湖東土木事務所 彦根市
後三条橋	芹川	後三条町	簡易量水標						湖東土木事務所
芹橋	芹川	橋向町	簡易量水標						湖東土木事務所
恵比寿橋	芹川	河原1丁目	水位標識						彦根市
中芹橋	芹川	芹町	テレメーター 簡易量水標 水位標識						湖東土木事務所 彦根市
西沼波橋	芹川	西沼波町	簡易量水標						湖東土木事務所
芹川旭橋	芹川	東沼波町	テレメーター 簡易量水標	0.70	0.90	1.00	1.40		湖東土木事務所
大堀橋	芹川	大堀町	簡易量水標						湖東土木事務所
中川原橋	芹川	多賀町	テレメーター	0.90	1.10	1.40	1.65		湖東土木事務所
今橋	犬上川	西今町	簡易量水標						湖東土木事務所
犬上川橋	犬上川	八坂町	テレメーター	85.07	85.77			87.21	湖東土木事務所

第1部 災害リスクに関する資料

3 風水害関係

観測所名	河川名	位置	種別	水 位				計画高 水位	管 理 者
				水防団待 機	氾濫注 意	避難 判断	氾濫危 険		
宇尾大橋	犬上川	宇尾町	テレメーター 水位標識						湖東土木事務所 彦根市
千鳥橋	犬上川	高宮町	テレメーター	0.80	1.70	2.00	2.30		湖東土木事務所
無賃橋	犬上川	高宮町	水位標識						彦根市
大山橋	宇曽川	賀田山町	簡易量水標						湖東土木事務所
賀田山町 西	安食川	賀田山町	簡易量水標						湖東土木事務所
新大山橋	宇曽川	賀田山町	水位標識						彦根市
金沢大橋	宇曽川	金沢町	テレメーター	1.50	2.50	2.90	3.70		湖東土木事務所
金海橋	宇曽川	海瀬町	水位標識						彦根市
上枝	宇曽川	豊郷町	テレメーター	1.40	2.20	2.90	3.60		湖東土木事務所
葉枝見橋	愛知川	本庄町	テレメーター	2.50	3.50			4.70	湖東土木事務所
御幸橋	愛知川	愛荘町	テレメーター	1.00	1.50	1.75	2.30	3.95	湖東土木事務所
紅葉橋	愛知川	東近江市	テレメーター	3.15	3.45	3.80	4.20		東近江土木事務所

※彦根市水防計画を参照

(3) 記録（河川水位観測集計表）

水位観測集計表

河川名
観測場所

年 月 日 ～ 年 月 日

時 分	
水防団待機水位体制	
水防団待機水位解除	

時 分	
氾濫注意水位体制	
氾濫注意水位解除	

時 分	
避難判断水位体制	
避難判断水位解除	

水防団待機水位（1時間毎に観測）

観測時間	水位（cm）
9時	
10時	
11時	
12時	
13時	
14時	
15時	
16時	
17時	
18時	
19時	
20時	
21時	
22時	
23時	
24時	
1時	
2時	
3時	
4時	
5時	
6時	
7時	
8時	

氾濫注意水位（30分毎に観測）

観測時間	水位（cm）
9時00	
30	
10時00	
30	
11時00	
30	
12時00	
30	
13時00	
30	
14時00	
30	
15時00	
30	
16時00	
30	
17時00	
30	
18時00	
30	
19時00	
30	
20時00	
30	
21時00	
30	
22時00	
30	
23時00	
30	
24時00	
30	
1時00	
30	
2時00	
30	
3時00	
30	
4時00	
30	
5時00	
30	
6時00	
30	
7時00	
30	
8時00	
30	

避難判断水位（随時観測）

観測時間	水位（cm）

※彦根市水防計画を参照

第1部 災害リスクに関する資料
3 風水害関係

(4) 水防倉庫

倉庫名	河川名	所在地	管理者	面積 (㎡)	備考
本庄水防倉庫	愛知川	本庄町	彦根市	32.4	
新海水防倉庫	愛知川	新海町	彦根市	35.0	
金沢橋水防倉庫	宇曽川	金沢町	彦根市	56.7	
宇曽川水防倉庫	宇曽川	日夏町	彦根市	24.0	
須越水防倉庫	宇曽川	須越町	彦根市	25.4	
河瀬水防倉庫	犬上川	犬方町	彦根市	24.0	
開出今水防倉庫	犬上川	開出今町	彦根市	32.4	
東沼波水防倉庫	芹川	東沼波町	彦根市	20.0	
鳥居本水防倉庫	矢倉川	鳥居本町	彦根市	36.3	
中藪水防倉庫	芹川	中藪町	彦根市	39.1	

※彦根市水防計画を参照

(5) 水防資機材

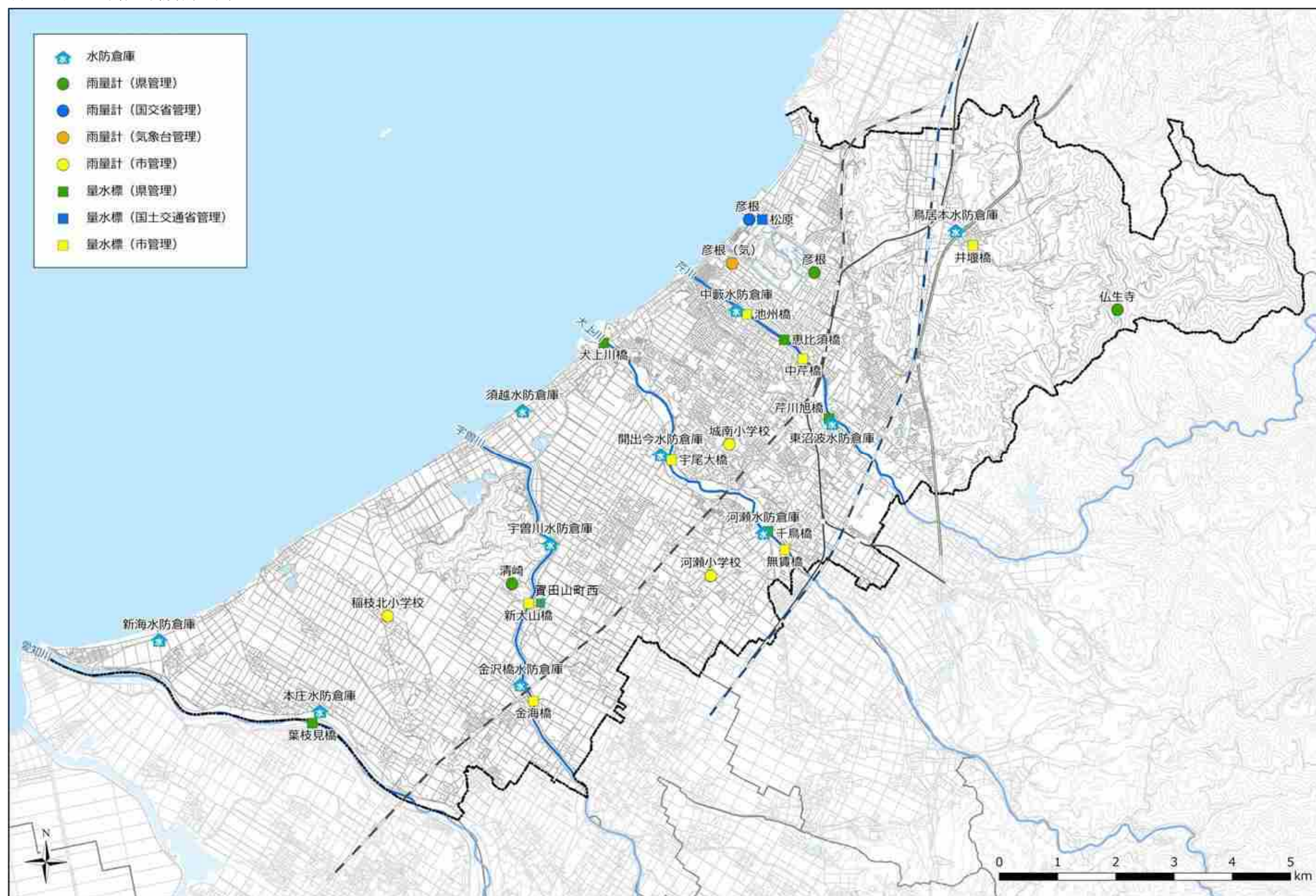
ア 水防倉庫の現有資機材

品 名	鳥居本水防倉庫	東沼波水防倉庫	河瀬水防倉庫	須越水防倉庫	本庄水防倉庫	金沢橋水防倉庫	開出今水防倉庫	宇曽川水防倉庫	新海水防倉庫	中藪水防倉庫	計
杭(4.0m)	-	-	-	-	45	7	20	-	5	-	72本
〃(3.5m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0本
〃(3.0m)	60	13	50	-	61	85	74	70	91	60	564本
〃(2.5m)	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	22本
〃(2.0m)	56	71	118	95	70	171	42	110	17	56	806本
〃(1.5m)	7	50	-	26	-	-	-	-	44	7	134本
鉄杭(1.2m)	16	37	-	19	-	18	30	25	7	-	152本
木板(1.8m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0枚
足場板(L=3.5m)	45	-	25	-	-	5	-	-	-	-	75枚
縄	129	25	26	15	19	64	20	40	48	20	406枚
ブルーシート	20	20	-	-	-	50	34	18	-	80	222枚
土のう袋	1800	140 0	100 0	200 0	1600	200 0	200 0	125 0	200 0	160 0	16650枚
チェーンソー(油含む)	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1台
ガソリンポンプ	10	10	6	-	3	3	7	3	-	3	45台
金づち	-	-	-	-	-	-	-	-	10	5	15本
大ハンマー	1	2	-	1	-	2	1	-	3	4	14本
ノコギリ	5	-	4	-	5	-	7	6	3	2	32本
ペンチ	4	8	5	-	1	-	2	2	-	5	27本
スコップ(剣)	25	15	9	15	17	20	3	22	16	36	178本
かき	2	5	6	5	4	6	4	-	3	3	38本
タコ	-	-	-	-	1	2	-	1	2	-	6本
ツルハシ	3	5	6	5	3	8	12	6	2	5	55本
クワ(平)	2	5	4	5	-	-	4	5	-	-	25本
クワ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0本
バン線	4	4	1	-	1	1	-	3	3	3	20巻
竹杭	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0本
クワッパ	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3本
シノ	5	1	-	-	-	4	4	-	2	2	18本
カマ	4	-	5	-	6	7	6	6	-	-	34丁
タタ	10	4	5	-	1	-	5	2	-	5	32本
一輪車	5	1	2	2	2	2	2	2	2	2	22台
吸出フェルト	21	-	-	-	-	-	-	3	7	-	31巻
トラロープ(20m)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2巻
懐中電気	1	-	1	-	-	-	2	-	-	3	7ヶ
ロープ(50m巻)	-	1	-	-	-	-	-	-	2	-	3巻

(令和8年4月1日現在)

第 1 部 災害リスクに関する資料
3 風水雪害関係

(6) 雨量計・量水標・水防倉庫の位置



(7) 農業用水施設

番号	当該河川	施設名称	施設構造	地名
1	琵琶湖	新海揚水機場	両吸込渦巻ポンプ	新海町
2	琵琶湖	愛西揚水機場	両吸込渦巻ポンプ	薩摩町
3	琵琶湖	今堀揚水機場	両吸込渦巻ポンプ	石寺町
4	琵琶湖	曾根沼排水機場	両吸込渦巻ポンプ	
5	琵琶湖	三津屋揚水機場	渦巻ポンプ	三津屋町
6	琵琶湖	八坂畑かん揚水機場	渦巻ポンプ	八坂町
7	琵琶湖	彦根中部揚水機場	両吸込渦巻ポンプ	八坂町
8	琵琶湖	松原揚水機場	渦巻ポンプ	松原町
9	矢倉川	鶴首底樋	石積	北甲田町
10	矢倉川	鶴首底樋	石積	北甲田町
11	矢倉川	上川原用水	石積	鳥居本町
12	矢倉川	堀池用水	石積	鳥居本町
13	矢倉川	長堀用水	無筋コンクリート	鳥居本町
14	矢倉川	長堀用水（三ツ割）	無筋コンクリート	鳥居本町
15	矢倉川	百々用水	無筋コンクリート	鳥居本町
16	矢倉川	山之上用水	無筋コンクリート	莊巖寺町
17	矢倉川	半性寺用水	無筋コンクリート	莊巖寺町
18	矢倉川	西領用水	無筋コンクリート	莊巖寺町
19	矢倉川	西山用水	無筋コンクリート	宮田町
20	矢倉川	北の端井堰	石積	鳥居本町
21	芹川	上後三条用水	無筋コンクリート	後三条町
22	芹川	地藏用水暗渠	石積	地藏町
23	芹川	芹川用水	木枠	大堀町
24	早川	モロギ川取水	無筋コンクリート	正法寺町
25	赤田	八反池取水	無筋コンクリート	正法寺町
26	早川	上出田樋門	石積	野田山町
27	赤田川	八反池取水	無筋コンクリート	野田山町
28	平田川	南芝原用水	石積	平田町
29	平田川	一ツ屋用水	無筋コンクリート	平田町
30	平田川	一ツ屋用水	無筋コンクリート	平田町
31	平田川	一ツ井用水	無筋コンクリート	平田町
32	平田川	勝取用水	無筋コンクリート	小泉町
33	野瀬川	大藪町南川用水	無筋コンクリート	大藪町
34	野瀬川	頭無揚水機	無筋コンクリート	大藪町
35	野瀬川	幹線1号用水	無筋コンクリート	大藪町
36	野瀬川	松田用水	鉄鋼	野瀬町
37	野瀬川	伊庭用水	鉄鋼	西今町
38	野瀬川	添田用水	鉄鋼	西今町
39	野瀬川	出口用水	鉄鋼	西今町
40	太田川	北濱台用水	鉄筋コンクリート	竹ヶ鼻町
41	太田川	西部用水	無筋コンクリート	高宮町
42	太田川	桃の井用水	無筋コンクリート	高宮町
43	江面川	一の湯用水	無筋コンクリート	甘呂町
44	江面川	竹の下湯用水	無筋コンクリート	甘呂町
45	江面川	経田用水	無筋コンクリート	甘呂町
46	江面川	柳原用水	無筋コンクリート	甘呂町
47	江面川	宇尾用水	鉄筋コンクリート	宇尾町

第1部 災害リスクに関する資料
3 風水害関係

番号	当該河川	施設名称	施設構造	地名
48	安食川	須越町第3揚水機場	鉄筋コンクリート	須越町
49	安食川	須越町第2揚水機場	鉄筋コンクリート	須越町
50	安食川	須越町第1揚水機場	鉄筋コンクリート	須越町
51	安食川	日夏揚水機場	鉄鋼	日夏町
52	安食川	大揚水機場	無筋コンクリート	安食中町
53	宇曽川	西清崎揚水機場	鉄筋コンクリート	西清崎町
54	宇曽川	寺井井堰	ゴム	肥田町
55	文録川	下西川井堰	鋼製転倒ゲート	下西川町
56	文録川	岡部井堰	手動式ゲート	金田町
57	文録川	的場井堰	手動式ゲート	金田町
58	文録川	横久手井堰	手動式ゲート	稲部町
59	文録川	下野良田井堰	スルースゲート	野良田町
60	顔戸川	石寺井堰	転倒ゲート	上岡部町
61	顔戸川	横川井堰	転倒ゲート	稲里町
62	顔戸川	稲里井堰	転倒ゲート	金沢町
63	顔戸川	金沢井堰	転倒ゲート	金沢町
64	顔戸川	御手合井堰	無筋コンクリート	金沢町
65	不飲川	柳川揚水機場	立軸流ポンプ	柳川町
66	不飲川	鶴田井堰	転倒堰	本庄町
67	不飲川	岩ノ木井堰	転倒堰	本庄町
68	今川	八坂揚水機場	渦巻ポンプ	八坂町
69	くも川	辻中井堰	無筋コンクリート	辻堂町
70	泉川	八セキ湯	無筋コンクリート	蓮台寺町
71	泉川	川南井堰	無筋コンクリート	蓮台寺町
72	泉川	東良井堰	無筋コンクリート	極楽寺町
73	泉川	馬頭井堰	無筋コンクリート	極楽寺町
74	妙楽寺	石住湯	無筋コンクリート	川瀬馬場町
75	妙楽寺	オンド井堰	鉄鋼	川瀬馬場町
76	妙楽寺	小流湯	無筋コンクリート	川瀬馬場町
77	島川	島井堰	鉄筋コンクリート	日夏町
78	島川	不堂井堰	鉄鋼	日夏町
79	島川	石住井堰	無筋コンクリート	川瀬馬場町
80	藤原川	横壺棒井堰	鉄鋼	清崎町
81	茂賀川	壺の湯	鉄筋コンクリート	茂賀町
82	さざめ川	南安堂井堰	無筋コンクリート	太堂町
83	さざめ川	さざめ井堰	無筋コンクリート	安食中町
84	さざめ川	ウノド井堰	無筋コンクリート	安食中町
85		奥谷田池	土堰堤	多賀町

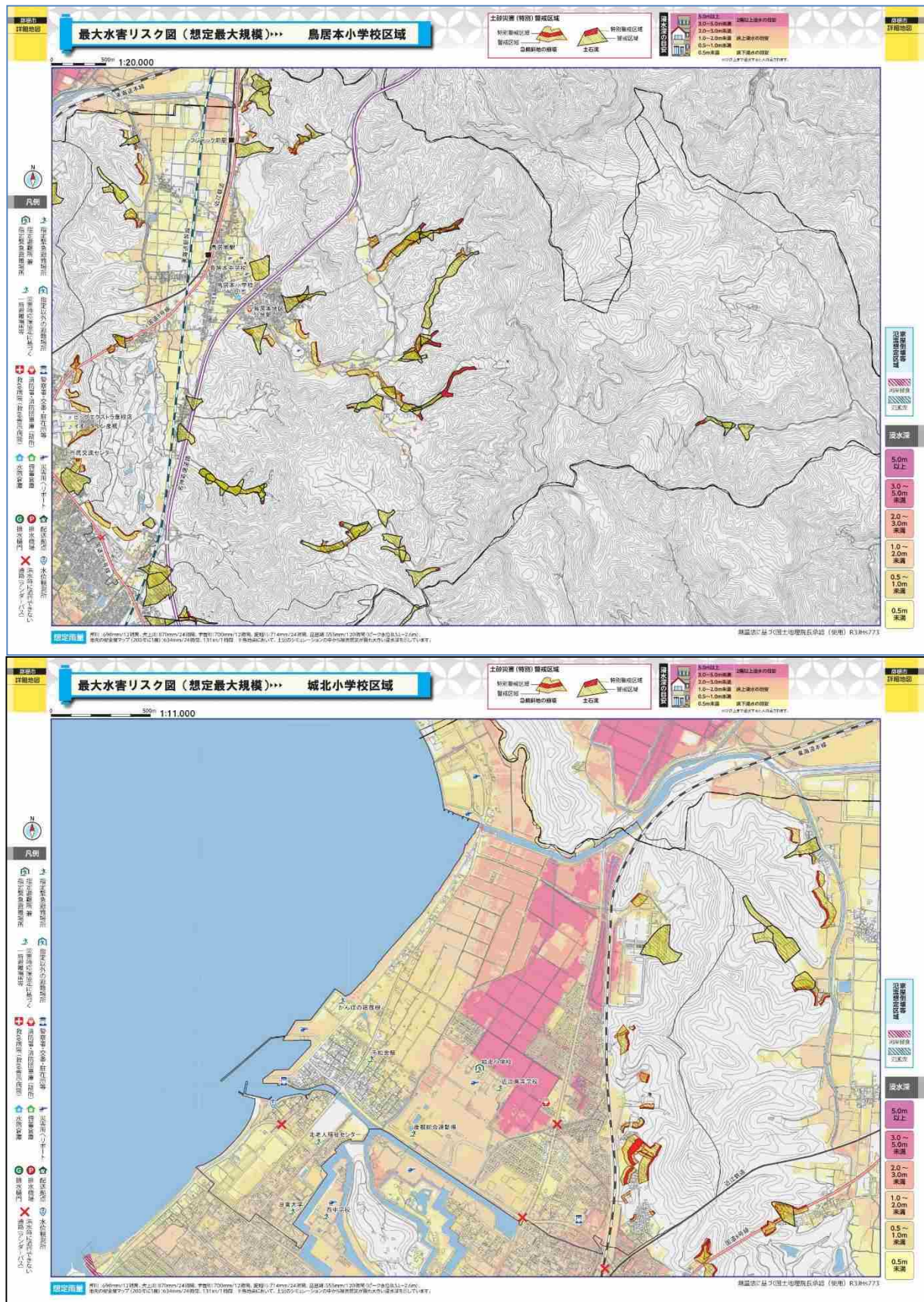
(8) 防災重点農業用ため池

ため池名	所在地	管理者	受益 面積 (ha)	ため池の規模		
				堤高 (m)	堤長 (m)	貯水量 (m ³)
カクレタニイ 匿谷池	仏生寺町	西法寺区、仏生寺町自治会	8.0	11.0	50	18,000
モロキイ 村木池	正法寺町	正法寺町水利組合	12.0	6.8	88	15,900
スイガマイ 吸蒲池	正法寺町	正法寺町水利組合	12.0	1.5	79	1,600
コウガタニミイ 甲ケ谷上池	野田山町	野田山町農水組合 水利担当	10.0	4.9	48	6,000
コウガタニシモイ 甲ケ谷下池	野田山町	野田山町農水組合 水利担当	10.0	2.8	83	9,900
ハツタニイ 八反池	正法寺町	正法寺町水利組合	12.0	3.0	125	16,000
アンラクボウイ 安楽坊池	正法寺町	正法寺町水利組合	12.0	4.4	48	5,000
カミイ 上池	正法寺町	正法寺町水利組合	12.0	4.5	55	10,000
カシタイ 坂下池	里根町	里根町自治会	0.5	5.4	50	6,000
サトガタニミイ 里ケ谷上池	野田山町	野田山町農水組合 水利担当	5.0	2.9	42	3,000
サトガタニシモイ 里ケ谷下池	野田山町	野田山町農水組合 水利担当	5.0	2.2	48	1,500
オクノボウイ 奥ノ坊池	甲田町	甲田町自治会	3.0	1.2	24	400
ヤマカミイ 山ノ神池	甲田町	甲田町自治会	3.0	4.7	24	1,400
タニノオキイ 谷ノ奥池	笹尾町	笹尾町自治会	3.0	2.2	17	300

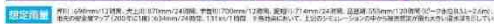
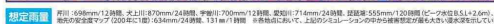
第1部 災害リスクに関する資料
3 風水害関係

(9) 洪水ハザードマップ

ア 洪水ハザードマップ（想定最大規模）

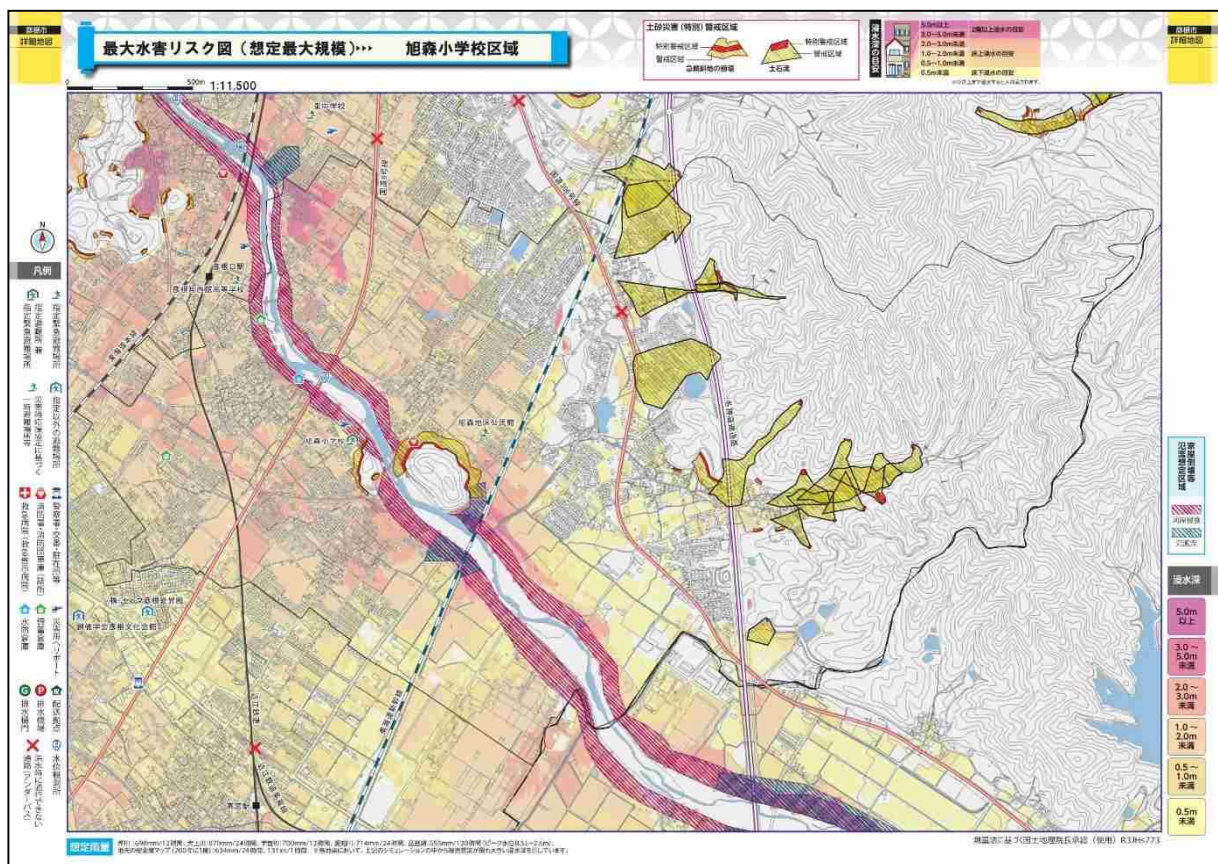
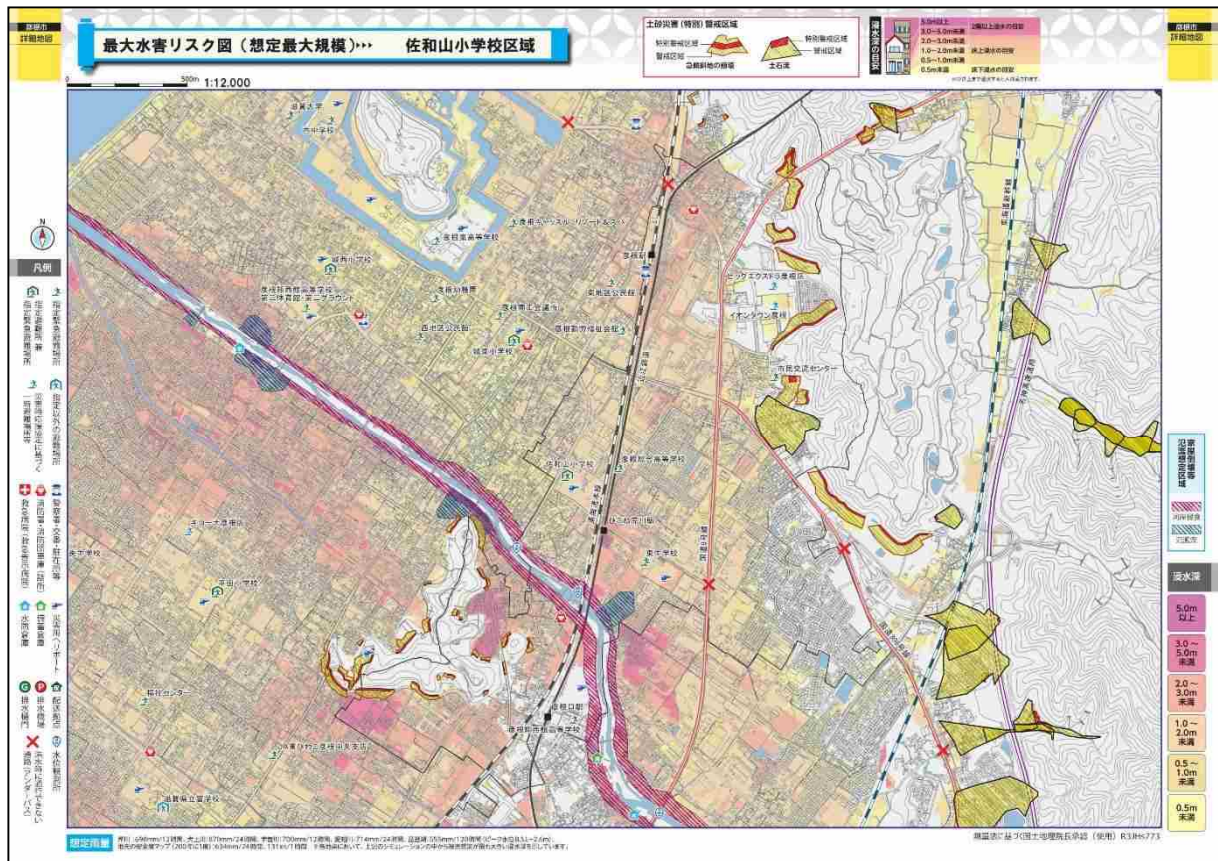


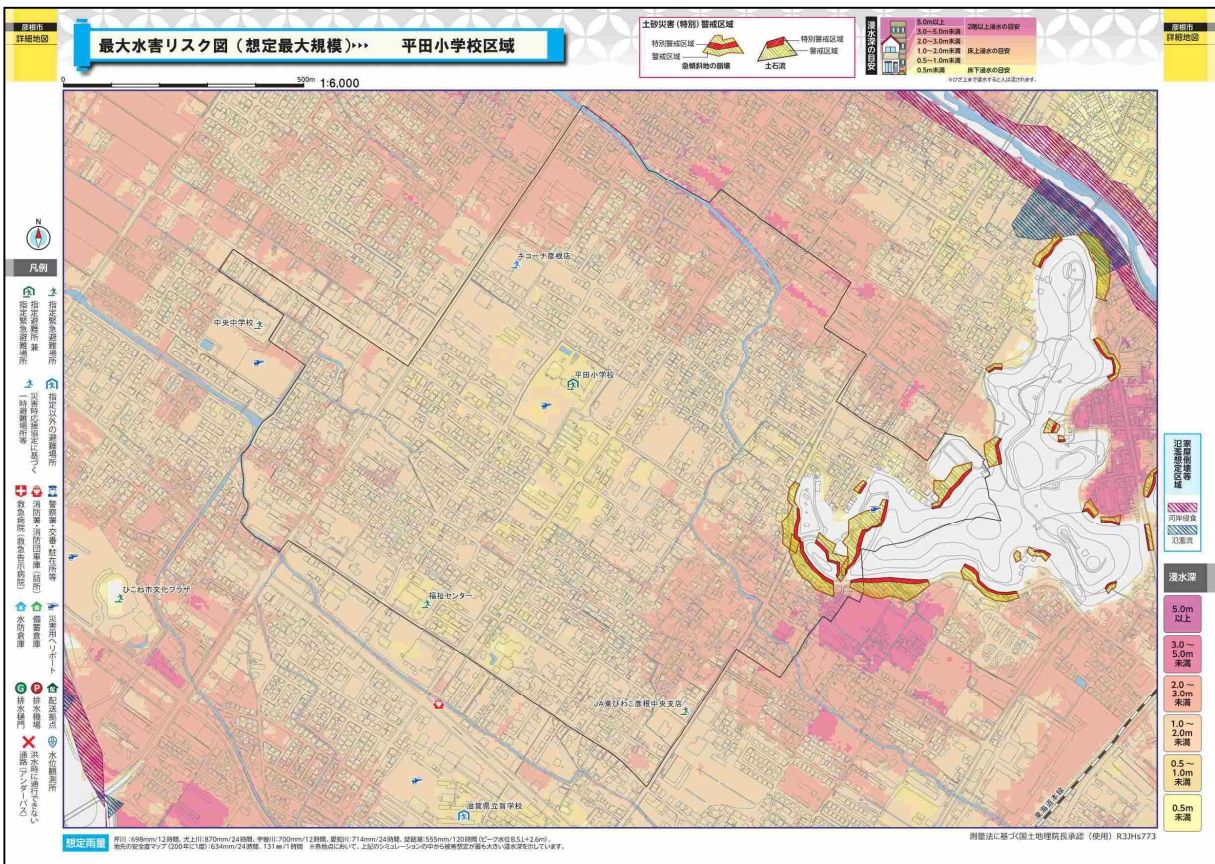
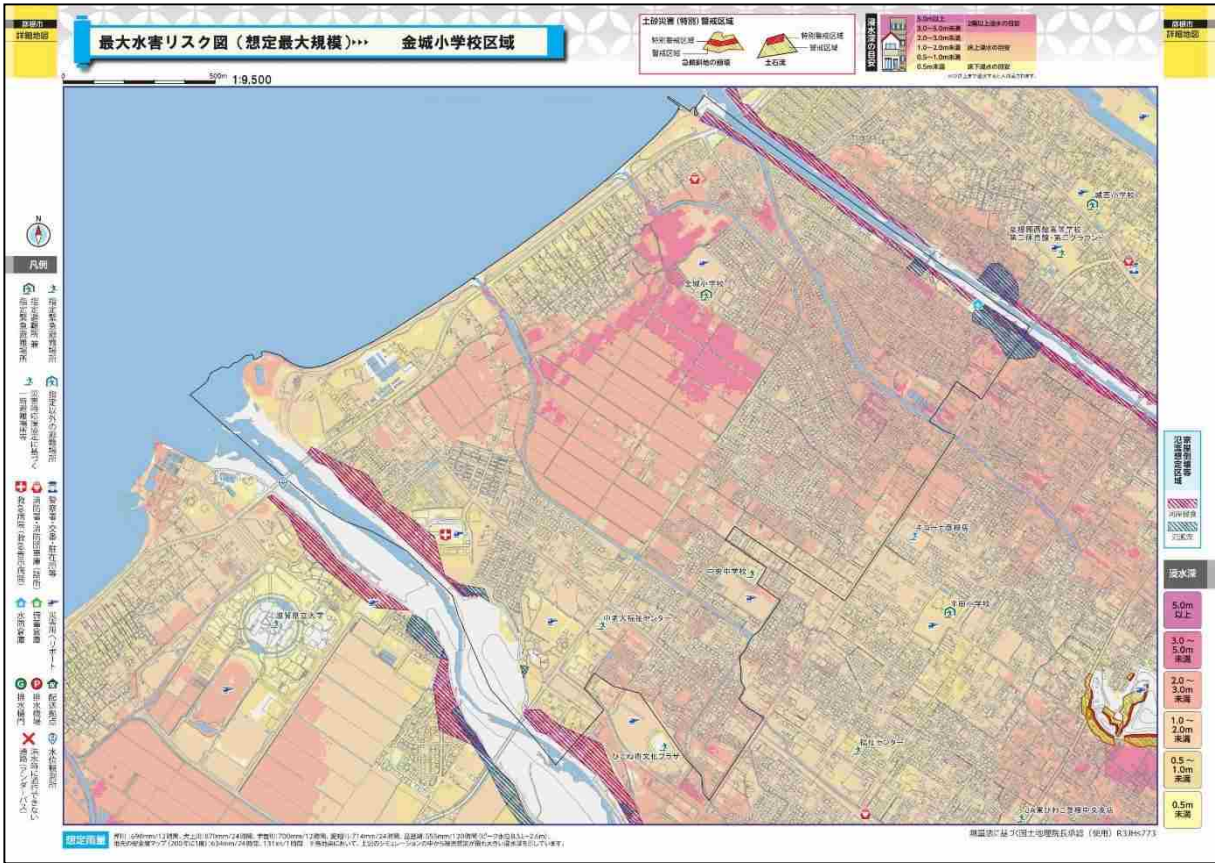
※かんぽの宿彦根は、亀の井ホテル彦根に名称変更
 ※彦根総合運動場は、彦根総合スポーツ公園に名称変更



※かんぽの宿彦根は、亀の井ホテル彦根に名称変更
※彦根総合運動場は、彦根総合スポーツ公園に名称変更

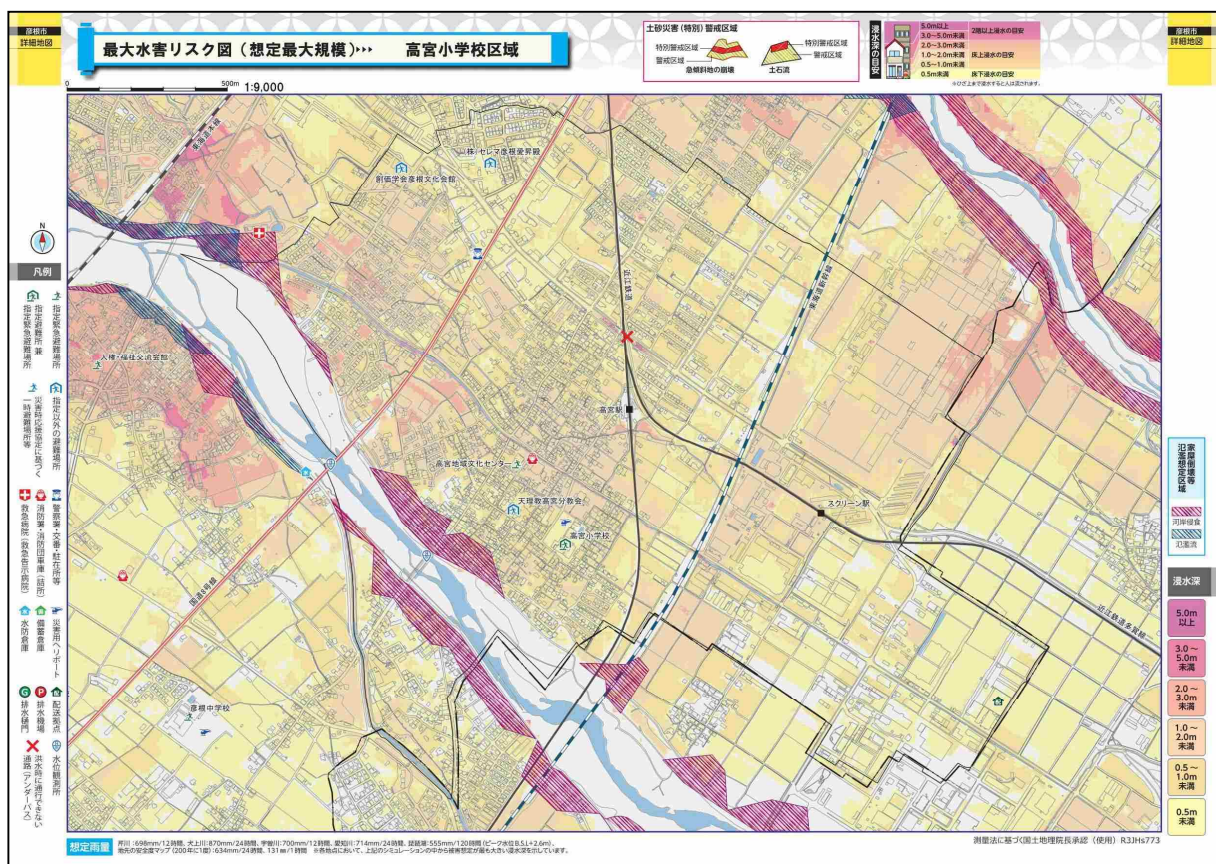
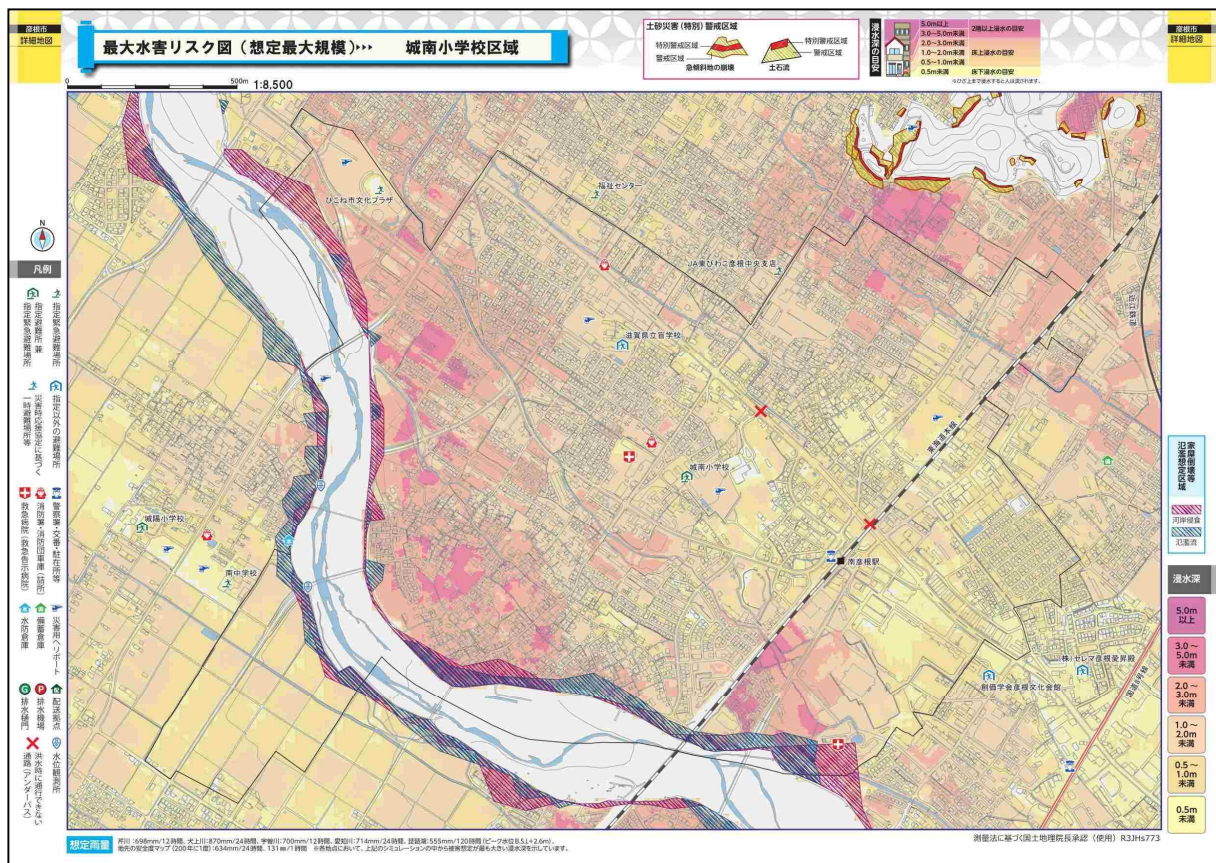
第1部 災害リスクに関する資料
3 風水害関係



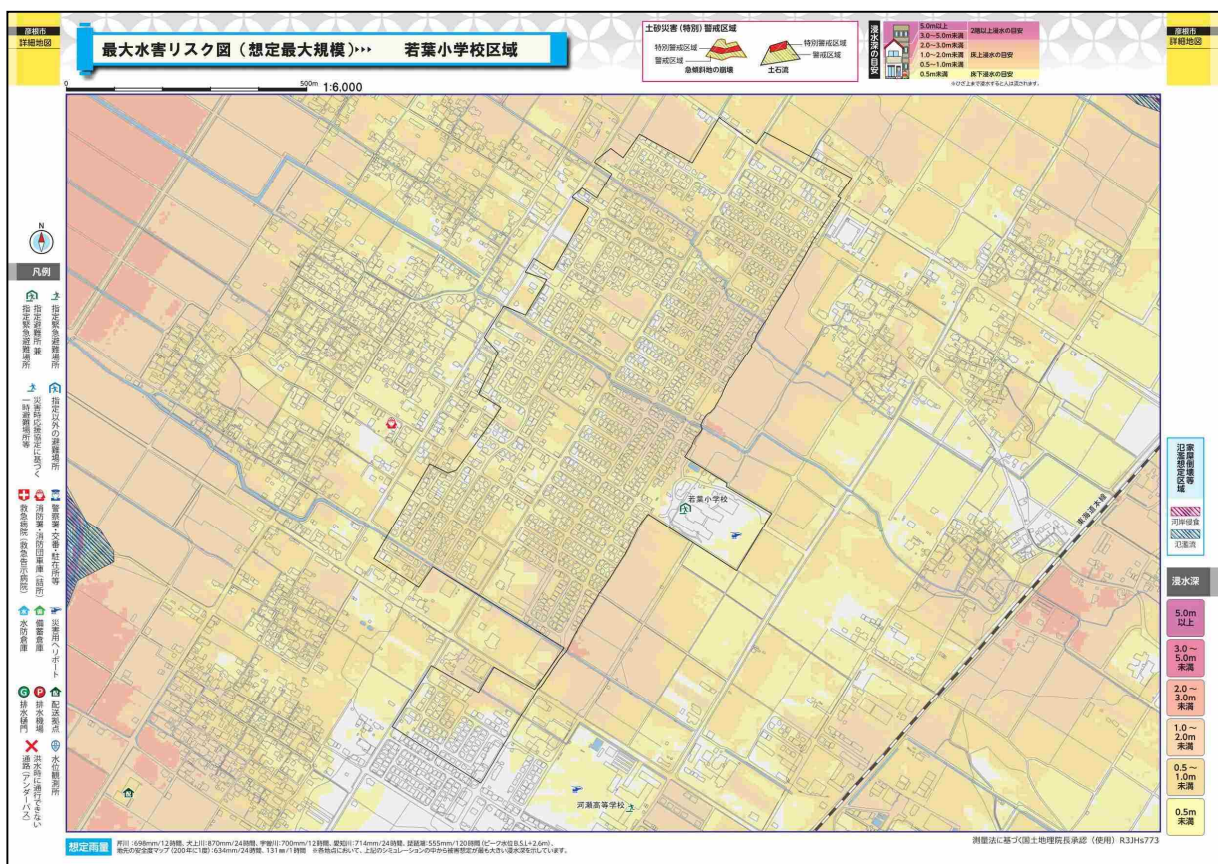
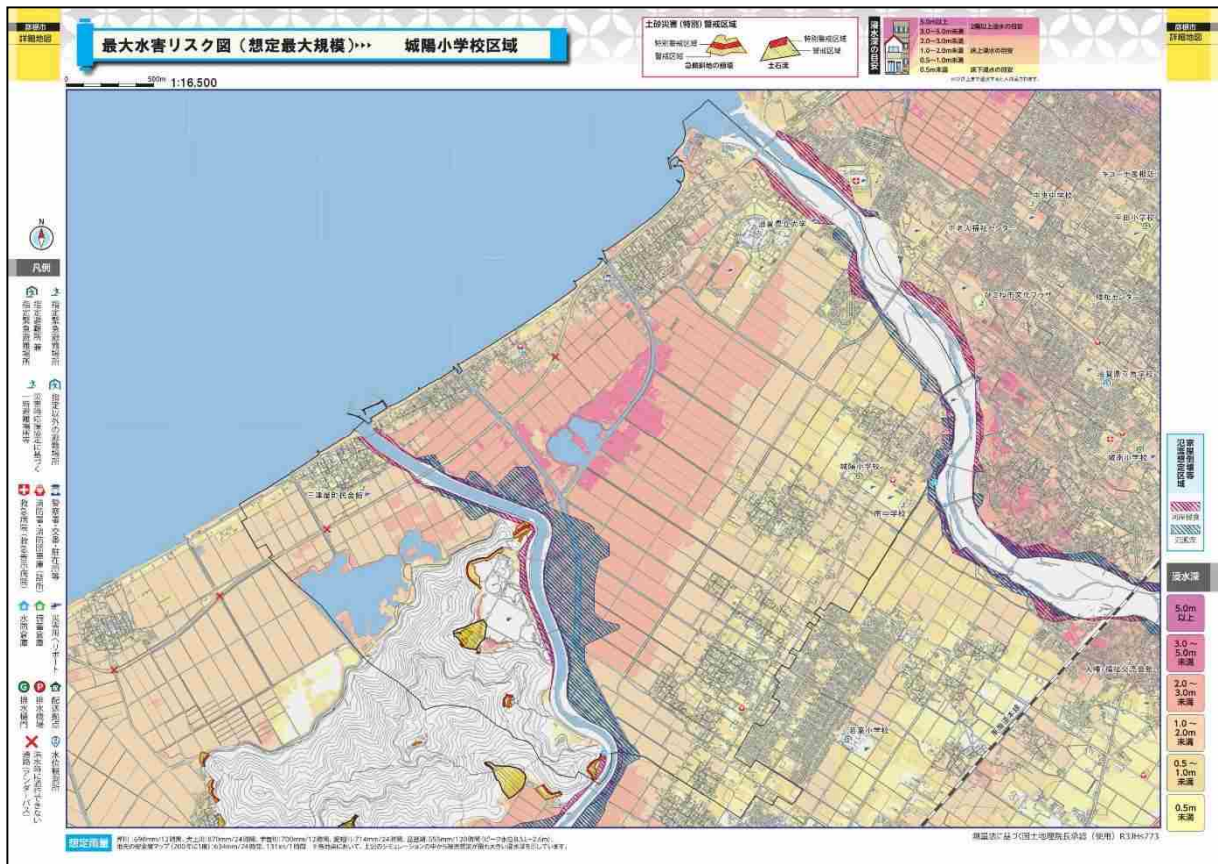


第1部 災害リスクに関する資料

3 風水雪害関係

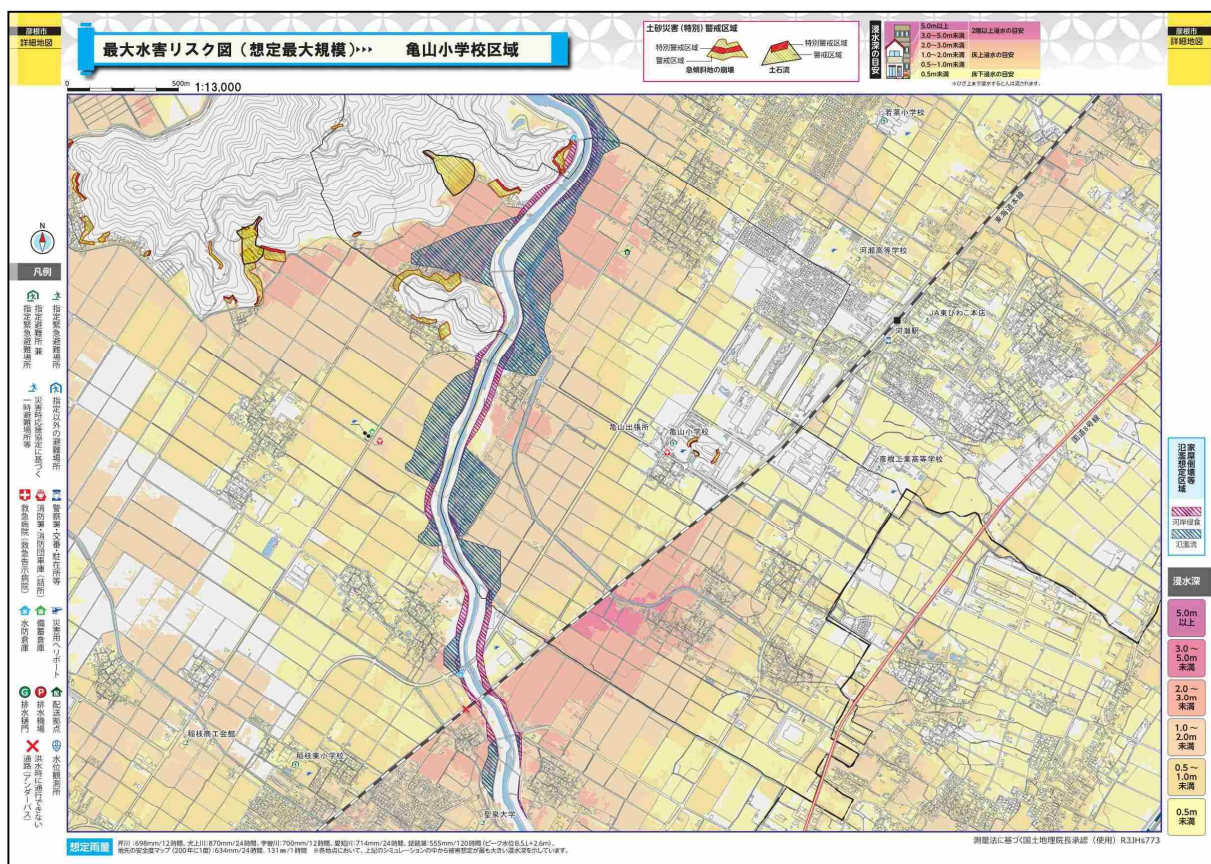
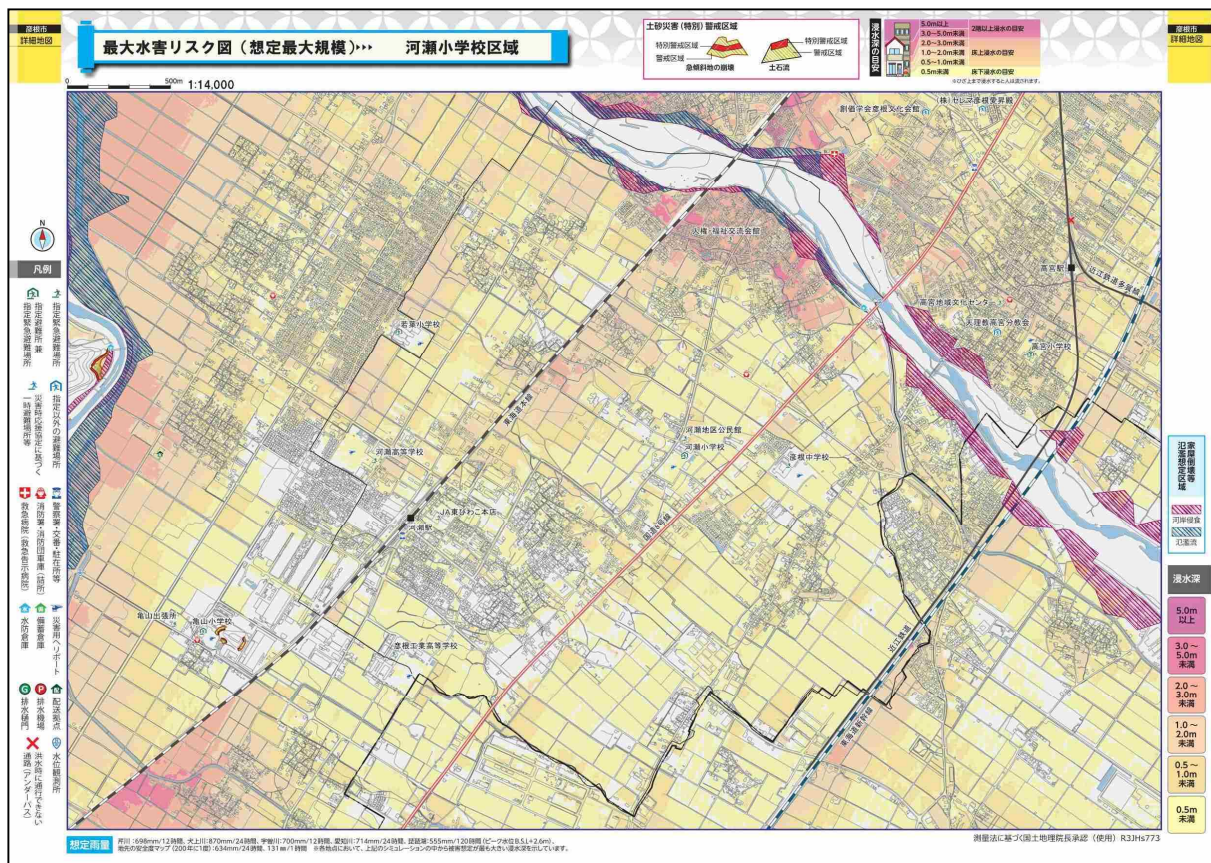


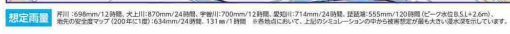
第1部 災害リスクに関する資料
3 風水雪害関係



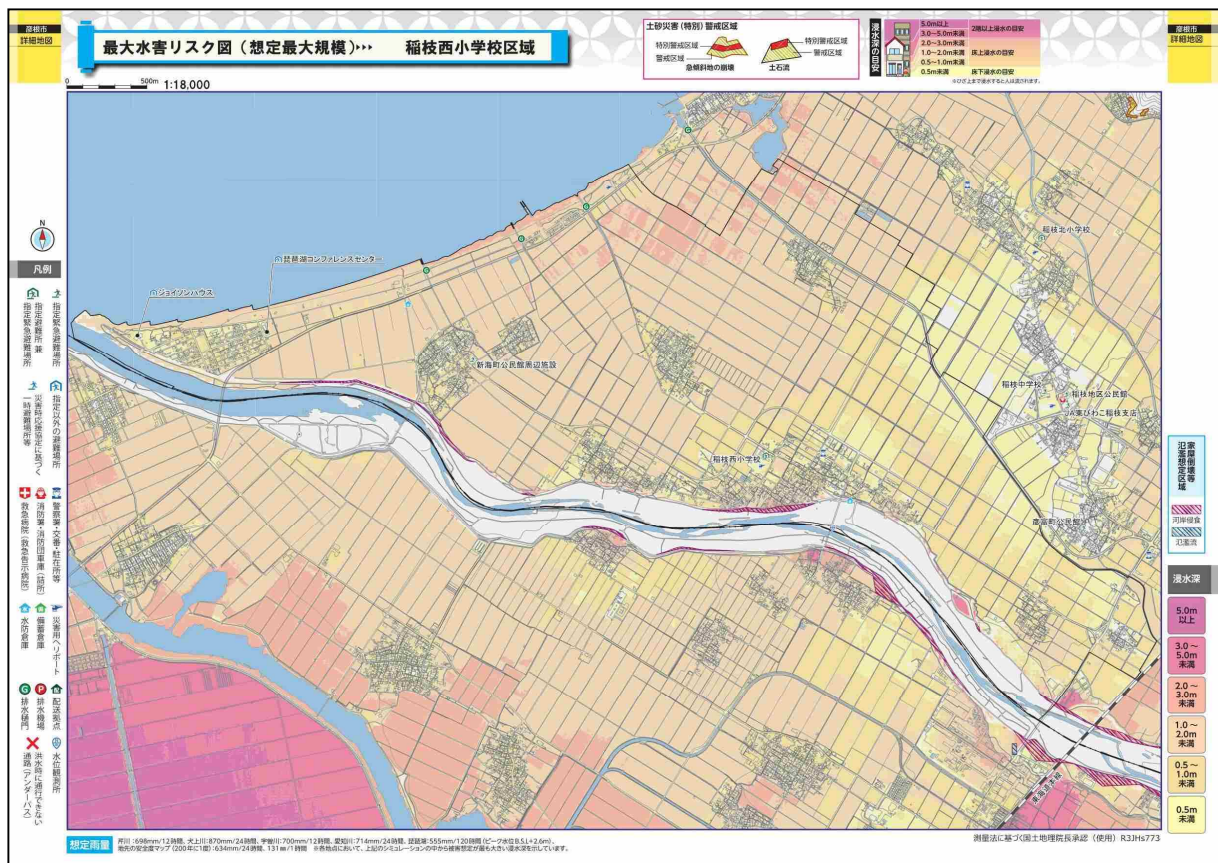
第1部 災害リスクに関する資料

3 風水雪害関係

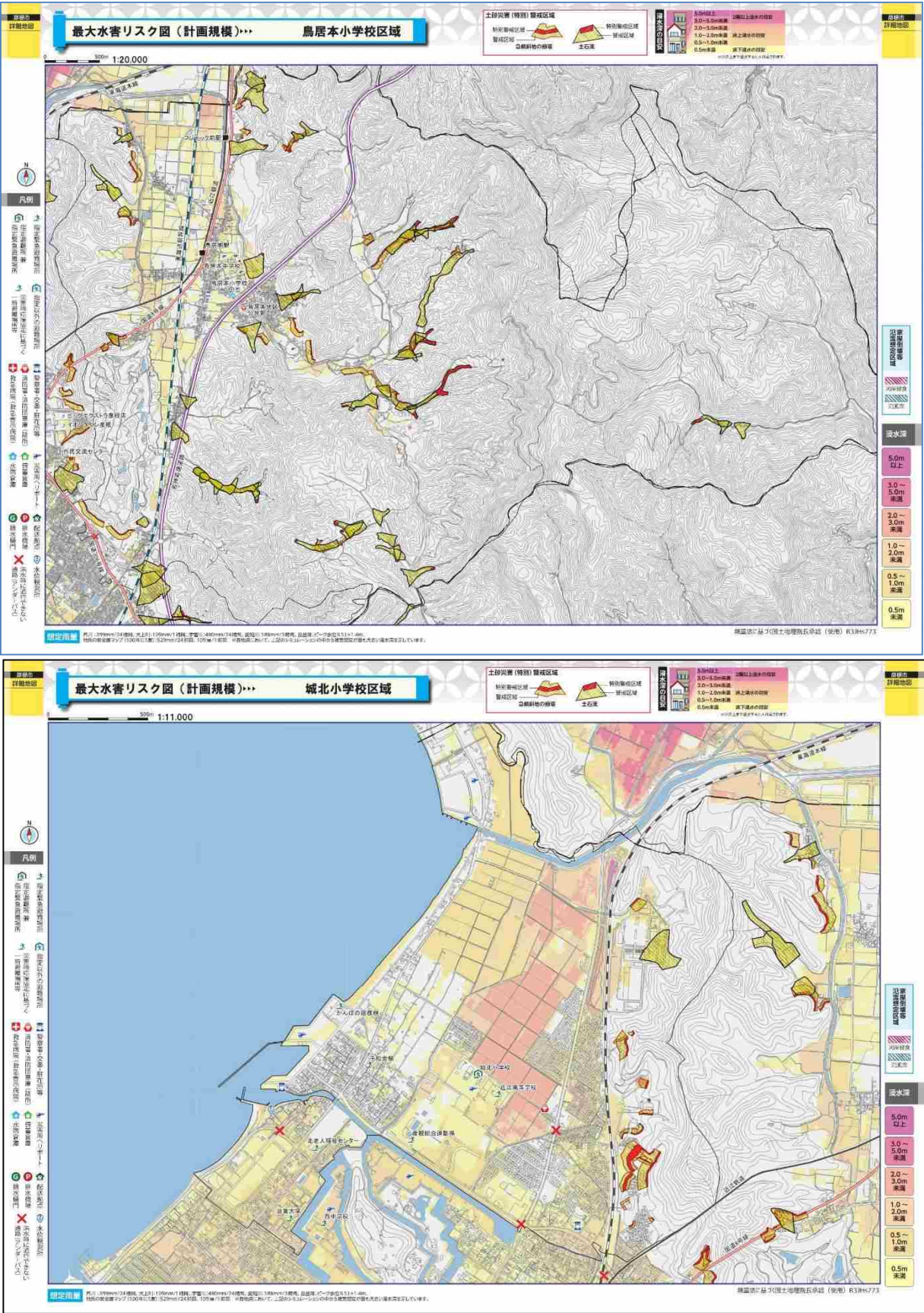




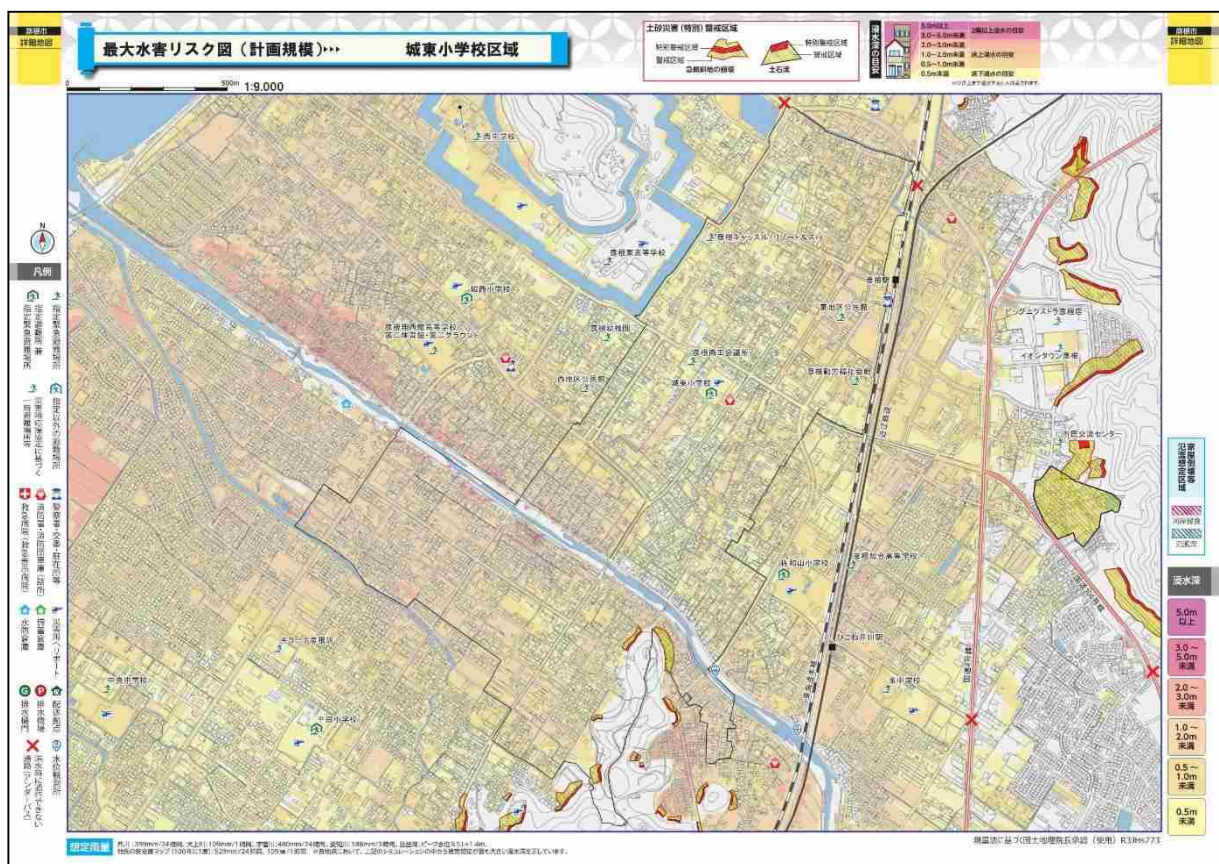
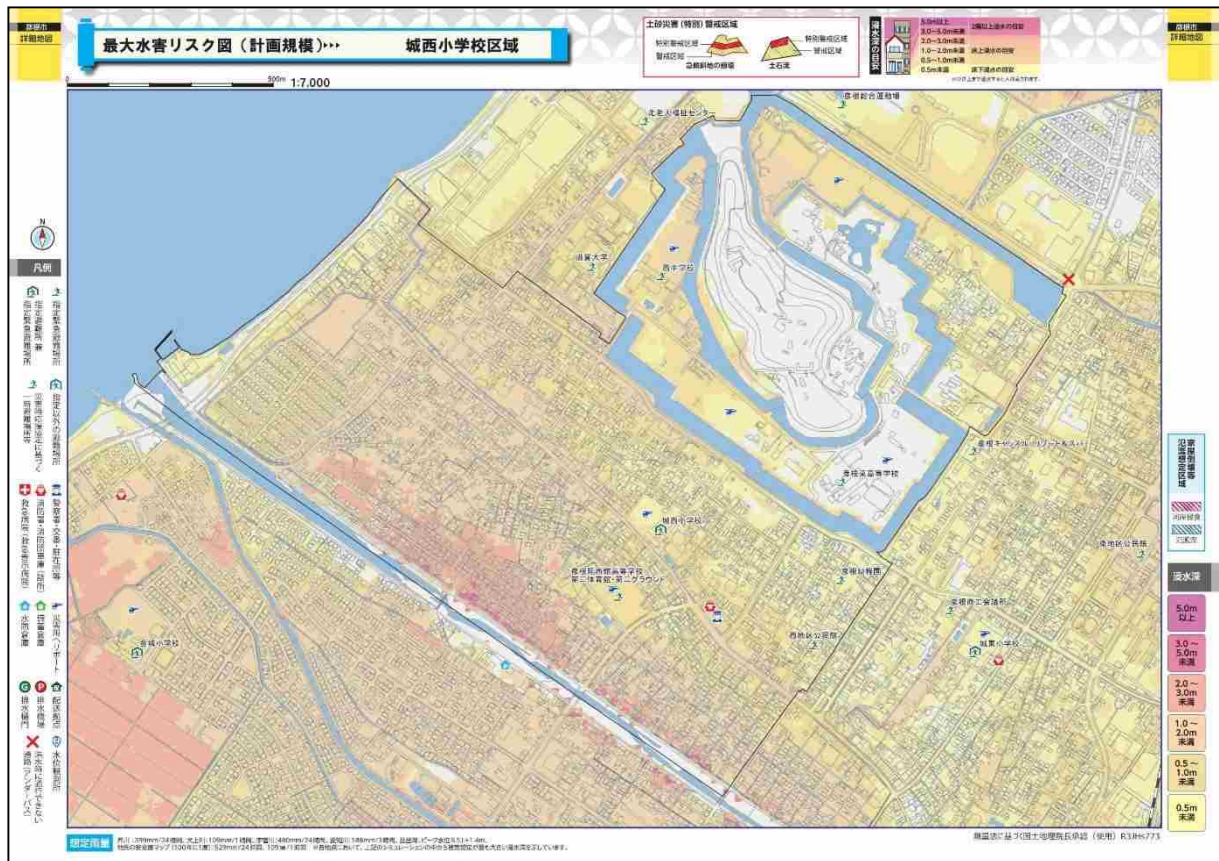
第1部 災害リスクに関する資料
3 風水害関係



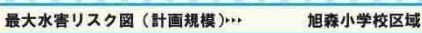
イ 洪水ハザードマップ（計画規模）



第1部 災害リスクに関する資料
3 風水雪害関係

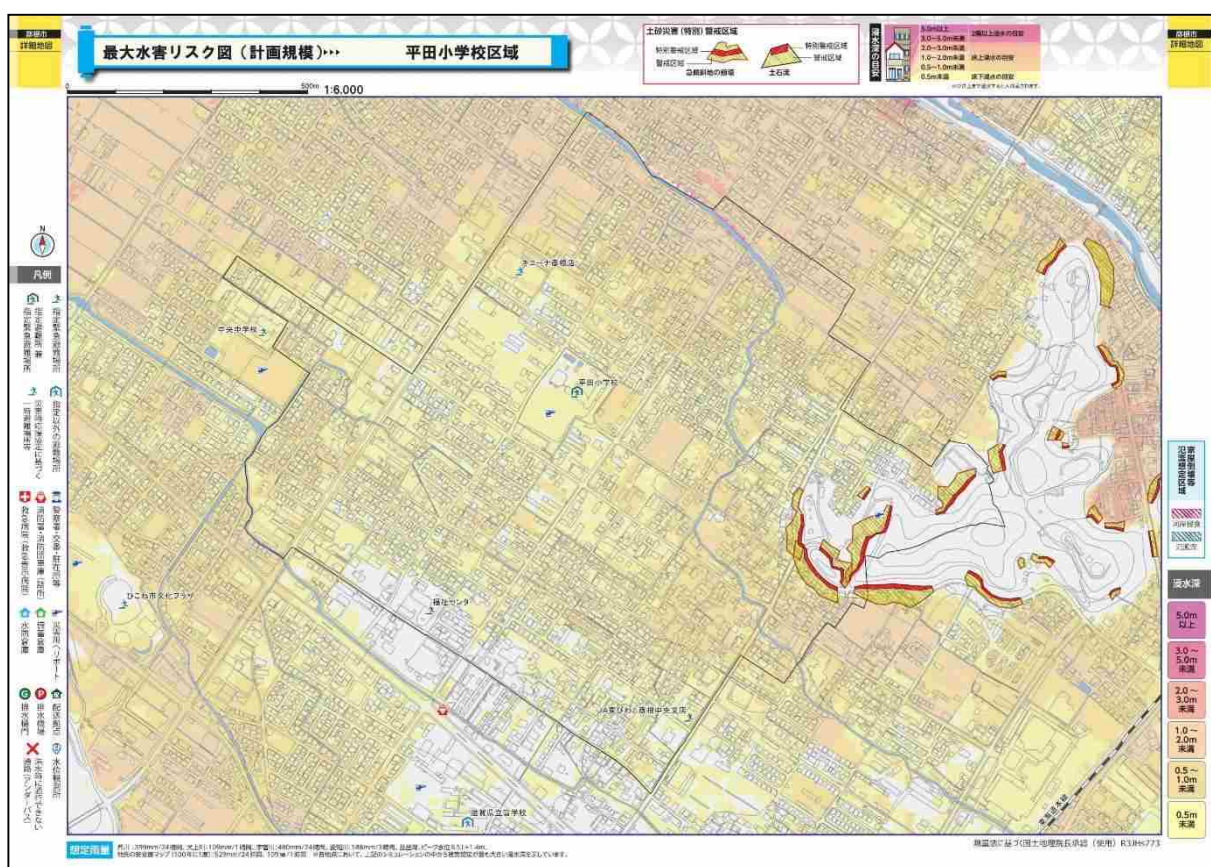
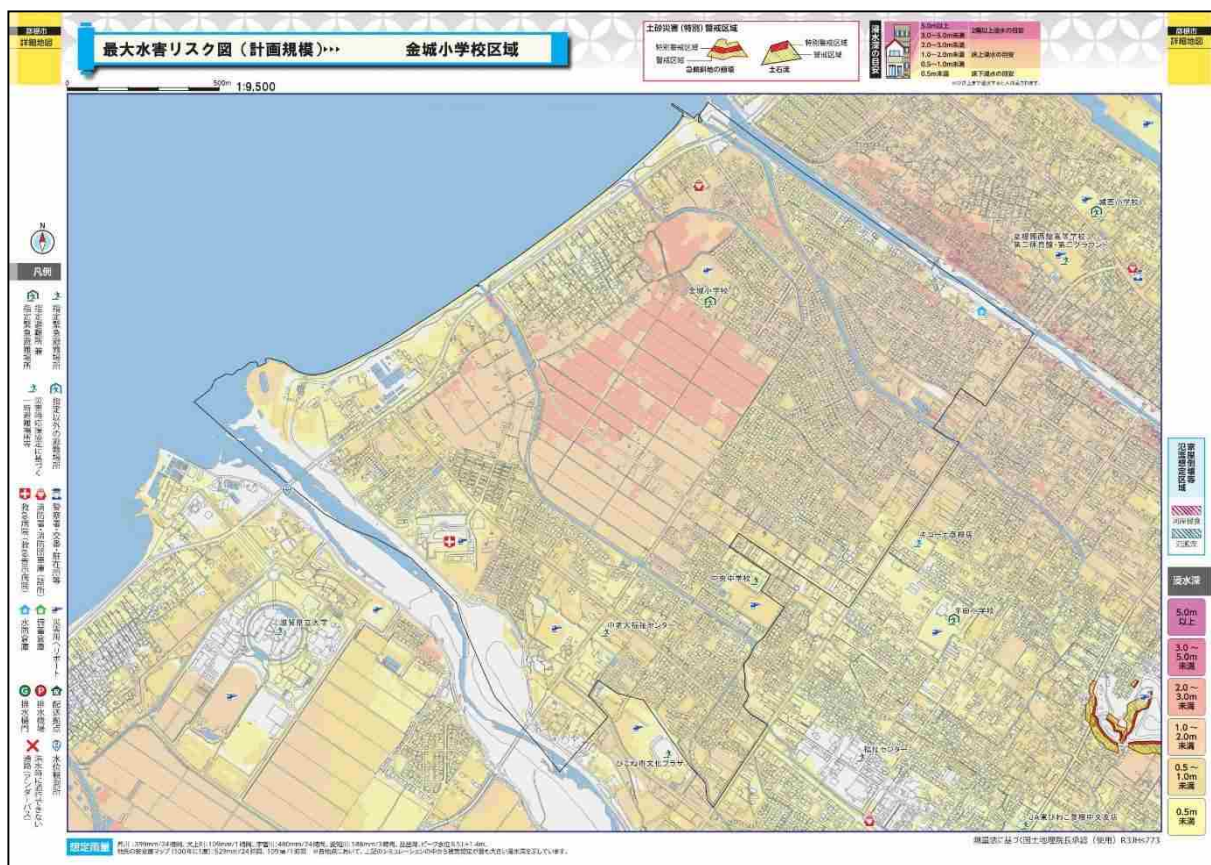


※かんぼの宿彦根は、亀の井ホテル彦根に名称変更
※彦根総合運動場は、彦根総合スポーツ公園に名称変更

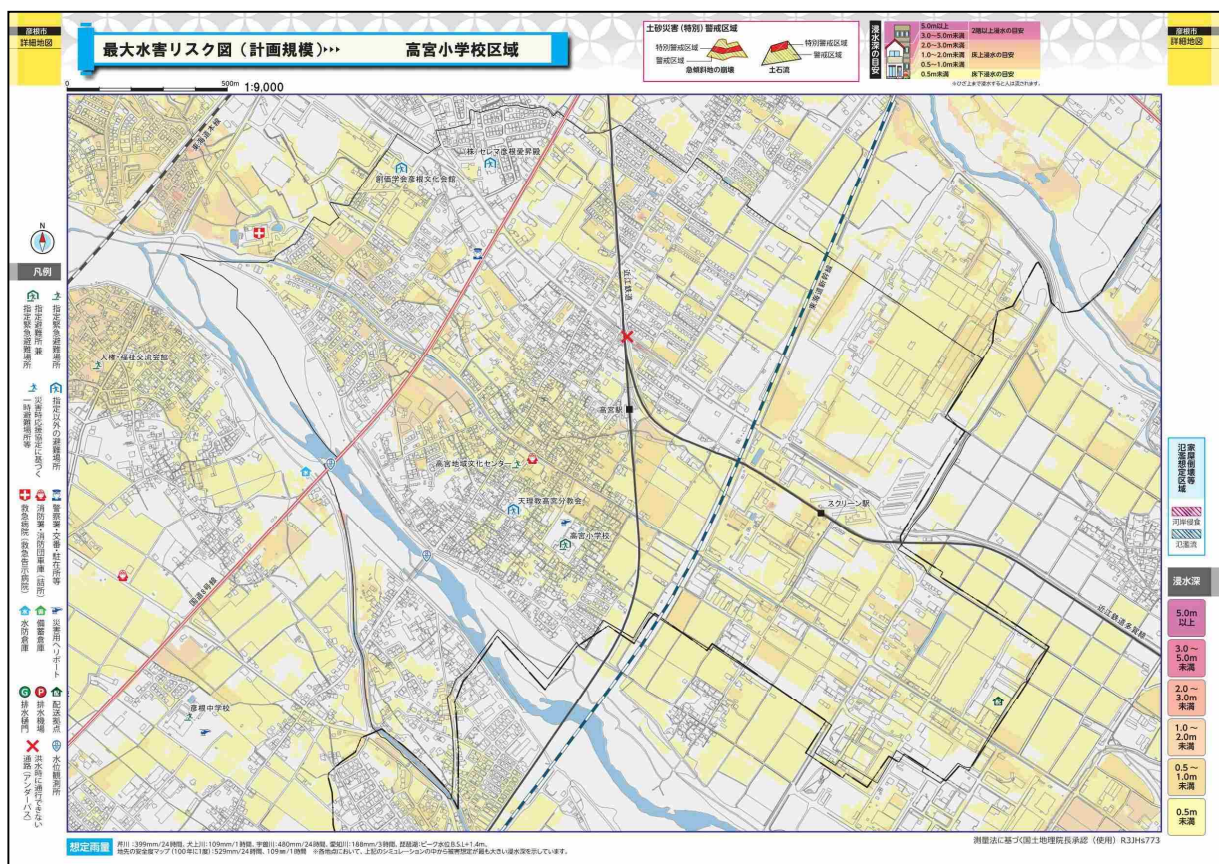
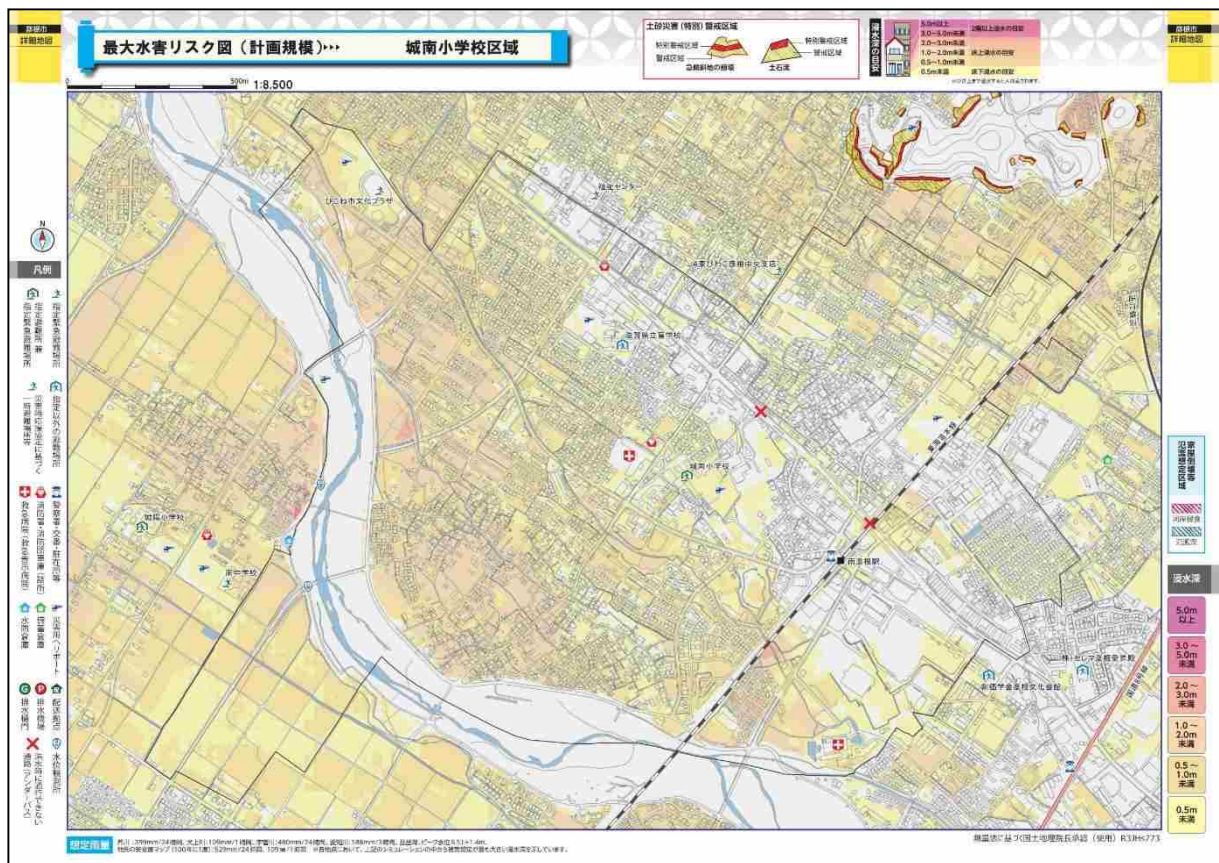


第1部 災害リスクに関する資料

3 風水雪害関係

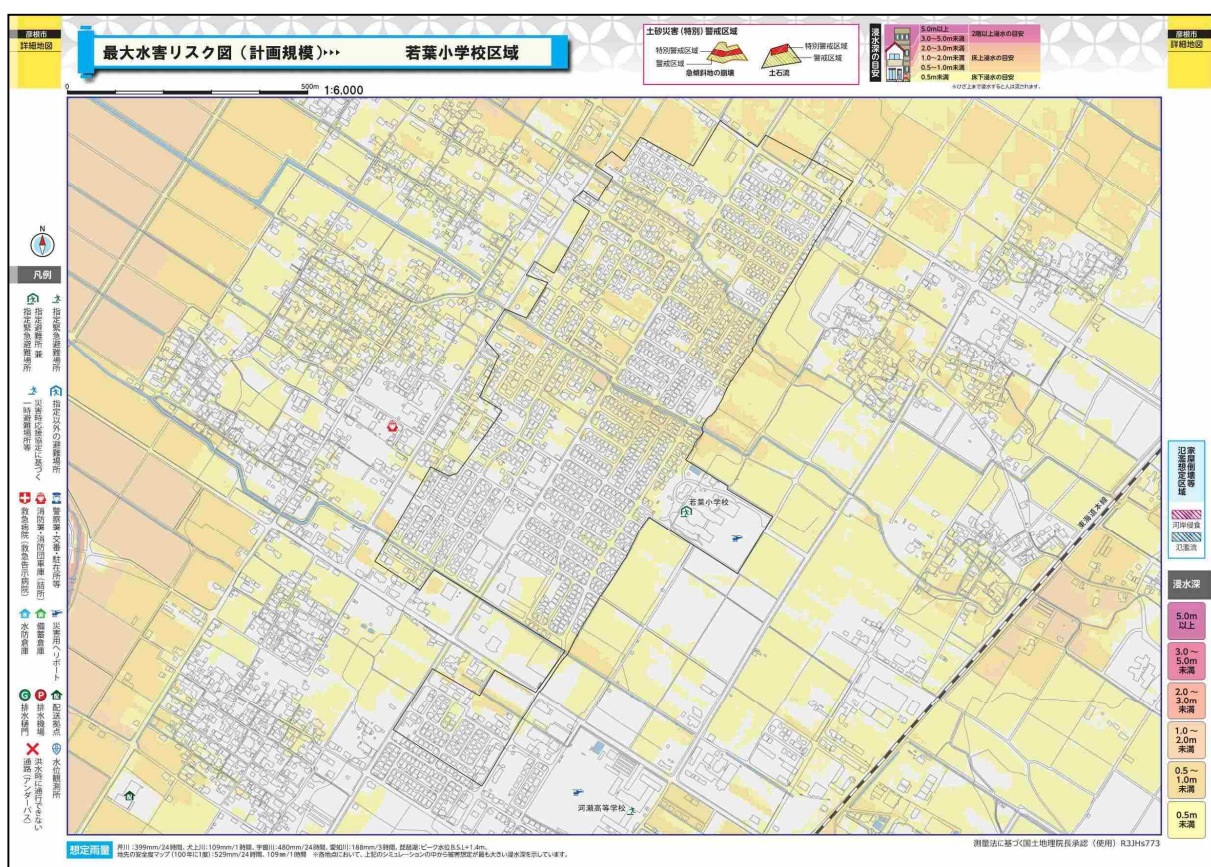
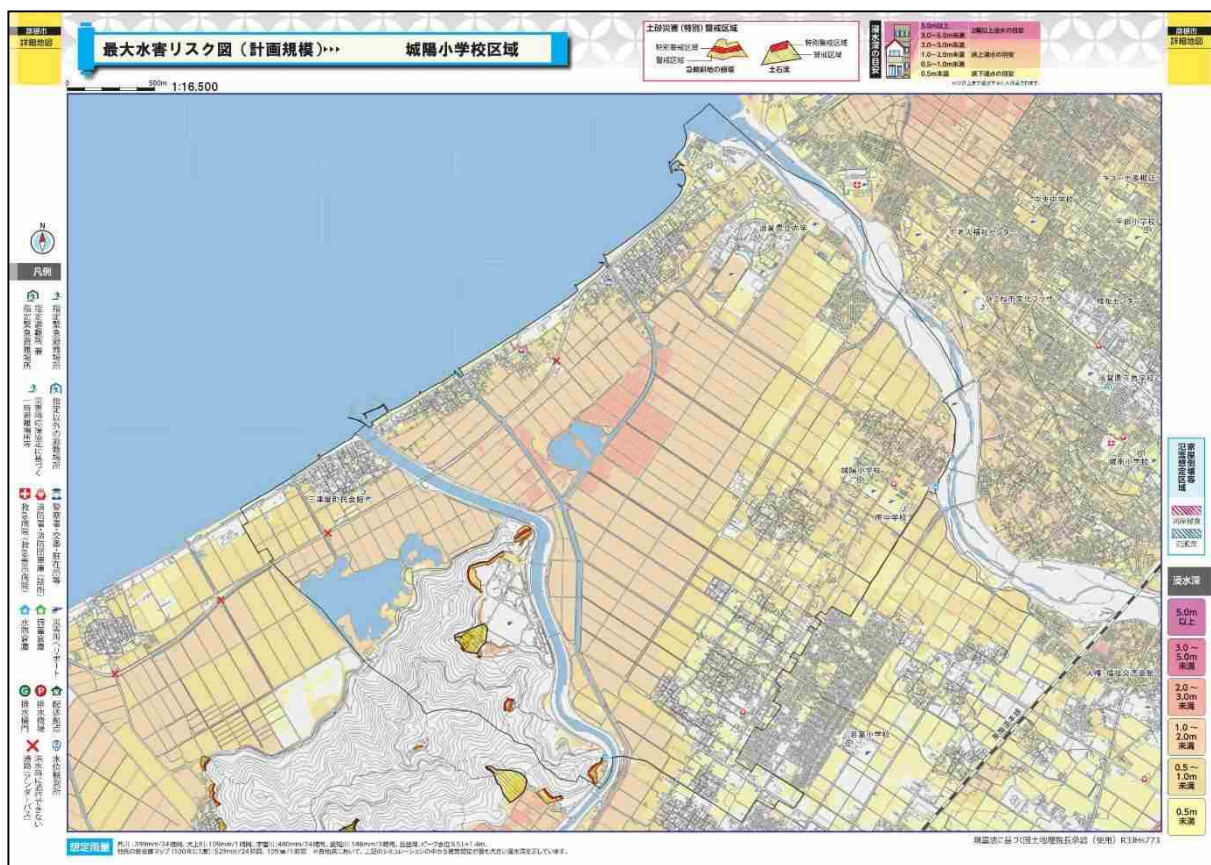


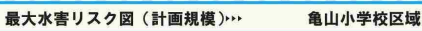
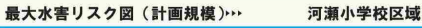
第1部 災害リスクに関する資料
3 風水雪害関係



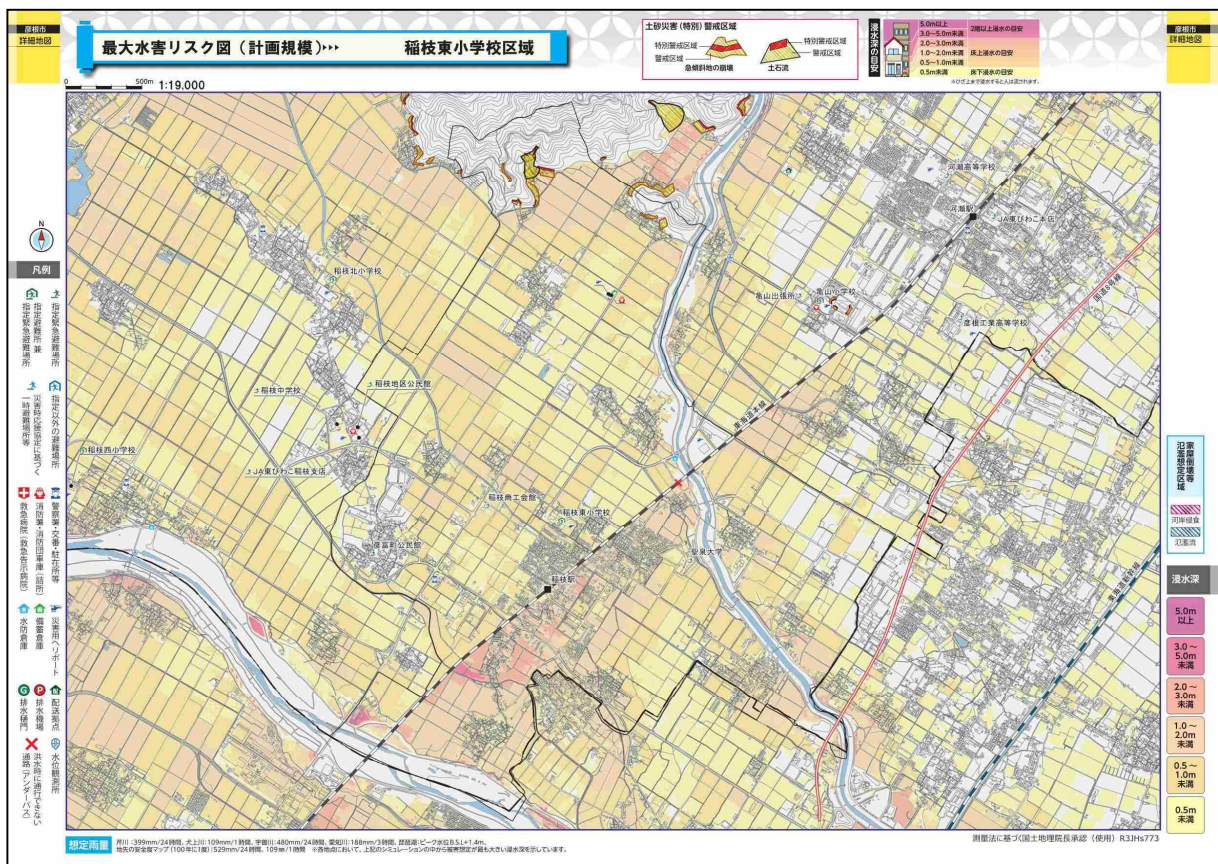
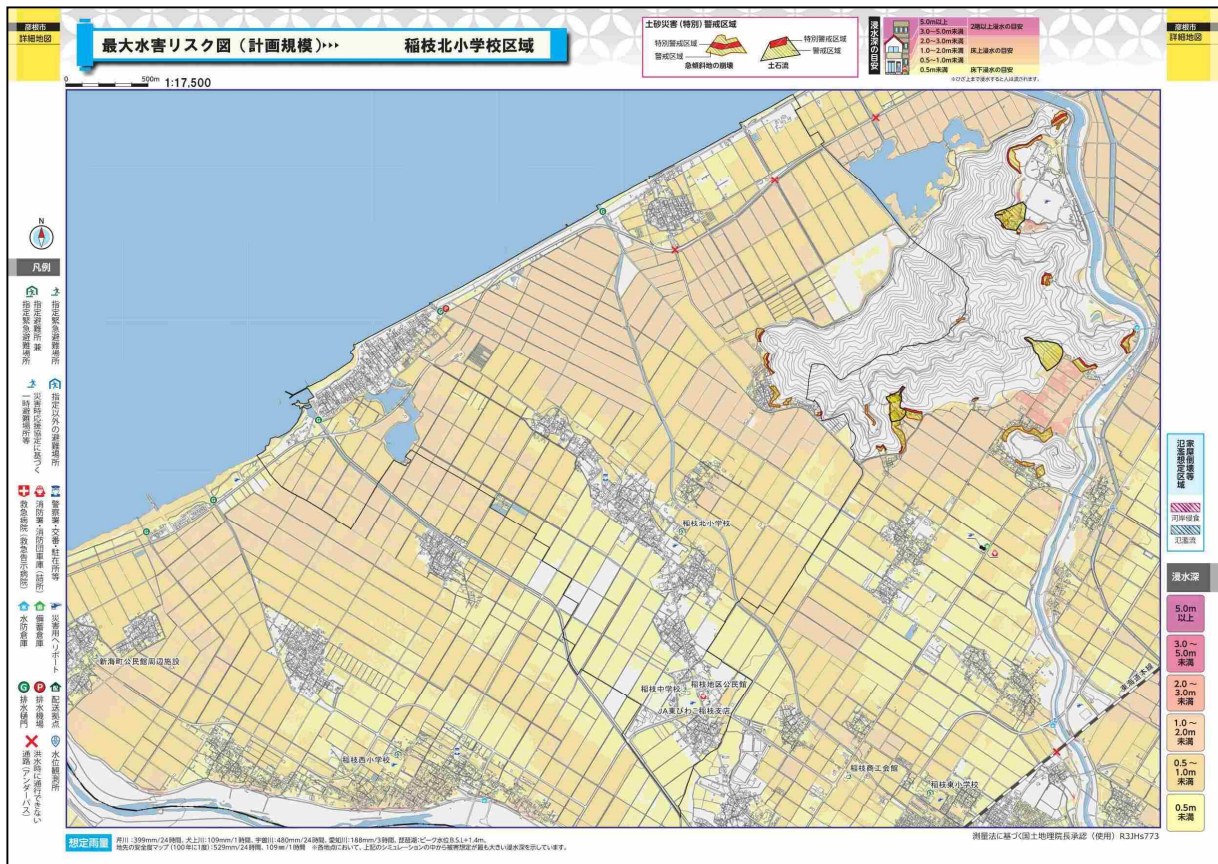
第1部 災害リスクに関する資料

3 風水雪害関係

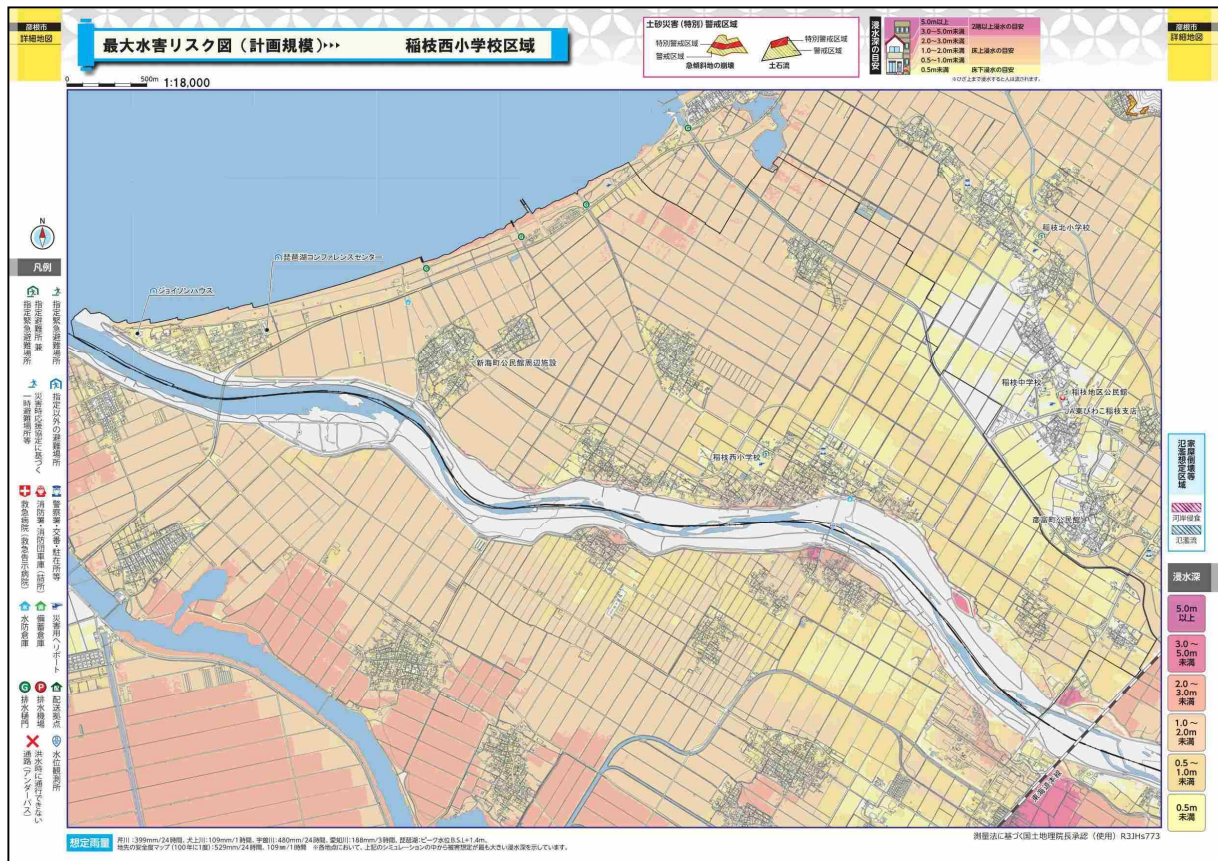




第1部 災害リスクに関する資料
3 風水害関係

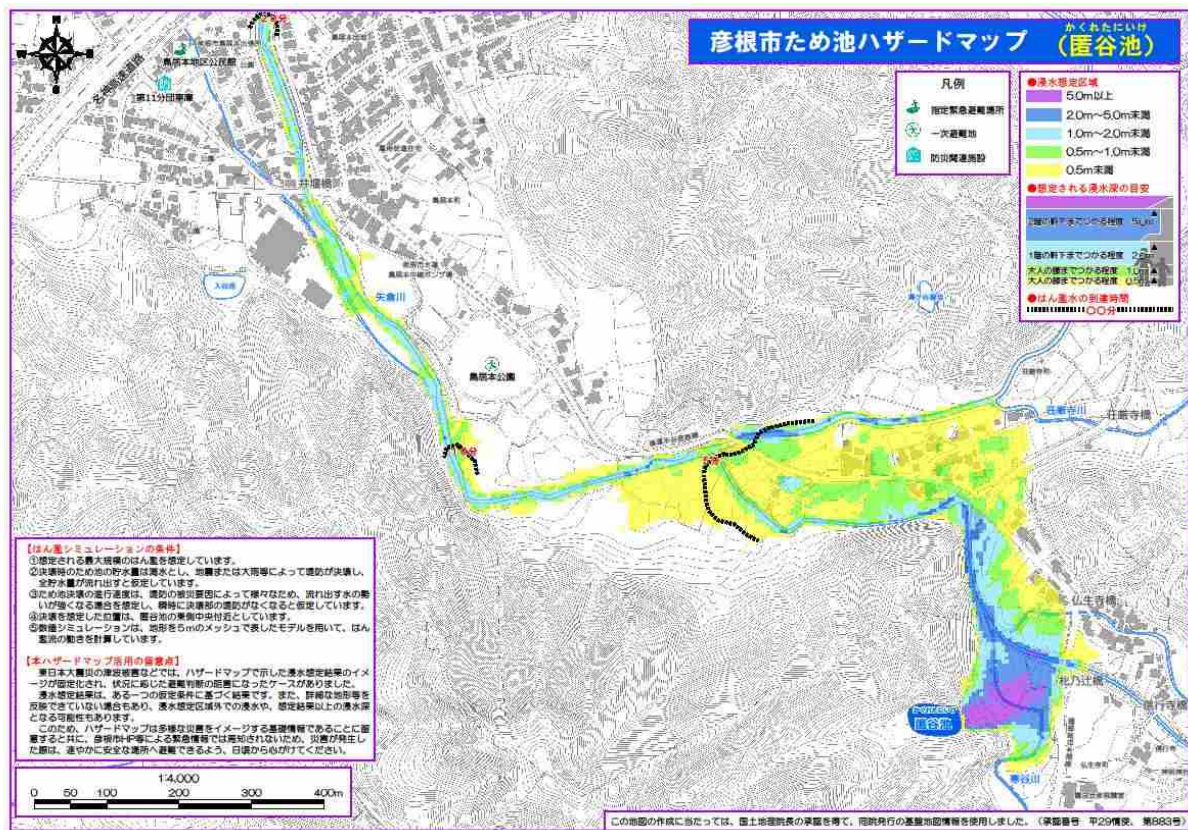
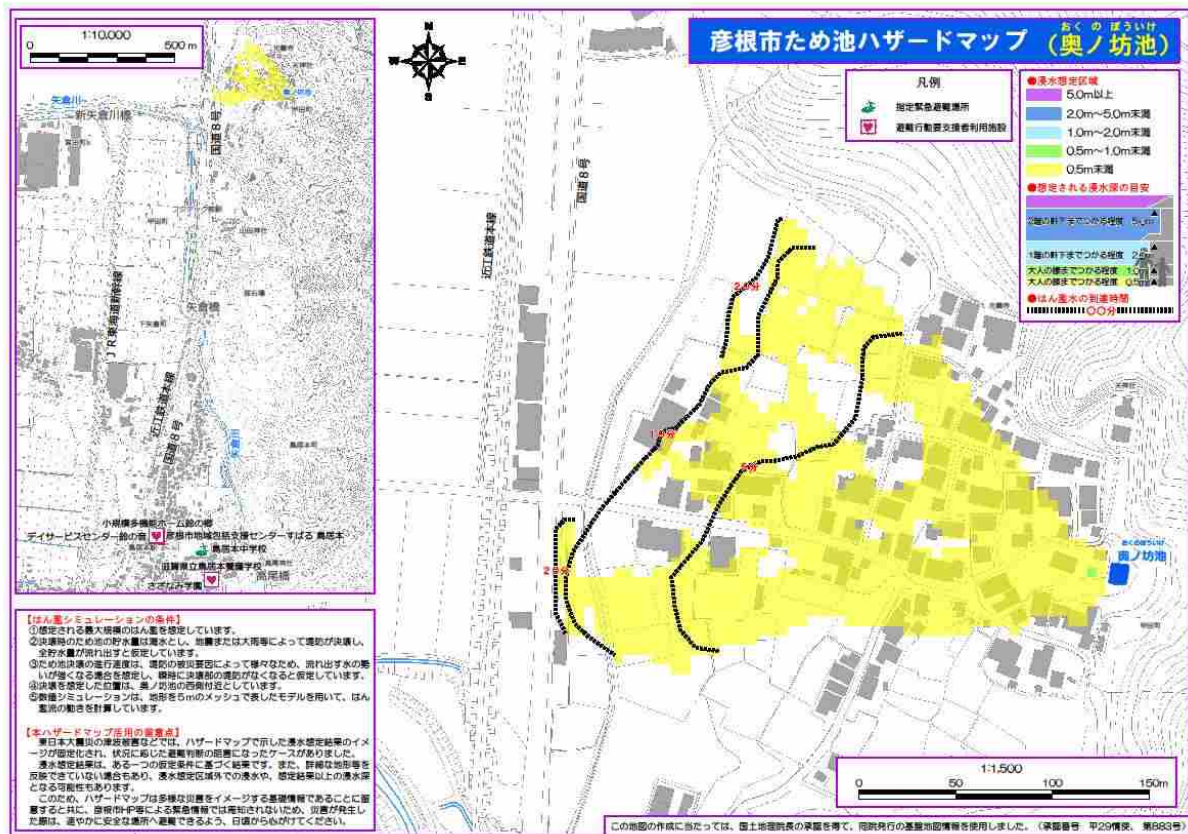


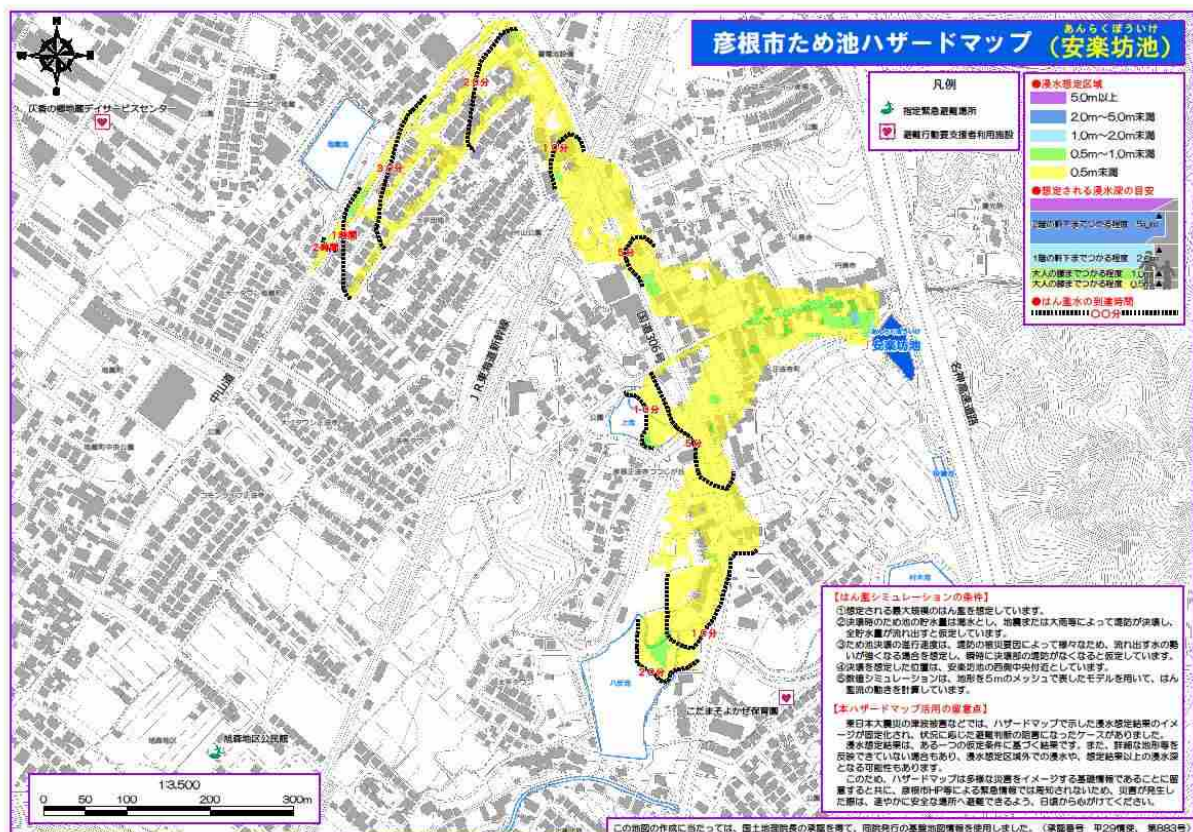
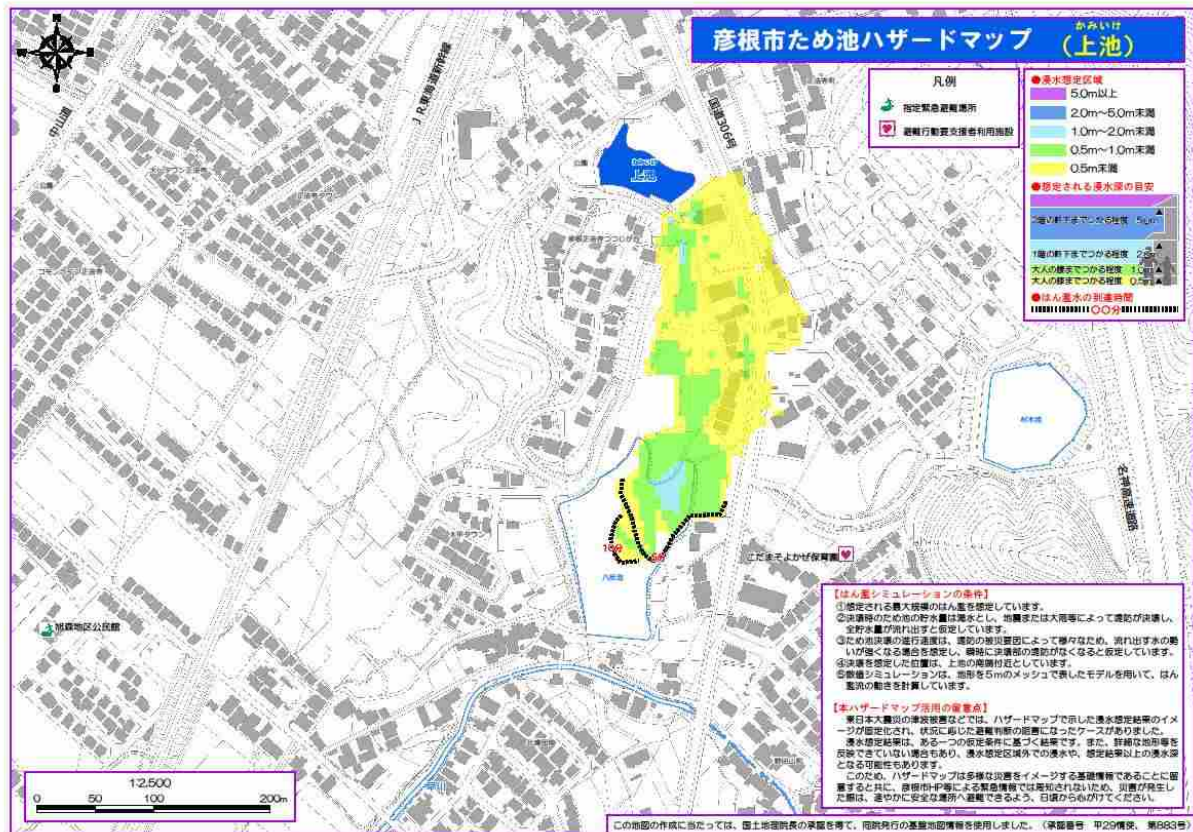
第1部 災害リスクに関する資料
3 風水雪害関係



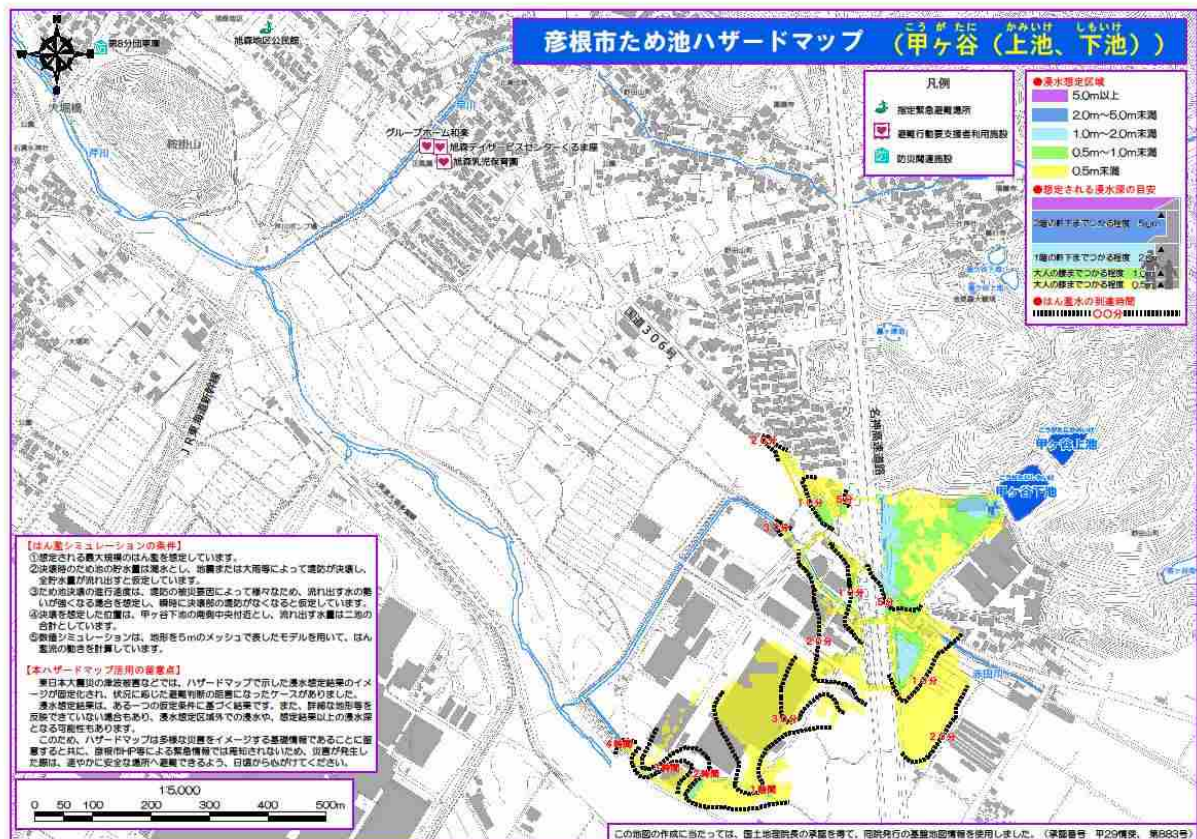
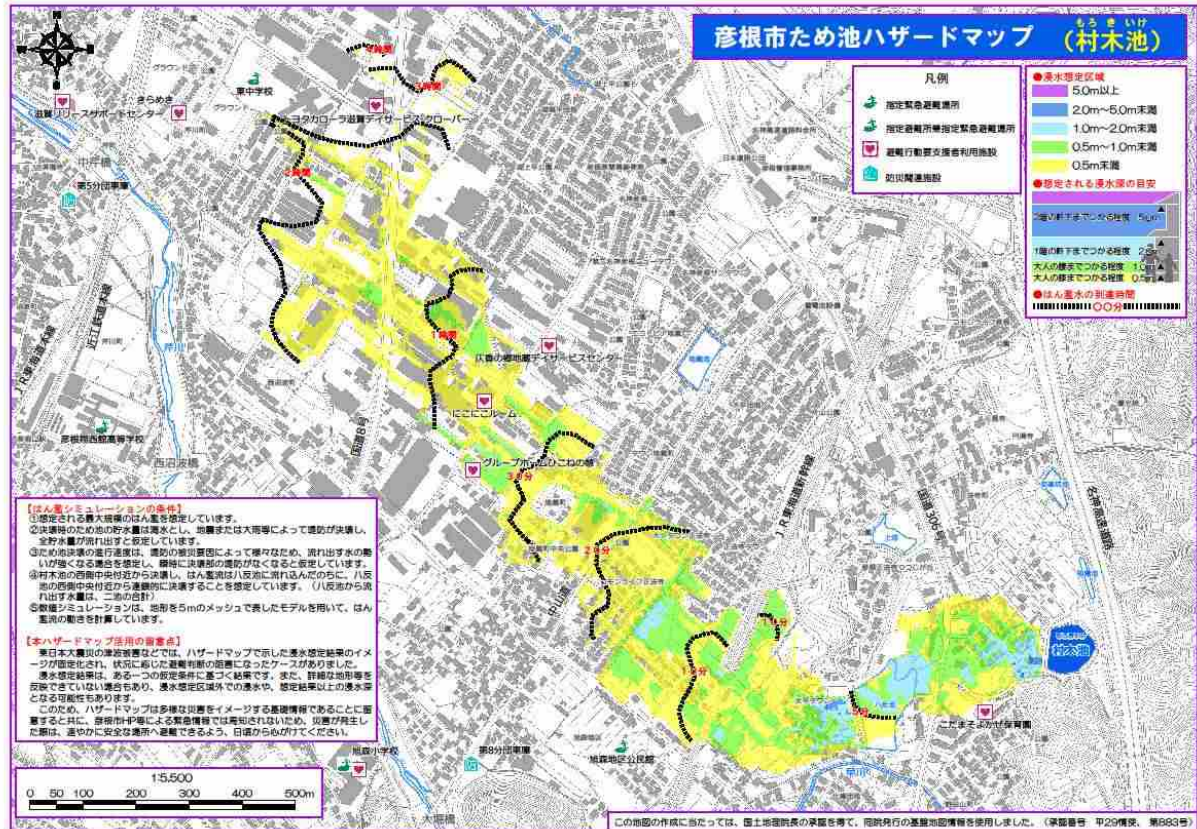
第1部 災害リスクに関する資料
3 風水害関係

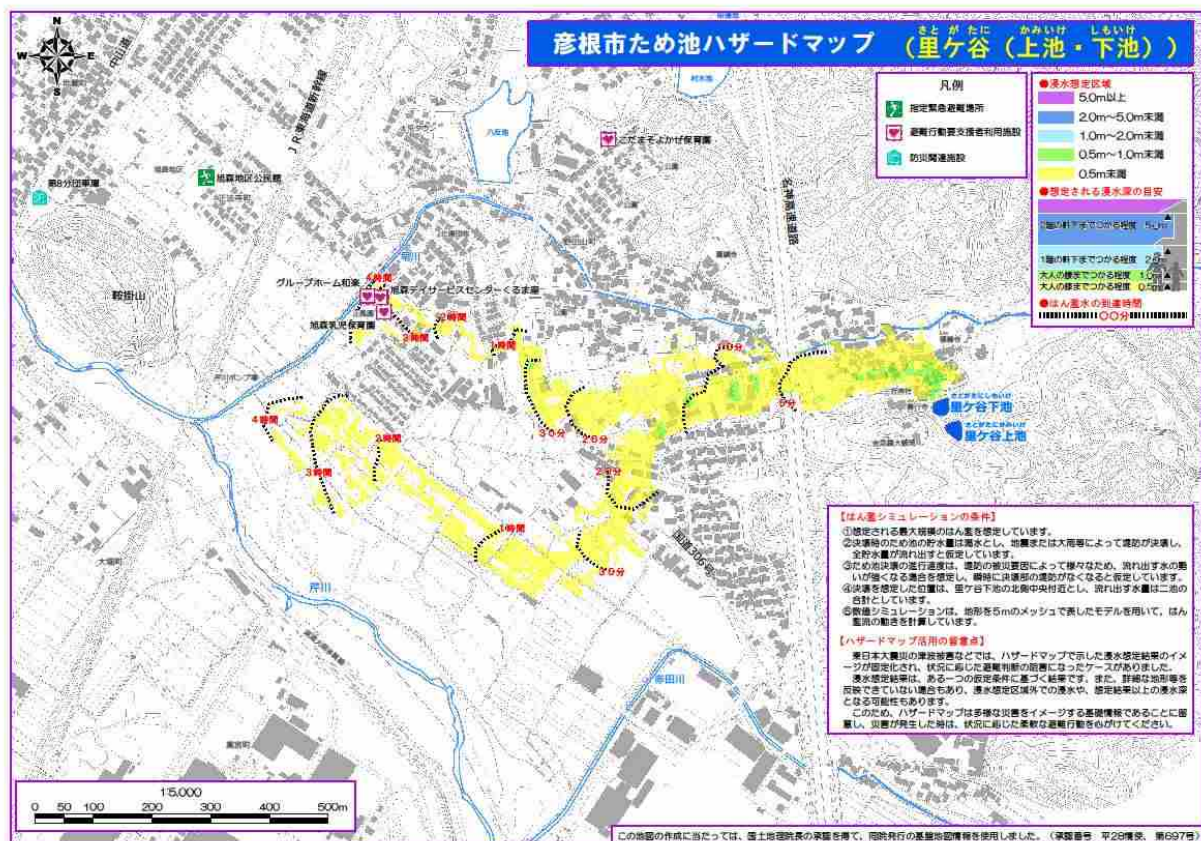
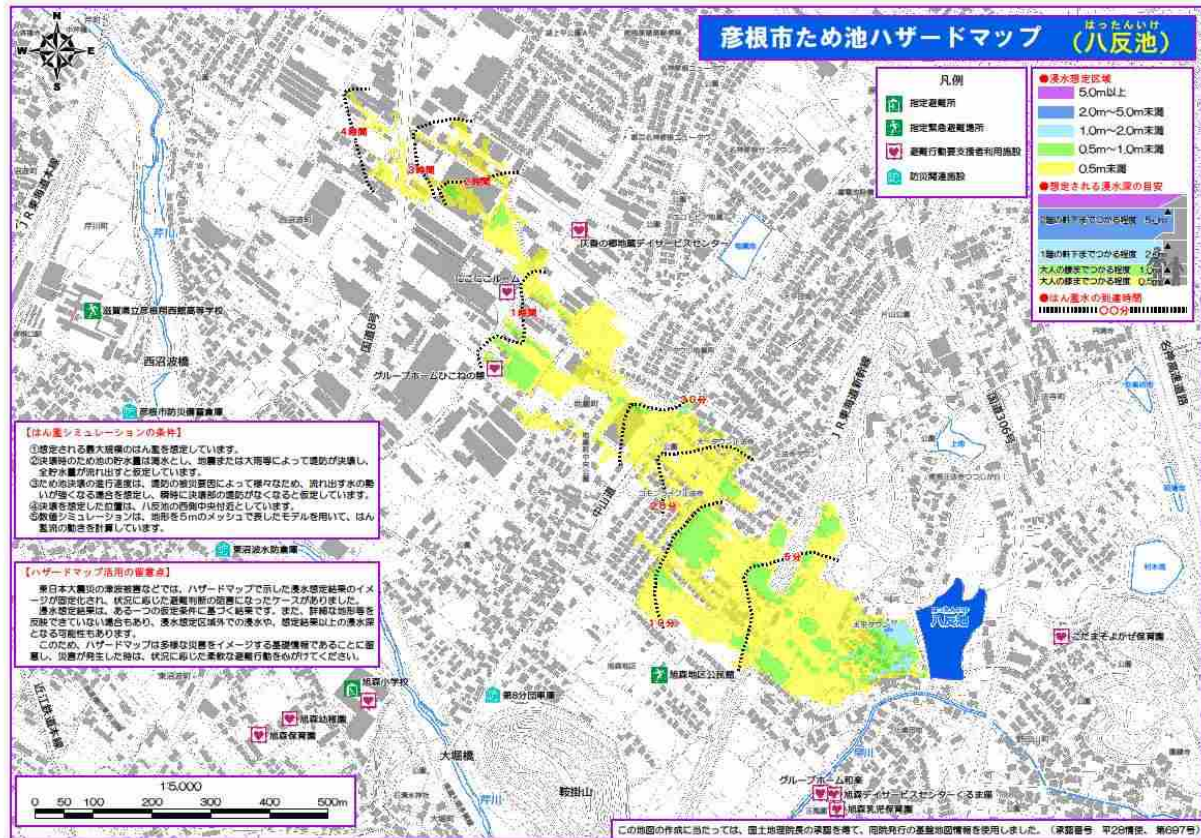
(10)ため池ハザードマップ



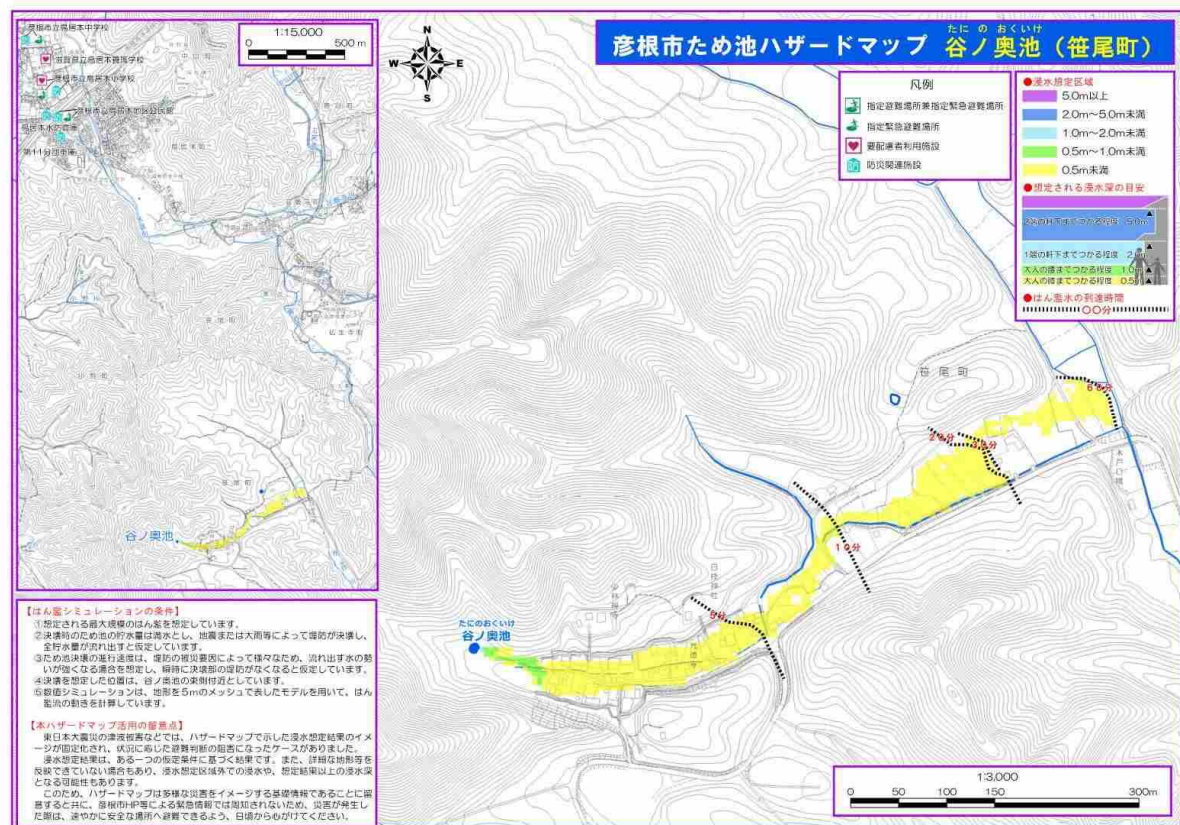
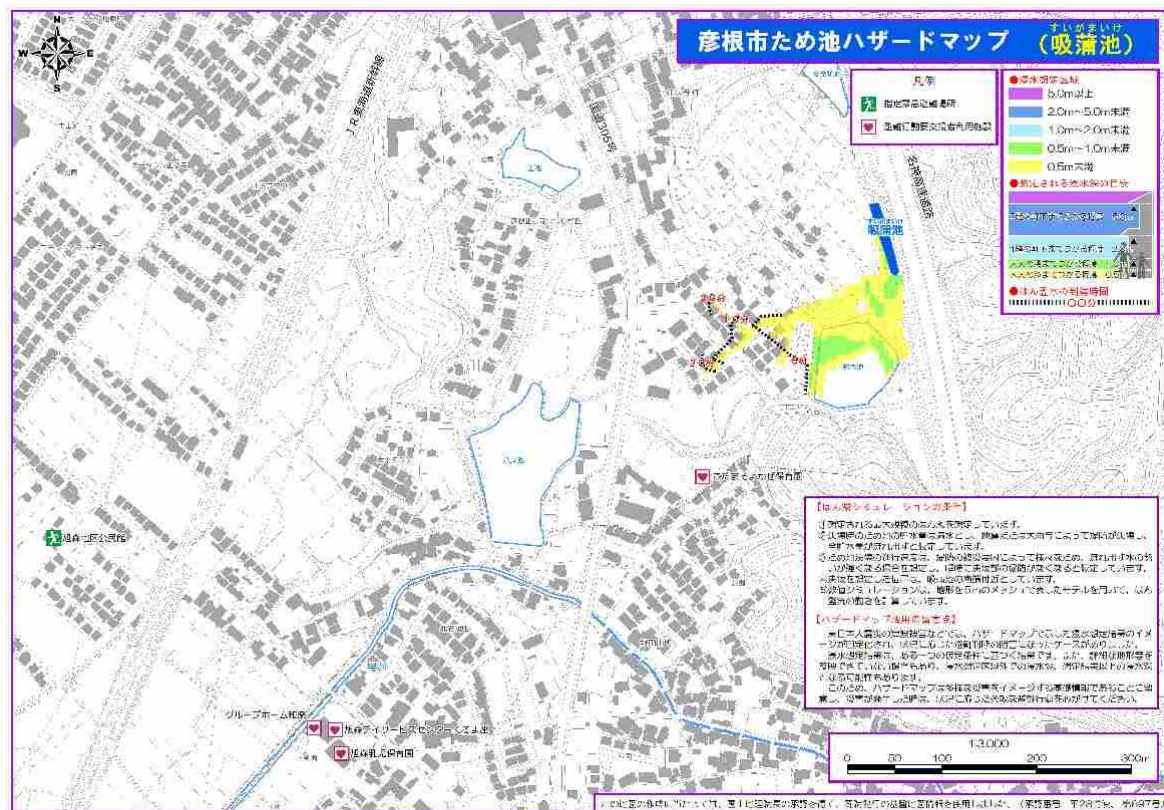


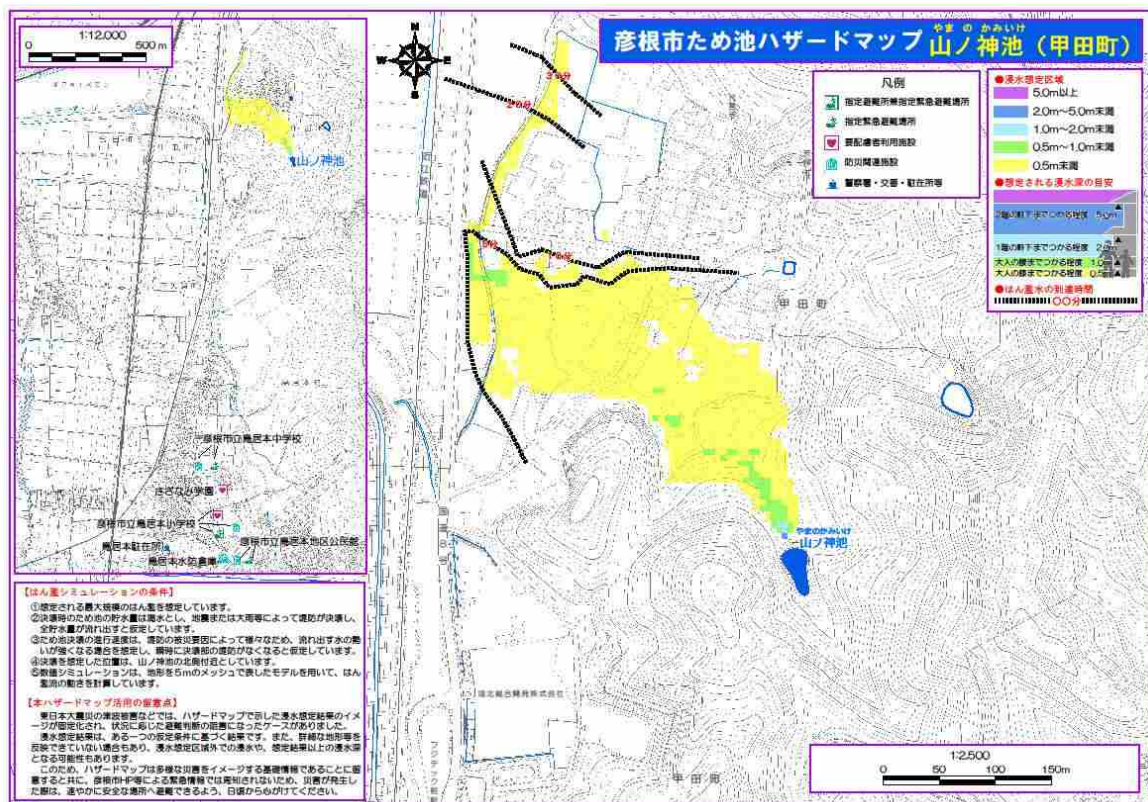
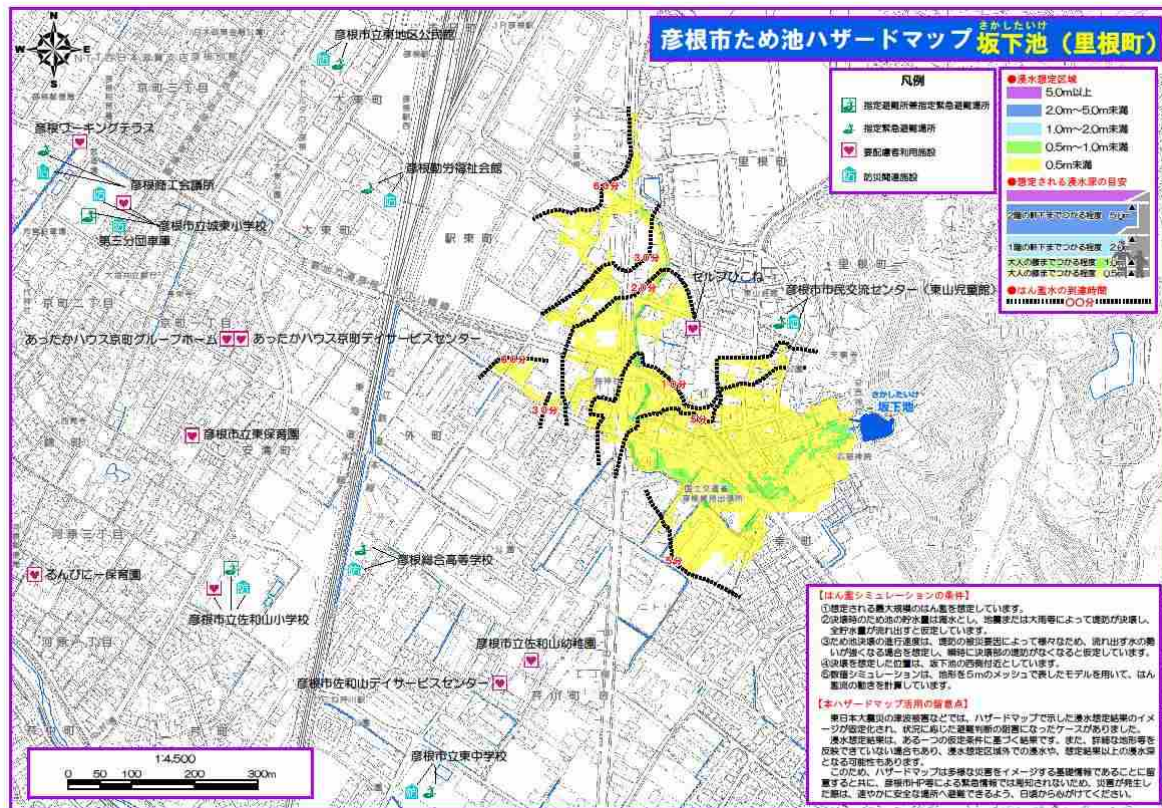
第1部 災害リスクに関する資料
3 風水害関係





第1部 災害リスクに関する資料
3 風水雪害関係





第1部 災害リスクに関する資料
3 風水雪害関係

4 土砂災害関係

(1) 急傾斜地崩壊危険区域・急傾斜地崩壊危険箇所

ア 急傾斜地崩壊危険区域指定箇所

整理番号	危険区域名称	郡市	町村名	指定年月日				告示 番号	第次 指定	備考
				元号	年	月	日			
1	中山1号	彦根市	中山町字中村 816 外 8	昭和	44	12	22	454	2	
2	中山2号	彦根市	中山町字井戸谷 253 外 4	昭和	44	12	22	454	2	
3	芹中	彦根市	芹中町 42 外	昭和	60	3	30	200	30	
4	下岡部町	彦根市	下岡部町字尾本 47-1 外	平成	1	4	3	163	36	
5	善谷	彦根市	善谷町字下街道 588 外	平成	2	2	2	33	38	
6	石寺	彦根市	石寺町字山王 175-6 外	平成	2	2	2	33	38	
7	甲田	彦根市	甲田町字君ヶ畑 85 外	平成	3	4	5	181	42	
8	里根	彦根市	里根町字若林 175-4 外	平成	3	4	5	181	42	
9	中山3号	彦根市	中山町字井戸谷 236-1 外	平成	3	4	5	181	42	
10	莊厳寺	彦根市	莊厳寺町字西ノ海道 147 外	平成	3	12	27	622	43	
11	山崎山	彦根市	稲里町字桜木 35 外	平成	5	3	31	159	46	
12	笹尾	彦根市	笹尾町字奥ノ谷 257 外	平成	7	2	13	48		
13	仏生寺	彦根市	仏生寺町	平成	15	7	23	403		
14	笹尾2号	彦根市	笹尾町	平成	15	9	12	487		
15	鳥居本（高根）	彦根市	鳥居本町	平成	21	1	30	40		
16	東沼波	彦根市	東沼波町	平成	21	4	10	309		
17	稲里	彦根市	稲里町	平成	28	1	27	39		
18	宮田	彦根市	宮田町	平成	31	1	29	51		
19	正法寺	彦根市	正法寺町	令和	4	7	29	329		

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

イ 急傾斜地崩壊危険箇所（自然斜面）

箇所名	位置				地形			人家戸数	公共施設
	郡市	町村	大字	小字	斜面 (°)	延長 (m)	高さ (m)		
武奈	彦根市	武奈町	武奈		35	190	18	12	市道
男鬼	彦根市	男鬼町	男鬼		38	230	35	10	市道
善谷	彦根市	善谷町	善谷		35	160	15	11	市道
中山①	彦根市	中山町	中山	摺針	38	28	20	16	市道
中山②	彦根市	中山町	中山	摺針	45	250	20	5	市道
中山③	彦根市	中山町	中山	中山	46	190	20	11	市道
中山④	彦根市	中山町	中山	中山	31	80	30	8	市道
中山⑤	彦根市	中山町	中山	中山	33	100	20	5	市道
荘厳寺①	彦根市	荘厳寺町	荘厳寺		41	150	20	5	
荘厳寺②	彦根市	荘厳寺町	荘厳寺		38	178	20	5	市道
笹尾	彦根市	笹尾町	笹尾		45	90	18	5	市道
宮田①	彦根市	宮田町	宮田	物生山	53	210	20	13	市道
宮田②	彦根市	宮田町	宮田	西山	45	140	14	6	市道
里根	彦根市	里根町	里根	天寧寺	40	90	11	7	市道
地蔵	彦根市	地蔵町	地蔵	竹ノ内	45	85	30	23	県道
芹川	彦根市	芹川町	芹川	天王山	30	110	8	9	県道
芹中	彦根市	芹中町	芹中	観音山	48	150	17	19	市道
新	彦根市	新町	新	毘沙門天	38	220	10	8	
和田	彦根市	和田町	和田	小鳥原	30	130	18	18	市道
平田	彦根市	平田町	平田	和田	50	25	10	0	県道
山ノ脇	彦根市	山ノ脇町	山ノ脇	山ノ越	40	80	14	1	市道
清崎	彦根市	清崎町	清崎	西清崎	37	250	31	29	市道
稲里①	彦根市	稲里町	稲里	延寿寺	37	210	22	8	市道
稲里②	彦根市	稲里町	稲里	山崎	31	370	18	19	市道
石寺①	彦根市	石寺町	石寺	上石寺	30	235	22	26	市道
石寺②	彦根市	石寺町	石寺	山脇	30	280	20	17	市道
甲田	彦根市	甲田町		君ヶ畑	34	130	25	12	
下岡部	彦根市	下岡部町		尾本	30	130	15	8	

(2) 土石流危険渓流

河川名	溪流名	区域			砂防指定地の告示日・番号	面積 (ha)	備考
		郡市	町名	字			
寒谷川	上矢倉川	彦根市	中山町 莊厳寺町	シラ 小坂	2条昭和39年3月18日	2.70	地すべりなし
					建設省告示 第595号		保安林有り
矢倉川	寒谷川	彦根市	仏生寺町	寒谷・匿谷	2条昭和39年3月18日	1.06	地すべりなし
					建設省告示 第595号		保安林有り
矢倉川	小野川	彦根市	小野町	清水谷・古宿	2条昭和39年3月18日	1.16	地すべりなし
					建設省告示 第595号		保安林有り
芹川	早川	彦根市	野田山町	小谷・下桜井	2条昭和39年3月18日	2.79	地すべりなし
					建設省告示 第595号		保安林なし
上矢倉川	中山川	彦根市	中山町 善谷町	村上 山の腰	2条昭和41年6月4日	1.43	地すべりなし
					建設省告示 第1758号		保安林なし
寒谷川	莊厳寺川	彦根市	莊厳寺町	滝元・中溝	2条昭和41年6月4日	1.17	地すべりなし
					建設省告示 第1758号		保安林なし
芹川	不知谷川	彦根市	原町 正法寺町	東山 池ノ内	2条昭和43年3月30日	71.43	地すべりなし
					建設省告示 第1028号		保安林なし
寒谷川	上矢倉川	彦根市	中山町	秩父・シラ	2条昭和48年2月2日	1.82	地すべりなし
					建設省告示 第223号		保安林有り
早川	岩谷川	彦根市	野田山町	岩谷・桃木谷	2条昭和53年1月21日	5.93	地すべりなし
	桃木谷川				建設省告示 第45号		保安林なし
水谷川	清蔵谷川	彦根市	笹尾町	清蔵谷	2条昭和59年1月30日	0.63	地すべりなし
					建設省告示 第96号		保安林なし

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

寒谷川	矢倉川	彦根市	仏生寺町	松葉	2 条昭和 59 年 1 月 30 日	0.55	地すべりなし
					建設省告示 第 96 号		保安林なし
寒谷川	矢倉川 斧磨川	彦根市	仏生寺町	松葉・斧磨	2 条昭和 60 年 7 月 23 日	2.29	地すべりなし
					建設省告示 第 1044 号		保安林なし
寒谷川	莊厳寺川	彦根市	善谷町	荒谷	2 条平成元年 1 月 21 日	0.44	地すべりなし
					建設省告示 第 75 号		保安林なし
寒谷川	矢倉川	彦根市	仏生寺町	斧磨・是道	2 条平成元年 5 月 29 日	1.46	地すべりなし
					建設省告示 第 1127 号		保安林有り
上矢倉川	中山川	彦根市	中山町	池ノ谷・村上	2 条平成 9 年 7 月 14 日	1.46	地すべりなし
					国交省告示 第 1441 号		保安林なし
寒谷川	莊厳寺川	彦根市	莊厳寺町	奥ノ谷・向羅	2 条平成 10 年 3 月 23 日	1.95	地すべりなし
					国交省告示 第 770 号		保安林有り
矢倉川	矢倉川	彦根市	莊厳寺町 仏生寺町	半清寺・西領・ 匿谷・是道	2 条令和 2 年 6 月 4 日	0.53	地すべりなし
					国交省告示第 639 号		保安林有り

(3) 山地災害危険地区

ア 山腹崩壊危険地区

地区番号	地区名	所在地	保全対象		
202-1	石ヶ崎①	彦根市古沢町石ヶ崎	人家	3	公共施設 道路
202-2	石ヶ崎姫袋崎	彦根市古沢町石ヶ崎・姫袋			
202-3	石ヶ崎②	彦根市古沢町	人家	65	公共施設
202-4	若林	彦根市里根町若林	人家	25	
202-7	善谷 長後谷	彦根市野田山町善谷、長後谷	人家	17	道路
202-8	南谷	彦根市日夏町南谷	人家	12	公共施設 道路
202-10	向谷	彦根市鳥居本町向谷			
202-11	笹ヶ谷南ヶ谷	彦根市鳥居本町笹ヶ谷、南ヶ谷			道路
202-12	鳥居本	彦根市鳥居本町	人家	10	道路
202-13	奥ノ坊	彦根市甲田町奥ノ坊	人家	31	
202-14	谷西山	彦根市宮田町	人家	8	
202-15	佐和山	彦根市佐和山町佐和山	人家	11	
202-17	谷の奥	彦根市笹尾町谷の奥	人家	11	
202-19	シヨム谷	彦根市莊厳寺町シヨム谷	人家	7	
202-20	谷荒谷	彦根市善谷町谷、荒谷	人家	8	
202-22	村中 村下	彦根市中山町村中、村下	人家	16	道路
202-23	井戸谷①	彦根市中山町井戸谷	人家	15	
202-28	井戸谷②	彦根市中山町井戸谷	人家	9	道路
202-33	奥畑	彦根市男鬼町奥畑	人家	15	道路
202-34	ケンノ上	彦根市男鬼町ケンノ上	人家	3	道路
202-37	南ノ谷	彦根市清崎町南之谷	人家	2	
202-38	大手谷	彦根市稲里町大手谷	人家	18	
202-39	本堂山	彦根市稲里町本堂山	人家	5	
202-40	山王山(稲里)	彦根市稲里町山王山	人家	10	
202-41	桜木	彦根市稲里町桜木	人家	8	
202-42	山王山(下岡部)	彦根市下岡部町山王山	人家	34	
202-43	弁天	彦根市宮田町	人家	55	
202-44	佐和山②	彦根市古沢町石ヶ崎	人家	90	公共施設
202-45	石ヶ崎姫袋崎②	彦根市古沢町石ヶ崎・姫袋	人家	6	道路
202-46	古沢①	彦根市古沢町石ヶ崎・姫袋	人家	9	
202-47	若林②	彦根市里根町若林	人家	20	
202-48	仏生寺	彦根市仏生寺	人家	11	道路
202-49	大谷②	彦根市正法寺町大谷			道路
202-50	日夏	彦根市日夏町			
202-51	南谷②	彦根市日夏町南谷	人家	6	道路
202-52	清崎	彦根市清崎町	人家	6	
202-53	稲里①	彦根市稲里町山王山	人家	6	
202-54	稲里②	彦根市稲里町山王山			公共施設

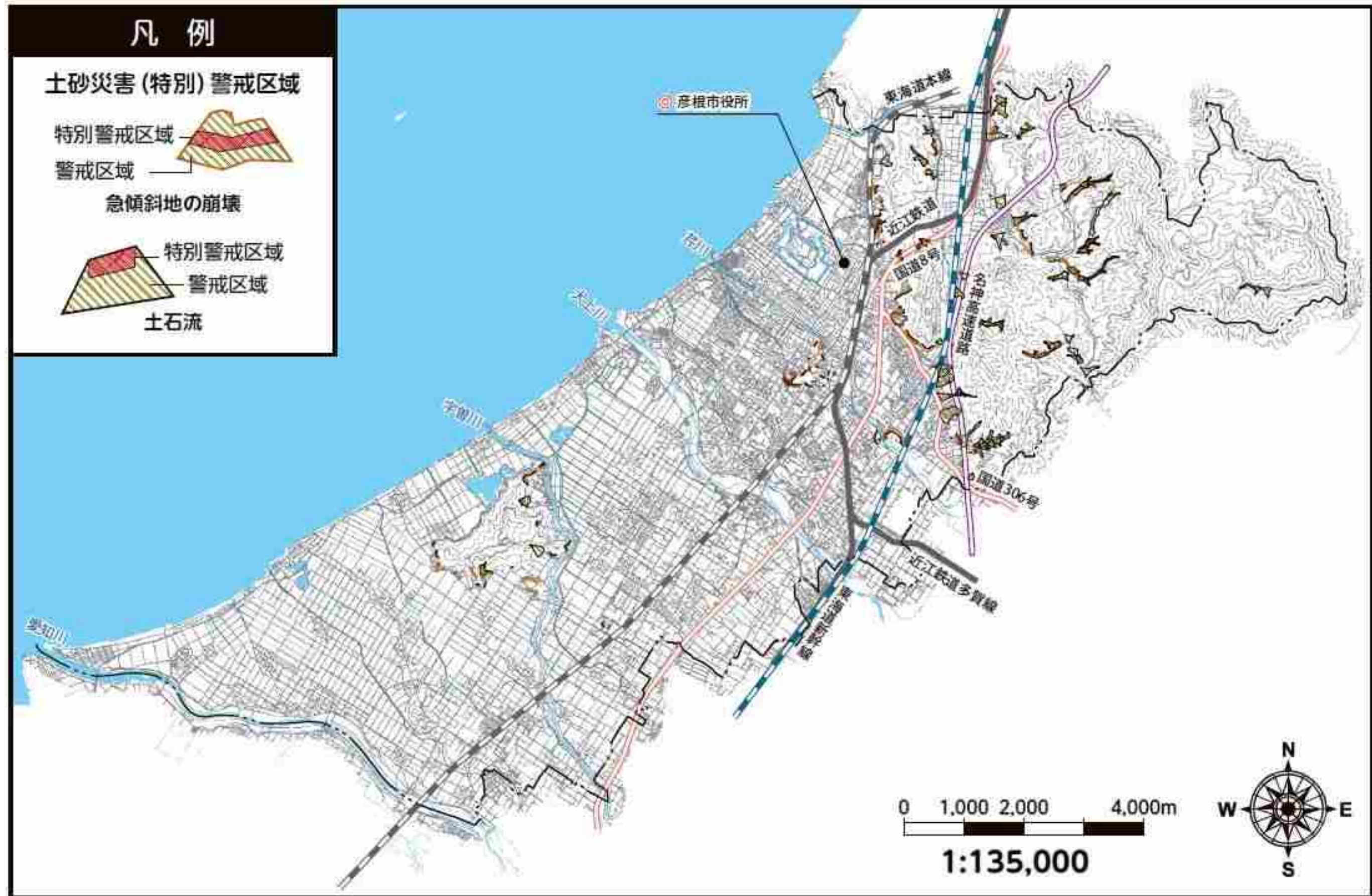
第1部 災害リスクに関する資料

4 土砂災害関係

イ 崩壊土砂流出危険地区

地区番号	地区名	所在地	保全対象		
202-1	大谷	彦根市正法寺町大谷	人家	59	道路
202-2	滝ヶ奥	彦根市野田山町滝ヶ奥	人家	80	道路
202-4	清水谷	彦根市小野町清水谷	人家	51	道路
202-5	泉水谷	彦根市小野町泉水谷	人家	3	道路
202-6	東山	彦根市原町東山	人家	8	道路
202-7	奥の谷	彦根市笹尾町奥の谷			道路
202-8	ショムニダニ	彦根市莊厳寺町莊厳寺町ショム谷	人家	21	
202-9	荒谷	彦根市善谷町荒谷	人家	16	
202-10	池ノ谷	彦根市中山町池ノ谷	人家	22	道路
202-11	アジロ谷	彦根市中山町アジロ谷			公共施設
202-12	谷の奥	彦根市笹尾町谷の奥	人家	10	
202-14	流し②	彦根市仏生寺町流し	人家	15	道路
202-16	堂立	彦根市武奈町堂立			道路

(4) 土砂災害の要注意地区



(5) 土砂災害警戒区域等
ア 土砂災害警戒区域

区域の名称	所在地	土砂災害の発生 原因となる自然 現象の種類	備考	
鳥居本谷支流 (1202007)	鳥居本町	土石流	平成 17 年 3 月 30 日	鳥居本谷支流 (1202007)
鳥居本谷支流 (1202064)	鳥居本町	土石流	平成 17 年 3 月 30 日	鳥居本谷支流 (1202064)
野田山(3)(Ⅰ-5729)	野田山町	急傾斜地の崩壊	平成 17 年 3 月 30 日	野田山(3)(Ⅰ-5729)
鳥居本(1)(Ⅰ-5703)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	平成 17 年 3 月 30 日	鳥居本(1)(Ⅰ-5703)
早川支流(2202031)	野田山町	土石流	平成 17 年 3 月 30 日	早川支流(2202031)
黒ヶ谷(1202018)	野田山町	土石流	平成 17 年 3 月 30 日	黒ヶ谷(1202018)
古沢(13)(Ⅰ-5804)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成 17 年 6 月 22 日	古沢(13)(Ⅰ-5804)
鳥居本(6)(Ⅰ-5805)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	平成 17 年 6 月 22 日	鳥居本(6)(Ⅰ-5805)
野田山(4)(Ⅰ-5806)	野田山町	急傾斜地の崩壊	平成 17 年 6 月 22 日	野田山(4)(Ⅰ-5806)
野田山(5)(Ⅰ-5807)	野田山町	急傾斜地の崩壊	平成 17 年 6 月 22 日	野田山(5)(Ⅰ-5807)
野田山(6)(Ⅱ-5772)	野田山町	急傾斜地の崩壊	平成 17 年 6 月 22 日	野田山(6)(Ⅱ-5772)
荘厳寺(1)(Ⅰ-5009)	荘厳寺町	急傾斜地の崩壊	平成 18 年 3 月 30 日	荘厳寺(1)(Ⅰ-5009)
宮田(2)(Ⅰ-5013)	宮田町	急傾斜地の崩壊	平成 18 年 3 月 30 日	宮田(2)(Ⅰ-5013)
荘厳寺川支流 (1202012)	荘厳寺町	土石流	平成 18 年 3 月 30 日	荘厳寺川支流 (1202012)
荘厳寺川支流 (2202026)	荘厳寺町	土石流	平成 18 年 3 月 30 日	荘厳寺川支流 (2202026)
荘厳寺川支流 (2202027)	荘厳寺町	土石流	平成 18 年 3 月 30 日	荘厳寺川支流 (2202027)
矢倉谷支流 (1202001)	甲田町	土石流	平成 18 年 3 月 30 日	矢倉谷支流 (1202001)
荘厳寺川支流 (1202013)	荘厳寺町	土石流	平成 18 年 3 月 30 日	荘厳寺川支流 (1202013)
西山谷(2202021)	宮田町	土石流	平成 18 年 3 月 30 日	西山谷(2202021)
物生山谷(1202003)	宮田町	土石流	平成 19 年 3 月 16 日	物生山谷(1202003)
清崎(1)(Ⅰ-5022)	清崎町 稲里町	急傾斜地の崩壊	平成 19 年 3 月 16 日	清崎(1)(Ⅰ-5022)
稲里(2)(Ⅰ-5024)	稲里町	急傾斜地の崩壊	平成 19 年 3 月 16 日	稲里(2)(Ⅰ-5024)
石寺(1)(Ⅰ-5025)	石寺町 岡部町	急傾斜地の崩壊	平成 19 年 3 月 16 日	石寺(1)(Ⅰ-5025)
下岡部(1)(Ⅰ-5026)	下岡部町 稲里町	急傾斜地の崩壊	平成 19 年 3 月 16 日	下岡部(1)(Ⅰ-5026)
清崎(2)(Ⅰ-5734)	清崎町	急傾斜地の崩壊	平成 19 年 3 月 16 日	滋賀県告示第 126 号
稲里(4)(Ⅱ-5709)	稲里町	急傾斜地の崩壊	平成 19 年 3 月 16 日	滋賀県告示第 126 号
石寺(2)(Ⅱ-5710)	石寺町	急傾斜地の崩壊	平成 19 年 3 月 16 日	滋賀県告示第 126 号

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

区域の名称	所在地	土砂災害の発生 原因となる自然 現象の種類	備考	
下岡部(2)(Ⅱ-5769)	下岡部町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	滋賀県告示第126号
宮田(1)(Ⅰ-5012)	宮田町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	滋賀県告示第126号
宮田(5)(Ⅲ-5705)	宮田町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	滋賀県告示第126号
笹尾谷(1202015)	笹尾町	土石流	平成19年3月30日	滋賀県告示第201号
笹尾(1)(Ⅰ-5709)	笹尾町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月30日	滋賀県告示第201号
笹尾(2)(Ⅰ-5710)	笹尾町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月30日	滋賀県告示第201号
笹尾(3)(Ⅱ-5703)	笹尾町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月30日	滋賀県告示第201号
日吉谷(1202016)	正法寺町	土石流	平成19年8月1日	滋賀県告示第484号
正法寺(1)(Ⅰ-5711)	正法寺町	急傾斜地の崩壊	平成19年8月1日	滋賀県告示第484号
正法寺(2)(Ⅰ-5727)	正法寺町 地蔵町 大堀町	急傾斜地の崩壊	平成19年8月1日	滋賀県告示第484号
慶光院谷(1202065)	正法寺町	土石流	平成19年12月25日	滋賀県告示第667号
慶光院谷(2202028)	正法寺町	土石流	平成19年12月25日	滋賀県告示第667号
中山川支(1202009)	中山町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
ひがん谷(1202082)	中山町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
むかえや(1202083)	中山町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
矢倉川(1202084)	仏生寺町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
矢倉川(1202085)	仏生寺町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
ヨノギ谷(2202086)	仏生寺町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
匿谷(2)(3202087)	仏生寺町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
匿谷(1)(3202041)	仏生寺町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
深谷(1202088)	日夏町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
延寿寺谷(1202019)	稲里町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
中山(3)(Ⅰ-5006)	中山町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
中山(4)(Ⅰ-5007)	中山町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
中山(5)(Ⅱ-5790)	中山町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
中山(6)(Ⅱ-5791)	中山町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
仏生寺(1)(Ⅰ-5707)	仏生寺町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
仏生寺(2)(Ⅰ-5708)	仏生寺町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
仏生寺(3)(Ⅱ-5702)	仏生寺町 莊厳寺町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
仏生寺(4)(Ⅱ-5792)	仏生寺町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
日夏(1)(Ⅰ-5731)	日夏町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
日夏(2)(Ⅰ-5732)	日夏町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
石寺(4)(Ⅱ-5711)	石寺町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

区域の名称	所在地	土砂災害の発生 原因となる自然 現象の種類	備考	
稲里(3)(Ⅰ-5735)	稲里町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
稲里(5)(Ⅱ-5793)	稲里町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
清崎(3)(Ⅱ-5708)	清崎町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月12日	滋賀県告示第62号
抜ノ下谷(1202006)	里根町 幸町	土石流	平成20年2月29日	滋賀県告示第93号
里根(Ⅰ-5014)	里根町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月29日	滋賀県告示第93号
里根(2)(Ⅰ-5820)	里根町	急傾斜地の崩壊	平成20年2月29日	滋賀県告示第93号
東谷(3202037)	小野町	土石流	平成20年7月23日	滋賀県告示第419号
山かど(2202059)	小野町	土石流	平成20年7月23日	滋賀県告示第419号
早川支流 (4)(3202059)	野田山町	土石流	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
早川支流 (5)(3202060)	野田山町	土石流	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
早川支流 (6)(3202061)	野田山町	土石流	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
早川支流 (7)(3203062)	野田山町	土石流	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
芹川(1)(Ⅰ-5016)	芹川町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
芹川(2)(Ⅰ-5723)	芹川町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
芹川(10)(Ⅰ-5796)	芹川町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
芹川(4)(Ⅰ-5707)	芹川町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
芹川(3)(Ⅰ-5724)	芹川町 元岡町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
芹川(11)(Ⅰ-5822)	芹川町 岡町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
芹中(Ⅰ-5017)	芹川町 芹中長 新町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
後三条(10) (Ⅲ-5720)	後三条町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
後三条(11) (Ⅲ-5721)	後三条町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
和田(Ⅰ-5019)	和田町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
和田(Ⅰ-5824)	和田町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
山之脇(1)(Ⅰ-5021)	山之脇町 岡町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
岡(10)(Ⅰ-5823)	岡町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
山之脇(2)(Ⅰ-5021)	山之脇町 平田町 和田町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

区域の名称	所在地	土砂災害の発生 原因となる自然 現象の種類	備考	
平田(I-5020)	平田町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
東沼波(I-5726)	東沼波町・大堀町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第153号
百々谷(22022024)	鳥居本町	土石流	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
早川支流(12022017)	野田山町	土石流	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
鳥居本(3)(I-5705)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
鳥居本(4)(I-5706)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
鳥居本(5)(III-5701)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
鳥居本(8)(III-5771)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
古沢(4)(I-5718)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
古沢(15)(I-5769)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
後三条(I-5718)	後三条町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
野田山 (10)(I-5730)	野田山町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
小野川支流 (3202034)	宮田町	土石流	平成22年3月5日	滋賀県告示第142号
小野川支流(320289)	宮田町	土石流	平成22年3月5日	滋賀県告示第142号
甲田(I-5702)	甲田町	急傾斜地の崩壊	平成22年3月26日	滋賀県告示第216号
芹川支流(2202029)	男鬼町	土石流	平成23年3月25日	滋賀県告示第142号
芹川支流(2202030)	男鬼町	土石流	平成23年3月25日	滋賀県告示第142号
芹川支流(3202057)	男鬼町	土石流	平成23年3月25日	滋賀県告示第142号
中山川支流 (1202010)	中山町	土石流	平成23年3月25日	滋賀県告示第142号
中山川支流 (1202090)	中山町	土石流	平成23年3月25日	滋賀県告示第142号
小野川支流 (2202080)	小野町	土石流	平成28年2月29日	滋賀県告示第87号
小野川支流 (2202092)	小野町	土石流	平成28年2月29日	滋賀県告示第87号
小野川支流 (2202093)	小野町	土石流	平成28年2月29日	滋賀県告示第87号
小野川支流 (2202094)	小野町	土石流	平成28年2月29日	滋賀県告示第87号
小野川支流 (2202095)	小野町	土石流	平成28年2月29日	滋賀県告示第87号
小野川支流 (2202096)	小野町	土石流	平成28年2月29日	滋賀県告示第87号
水谷川支流 (3443162)	笹尾町	土石流	平成28年10月31日	滋賀県告示第475号

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

区域の名称	所在地	土砂災害の発生 原因となる自然 現象の種類	備考	
水谷川支流 (3202048)	笹尾町	土石流	平成28年10月31日	滋賀県告示第475号
水谷川支流 (3202049)	笹尾町	土石流	平成28年10月31日	滋賀県告示第475号
水谷川支流 (3202050)	笹尾町	土石流	平成28年10月31日	滋賀県告示第475号
水谷川支流 (3202051)	笹尾町	土石流	平成28年10月31日	滋賀県告示第475号
清蔵谷川 (3202052)	笹尾町	土石流	平成28年10月31日	滋賀県告示第475号
荒神山谷 (3202063)	清崎町	土石流	平成30年2月7日	滋賀県告示第34号
早川支流 (3202097)	野田山	土石流	平成30年2月7日	滋賀県告示第34号
矢倉川 (1202091)	仏生寺	土石流	平成30年3月28日	滋賀県告示第132号
磯① (I-6731)	彦根市松原町 米原市磯	急傾斜地の崩壊	平成30年3月28日	滋賀県告示第133号
矢倉川支流 (1202002)	甲田町	土石流	平成31年3月26日	滋賀県告示第163号
中山 (1) (I-5004)	中山町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第163号
中山 (2) (I-5005)	中山町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第163号
甲田 (2) (I-5701)	甲田町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第163号
古沢 (17) (I-5802)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第163号
古沢 (18) (I-5803)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第163号
中山 (7) (II-5701)	中山町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第163号
古沢 (9) (II-5705)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第163号
古沢 (10) (II-5706)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第163号
古沢 (14) (II-5768)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第163号
宮田 (3) (III-5702)	宮田町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第163号
上矢倉川支流 (1202099)	中山町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
矢倉川支流 (1202100)	甲田町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
矢倉川支流 (1202101)	松原町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

区域の名称	所在地	土砂災害の発生 原因となる自然 現象の種類	備考	
支小野川支流 (1202102)	佐和山町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
荘厳寺川支流 (1202104)	善谷町 荘厳寺町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
水谷川支流 (1202105)	笹尾町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
水谷川支流 (1202106)	笹尾町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
不知谷川支流 (1202108)	原町 正法寺町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
不知谷川支流 (1202109)	正法寺町 原町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
芹川支流(1202110)	正法寺町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
早川支流(1202111)	野田山町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
赤田川支流 (1202112)	野田山町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
上矢倉川支流 (2202098)	中山町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
矢倉川支流 (3202103)	鳥居本町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
稲里(1)(I-5023)	稲里町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
鳥居本②(I-5704)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
日夏(3)(I-5733)	日夏町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
荘厳寺(2)(I-5832)	荘厳寺町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
善谷(1)(I-5833)	善谷町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
中山(8)(I-5834)	中山町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
中山(9)(I-5835)	中山町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
甲田(4)(I-5836)	甲田町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
松原(1)(I-5838)	松原町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
古沢(19)(I-5839)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
古沢(20)(I-5840)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
古沢(21)(I-5841)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
古沢(22)(I-5842)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
古沢(24)(I-5844)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
佐和山(1)(I-5845)	佐和山町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
古沢(25)(I-5848)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
古沢(26)(I-5849)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
里根(3)(I-5850)	里根町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
正法寺(3)(I-5853)	正法寺町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

区域の名称	所在地	土砂災害の発生 原因となる自然 現象の種類	備考	
日夏(4)(Ⅰ-5854)	日夏町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
日夏(5)(Ⅰ-5855)	日夏町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
日夏(7)(Ⅰ-5857)	日夏町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
清崎(4)(Ⅰ-5858)	清崎町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
稲里(6)(Ⅰ-5859)	稲里町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
賀田山(1)(Ⅰ-5888)	賀田山町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
笹尾(4)(Ⅰ-5918)	笹尾町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
古沢(27)(Ⅰ-5920)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
古沢(23)(Ⅱ-5843)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
佐和山(2)(Ⅲ-5846)	佐和山町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
佐和山(3)(Ⅲ-5847)	佐和山町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
東沼波(2)(Ⅲ-5852)	東沼波町 大堀町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
日夏(6)(Ⅲ-5856)	日夏町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第484号
原(1202107)	原町	土石流	令和3年7月16日	滋賀県告示第426号
原(1)(Ⅲ-5851)	原町	急傾斜地の崩壊	令和3年7月16日	滋賀県告示第426号
鳥居本(9)(Ⅰ-5837)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	令和8年3月17日	滋賀県告示第116号
男鬼-1(Ⅰ-50001)	男鬼町	急傾斜地の崩壊	令和8年3月17日	滋賀県告示第116号
男鬼-2(Ⅱ-50001)	男鬼町	急傾斜地の崩壊	令和8年3月17日	滋賀県告示第116号
男鬼-3(Ⅱ-50002)	男鬼町	急傾斜地の崩壊	令和8年3月17日	滋賀県告示第116号
善谷-2(Ⅱ-50003)	善谷町	急傾斜地の崩壊	令和8年3月17日	滋賀県告示第116号
中山-10(Ⅱ-50004)	中山町	急傾斜地の崩壊	令和8年3月17日	滋賀県告示第116号
中山-11(Ⅱ-50005)	中山町	急傾斜地の崩壊	令和8年3月17日	滋賀県告示第116号
荘厳寺-3(Ⅱ-50006)	荘厳寺町	急傾斜地の崩壊	令和8年3月17日	滋賀県告示第116号
笹尾-5(Ⅱ-50007)	笹尾町	急傾斜地の崩壊	令和8年3月17日	滋賀県告示第116号
笹尾-6(Ⅱ-50008)	笹尾町	急傾斜地の崩壊	令和8年3月17日	滋賀県告示第116号
原-2(Ⅱ-50009)	原町	急傾斜地の崩壊	令和8年3月17日	滋賀県告示第116号

(土砂災害警戒区域等における土砂災害防止に関する法律(平成12年法律第57号)第6条第1項の規定による)

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

イ 土砂災害特別警戒区域

区域の名称	所在地	土砂災害の発生 原因となる自然 現象の種類	備考	
野田山(3)(Ⅰ-5729)	野田山町	急傾斜地の崩壊	平成17年3月30日	滋賀県告示第380号
鳥居本(1)(Ⅰ-5703)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	平成17年3月30日	滋賀県告示第382号
早川支流(2202031)	野田山町	土石流	平成17年3月30日	滋賀県告示第397号
黒ヶ谷(1202018)	野田山町	土石流	平成17年3月30日	滋賀県告示第398号
古沢(13)(Ⅰ-5804)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成17年6月22日	滋賀県告示第689号
鳥居本(6)(Ⅰ-5805)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	平成17年6月22日	滋賀県告示第690号
野田山(4)(Ⅰ-5806)	野田山町	急傾斜地の崩壊	平成17年6月22日	滋賀県告示第691号
野田山(5)(Ⅰ-5807)	野田山町	急傾斜地の崩壊	平成17年6月22日	滋賀県告示第692号
野田山(6)(Ⅱ-5772)	野田山町	急傾斜地の崩壊	平成17年6月22日	滋賀県告示第693号
荘厳寺(1)(Ⅰ-5009)	荘厳寺町	急傾斜地の崩壊	平成18年3月30日	滋賀県告示第764号
宮田(2)(Ⅰ-5013)	宮田町	急傾斜地の崩壊	平成18年3月30日	滋賀県告示第765号
荘厳寺川支流 (1202012)	荘厳寺町	土石流	平成18年3月30日	滋賀県告示第754号
荘厳寺川支流 (2202026)	荘厳寺町	土石流	平成18年3月30日	滋賀県告示第755号
荘厳寺川支流 (2202027)	荘厳寺町	土石流	平成18年3月30日	滋賀県告示第756号
清崎(2)(Ⅰ-5734)	清崎町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	滋賀県告示第131号
稲里(4)(Ⅱ-5709)	稲里町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	滋賀県告示第131号
石寺(2)(Ⅱ-5710)	石寺町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	滋賀県告示第131号
下岡部(2) (Ⅱ-5769)	下岡部町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	滋賀県告示第131号
宮田(1)(Ⅰ-5012)	宮田町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	滋賀県告示第131号
宮田(5)(Ⅲ-5705)	宮田町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月16日	滋賀県告示第131号
笹尾谷 (1202015)	笹尾町	土石流	平成19年3月30日	滋賀県告示第207号
笹尾(1)(Ⅰ-5709)	笹尾町	急傾斜地の崩壊	平成19年3月30日	滋賀県告示第207号
正法寺(1)(Ⅰ-5711)	正法寺町	急傾斜地の崩壊	平成19年8月1日	滋賀県告示第486号
正法寺(2)(Ⅰ-5727)	正法寺町 地蔵町 大堀町	急傾斜地の崩壊	平成19年8月1日	滋賀県告示第486号
慶光院谷(1202065)	正法寺町	土石流	平成19年12月25日	滋賀県告示第670号
中山川支(1202009)	中山町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第66号
矢倉川(1202084)	仏生寺町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第66号
矢倉川(1202085)	仏生寺町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第66号
匿谷(2)(3202087)	仏生寺町	土石流	平成20年2月12日	滋賀県告示第66号

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

区域の名称	所在地	土砂災害の発生 原因となる自然 現象の種類	備考	
匿谷 (1) (3202041)	仏生寺町	土石流	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
深谷 (1202088)	日夏町	土石流	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
延寿寺谷 (1202019)	稲里町	土石流	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
中山 (3) (I-5006)	中山町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
中山 (5) (II-5790)	中山町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
中山 (6) (II-5791)	中山町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
仏生寺 (2) (I-5708)	仏生寺町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
仏生寺 (3) (II-5702)	仏生寺町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
仏生寺 (4) (II-5792)	仏生寺町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
日夏 (1) (I-5731)	日夏町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
日夏 (2) (I-5732)	日夏町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
石寺 (4) (II-5711)	石寺町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
稲里 (3) (I-5735)	稲里町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
稲里 (5) (II-5793)	稲里町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
清崎 (3) (II-5708)	清崎町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 12 日	滋賀県告示第 66 号
里根 (I-5014)	里根町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 29 日	滋賀県告示第 96 号
里根 (2) (I-5820)	里根町	急傾斜地の崩壊	平成 20 年 2 月 29 日	滋賀県告示第 96 号
早川支流(4) (3202059)	野田山町	土石流	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号
早川支流(5) (32032060)	野田山町	土石流	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号
早川支流(7) (3203062)	野田山町	土石流	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号
芹川(1) (I-5016)	芹川町	急傾斜地の崩壊	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号
芹川(2) (I-5723)	芹川町	急傾斜地の崩壊	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号
芹川(10) (I-5796)	芹川町	急傾斜地の崩壊	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号
芹川(4) (I-5707)	芹川町	急傾斜地の崩壊	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号
芹川(3) (I-5724)	芹川町 元岡町	急傾斜地の崩壊	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号
芹川(11) (I-5822)	芹川町 岡町	急傾斜地の崩壊	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号
後三条(10) (III-5720)	後三条町	急傾斜地の崩壊	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号
後三条(11) (III-5721)	後三条町	急傾斜地の崩壊	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号
和田 (I-5019)	和田町	急傾斜地の崩壊	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号
和田 (I-5824)	和田町	急傾斜地の崩壊	平成 21 年 3 月 13 日	滋賀県告示第 158 号

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

区域の名称	所在地	土砂災害の発生 原因となる自然 現象の種類	備考	
山之脇(1)(I-5021)	山之脇町 岡町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第158号
岡(10)(I-5823)	岡町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第158号
山之脇(2)(I-5020)	山之脇町 平田町 和田町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第158号
平田(I-5020)	平田町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第158号
東沼波(I-5726)	東沼波町 大堀町	急傾斜地の崩壊	平成21年3月13日	滋賀県告示第158号
百々谷(22022024)	鳥居本町	土石流	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
早川支流A(12022017)	野田山町	土石流	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
鳥居本(3)(I-5705)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
鳥居本(4)(I-5706)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
鳥居本(5)(Ⅲ-5701)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
鳥居本(8)(Ⅲ-5771)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
古沢(4)(I-5718)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
古沢(15)(I-5769)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
後三条(I-5718)	後三条町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
野田山(10)(I-5730)	野田山町	急傾斜地の崩壊	平成22年2月19日	滋賀県告示第101号
甲田(I-5702)	甲田町	急傾斜地の崩壊	平成22年3月26日	滋賀県告示第216号
芹川支流(2202029)	男鬼町	土石流	平成23年3月25日	滋賀県告示第142号
芹川支流(2202030)	男鬼町	土石流	平成23年3月25日	滋賀県告示第142号
芹川支流(3202057)	男鬼町	土石流	平成23年3月25日	滋賀県告示第142号
中山川支流(1202010)	中山町	土石流	平成23年3月25日	滋賀県告示第142号
中山川支流(1202090)	中山町	土石流	平成23年3月25日	滋賀県告示第142号
小野川支流(2202094)	小野町	土石流	平成28年2月29日	滋賀県告示第92号
清蔵谷川(3202052)	笹尾町	土石流	平成28年10月31日	滋賀県告示第478号
荒神山谷(3202063)	清崎町	土石流	平成30年2月7日	滋賀県告示第35号
早川支流(3202097)	野田山町	土石流	平成30年2月7日	滋賀県告示第35号
矢倉川(1202091)	仏生寺町	土石流	平成30年3月28日	滋賀県告示第134号
磯①(I-6731)	彦根市松原町 米原市磯	急傾斜地の崩壊	平成30年3月28日	滋賀県告示第135号
中山(1) (I-5004)	中山町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第180号
甲田(2) (I-5701)	甲田町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第180号

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

区域の名称	所在地	土砂災害の発生 原因となる自然 現象の種類	備考	
古沢 (17) (Ⅰ-5802)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第180号
古沢 (18) (Ⅰ-5803)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第180号
中山 (7) (Ⅱ-5701)	中山町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第180号
古沢 (9) (Ⅱ-5705)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第180号
古沢 (10) (Ⅱ-5706)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第180号
古沢 (14) (Ⅱ-5768)	古沢町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第180号
宮田 (3) (Ⅲ-5702)	宮田町	急傾斜地の崩壊	平成31年3月26日	滋賀県告示第180号
上矢倉川支流(1202099)	中山町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
矢倉川支流(1202100)	甲田町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
水谷川支流(1202105)	笹尾町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
水谷川支流(1202106)	笹尾町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
不知谷川支流(1202108)	原町 正法寺町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
早川支流(1202111)	野田山町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
赤田川支流(1202112)	野田山町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
矢倉川支流(3202103)	鳥居本町	土石流	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
稲里(1)(Ⅰ-5023)	稲里町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
鳥居本②(Ⅰ-5704)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
日夏(3)(Ⅰ-5733)	日夏町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
莊厳寺(2)(Ⅰ-5832)	莊厳寺町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
善谷(1)(Ⅰ-5833)	善谷町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
中山(8)(Ⅰ-5834)	中山町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
中山(9)(Ⅰ-5835)	中山町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
甲田(4)(Ⅰ-5836)	甲田町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
松原(1)(Ⅰ-5838)	松原町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
古沢(20)(Ⅰ-5840)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
古沢(21)(Ⅰ-5841)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
古沢(22)(Ⅰ-5842)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
佐和山(1)(Ⅰ-5845)	佐和山町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
古沢(25)(Ⅰ-5848)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

区域の名称	所在地	土砂災害の発生 原因となる自然 現象の種類	備考	
古沢(26)(Ⅰ-5849)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
里根(3)(Ⅰ-5850)	里根町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
正法寺(3)(Ⅰ-5853)	正法寺町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
日夏(4)(Ⅰ-5854)	日夏町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
日夏(5)(Ⅰ-5855)	日夏町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
賀田山(1)(Ⅰ-5888)	賀田山町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
笹尾(4)(Ⅰ-5918)	笹尾町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
古沢(27)(Ⅰ-5920)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
古沢(23)(Ⅱ-5843)	古沢町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
佐和山(2)(Ⅲ-5846)	佐和山町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
佐和山(3)(Ⅲ-5847)	佐和山町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
東沼波(2)(Ⅲ-5852)	東沼波町 大堀町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
日夏(6)(Ⅲ-5856)	日夏町	急傾斜地の崩壊	令和2年12月1日	滋賀県告示第498号
原(1202107)	原町	土石流	令和3年7月16日	滋賀県告示第427号
原(1)(Ⅲ-5851)	原町	急傾斜地の崩壊	令和3年7月16日	滋賀県告示第427号
鳥居本(9)(Ⅰ-5837)	鳥居本町	急傾斜地の崩壊	令和8年3月17日	滋賀県告示第119号
男鬼-1(Ⅰ-50001)	男鬼町	急傾斜地の崩壊	令和8年3月17日	滋賀県告示第119号
男鬼-2(Ⅱ-50001)	男鬼町	急傾斜地の崩壊	令和8年3月17日	滋賀県告示第119号
男鬼-3(Ⅱ-50002)	男鬼町	急傾斜地の崩壊	令和8年3月17日	滋賀県告示第119号
荘厳寺-3(Ⅱ-50006)	荘厳寺町	急傾斜地の崩壊	令和8年3月17日	滋賀県告示第119号
笹尾-5(Ⅱ-50007)	笹尾町	急傾斜地の崩壊	令和8年3月17日	滋賀県告示第119号
原-2(Ⅱ-50009)	原町	急傾斜地の崩壊	令和8年3月17日	滋賀県告示第119号

(土砂災害警戒区域等における土砂災害防止に関する法律(平成12年法律第57号)第6条第1項の規定による。

(6) 土砂災害ハザードマップ

図面番号	地区名称
①	松原町
②	甲田町北甲田
③	甲田町南甲田
④	宮田町物生山地区
⑤	宮田町西山地区
⑥	中山町中山地区
⑦	鳥居本養護学校
⑧	古沢町大洞地区
⑨	古沢町東山地区
⑩	鳥居本町百々地区
⑪	鳥居本町中町地区
⑫	鳥居本町高根地区
⑬	荘厳寺町、善谷町
⑭	仏生寺町
⑮	男鬼町
⑯	小野町
⑰	笹尾町
⑱	里根町
⑲	幸町
⑳	新町
㉑	芹中町
㉒	後三条町
㉓	和田町
㉔	芹川町千鳥ヶ丘
㉕	芹川町（南芹川地区）
㉖	元岡町
㉗	平田町
㉘	山之脇町
㉙	岡町
㉚	正法寺町・地藏町
㉛	東沼波町
㉜	大堀町
㉝	野田山町
㉞	荒神山自然の家
㉟	千手寺
㊱	日夏町島地区
㊲	清崎町西清崎地区
㊳	石寺町上石寺地区・下岡部町
㊴	稲里町
㊵	古沢町松縄手
㊶	賀田山町
㊷	荒神山神社
㊸	佐和山町
㊹	原町
㊺	アンビエントガーデン彦根

第1部 災害リスクに関する資料

4 土砂災害関係

・土砂災害警戒区域等一覧表

※各土砂災害ハザードマップ、凡例内に「裏面一覧表 No. 指定年月日等の詳細は裏面をご覧ください。」と記載がありますが、各区画番号の指定年月日等は本ページ一覧表をご確認ください。

土砂災害警戒区域等 一覧表											
No.	区域番号	指定年月日	種別	No.	区域番号	指定年月日	種別	No.	区域番号	指定年月日	種別
1	1202007	平成17年3月30日	土石流	49	1202049	平成18年10月31日	土石流	97	1-5006	平成20年2月12日	急傾斜地の崩壊
2	1202008	平成17年3月30日	土石流	50	1202050	平成18年10月31日	土石流	98	1-5007	平成20年2月12日	急傾斜地の崩壊
3	1202031	平成17年3月30日	土石流	51	1202051	平成18年10月31日	土石流	99	1-5008	平成20年2月12日	急傾斜地の崩壊
4	1202038	平成17年3月30日	土石流	52	1202052	平成18年10月31日	土石流	100	1-5009	平成20年2月12日	急傾斜地の崩壊
5	1202042	平成18年3月30日	土石流	53	1202053	平成18年10月31日	土石流	101	1-5010	平成20年2月12日	急傾斜地の崩壊
6	1202055	平成18年3月30日	土石流	54	1202057	平成18年2月7日	土石流	102	1-5011	平成20年2月12日	急傾斜地の崩壊
7	1202057	平成18年3月30日	土石流	55	1202061	平成18年2月28日	土石流	103	1-5012	平成20年2月12日	急傾斜地の崩壊
8	1202061	平成18年3月30日	土石流	56	1202062	平成18年2月26日	土石流	104	1-5013	平成20年2月12日	急傾斜地の崩壊
9	1202063	平成18年3月30日	土石流	57	1202068	令和2年12月1日	土石流	105	1-5014	平成20年2月12日	急傾斜地の崩壊
10	1202069	平成18年3月30日	土石流	58	1202069	令和2年12月1日	土石流	106	1-5015	平成20年2月12日	急傾斜地の崩壊
11	1202073	平成18年3月30日	土石流	59	1202100	令和2年12月1日	土石流	107	1-5016	平成20年2月12日	急傾斜地の崩壊
12	1202075	平成18年3月30日	土石流	60	1202101	令和2年12月1日	土石流	108	1-5017	平成20年2月12日	急傾斜地の崩壊
13	1202078	平成18年3月30日	土石流	61	1202102	令和2年12月1日	土石流	109	1-5018	平成20年2月12日	急傾斜地の崩壊
14	1202079	平成18年3月30日	土石流	62	1202103	令和2年12月1日	土石流	110	1-5019	平成20年2月12日	急傾斜地の崩壊
15	1202082	平成20年2月12日	土石流	63	1202104	令和2年12月1日	土石流	111	1-5020	平成20年2月12日	急傾斜地の崩壊
16	1202083	平成20年2月12日	土石流	64	1202105	令和2年12月1日	土石流	112	1-5021	平成20年2月12日	急傾斜地の崩壊
17	1202084	平成20年2月12日	土石流	65	1202106	令和2年12月1日	土石流	113	1-5022	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
18	1202085	平成20年2月12日	土石流	66	1202108	令和2年12月1日	土石流	114	1-5023	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
19	1202086	平成20年2月12日	土石流	67	1202109	令和2年12月1日	土石流	115	1-5024	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
20	1202087	平成20年2月12日	土石流	68	1202110	令和2年12月1日	土石流	116	1-5025	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
21	1202088	平成20年2月12日	土石流	69	1202111	令和2年12月1日	土石流	117	1-5026	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
22	1202089	平成20年2月12日	土石流	70	1202112	令和2年12月1日	土石流	118	1-5027	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
23	1202090	平成20年2月12日	土石流	71	1202113	令和2年12月1日	土石流	119	1-5028	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
24	1202091	平成18年12月25日	土石流	72	1202114	平成28年10月31日	土石流	120	1-5029	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
25	1202092	平成18年12月25日	土石流	73	1-5030	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊	121	1-5031	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
26	1202093	平成20年2月29日	土石流	74	1-5031	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊	122	1-5032	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
27	1202094	平成20年2月29日	土石流	75	1-5032	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊	123	1-5033	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
28	1202095	平成20年2月29日	土石流	76	1-5033	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊	124	1-5034	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
29	1202096	平成21年3月13日	土石流	77	1-5034	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊	125	1-5035	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
30	1202097	平成21年3月13日	土石流	78	1-5035	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊	126	1-5036	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
31	1202098	平成21年3月13日	土石流	79	1-5036	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊	127	1-5037	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
32	1202099	平成21年3月13日	土石流	80	1-5037	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊	128	1-5038	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
33	1202100	平成22年3月15日	土石流	81	1-5038	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊	129	1-5039	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
34	1202101	平成22年3月15日	土石流	82	1-5039	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊	130	1-5040	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
35	1202102	平成22年3月15日	土石流	83	1-5040	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊	131	1-5041	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
36	1202103	平成22年3月15日	土石流	84	1-5041	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊	132	1-5042	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
37	1202104	平成23年3月15日	土石流	85	1-5042	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊	133	1-5043	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
38	1202105	平成23年3月15日	土石流	86	1-5043	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊	134	1-5044	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
39	1202106	平成23年3月15日	土石流	87	1-5044	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊	135	1-5045	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
40	1202107	平成23年3月15日	土石流	88	1-5045	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊	136	1-5046	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
41	1202108	平成23年3月15日	土石流	89	1-5046	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊	137	1-5047	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
42	1202109	平成23年3月15日	土石流	90	1-5047	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊	138	1-5048	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
43	1202110	平成23年3月15日	土石流	91	1-5048	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊	139	1-5049	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
44	1202111	平成23年3月15日	土石流	92	1-5049	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊	140	1-5050	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
45	1202112	平成23年3月15日	土石流	93	1-5050	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊	141	1-5051	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
46	1202113	平成23年3月15日	土石流	94	1-5051	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊	142	1-5052	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
47	1202114	平成23年3月15日	土石流	95	1-5052	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊	143	1-5053	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊
48	1202115	平成23年3月15日	土石流	96	1-5053	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊	144	1-5054	平成21年3月13日	急傾斜地の崩壊

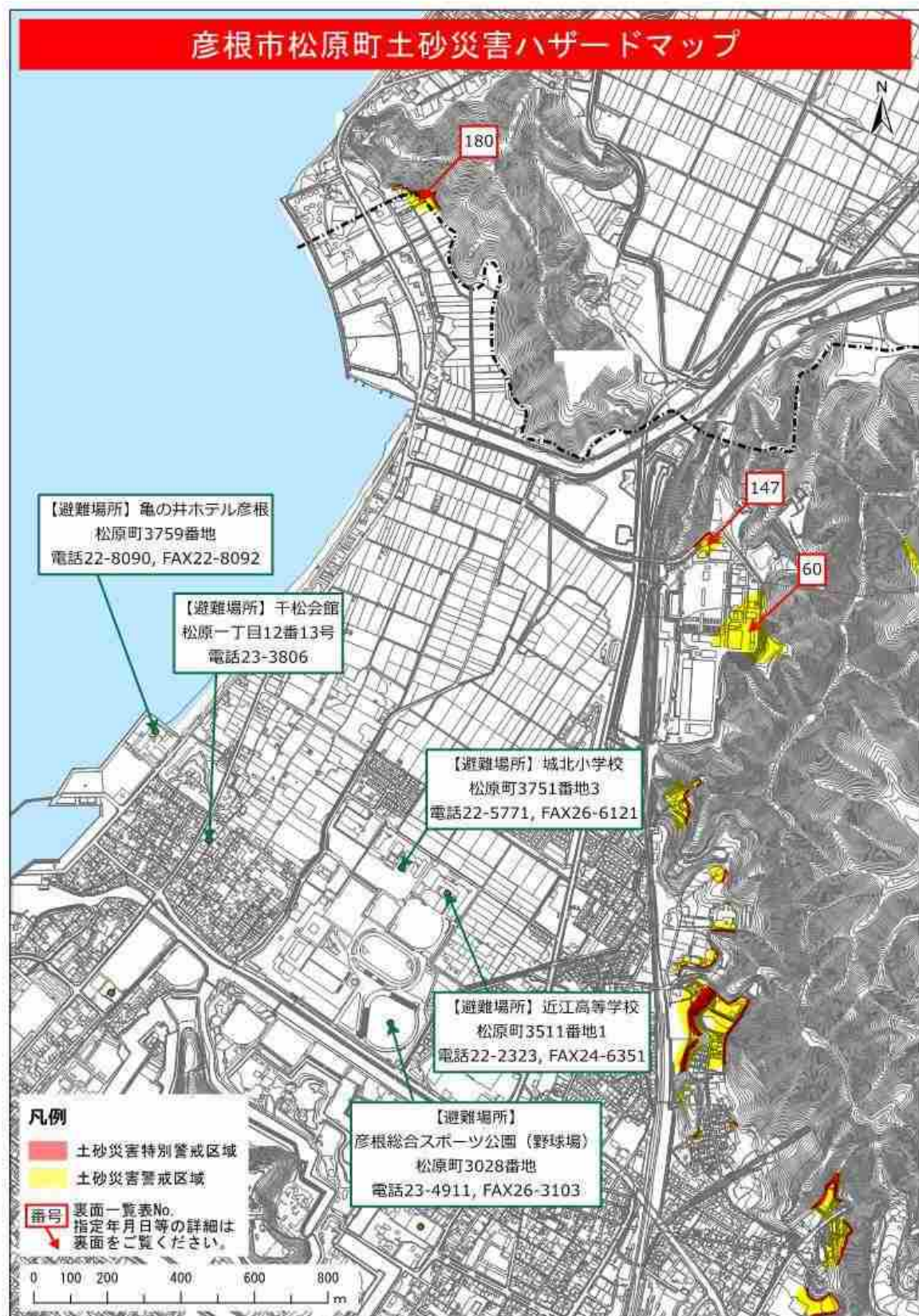
○黄色の範囲（土砂災害警戒区域）は、「土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生じるおそれのある区域」です。

○赤色の範囲（土砂災害特別警戒区域）は、「土砂災害が発生した場合、建物に損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれのある区域」です。

・土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、大雨の時には警戒避難が必要となりますので注意してください。

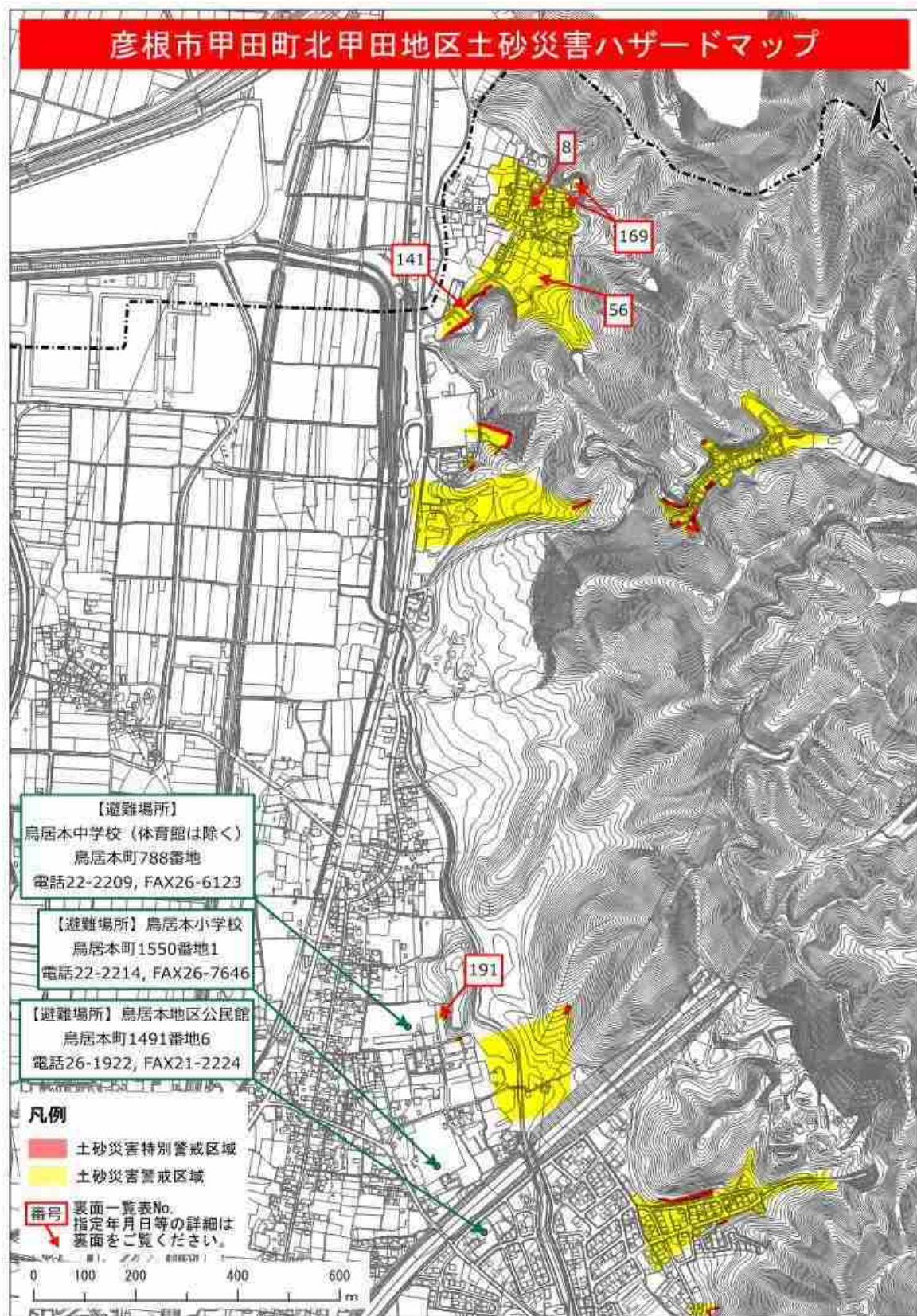
・また、土砂災害警戒区域以外の箇所でも土砂災害の発生する可能性がありますので、自分の住んでいる家の周辺の斜面や渓流、避難場所などをよく確認しましょう。

① 松原町



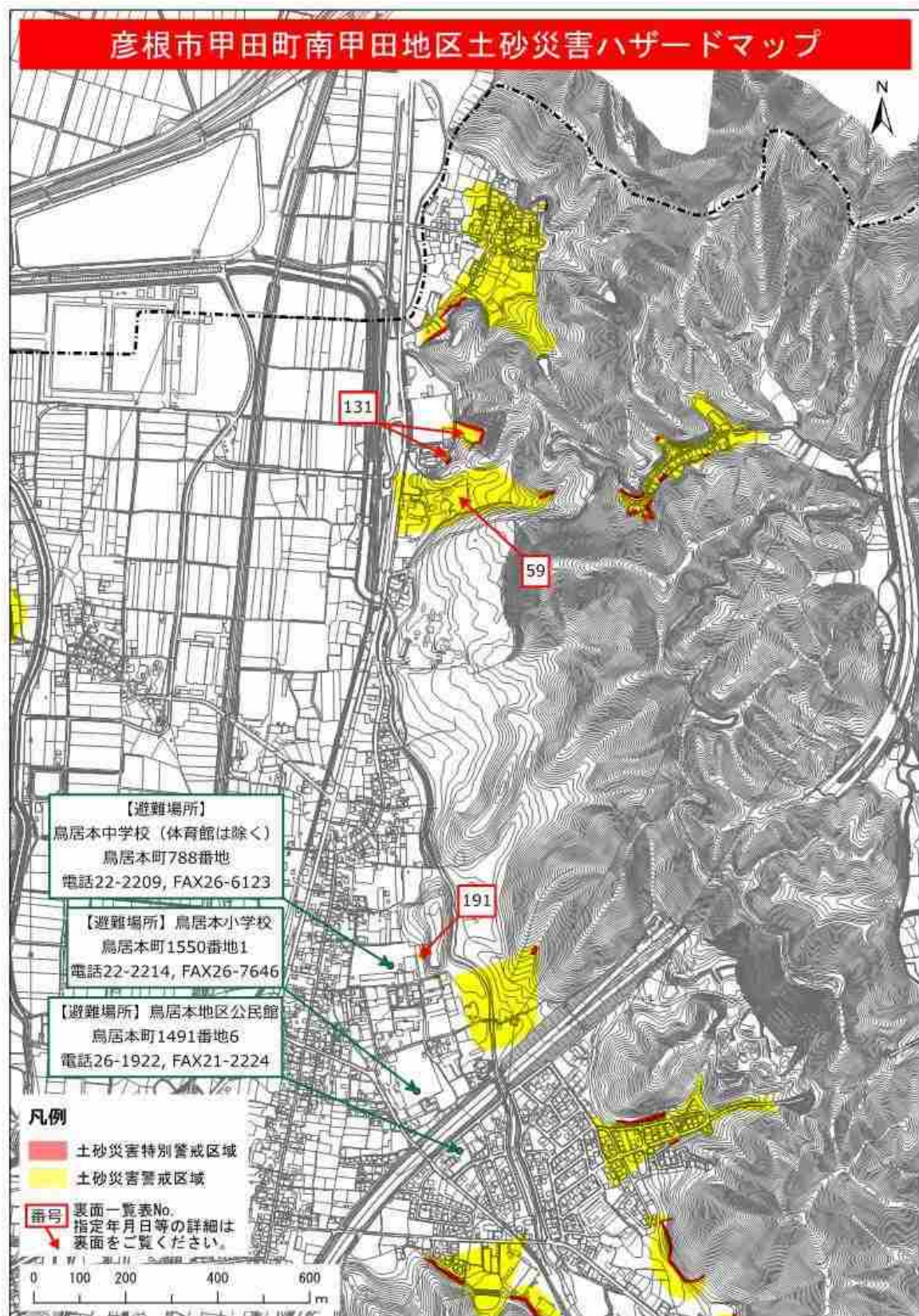
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

② 甲田町北甲田



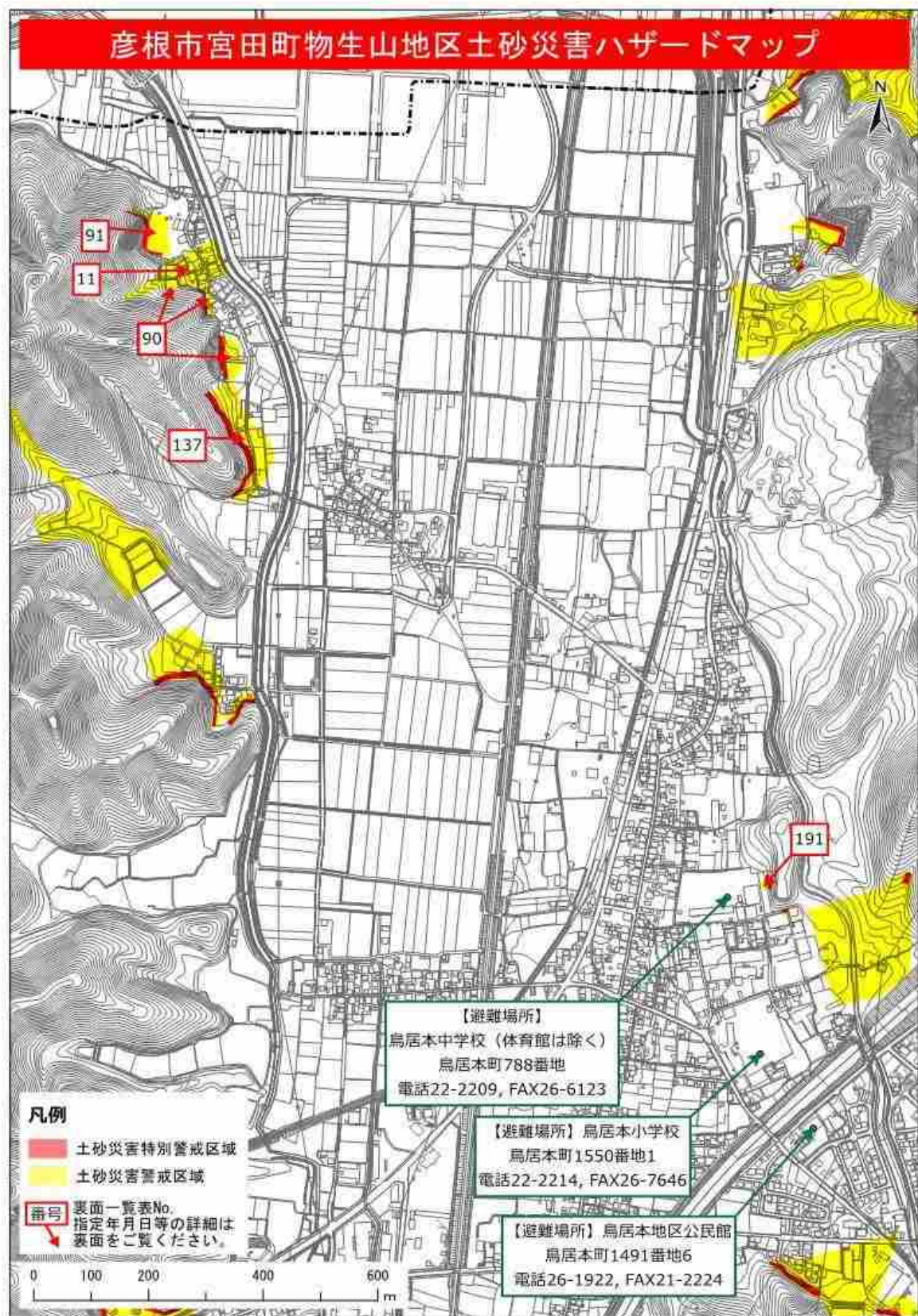
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

③ 甲田町南甲田



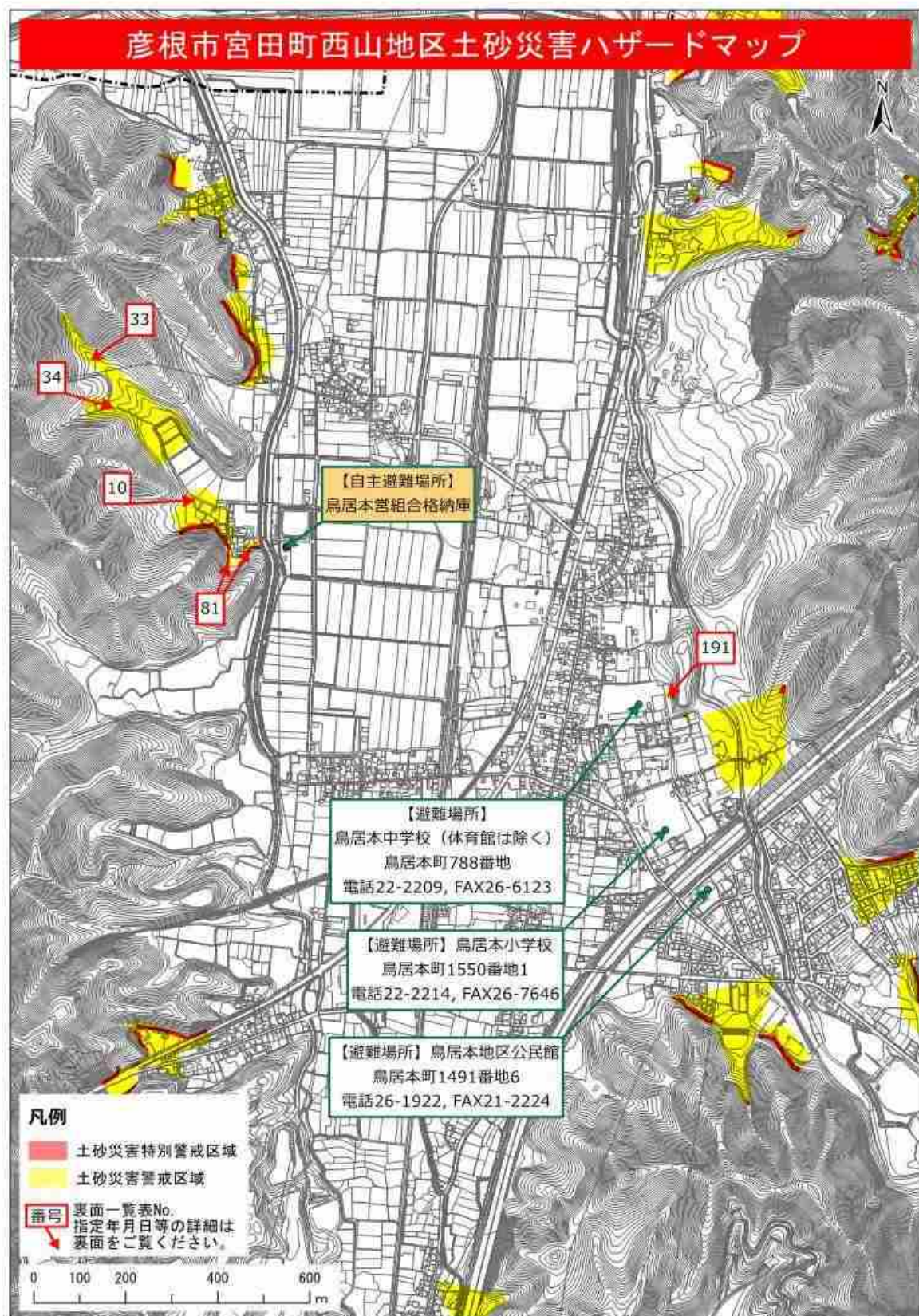
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

④ 宮田町物生山地区



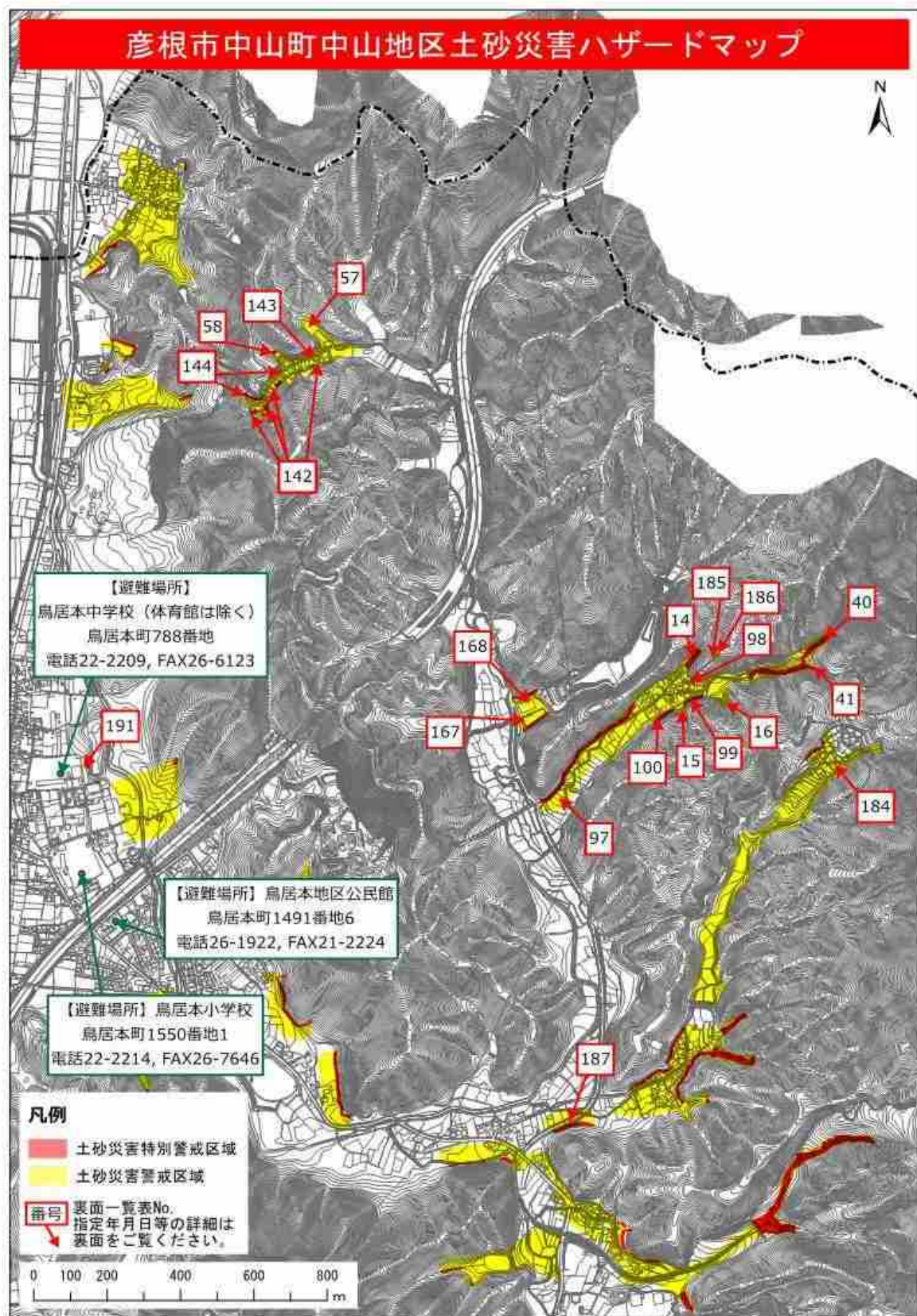
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

⑤ 宮田町西山地区



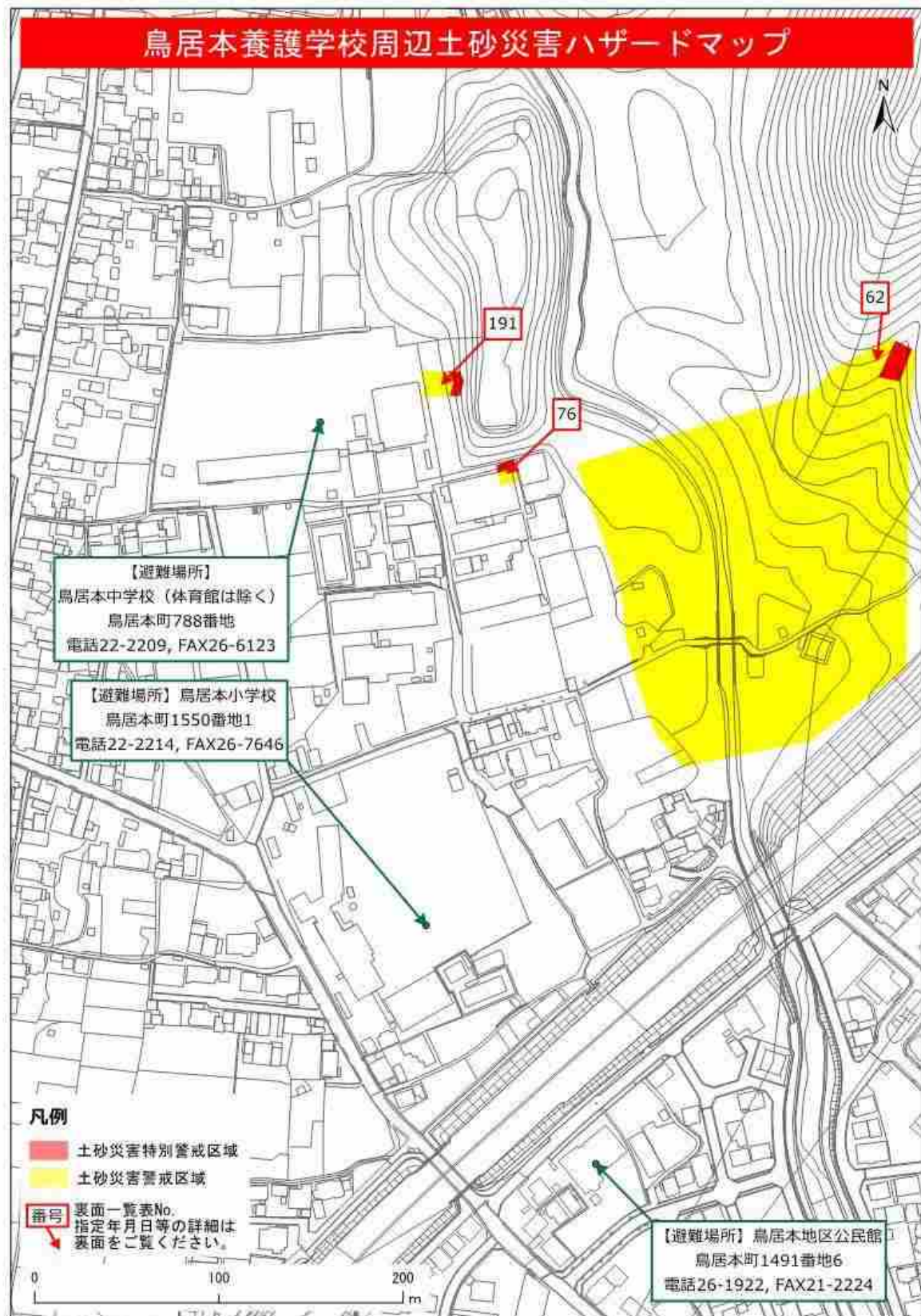
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

⑥ 中山町中山地区



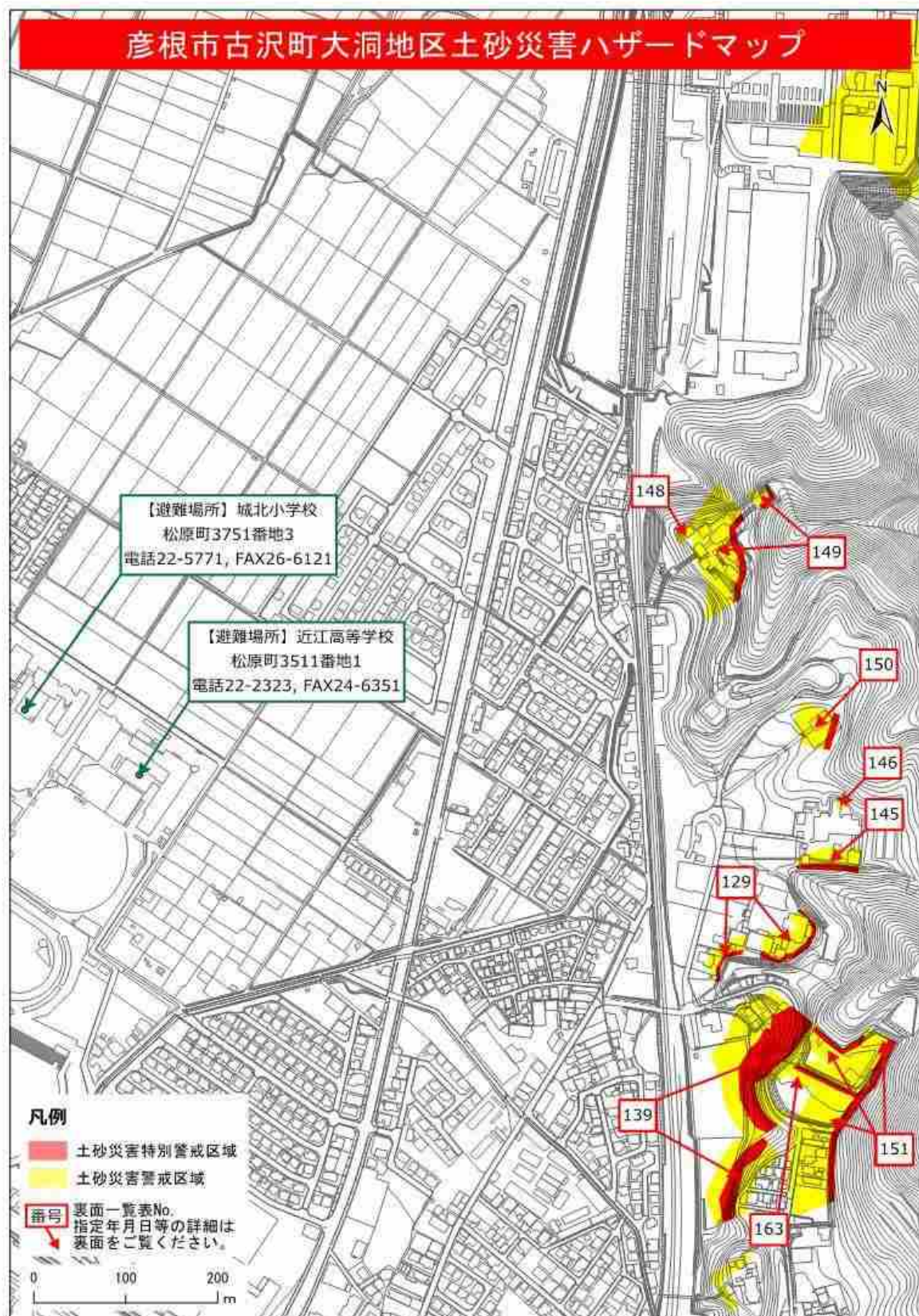
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

⑦ 鳥居本養護学校



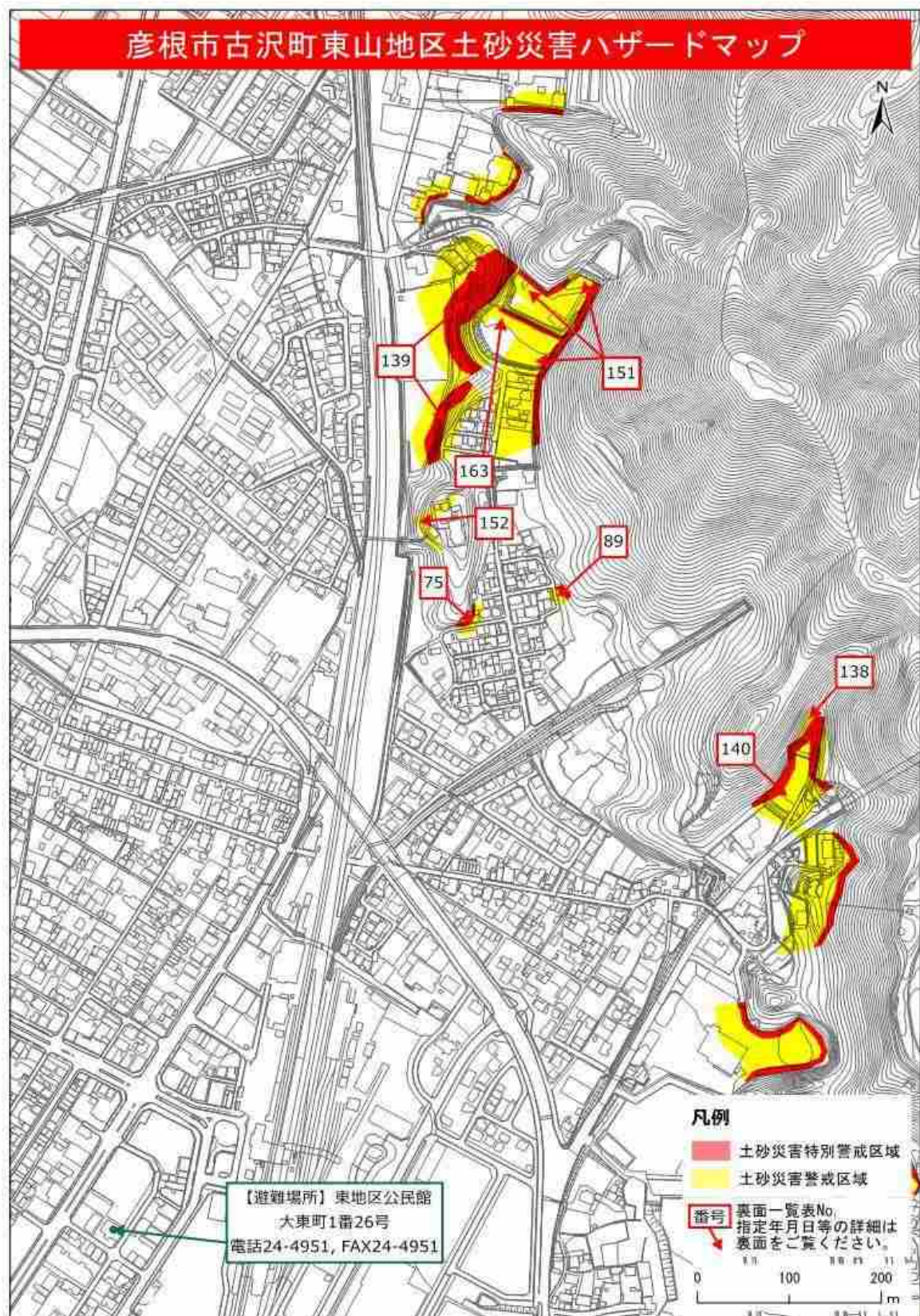
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

⑧ 古沢町大洞地区



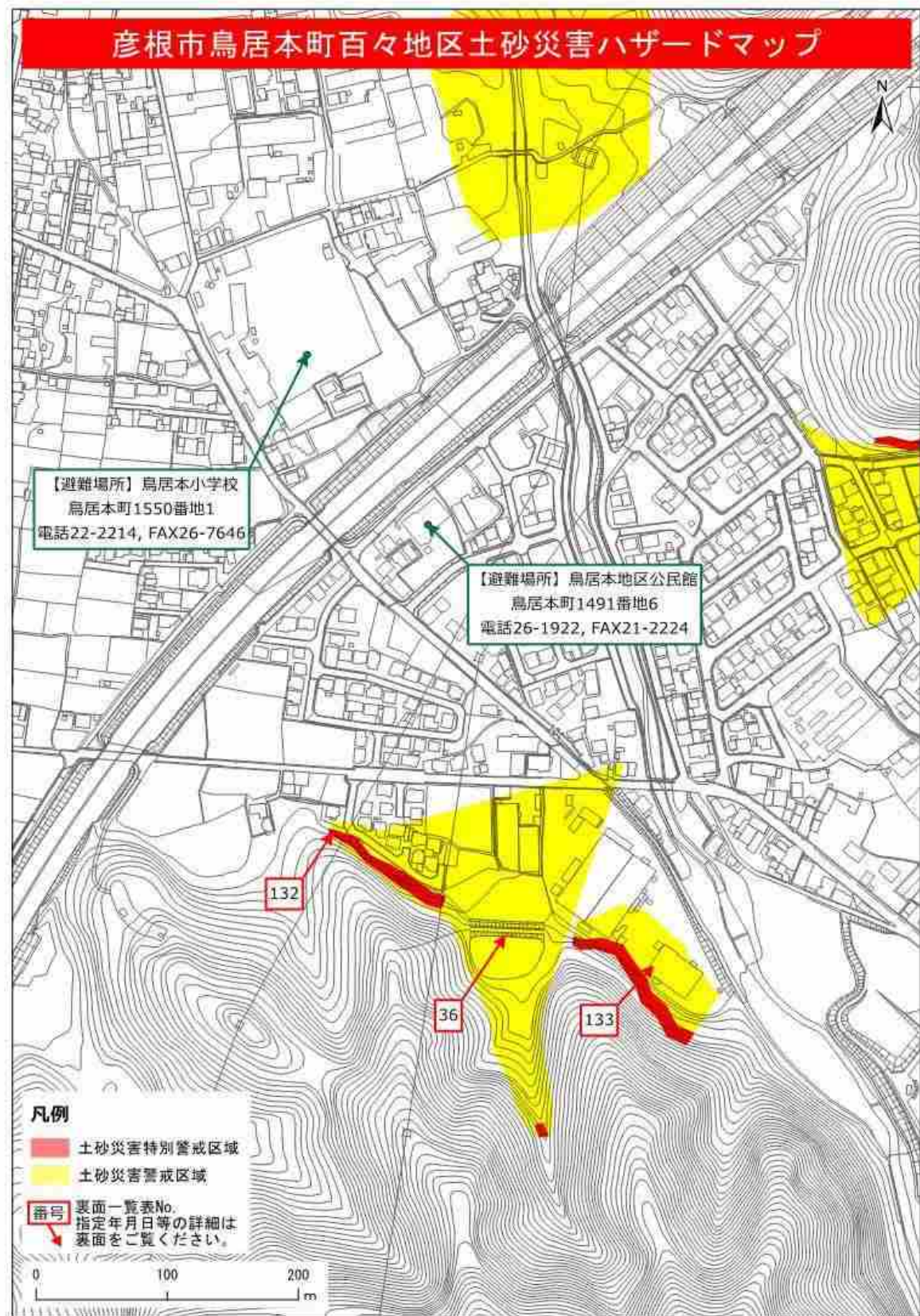
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

⑨ 古沢町東山地区



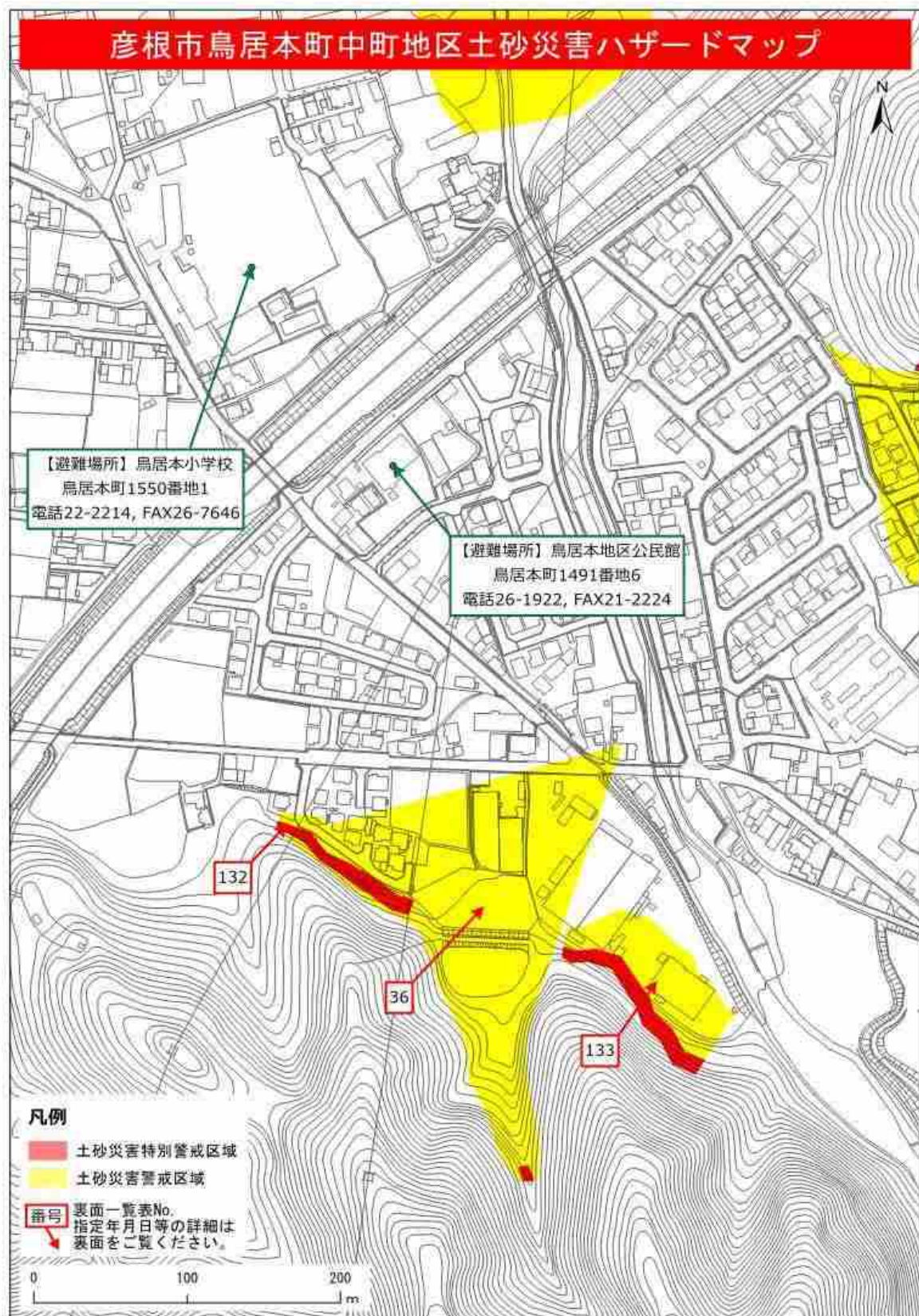
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

⑩ 鳥居本町百々地区



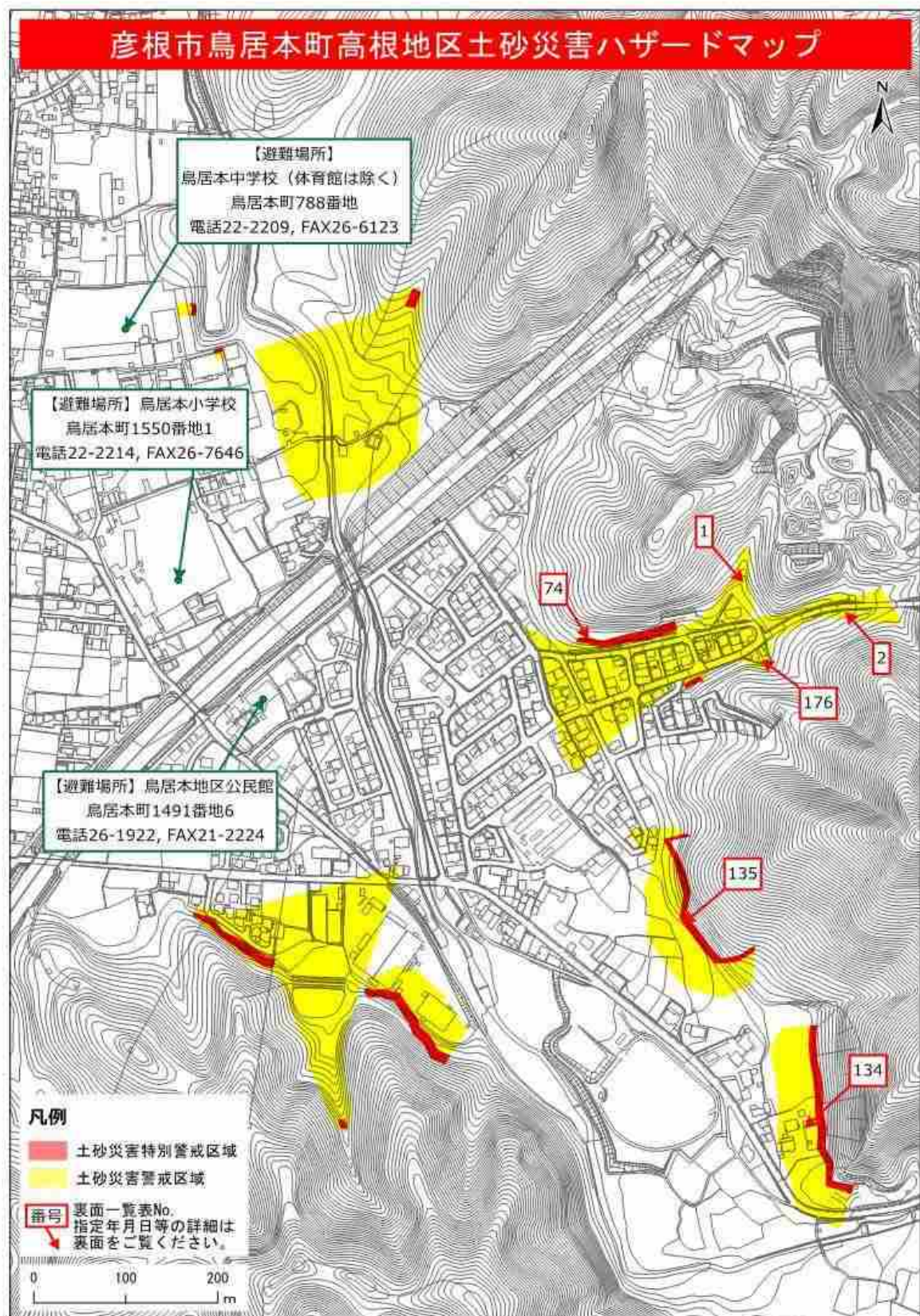
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

⑪ 鳥居本町中町地区



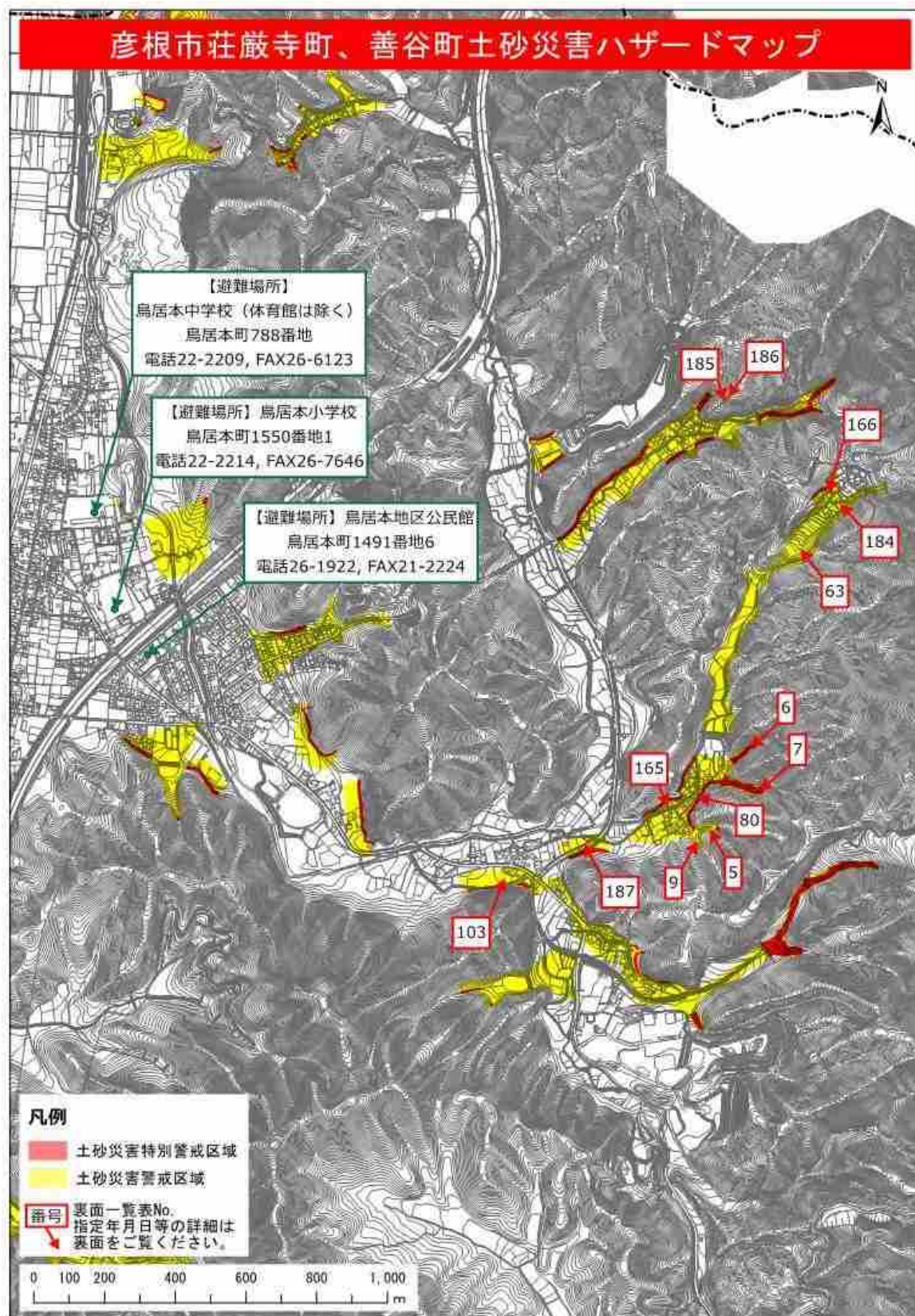
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

⑫ 鳥居本町高根地区



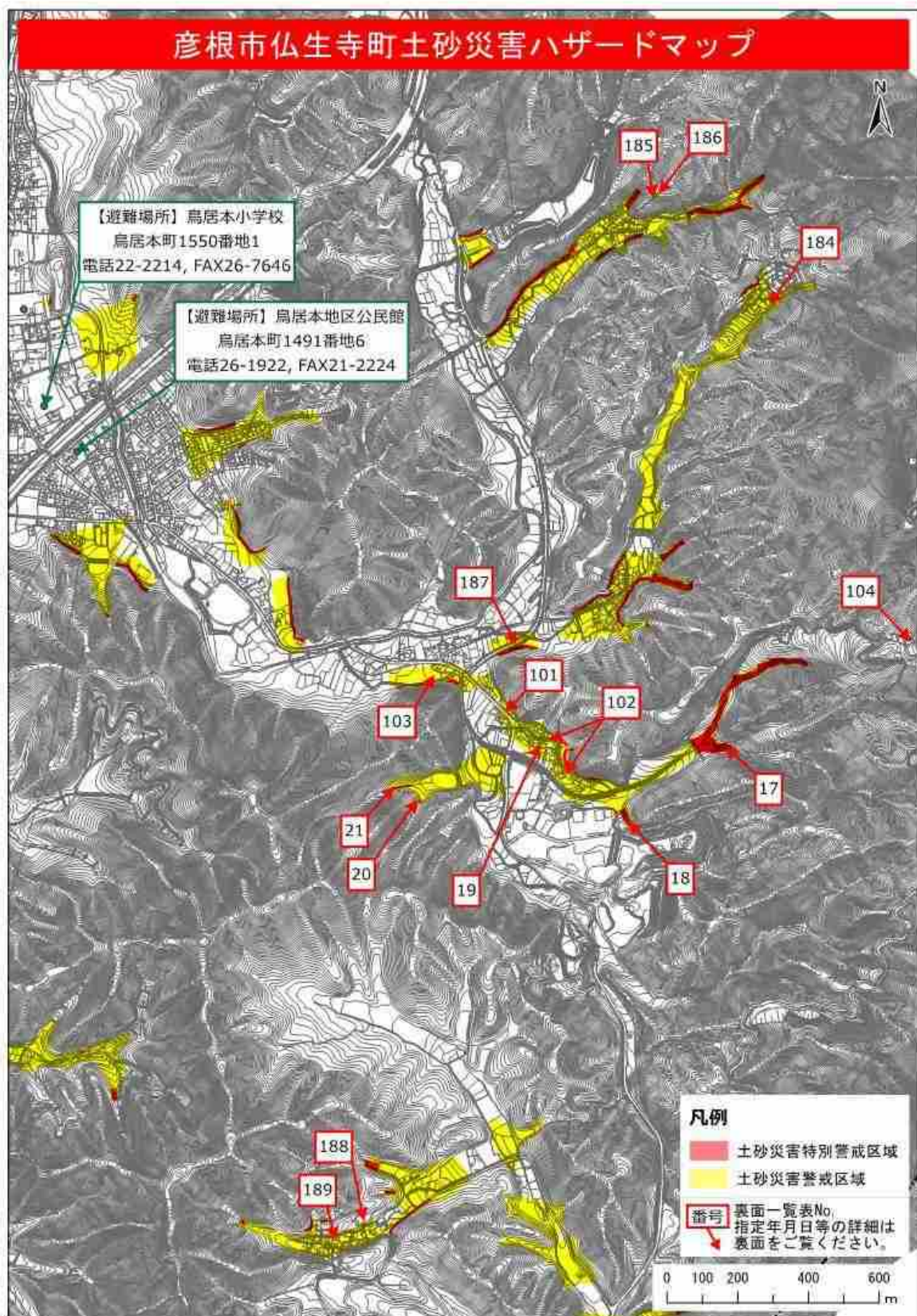
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

⑬ 荘厳寺町、善谷町



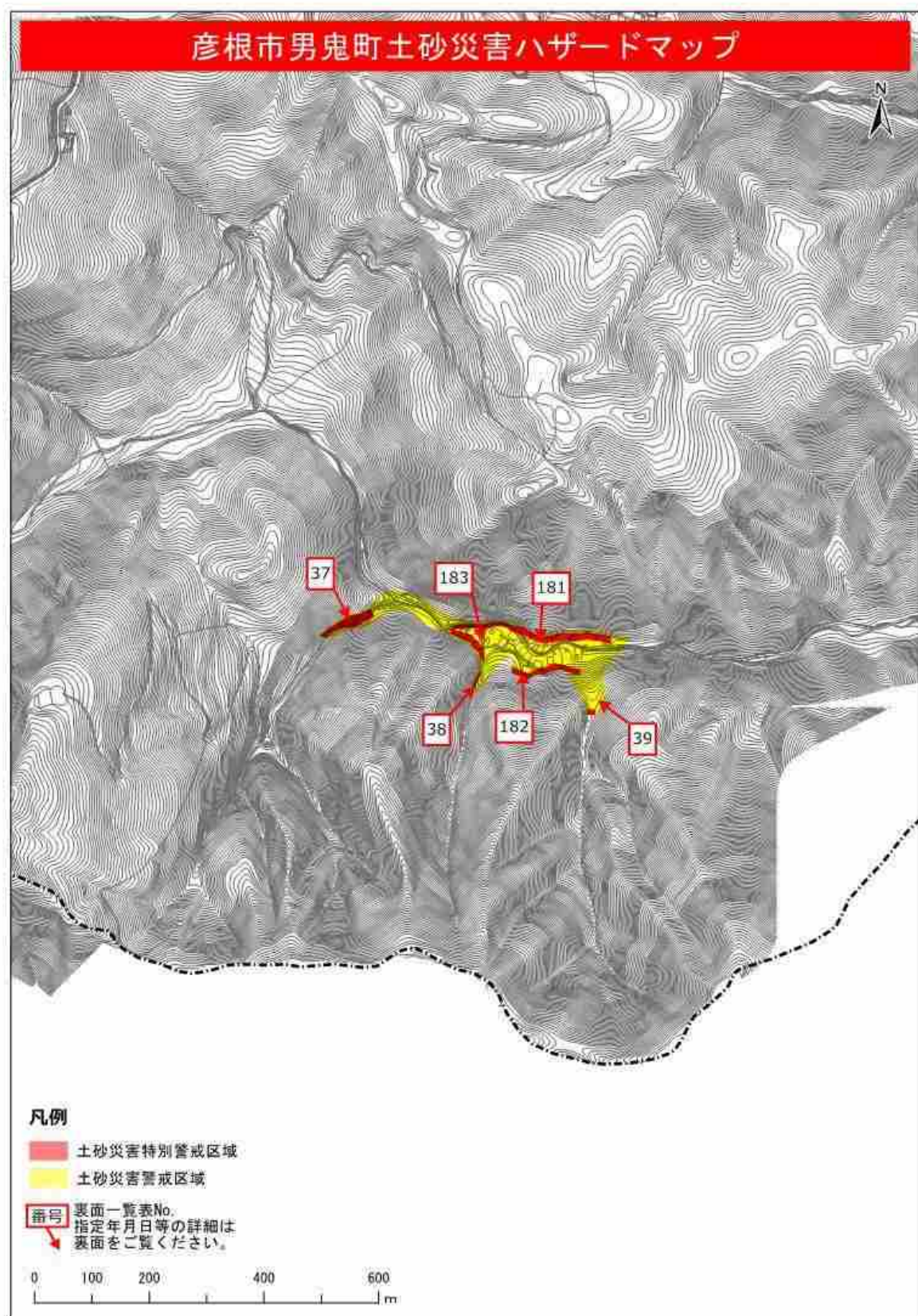
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

⑭ 仏生寺町



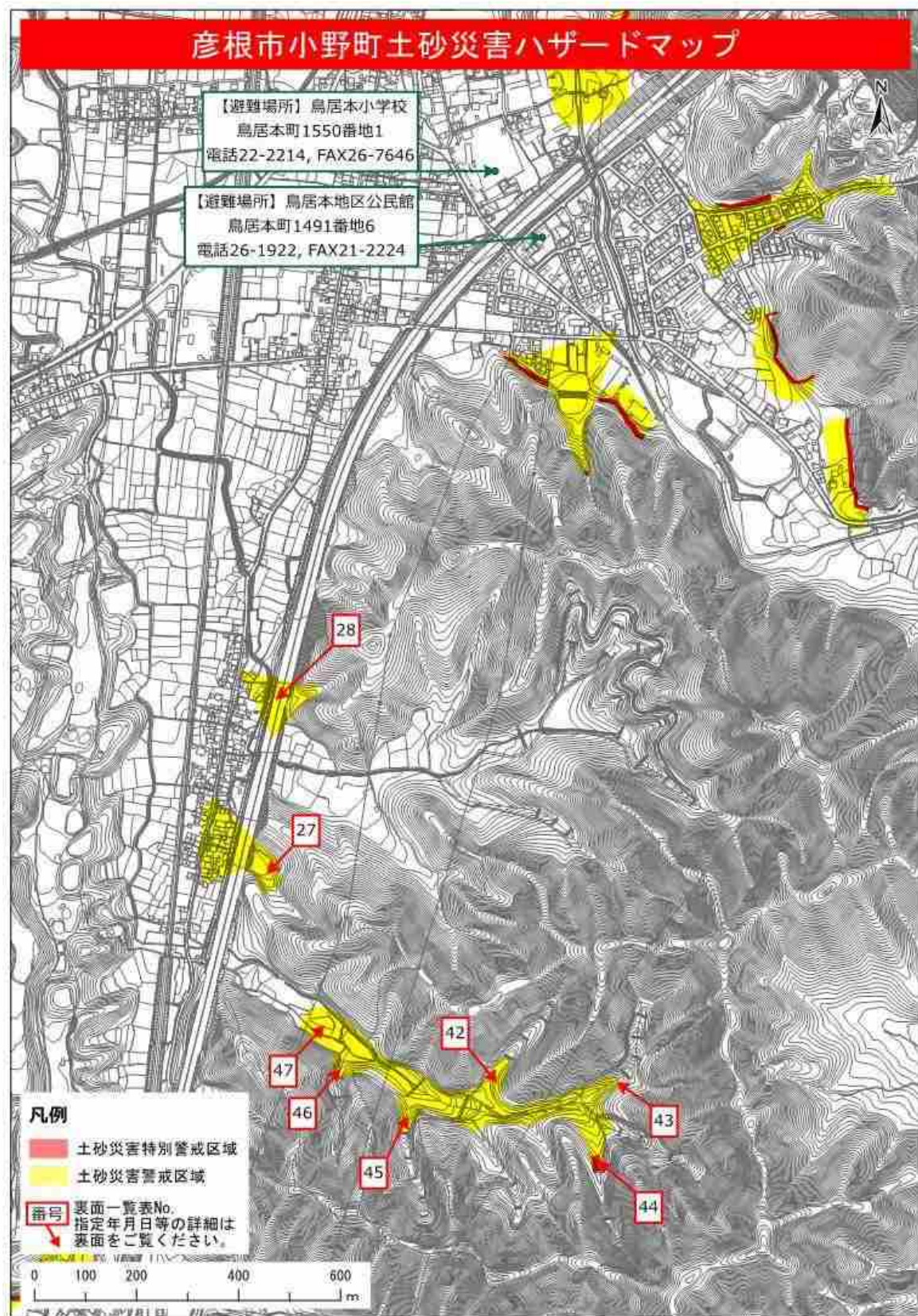
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

⑮ 男鬼町



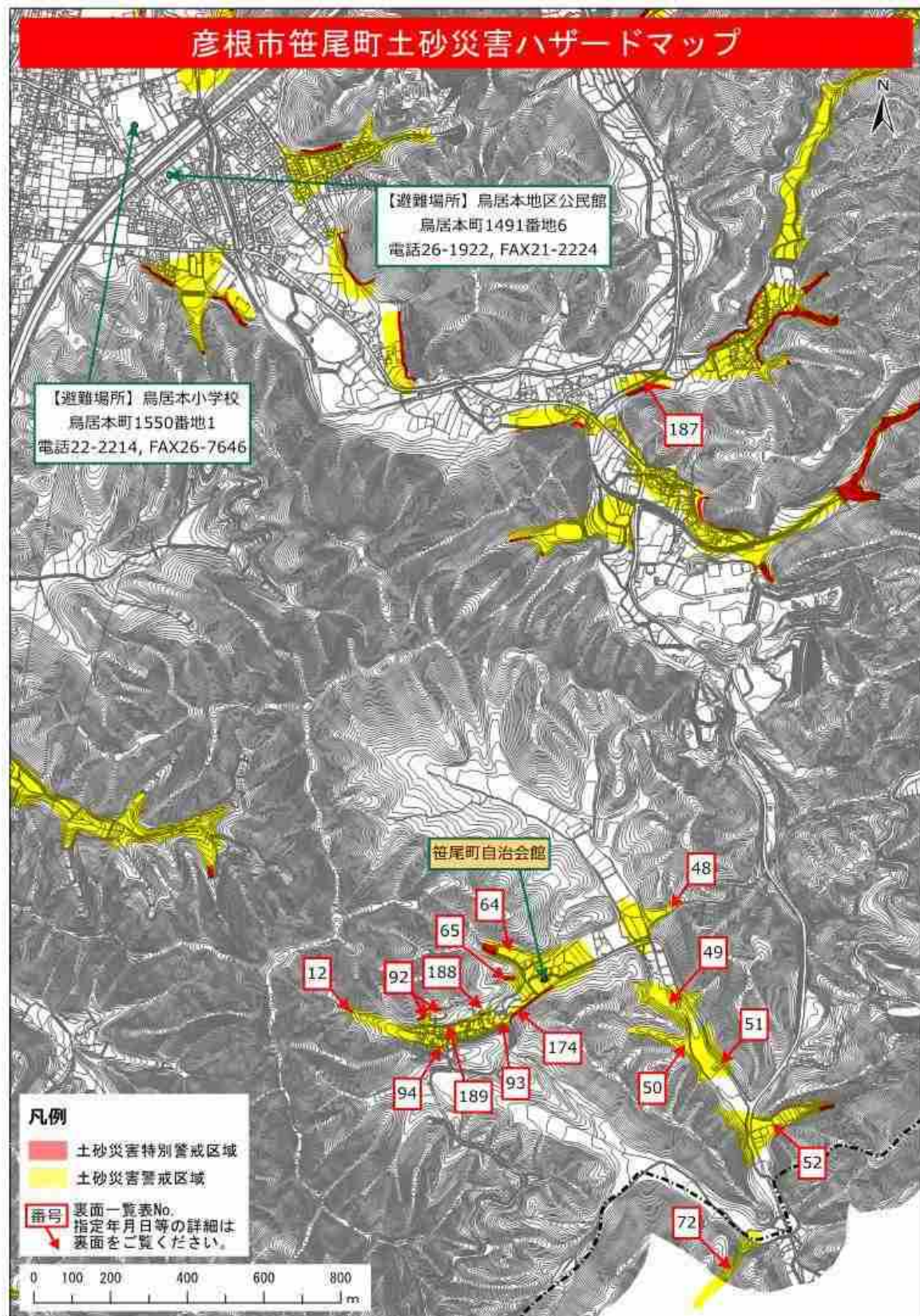
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

⑯ 小野町



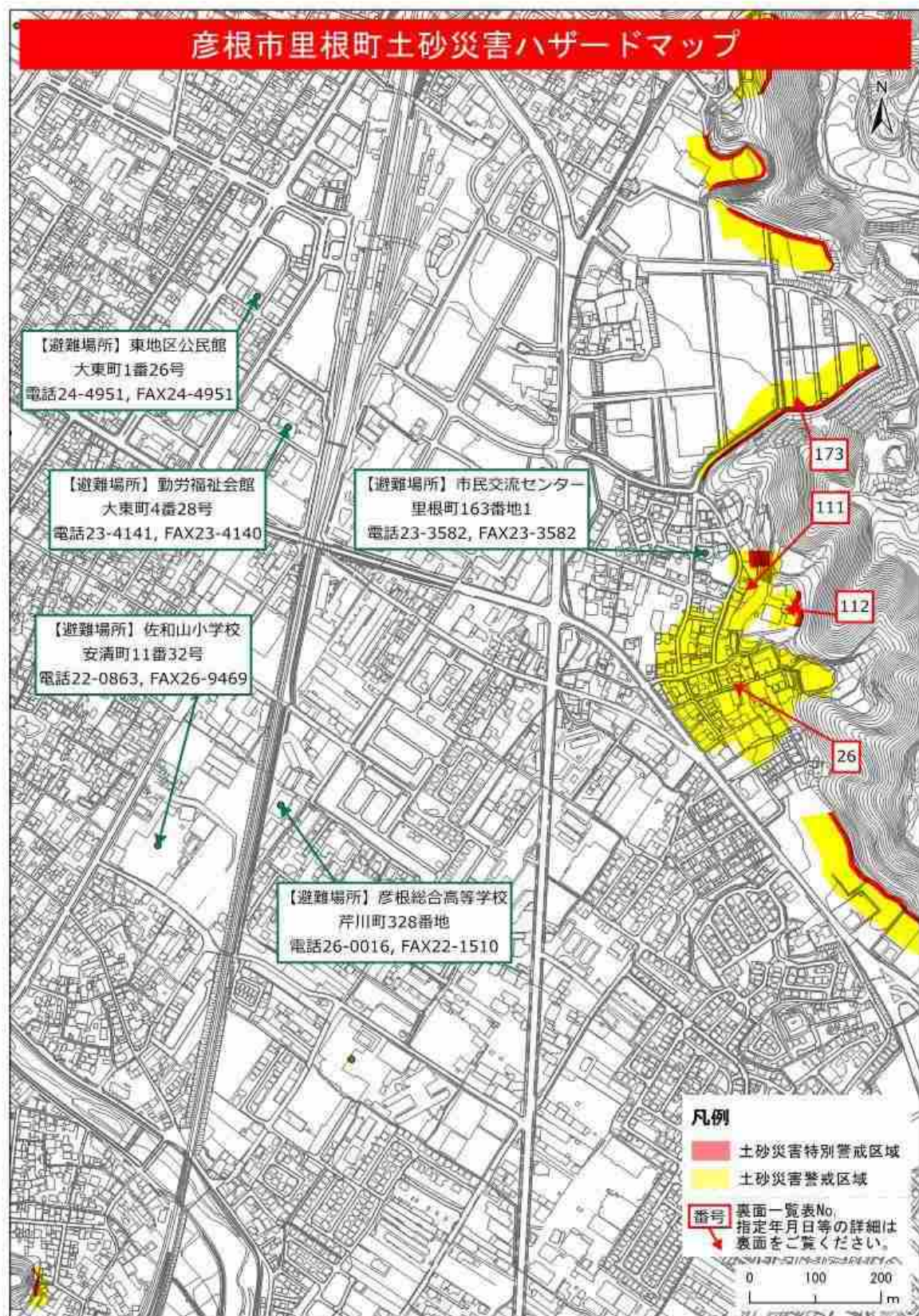
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

⑰ 笹尾町



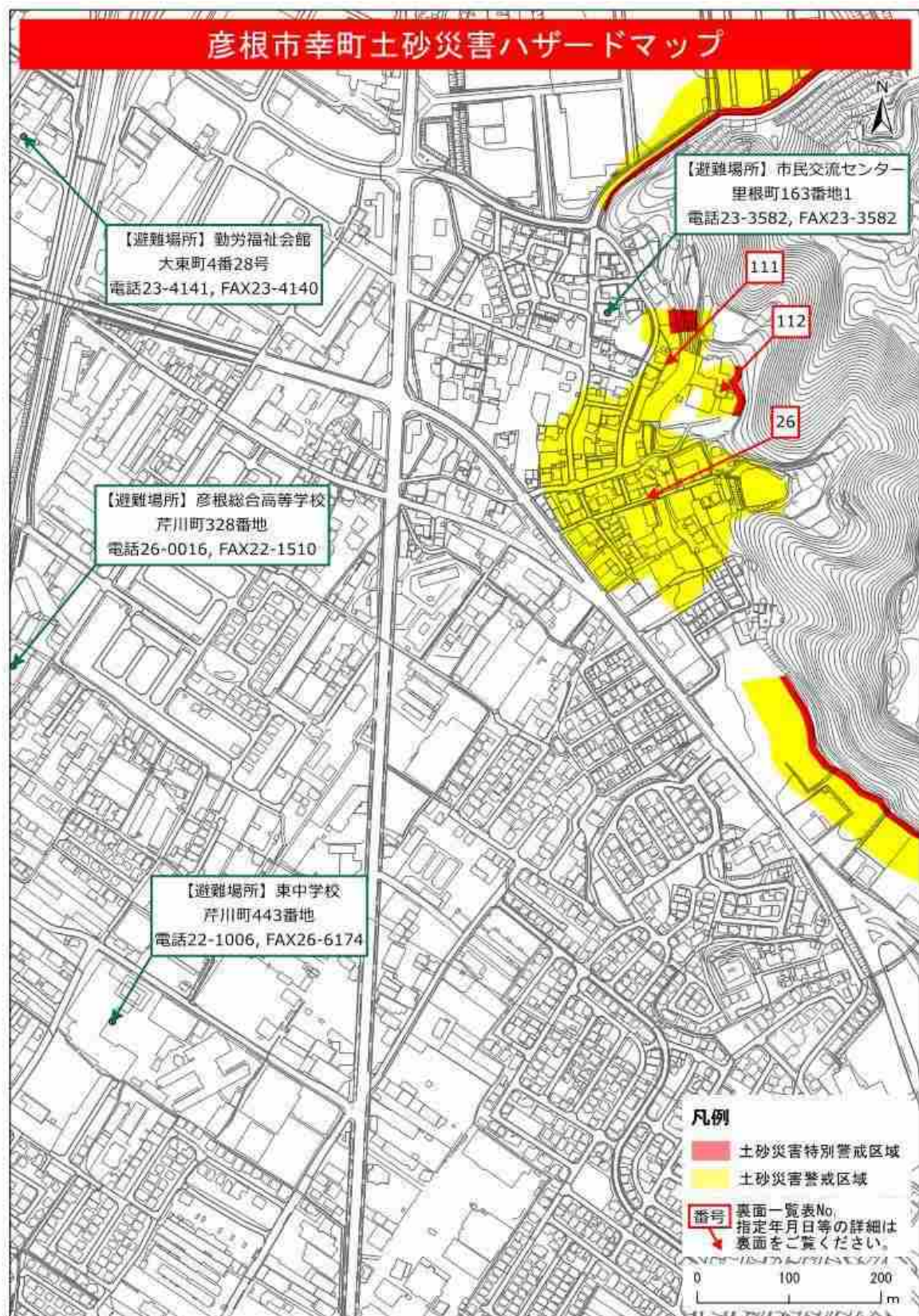
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

⑱ 里根町



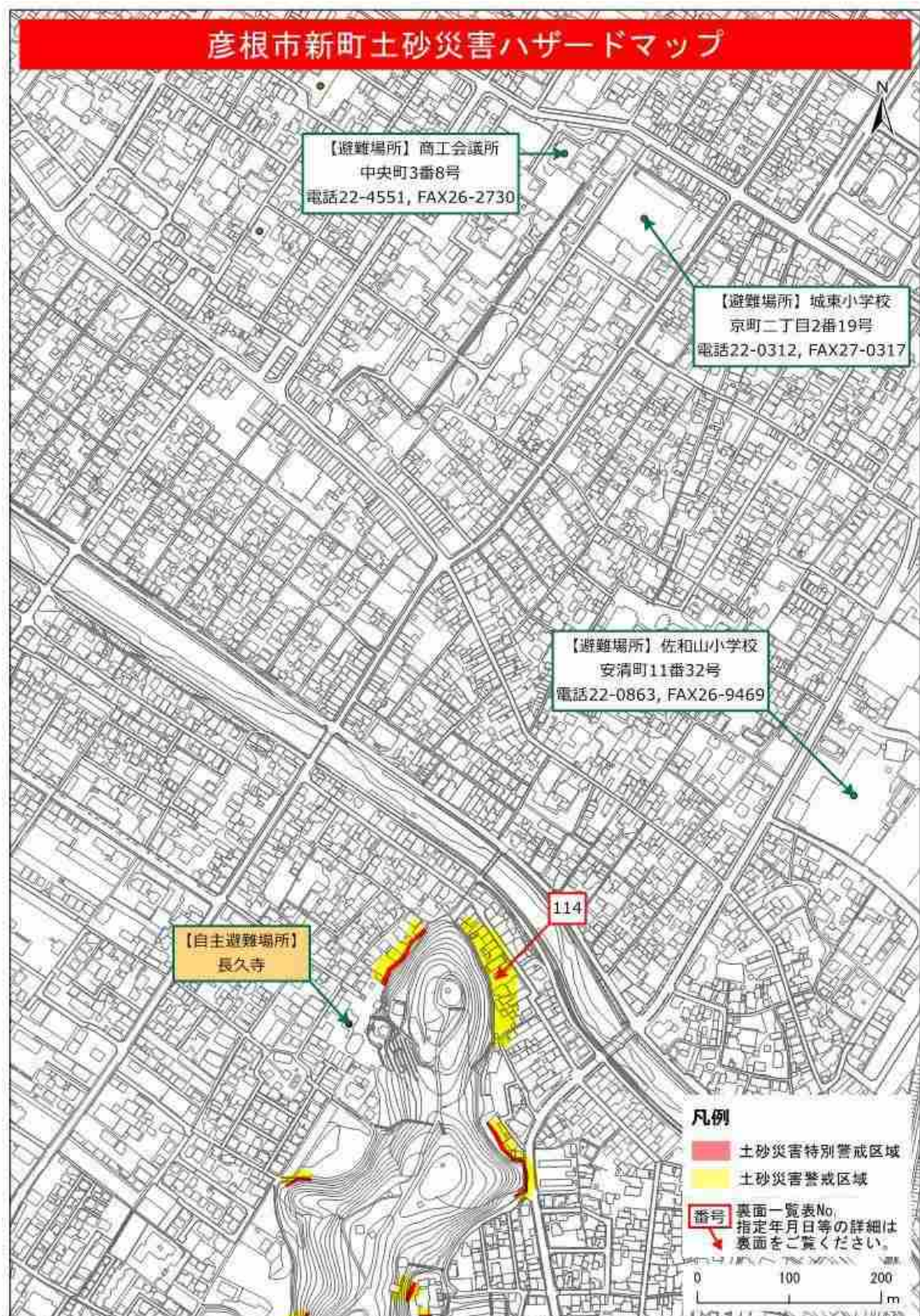
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

⑬ 幸町



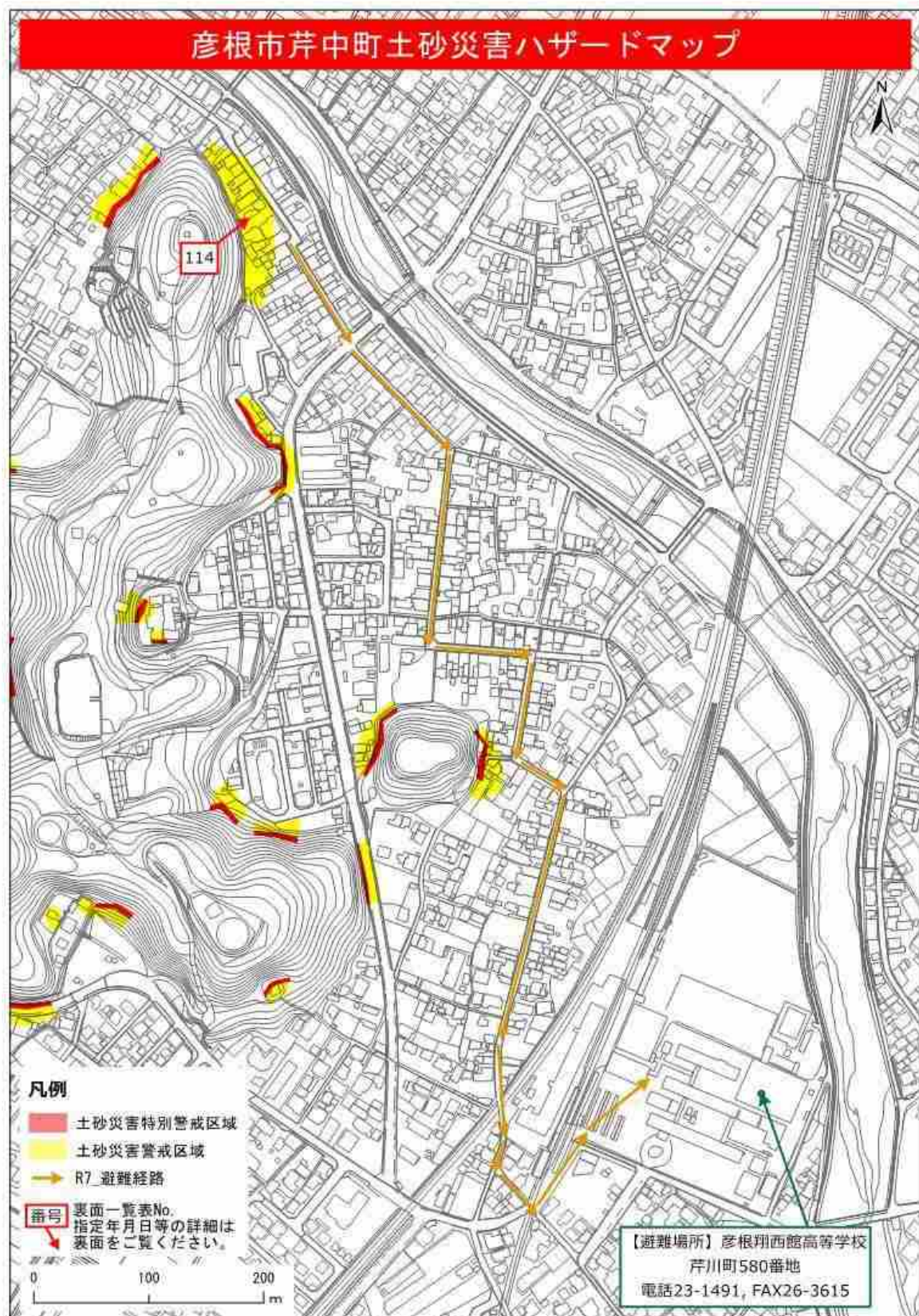
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

②0 新町



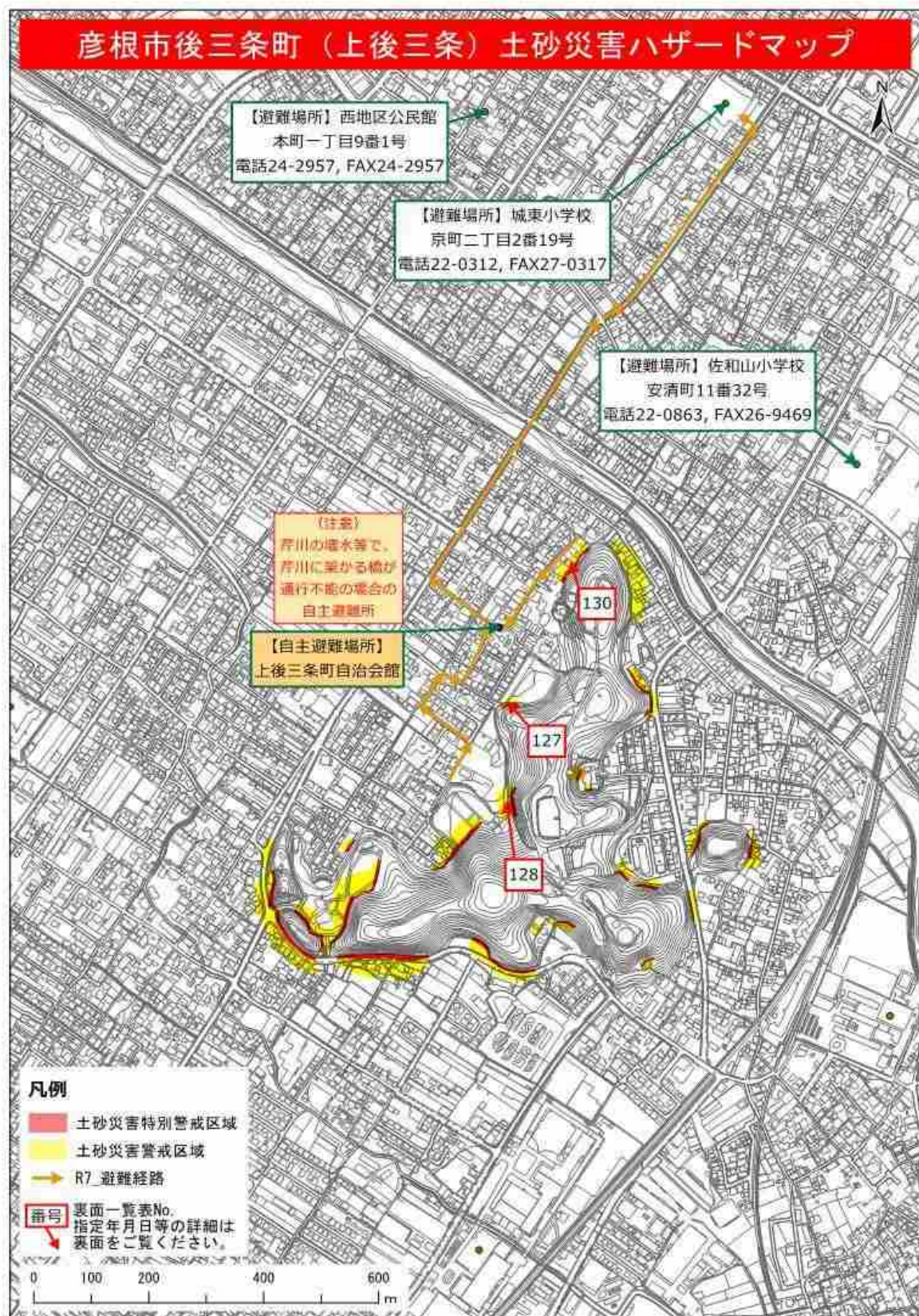
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

㊦ 芹中町



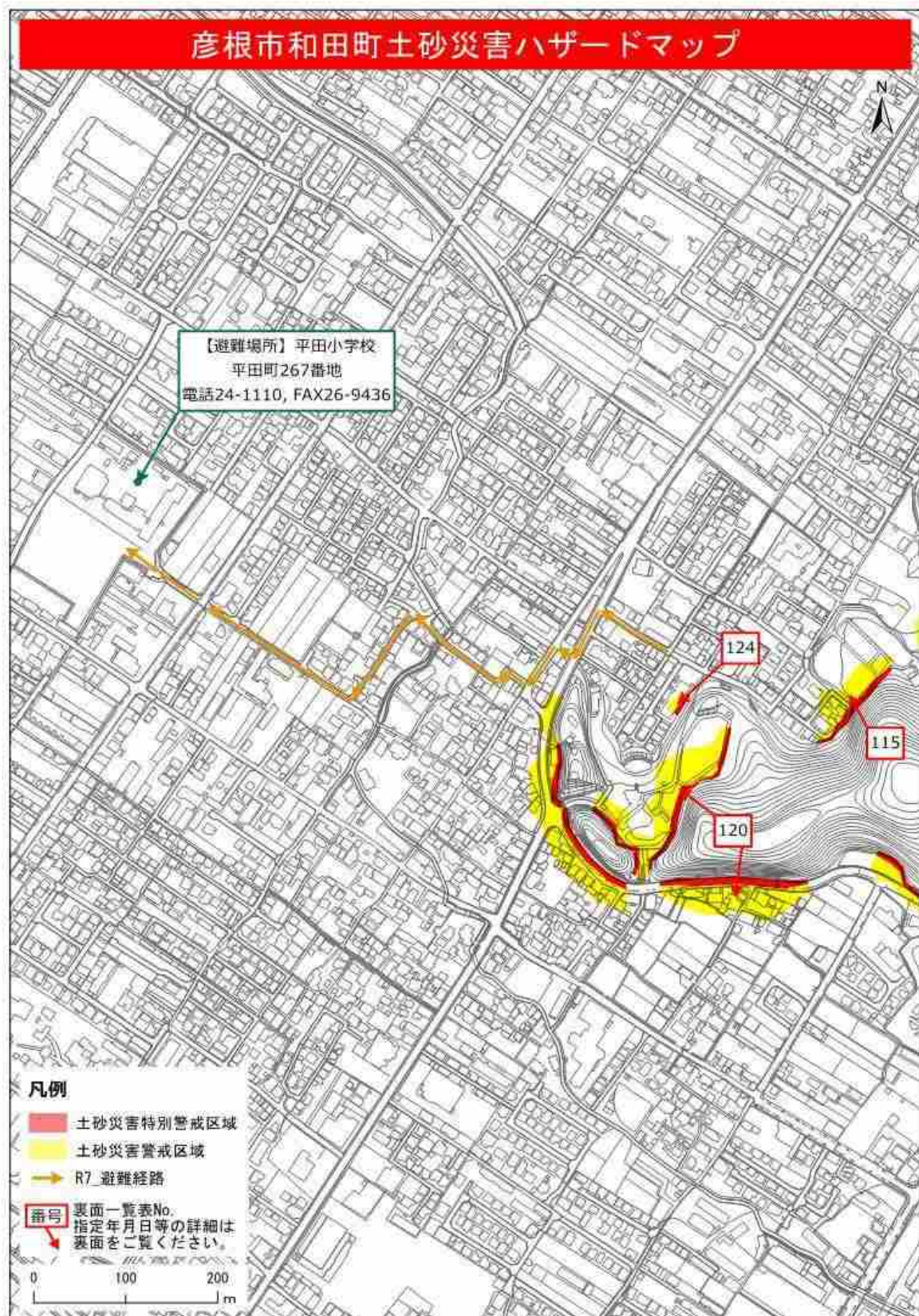
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

② 後三条町



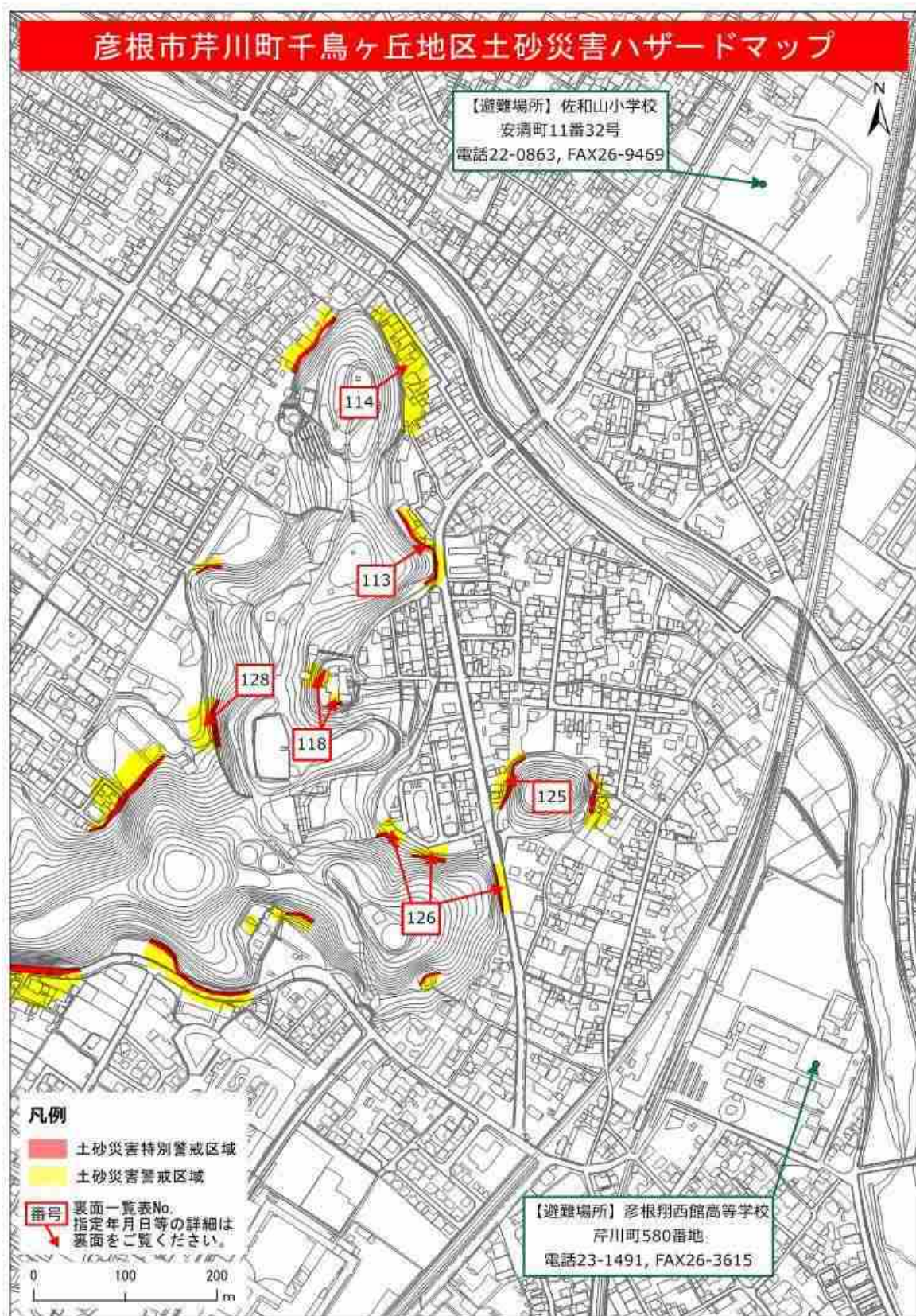
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

②③ 和田町



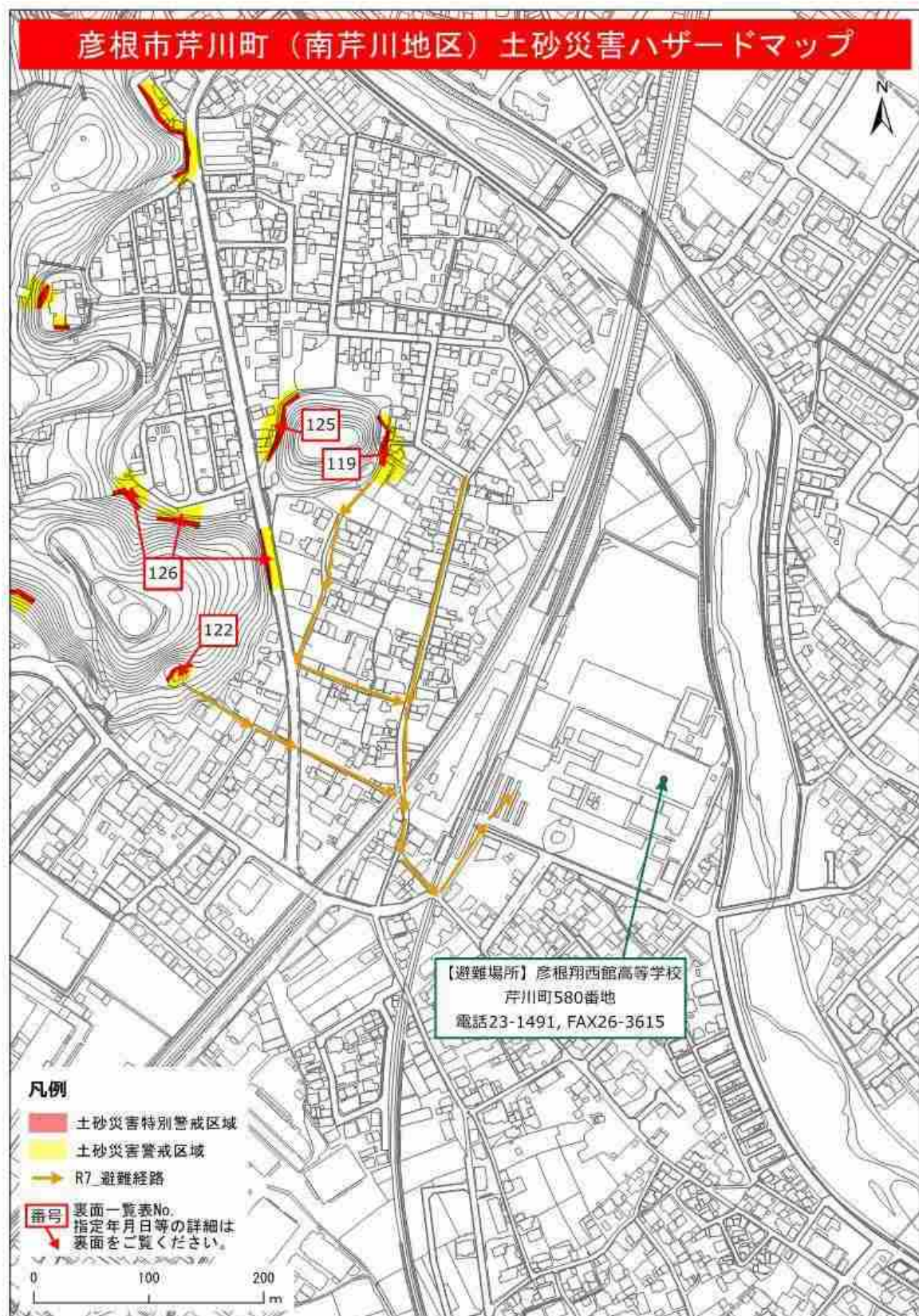
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

④ 芹川町千鳥ヶ丘



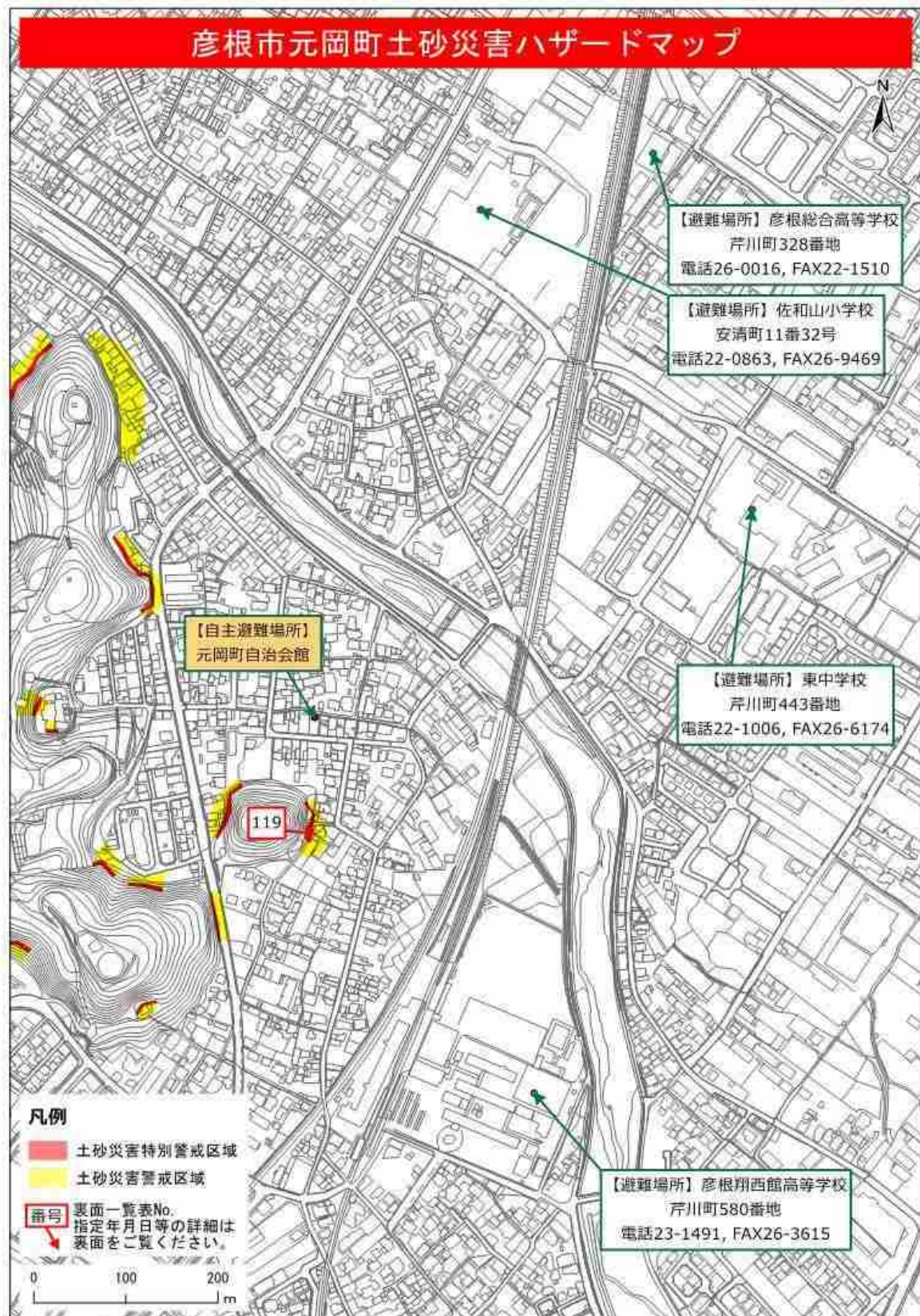
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

㊫ 芹川町（南芹川地区）



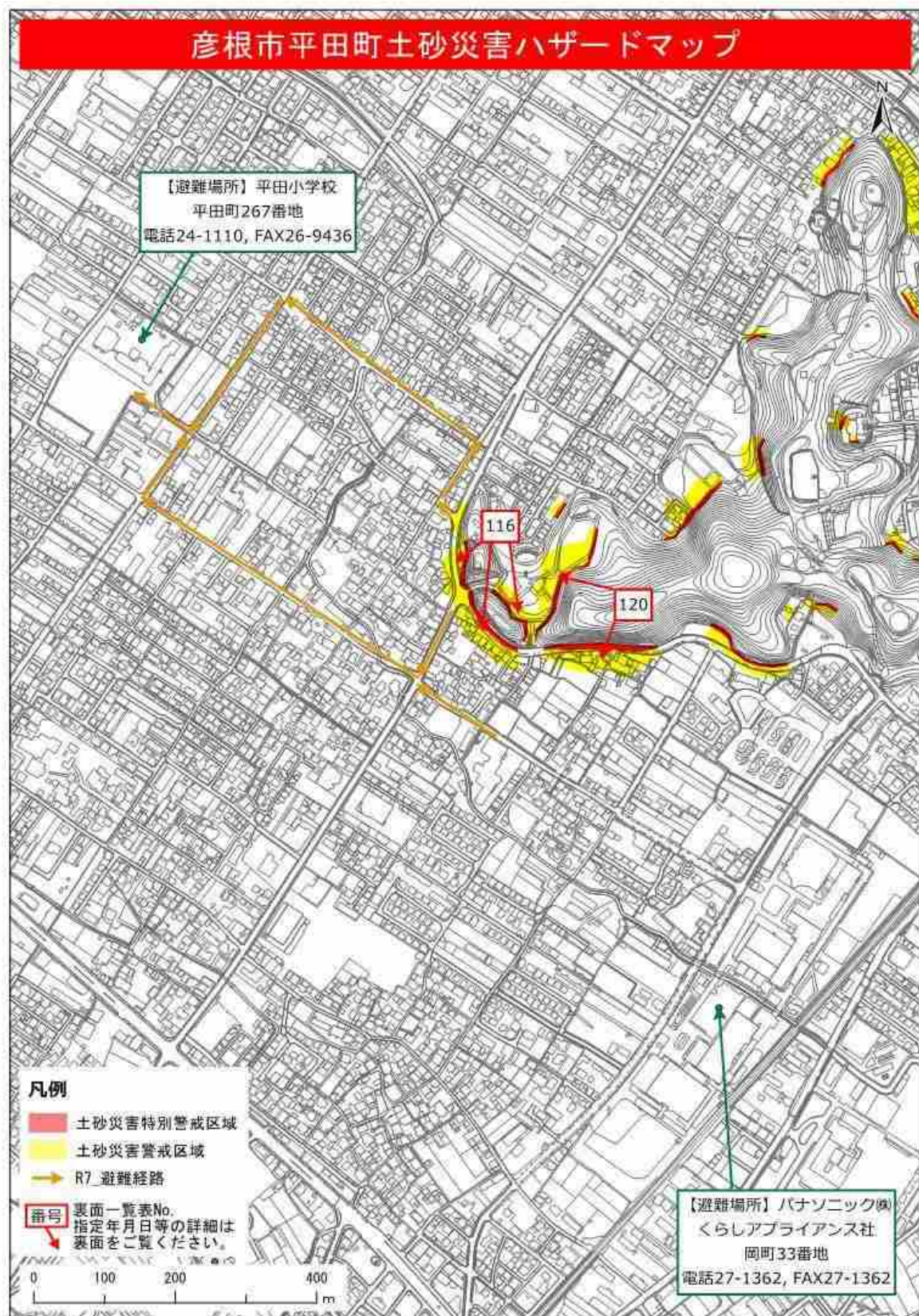
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

㊼ 元岡町



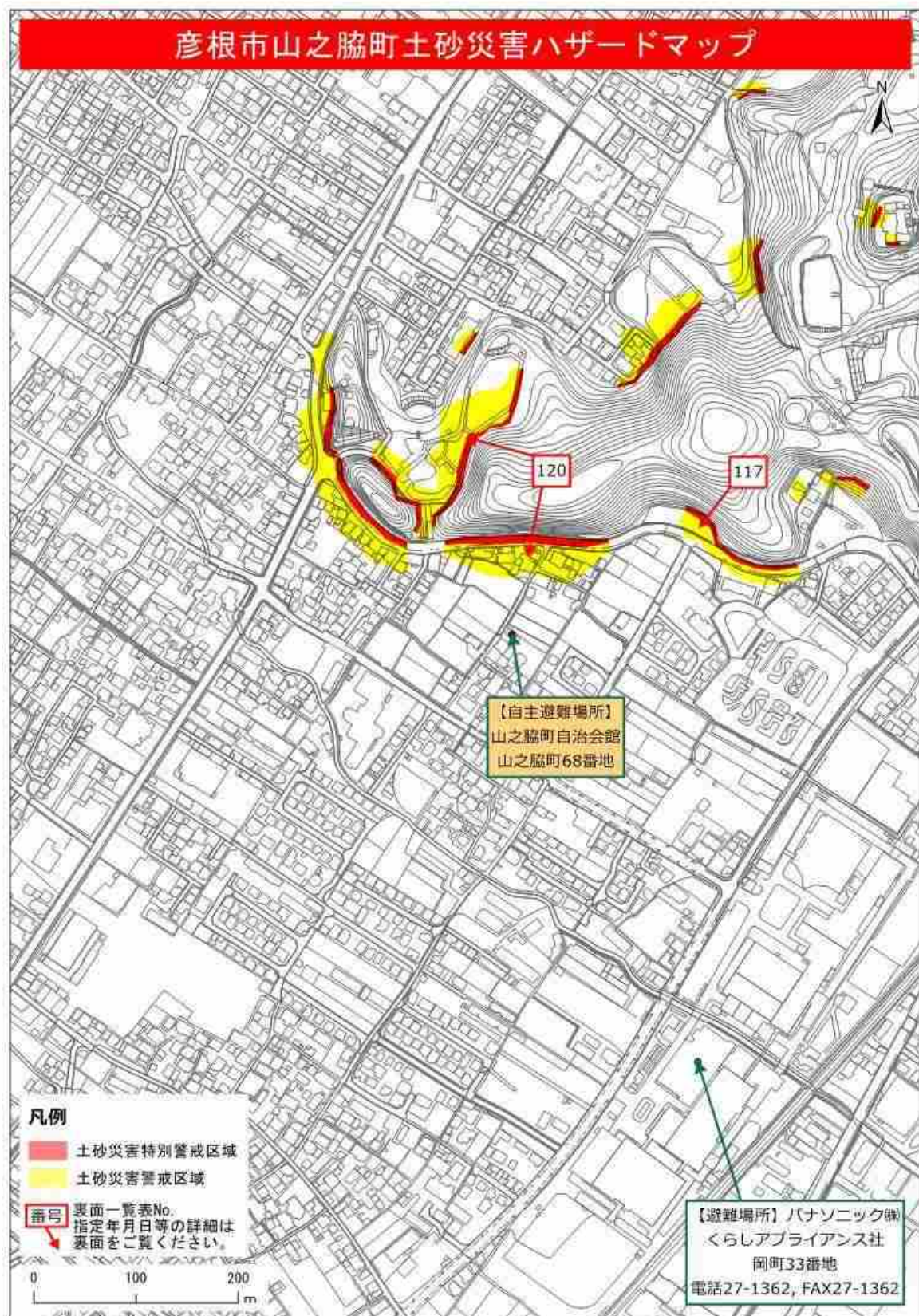
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

㊦ 平田町



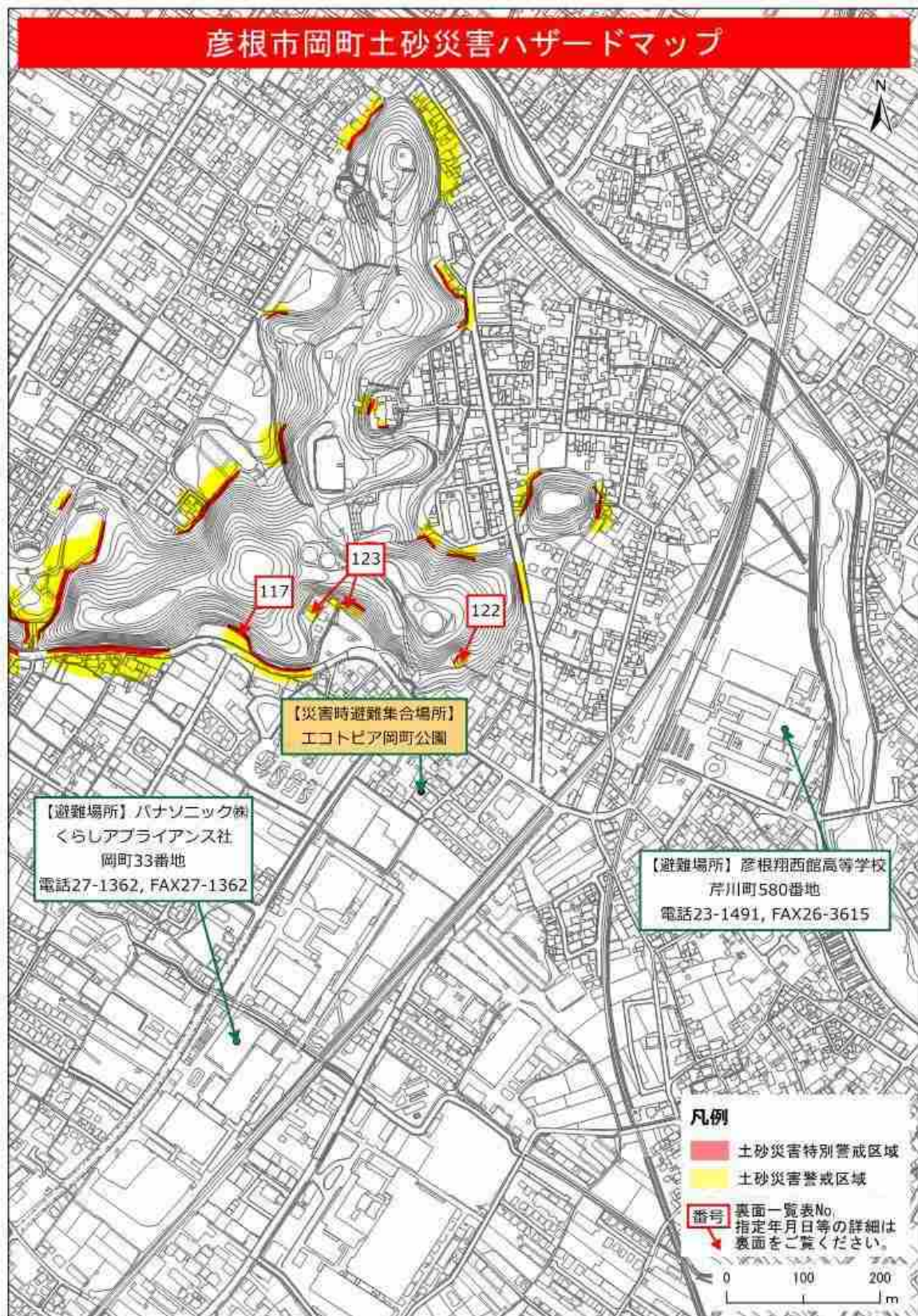
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

㊸ 山之脇町



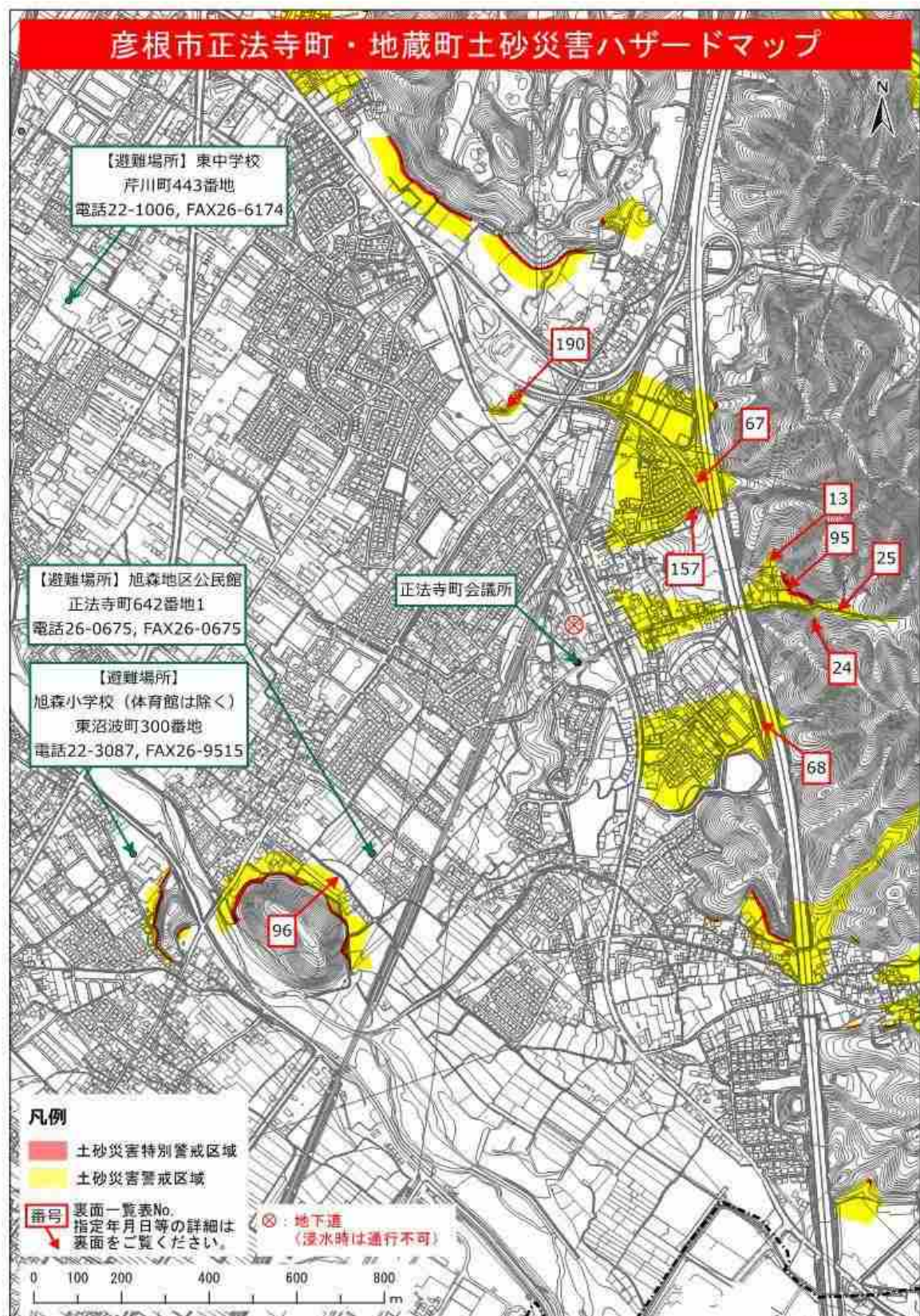
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

②9 岡町



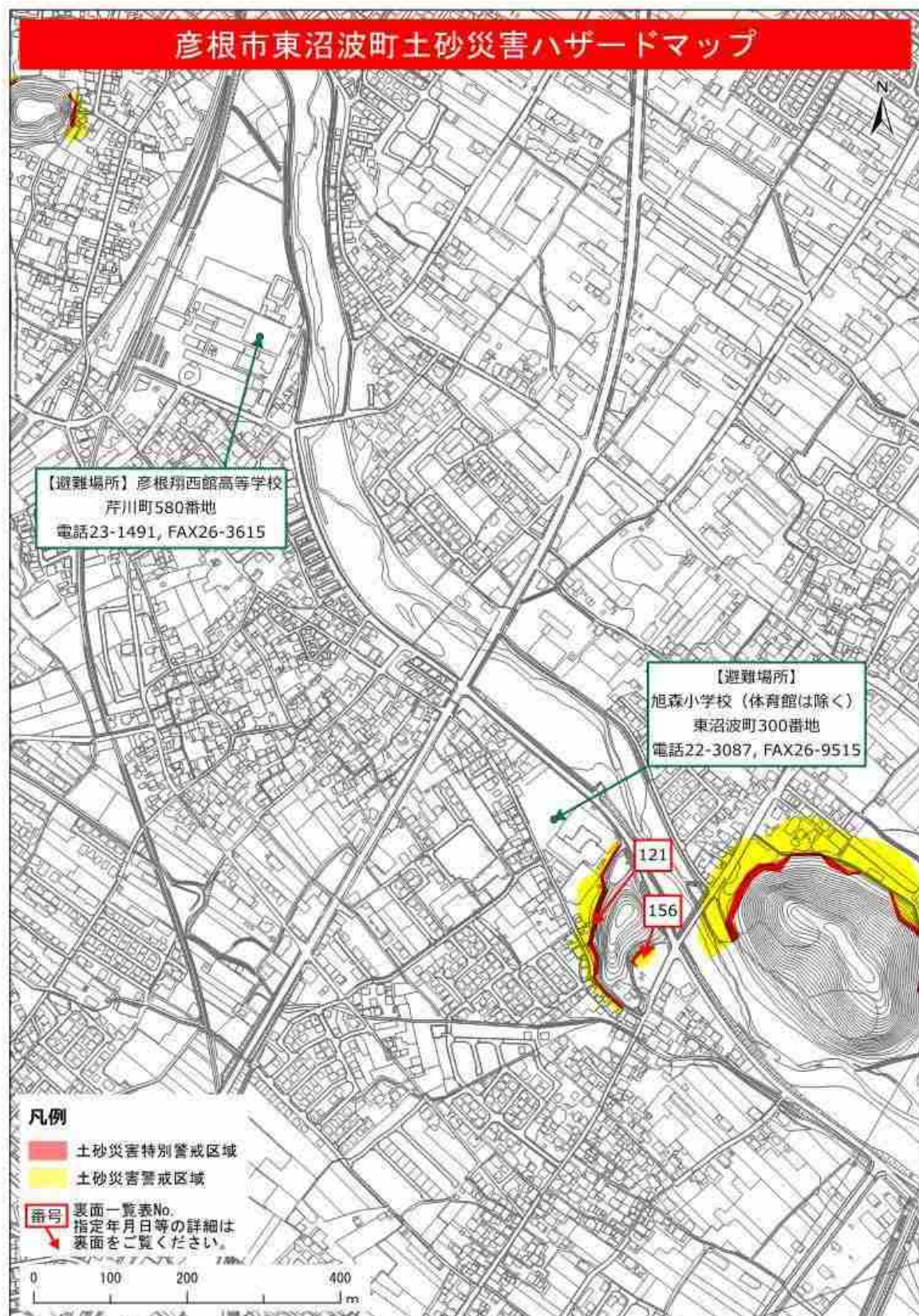
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

③〇 正法寺町・地藏町



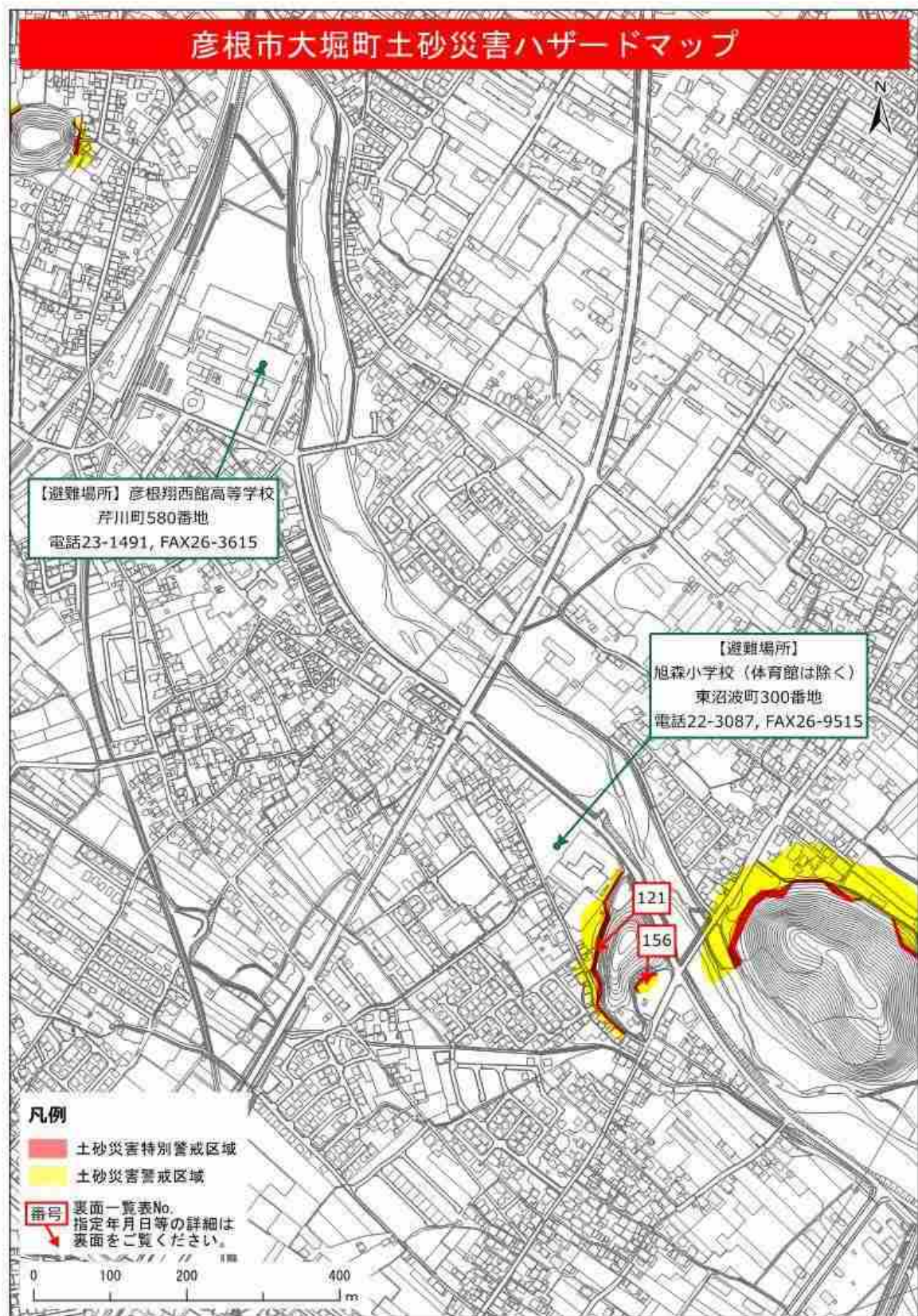
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

㊦ 東沼波町



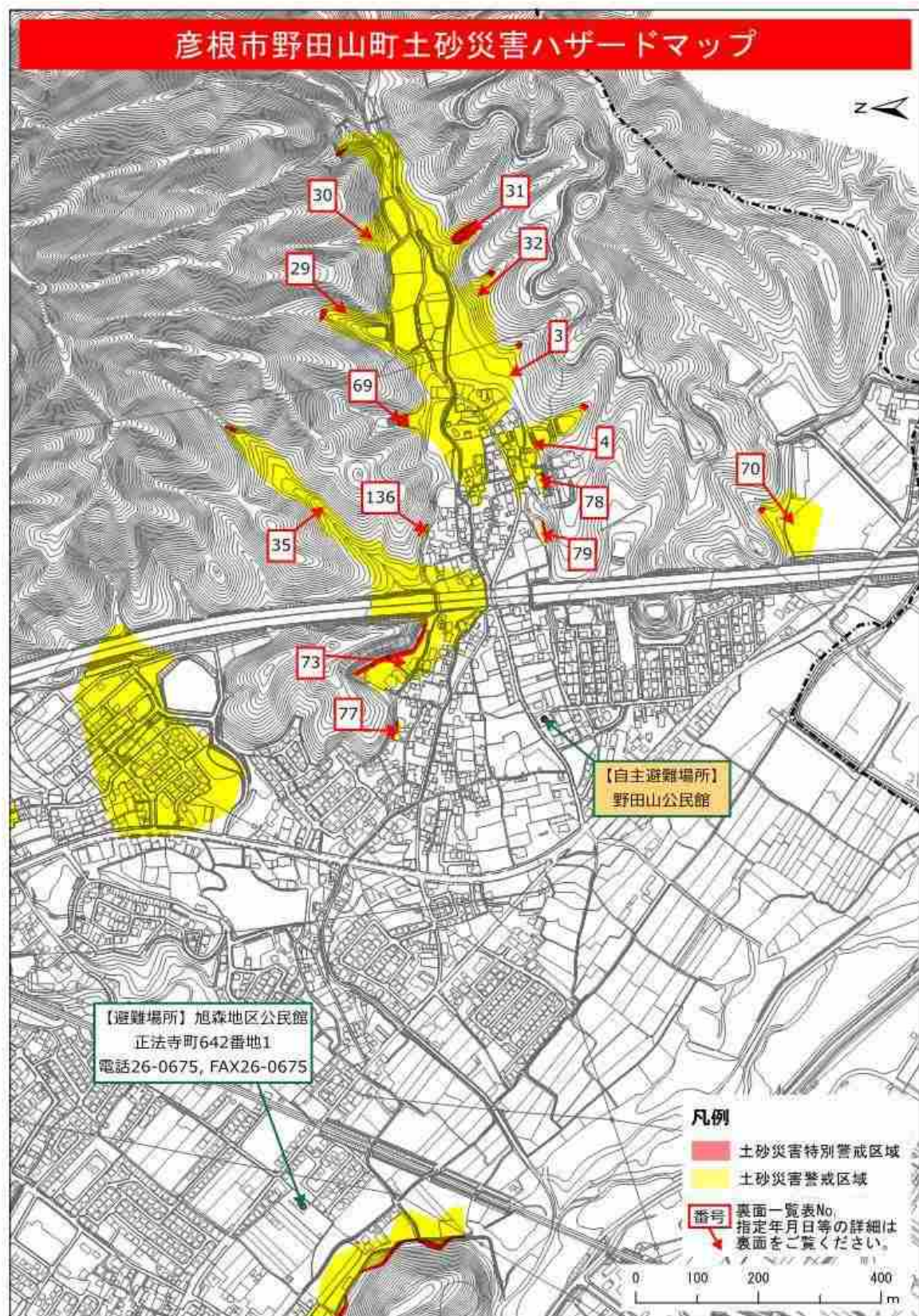
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

③ 大堀町



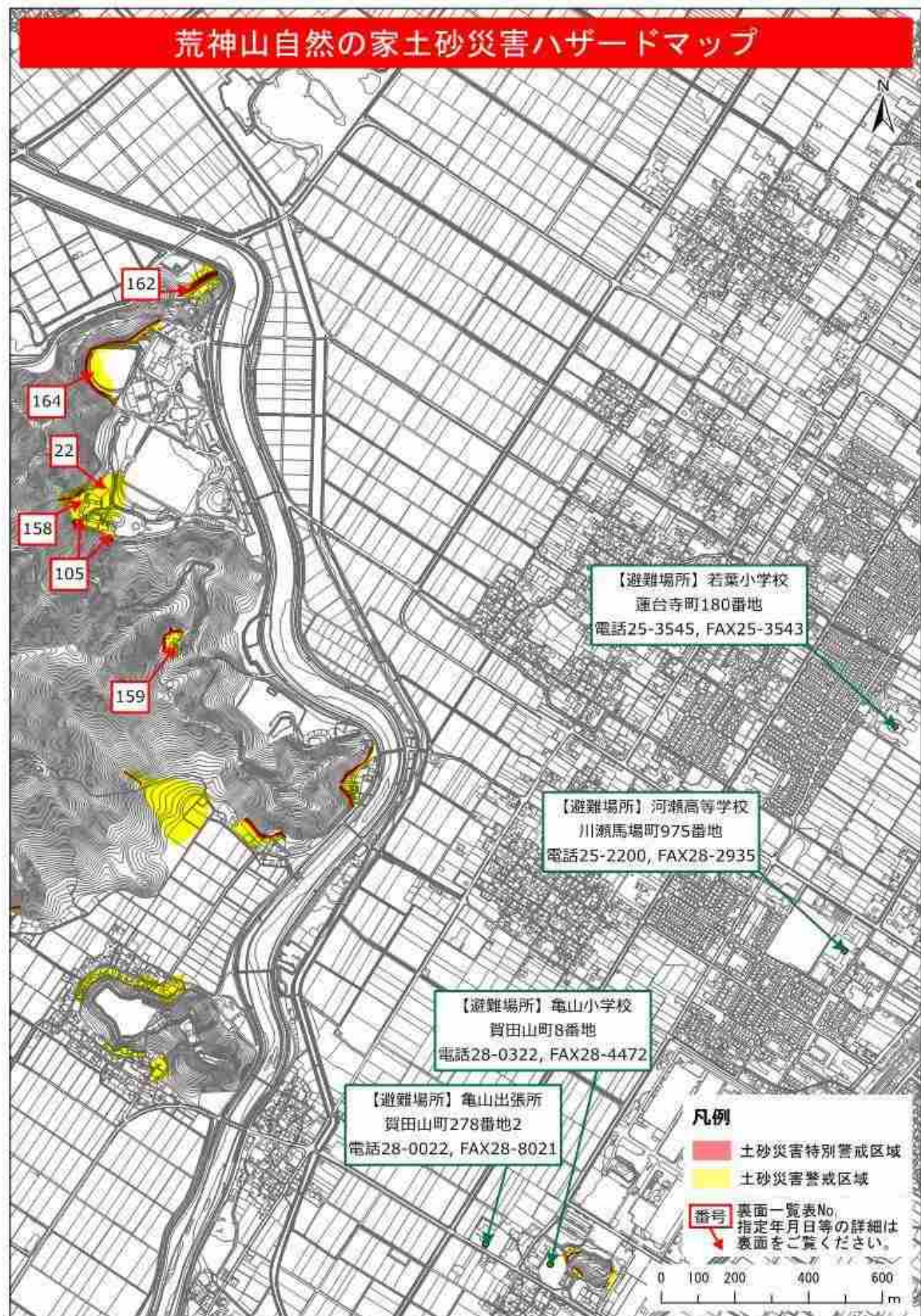
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

③ 野田山町



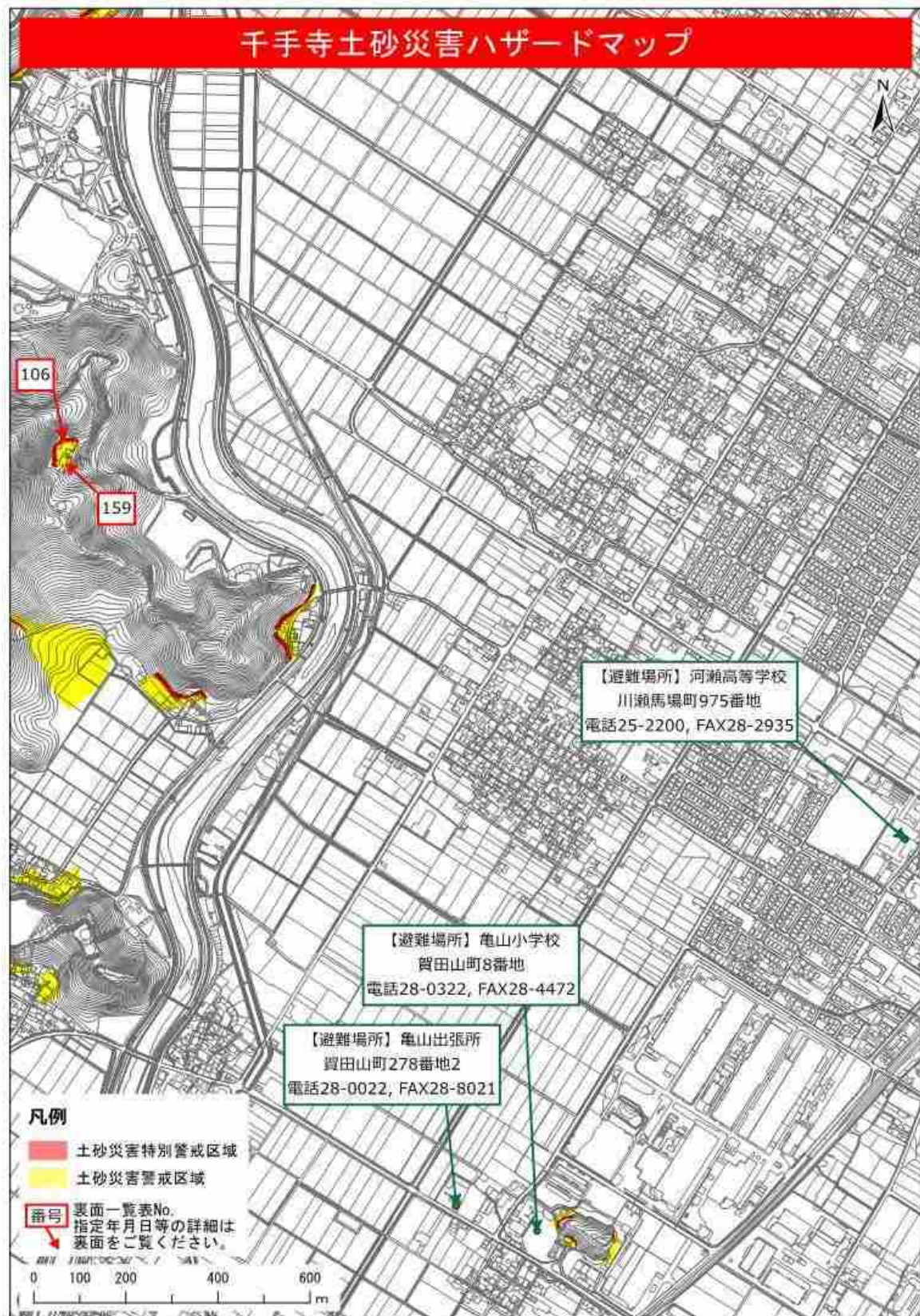
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

③4 荒神山自然の家



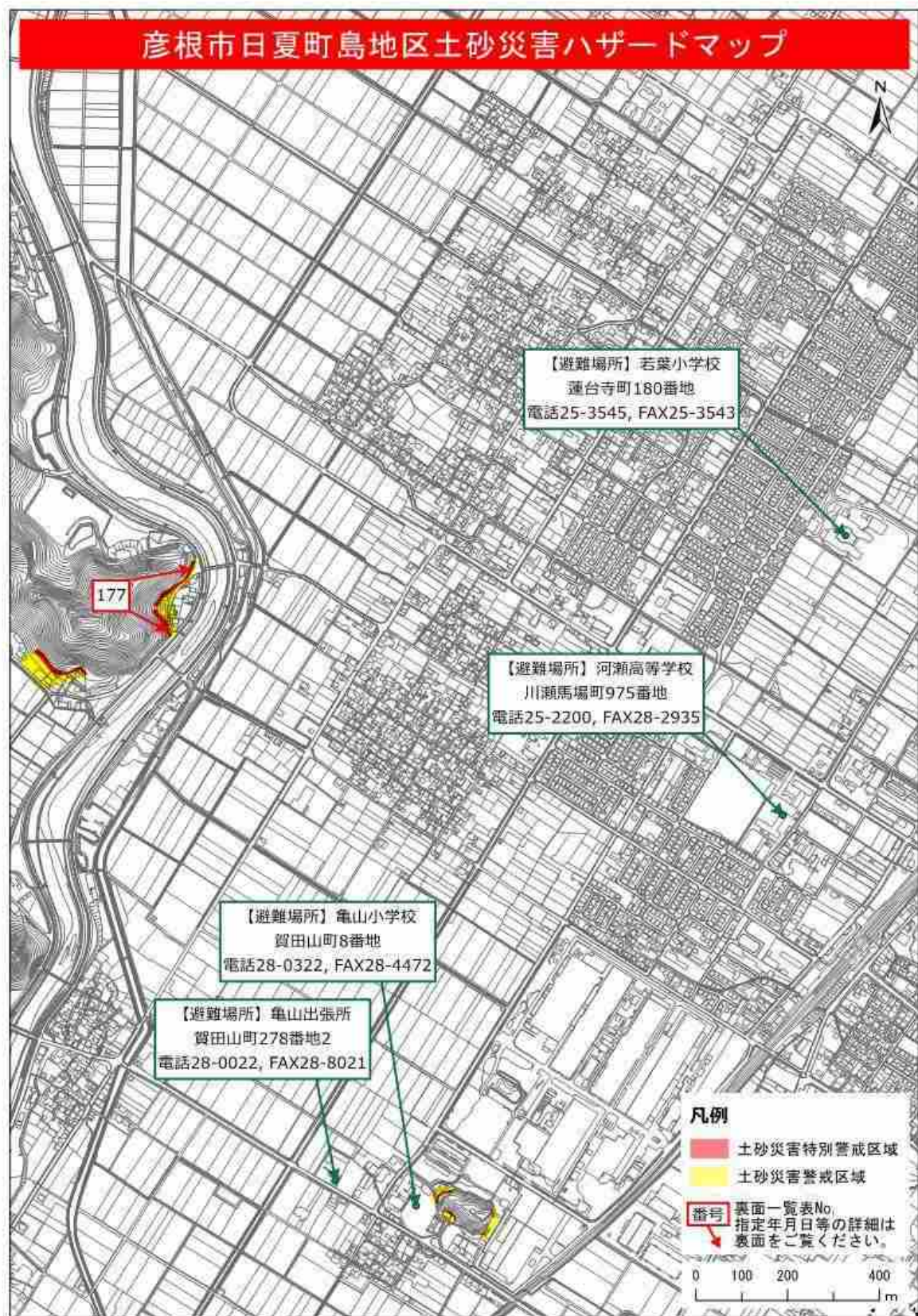
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

㊦ 千手寺



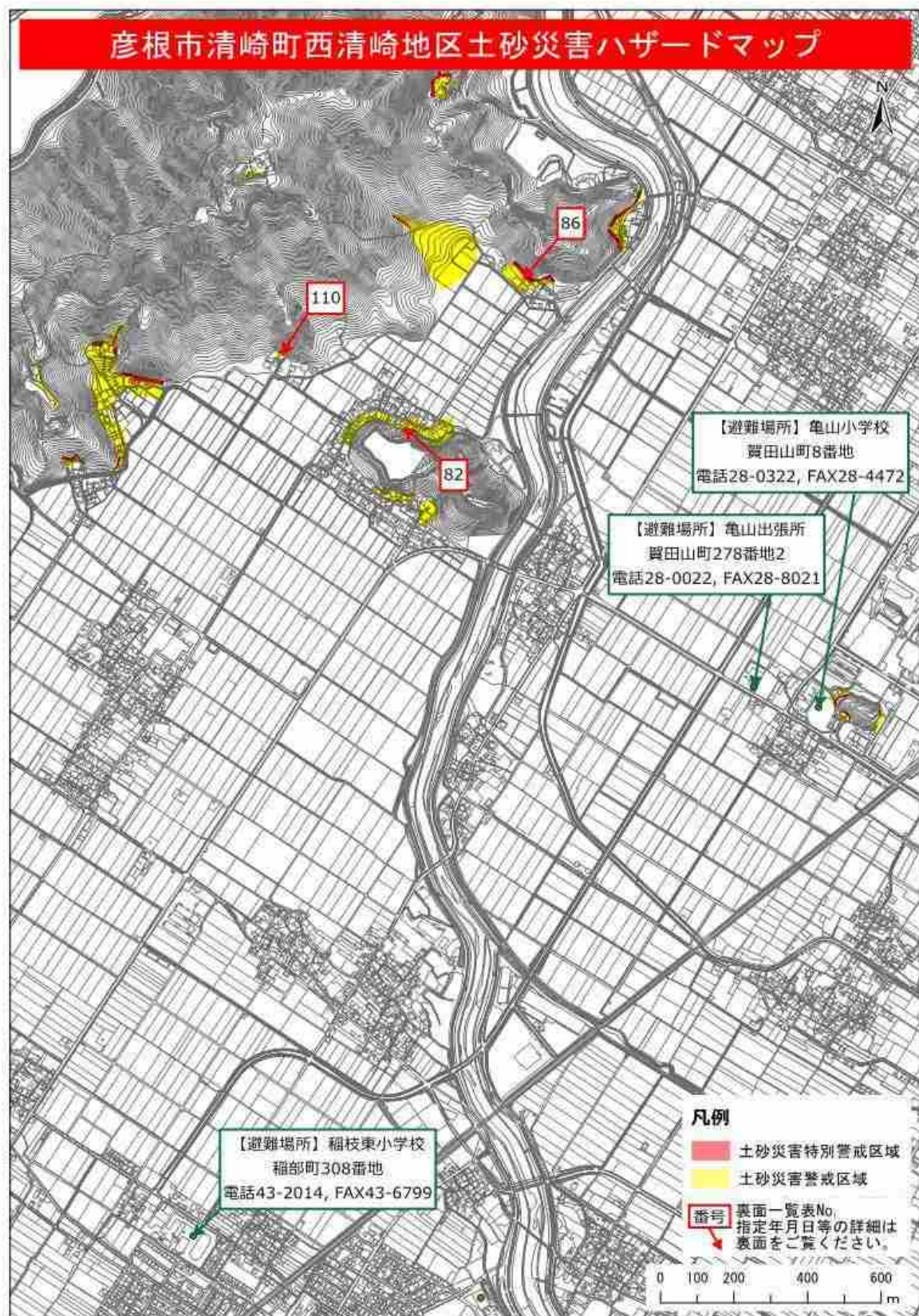
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

㊸ 日夏町島地区



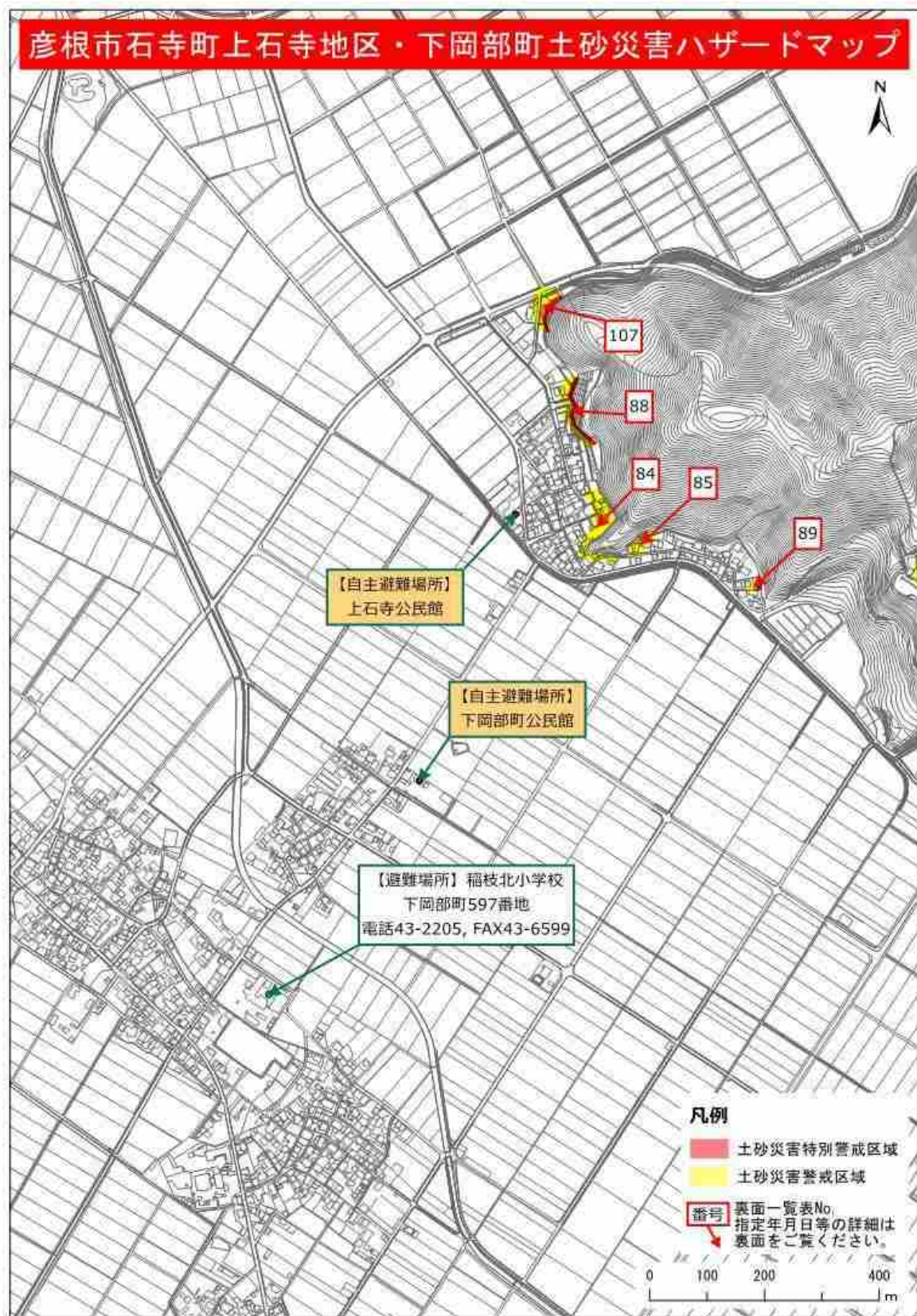
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

③7 清崎町西清崎地区



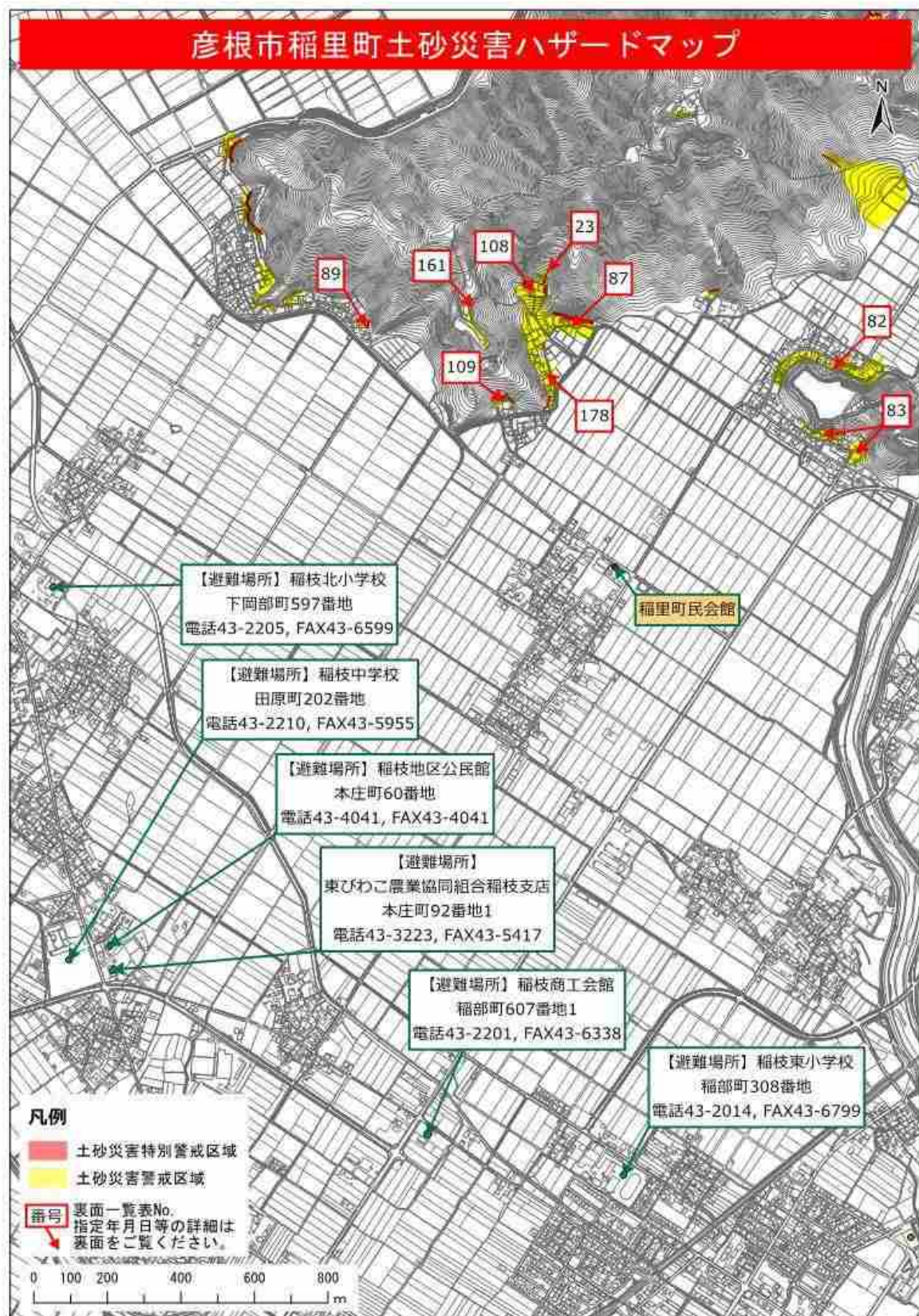
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

㊸ 石寺町上石寺地区・下岡部町



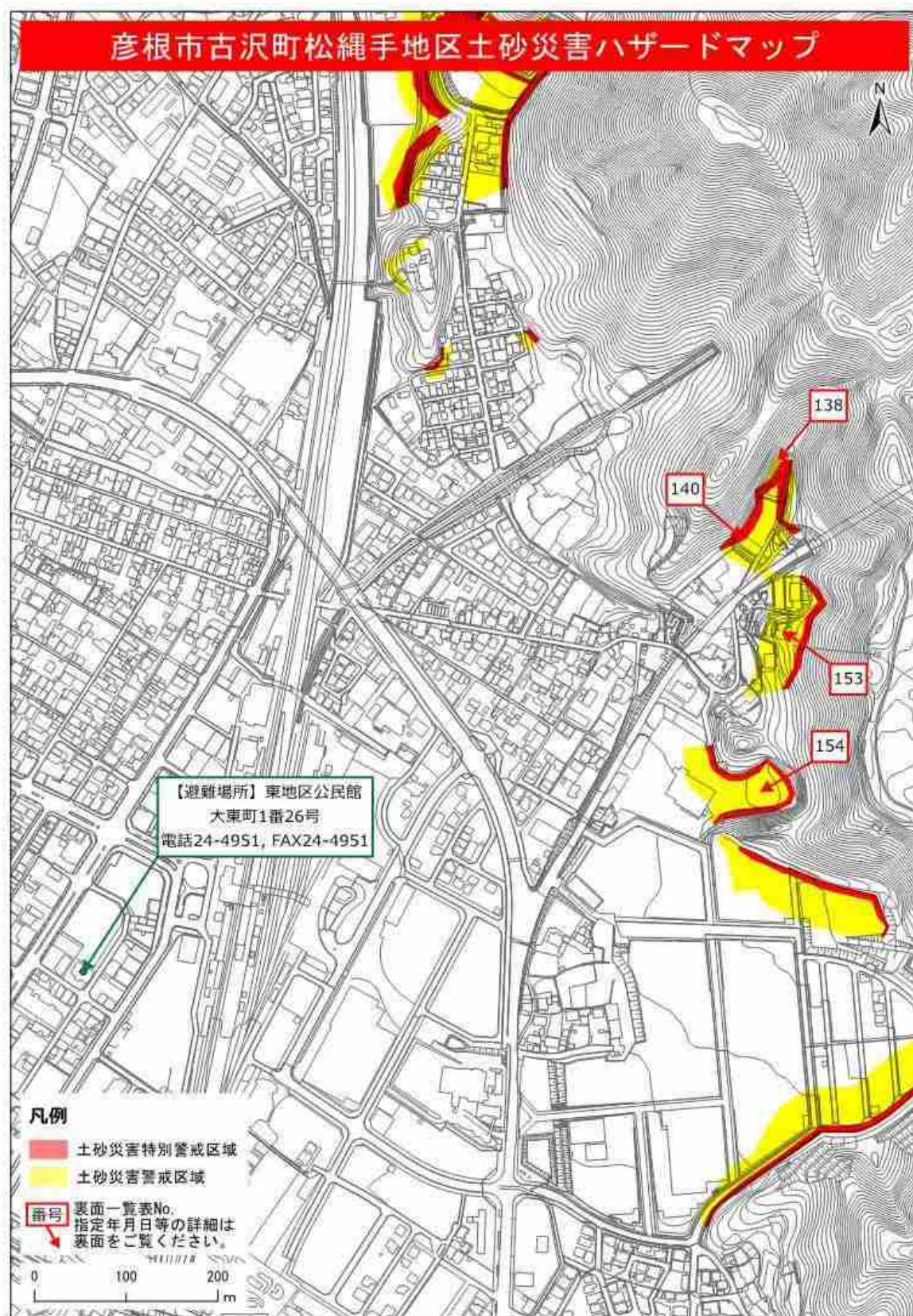
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

③ 稲里町



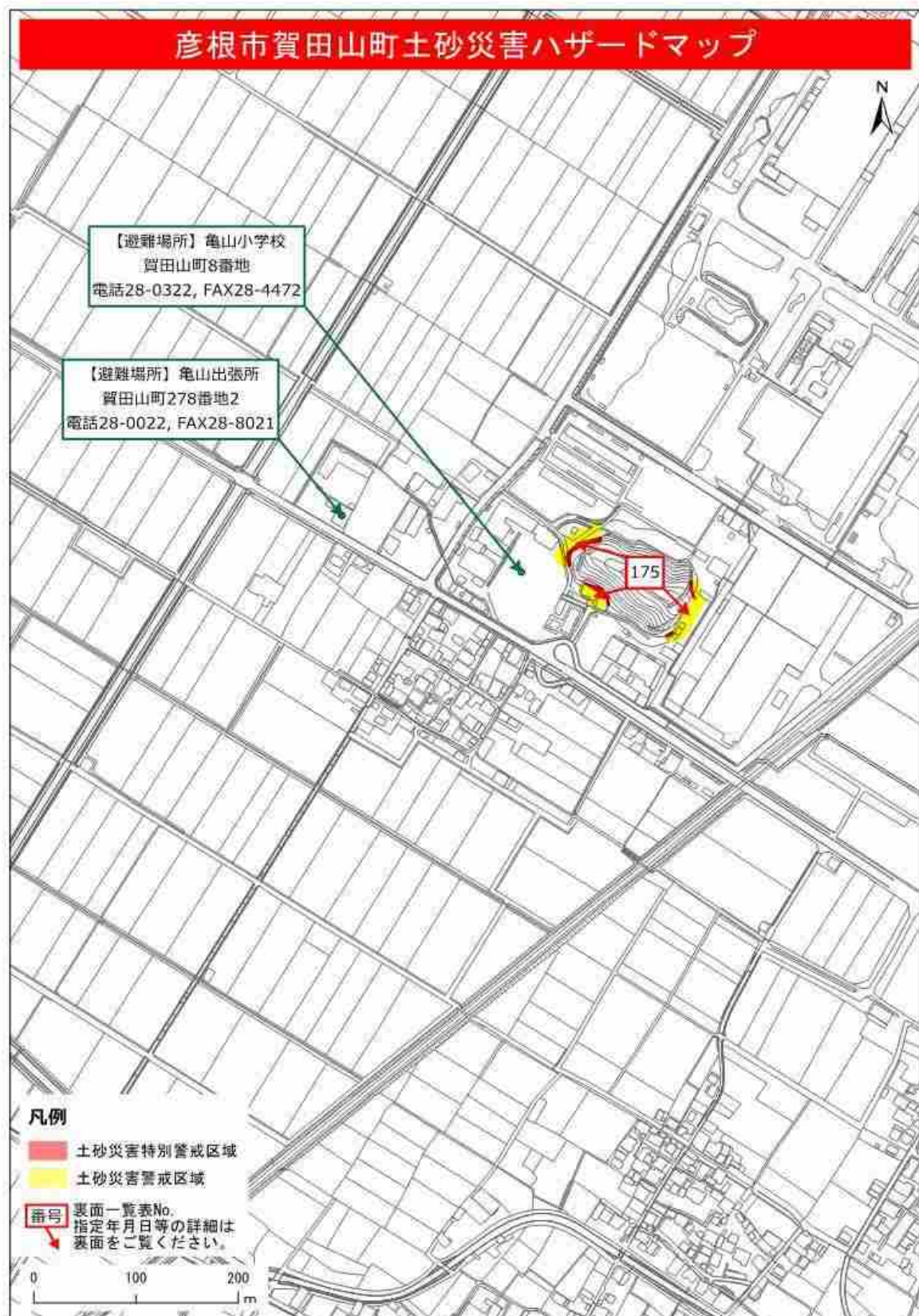
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

④古沢町松縄手



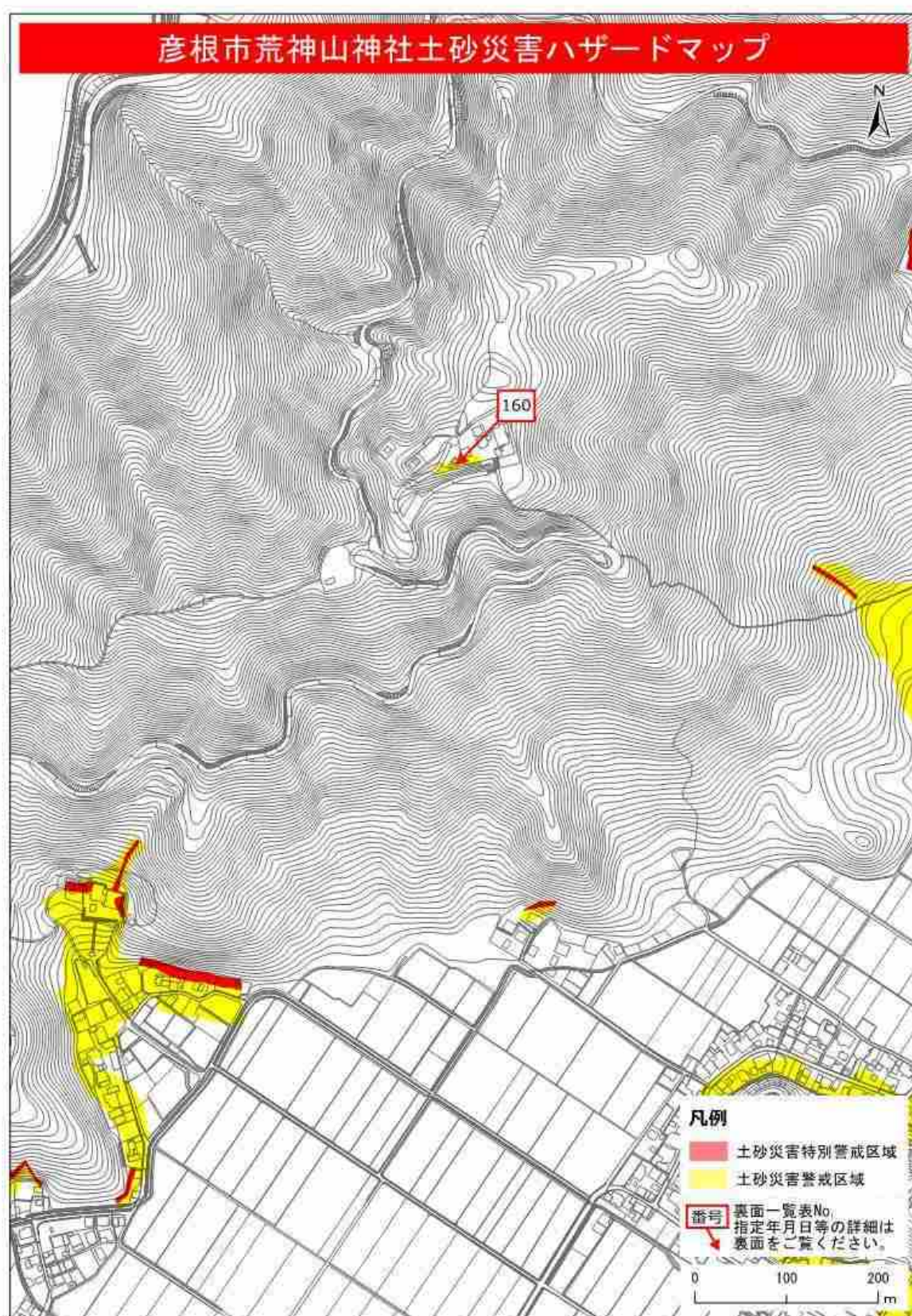
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

④ 賀田山町



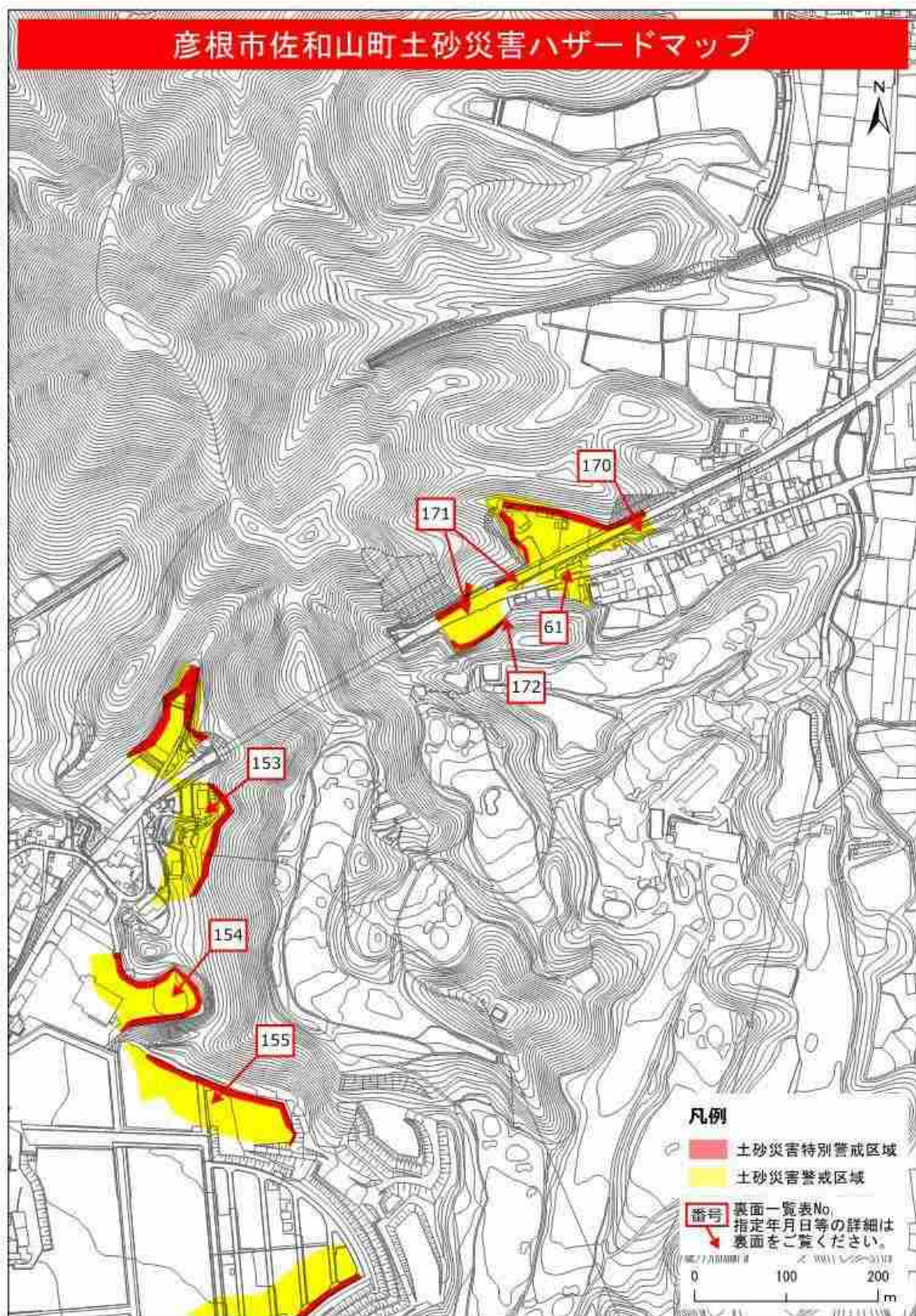
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

⑫ 荒神山神社



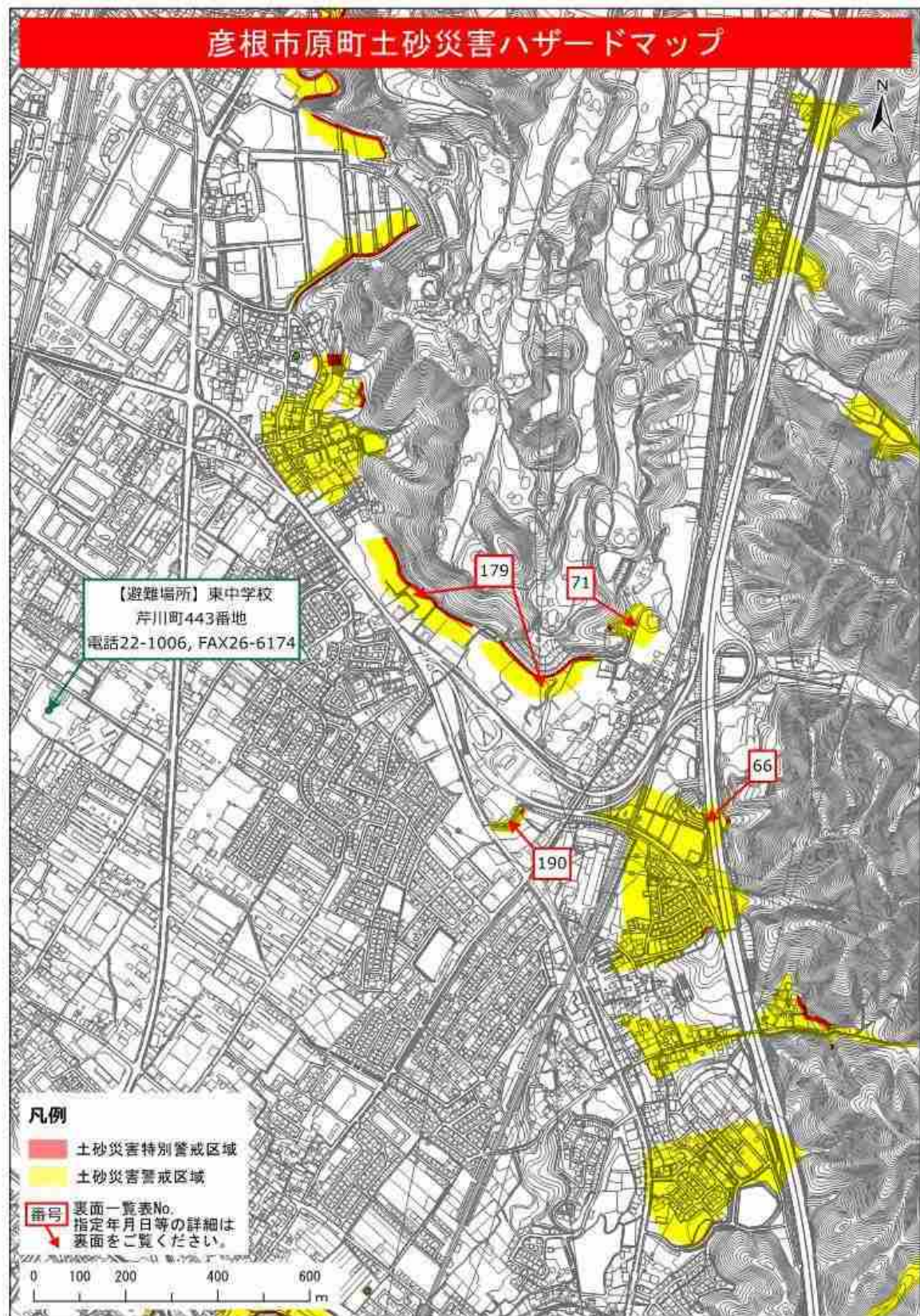
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

④ 佐和山町



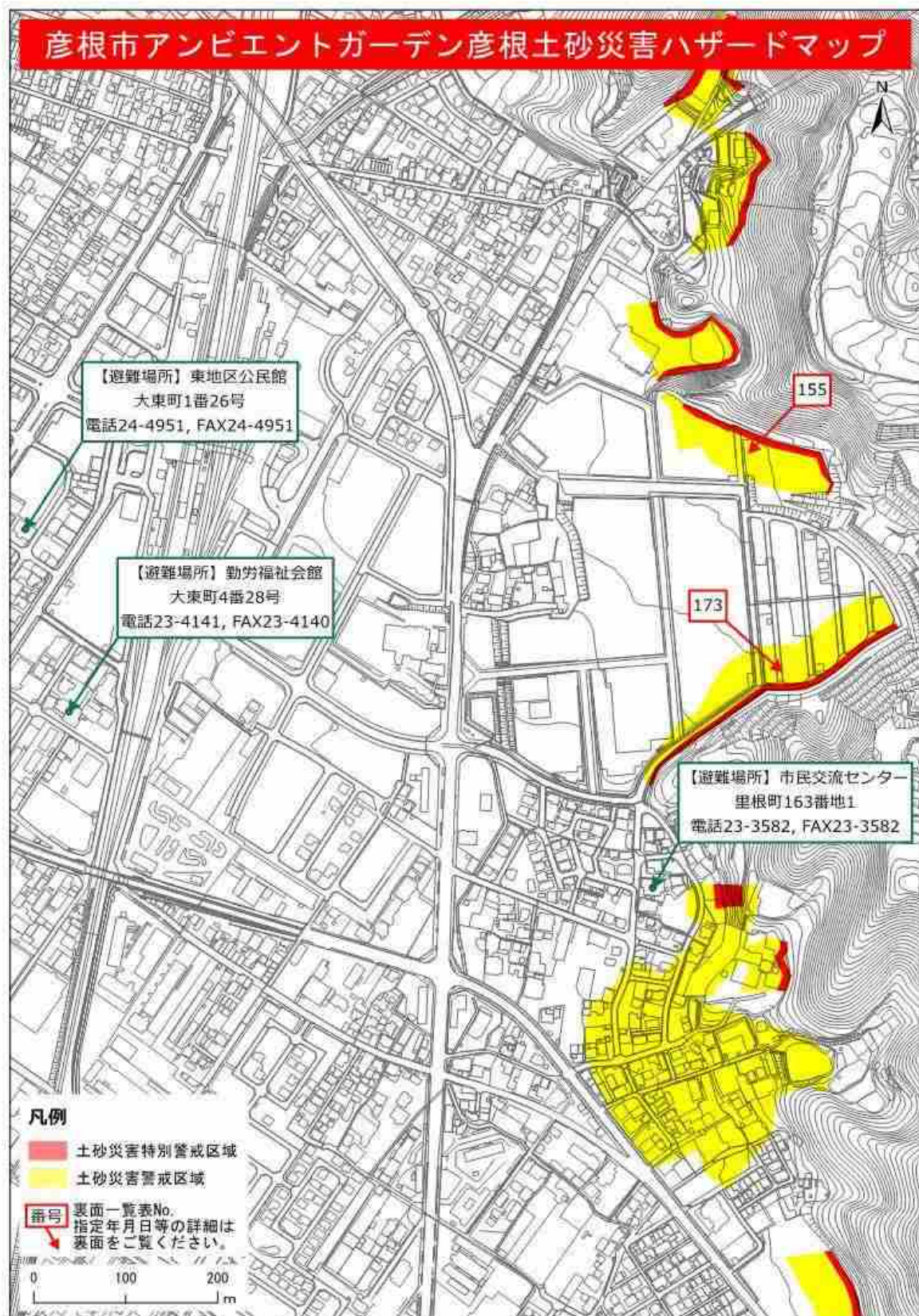
※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

④ 原町



※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

④ アンビエントガーデン彦根



※各区画番号の指定年月日等の詳細は（資料編 p 1-4-22）をご確認ください。

第1部 災害リスクに関する資料
4 土砂災害関係

(7) 土砂災害ハザードマップ付属資料

土砂災害ハザードマップ

付属資料

彦根市

土砂災害ハザードマップの活用方法

- ① 土砂災害ハザードマップを見て自分の家を確認し、土砂災害の可能性を知っておきましょう。
- ② 避難場所を確認しましょう。
 - ・ 万一、家族が離ればなれになった時のために、連絡方法や災害時の集合場所も決めておきましょう。
 - ・ 同じ学区でも町内によって避難場所が異なる地区があるので、注意しましょう。
- ③ 避難場所へ行く経路も調べておきましょう。
 - ・ 避難経路を一度歩いてみて、目標物や危険な場所を調べておきましょう。
 - ・ 家から避難場所までの経路近辺に、土砂災害の危険があることも考えられるますので注意しましょう。
- ④ 避難に関する情報の伝達が、だれからどのように行われるか知って、聞き漏らさないようにしましょう。
- ⑤ 土砂災害時の対応をよく理解して、いざという時に自主的に確実かつ安全に避難できるようにしましょう。

土砂災害の危険性

1 地域の土砂災害危険の把握

台風や大雨で一番被害を受けやすいのは、家屋とその周辺です。自分の家がどんな立地条件にあるかを知り、対策をたてます。

① 自分の家が、どんな立地条件のうえに建っているか確認します。

【例】 急な崖が家の裏にある	⇒	がけ崩れに注意
川に沿った低地	⇒	風と洪水に注意
谷川に沿った地域や出口	⇒	土石流に注意

② 降雨に関する情報が出たら、家の廻りを点検します。

2 土砂災害の種類と前兆現象

自分の家に起こる可能性がある土砂災害の種類を把握し、次のような前兆現象を見つけた場合は、土砂災害が起こる可能性が大きく、直ちに市役所および消防署に連絡するとともに、周りの人と安全な場所に避難します。

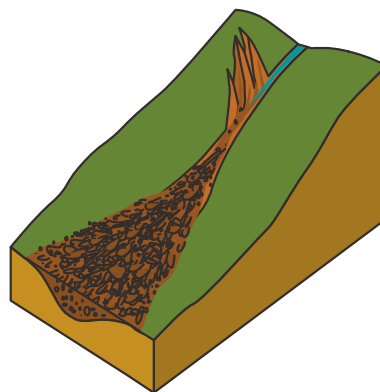
【土石流】

<土石流とは>

多量の岩石や土砂が流水によって運ばれることによって起きます。特に大雨のあとに起きやすく、川底や山腹の斜面の地盤を削って雪だるまのようにふくらみながら高速で下流を襲うので住宅や田畑が壊滅状態になります。

<前兆現象>

- ・ 谷川の水が濁る。流木混ざる。
(上流で山が崩れ、その土砂で水が濁り、立木や流木が巻き込まれている)
- ・ 谷川の水が急に少なくなる。
(上流で山崩れが起こり、一時的に水をせき止めている。次は、一気に流れ出す可能性が高く、極めて危険)
- ・ 遠雷のような音がする。
- ・ 地鳴りや山鳴りがする。
(岩がぶつかったり、木が折れたり、斜面が崩れたときの音がする)
- ・ こげたような異様な臭いがする。
(石と石とが衝突して火花を発生し、こげたような臭いがする)



【がけ崩れ】

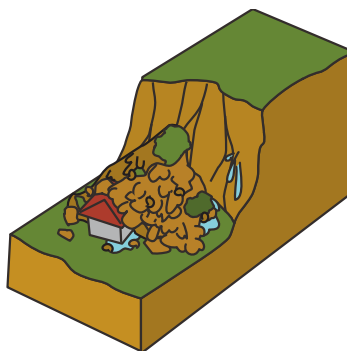
<がけ崩れとは>

大雨が降り続いて地中に水がしみこむと土の抵抗力が弱くなり、更に雨が降り続くことにより急激に斜面が崩れ落ちてしまう現象をいいます。

崩れ落ちるスピードが大変速いために、人家の近くなどで起きるとたくさんの人が逃げ遅れて犠牲者が出ます。

<前兆現象>

- ・ 斜面の途中から水が吹き出す。
(地中の水が新たに水道を作ったか、
普段は流れない水道に水が流れ始めた)
- ・ 小石がぱらぱらと落ちる。
(土の粘着性が弱くなっている。)
- ・ 樹木が倒れたり、揺れたりする。
(がけの上部で、地面が動いている。)
- ・ 地鳴りや山鳴りがする。
(地中や山の奥で山崩れなど異常が発生している。)



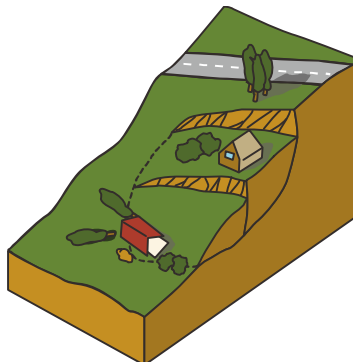
【地すべり】

<地すべりとは>

比較的なだらかな斜面で起きやすく、大雨の降った後などに斜面の一部あるいは全体が、滑りやすい地層などを滑り面にしてゆっくりと滑り落ちる現象です。非常に広い範囲に渡って大きな被害をもたらし、いったん起きると斜面の上の家屋や樹木が倒壊したり田畑が壊滅的な打撃を受けてしまいます。

<前兆現象>

- ・ 地面にひび割れができる。
- ・ 斜面から水がふきだす。
- ・ 沢や井戸の水がにごる。
- ・ 樹木が倒れたり、揺れたりする。
- ・ 地鳴りや山鳴りがする。



避難情報の種類と、とるべき行動

避難情報の種類	発令時の状況	みなさんがとるべき行動
高齢者等避難	要配慮者等、特に避難行動に時間を要する方が避難行動を開始しなければならない状況であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況	・要配慮者等、特に避難行動に時間を要する方は、計画された避難場所への避難行動を開始（避難支援者は支援行動を開始） ・上記以外の方は、家族との連絡、非常用持ち出し品の用意等、避難準備を開始。
避難指示	通常の避難行動ができる方が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況	通常の避難行動ができる方は、計画された避難場所への避難行動を開始。
緊急安全確保	・前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況 ・堤防の隣接地等、地域の特性等から人的被害の発生する危険性が高いと判断された状況 ・人的被害の発生した状況	・避難情報等の発令後で避難中の住民は、確実な避難行動を直ちに完了 ・未だ避難していない対象住民は、直ちに避難行動に移るとともに、そのいとまがない場合は生命を守る最低限の行動

非常持ち出し品を備えましょう

- ☐非常食・飲料水（3日分）
 ☐携帯ラジオ（電池）
 ☐懐中電灯
☐貴重品（現金・保険証）
 ☐救急医療品
 ☐衣服・タオル
☐雨具・ロープ
 ☐生理用品等
 ☐スペアキー
☐その他必要な物

要配慮者への協力

- 高齢者・病気の人には・・・
複数の人で対応しましょう。急を要するときは、おぶいひもなどを使って背負い、安全な場所へ避難しましょう。
- 目の不自由な人には・・・
「お手伝いしましょうか」などと、まず声をかけましょう。話しかける相手の声が頼りなので、話すときは、はっきりゆっくり、大きな声で、誘導するときは、杖を持っていない方のひじの上のあたりを軽く触れるか、腕をかして、半歩前くらいをゆっくり歩きましょう。
- 体の不自由な人には・・・
それぞれの人に適した誘導方法を確認しましょう。車椅子の場合は、必ず3人で協力し、上がるときは前向きに、下がる時は後ろ向きにして、恐怖感を与えないように配慮しましょう。
- 耳の不自由な人には・・・
話すときは、近くまで寄って相手にまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かしましょう。
口頭で伝わりにくいようであれば、紙とペンで筆談をしましょう。
紙やペンがなければ、相手の手のひらに指で字を書いて筆談しましょう。

災害情報の入手手段

複数の手段で情報入手できるよう準備しましょう

(各手段で配信する内容は基本的に同じですが、電波状況などで届かない場合に備えましょう)

○ 彦根市メール配信システム

あらかじめ登録していただいている方にメールで情報を配信しています(多言語配信もあります。)

○ ダイヤルサービス

050-5533-8171に電話することで、災害情報等に関するメール配信の内容や同報系屋外放送設備での放送内容を自動応答で確認できます。

○ 同報系屋外放送設備(防災スピーカー) ※聞こえづらい場合は他の手段で内容を確認してください。

屋外に設置したスピーカーを使用して、避難情報や緊急情報などを放送します。

○ 彦根市民防災マニュアル ※市内全戸へ配布した黄色の冊子

災害に備えてのマニュアルです。市内の避難場所の確認もできます。

○ 彦根市災害用X(旧 Twitter)(彦根市防災@bousai_hikone)

災害時には、市内の被害状況や避難施設情報をつぶやきます。

○ 彦根市ホームページ(緊急情報)(<https://www.city.hikone.lg.jp/>)

「彦根市緊急情報」を表示し、避難情報などの緊急情報を知らせます。

○ アプリ「彦根市 LINE 公式アカウント」

防災情報のほか、各種イベントや新型コロナウイルス感染症情報などを掲載しています。

○ ラジオ エフエムひこね(78.2MHz)

災害時には、市内の被害情報や、避難施設情報を発信しています。

○ アプリ「Yahoo!防災速報」「全国避難所ガイド」

市の避難情報や気象情報等、様々な防災情報を確認できます。

○ NTTドコモ「エリアメール」ソフトバンク・KDDI・楽天モバイル「緊急速報メール」

避難情報などを配信します。基本的に設定なしで対象端末を持つ方に強制的に配信されます。

彦根市メール配信システムをご利用ください

—安心・安全情報をメールで配信します—

彦根市では、災害情報、防犯情報、火災情報を、いち早く市民の皆さんの「携帯電話」や「パソコン」にメール配信するサービス(登録無料)を提供しています。

※一部の情報を除き、登録された方が配信情報を選択することが可能です。

1 利用方法

◆ ① 空メールを送信してください

メールの配信を希望される人は、ご自分の携帯電話やパソコンから次のメールアドレスに空メールを送信してください。

アドレス・・・touroku@hikone-city.jp

※二次元コード読み取り機能があれば、右のQRからもアクセスできます。

◆ ② 登録用のメールが返信されますので、記載してあるURLから登録画面に進んでください

配信希望を登録するためのURL入りのメール(配信元アドレス:jouhou@hikone-city.jp)にアクセス(接続)してください。



日本語



English



Português



中文



한국어



Tiếng Việt

5 地震関係

(1) Jアラートシステム設置施設一覧

(令和8年4月1日現在)

施設名	所在地	施設名	所在地
城東小学校	京町二丁目	医療情報センター	八坂町
城西小学校	本町三丁目	稲枝西小学校	本庄町
金城小学校	大藪町	西中学校	金亀町
城北小学校	松原町	中央中学校	西今町
佐和山小学校	安清町	東中学校	芹川町
旭森小学校	東沼波町	鳥居本中学校	鳥居本町
平田小学校	平田町	南中学校	甘呂町
城南小学校	西今町	彦根中学校	西葛籠町
城陽小学校	甘呂町	稲枝中学校	田原町
若葉小学校	蓮台寺町	彦根幼稚園	本町一丁目
鳥居本小学校	鳥居本町	高宮幼稚園	高宮町
高宮小学校	高宮町	平田こども園	平田町
河瀬小学校	極楽寺町	稲枝東幼稚園	稲部町
亀山小学校	賀田山町	旭森幼稚園	東沼波町
稲枝東小学校	稲部町	城北幼稚園	松原町
佐和山幼稚園	芹川町	市民交流センター	里根町
城陽幼稚園	日夏町	福祉センター	平田町
東保育園	安清町	ひこね市文化プラザ	野瀬町
西保育園	長曽根町	高宮地域文化センター(出張所含む)	高宮町
ふたば保育園	金剛寺町	みずほ文化センター	田原町
子どもセンター	日夏町	人権・福祉交流館	犬方町
発達支援センター	平田町	亀山出張所	賀田山町
東地区公民館	大東町	市役所(別館含む)	元町
西地区公民館	本町一丁目	図書館	尾末町
稲枝地区公民館	本庄町	障害者福祉センター	平田町
旭森地区公民館	正法寺町	グリーンピアひこね	清崎町
鳥居本地区公民館(出張所含む)	鳥居本町	彦根城博物館	金亀町
河瀬地区公民館(出張所含む)	森堂町	清掃センター	野瀬町
中地区公民館	大藪町	消防本部他3施設 注4)	西今町
市役所中央町別館	中央町	稲枝支所	田原町
くすのきセンター	八坂町	南地区公民館	甘呂町
		彦根市スポーツ・文化交流センター	小泉町

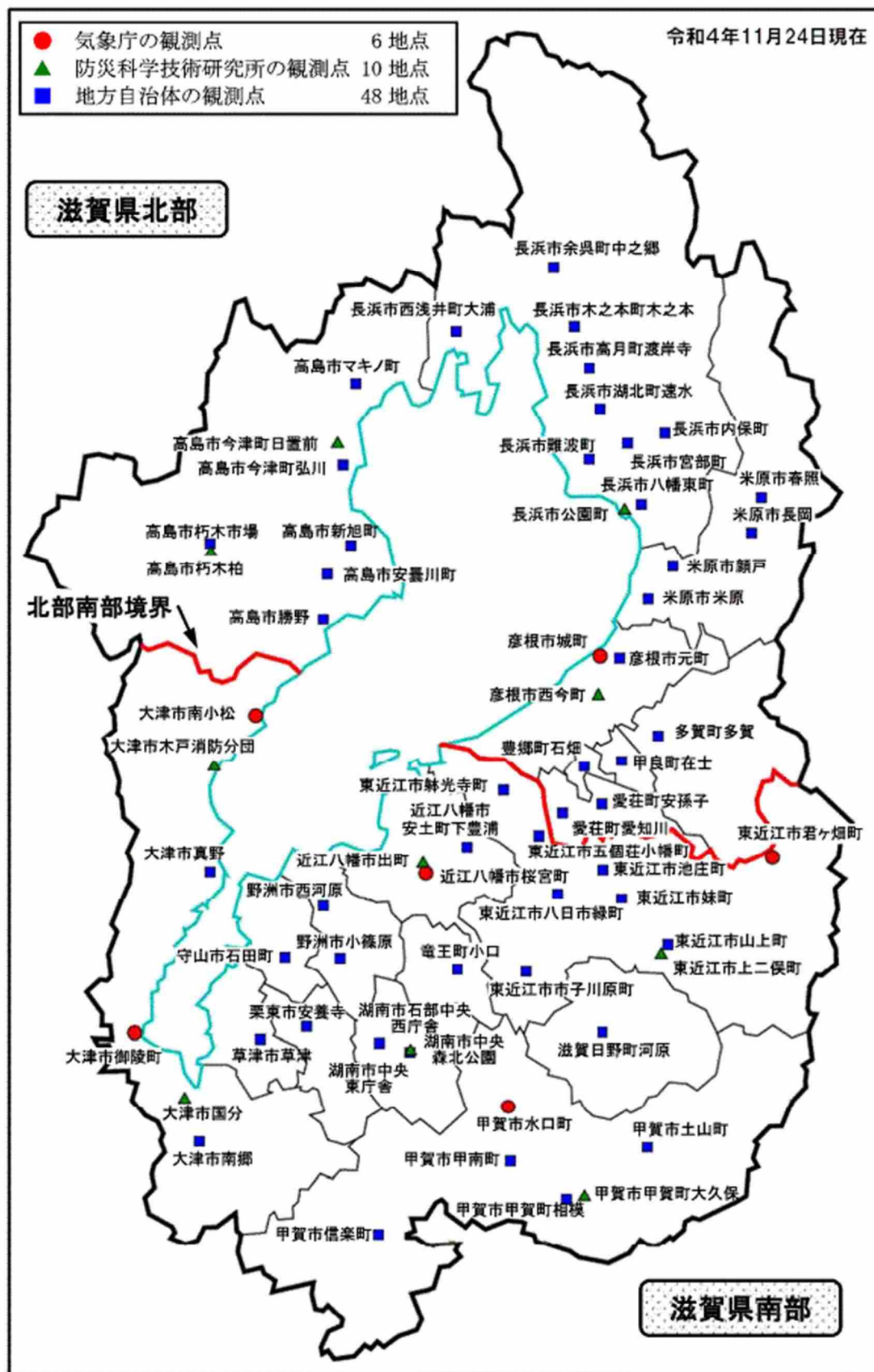
注1) Jアラートシステムは、彦根市の公的施設をカバーしている光回線網を構築している施設の館内放送設備を利用して緊急地震速報を伝達する。なお、今後は、回線を構築できた施設に対して整備を図るものとする。

2) 放送内容「(警報音) 緊急地震速報 大地震です。大地震です。」と地震が到達するまで繰り返し放送。警報音(チャイム音)は、NHKで採用されているものと同一のものを利用。

3) 放送された速報が誤報であった場合は、「ただいまの地震は誤報でした」と放送

4) 消防本部他3施設(消防北分署、消防南分署、消防犬上分署)

(2) 滋賀県の観測点配置図



(3) 気象庁震度階級関連解説表

使用にあたっての留意事項

- ア 気象庁が発表している震度は、原則として地表や低層建物の一階に設置した震度計による観測値です。この資料は、ある震度が観測された場合、その周辺で実際にどのような現象や被害が発生するかを示すもので、それぞれの震度に記述される現象から震度が決定されるものではありません。
- イ 地震動は、地盤や地形に大きく影響されます。震度は震度計が置かれている地点での観測値であり、同じ市町村であっても場所によって震度が異なることがあります。また、中高層建物の上層階では一般に地表より揺れが強くなるなど、同じ建物の中でも、階や場所によって揺れの強さが異なります。
- ウ 震度が同じであっても、地震動の振幅（揺れの大きさ）、周期（揺れが繰り返す時の1回あたりの時間の長さ）及び継続時間などの違いや、対象となる建物や構造物の状態、地盤の状況により被害は異なります。
- エ この資料では、ある震度が観測された際に発生する被害の中で、比較的多く見られるものを記述しており、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。また、それぞれの震度階級で示されている全ての現象が発生するわけではありません。
- オ この資料は、主に近年発生した被害地震の事例から作成したものです。今後、5年程度で定期的に内容を点検し、新たな事例が得られたり、建物・構造物の耐震性の向上等によって実状と合わなくなった場合には変更します。
- カ この資料では、被害などの量を概数で表せない場合に、一応の目安として、次の副詞・形容詞を用いています。

用語	意味
まれに わずか 大半 ほとんど	極めて少ない。めったにない。 数量・程度が非常に少ない。ほんの少し。 半分以上。ほとんどよりは少ない。 全部ではないが、全部に近い。
が(も)ある、 が(も)いる	当該震度階級に特徴的に現れ始めることを表し、量的には多くはないがその数量・程度の概数を表現できかねる場合に使用。
多くなる	量的に表現できかねるが、下位の階級より多くなることを表す。
さらに多くなる	上記の「多くなる」と同じ意味。下位の階級で上記の「多くなる」が使われている場合に使用。

※ 気象庁では、アンケート調査などにより得られた震度を公表することがありますが、これらは「震度〇相当」と表現して、震度計の観測から得られる震度と区別しています。

第1部 災害リスクに関する資料

5 地震関係

(ア) 人の体感・行動、屋内の状況、屋外の状況

震度階級	人の体感・行動	屋内の状況	屋外の状況
0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。	—	—
1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	—	—
2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。	—
3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる。眠っている人の大半が、目を覚ます。	棚にある食器類が音を立てることがある。	電線が少し揺れる。
4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。
5 弱	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。道路に被害が生じることがある。
5 強	大半の人が、物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちるものが増える。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されてないブロック塀が崩れることがある。据え付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。
6 弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
6 強	立っていることができず、はわないと動くことができない。 揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が増える。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7		固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに増える。補強されているブロック塀も破損するものがある。

(イ) 木造建物（住宅）の状況

震度 階級	木造建物(住宅)	
	耐震性が高い	耐震性が低い
5 弱	—	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。
5 強	—	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。
6 弱	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。 壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。 瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
6 強	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るものが多くなる。 傾くものや、倒れるものが多くなる。
7	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。 まれに傾くことがある。	傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。

(注 1) 木造建物（住宅）の耐震性により 2 つに区分けした。耐震性は、建築年代の新しいものほど高い傾向があり、概ね昭和 56 年（1981 年）以前は耐震性が低く、昭和 57 年（1982 年）以降には耐震性が高い傾向がある。しかし、構法の違いや壁の配置などにより耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。

(注 2) この表における壁の木造のひび割れ、亀裂、損壊は、土壁（割り竹下地）、モルタル仕上壁（ラス、金網下地を含む）を想定している。下地の弱い壁は、建物の変形が少ない状況でも、モルタル等が剥離し、落下しやすくなる。

(注 3) 木造建物の被害は、地震の際の地震動の周期や継続時間によって異なる。平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震のように、震度に比べ建物被害が少ない事例もある。

(ウ) 鉄筋コンクリート造建物の状況

震度 階級	鉄筋コンクリート造建物	
	耐震性が高い	耐震性が低い
5 強	—	壁、梁(はり)、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。
6 弱	壁、梁(はり)、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。	壁、梁(はり)、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。
6 強	壁、梁(はり)、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。	壁、梁(はり)、柱などの部材に、斜めや X 状のひび割れ・亀裂がみられることがある。 1 階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものがある。
7	壁、梁(はり)、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂がさらに多くなる。 1 階あるいは中間階が変形し、まれに傾くものがある。	壁、梁(はり)、柱などの部材に、斜めや X 状のひび割れ・亀裂が多くなる。 1 階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものが多くなる。

(注 1) 鉄筋コンクリート造建物では、建物年代の新しいものほど耐震性が高い傾向があり、概ね昭和 56 年（1981 年）以前は耐震性が低く、昭和 57 年（1982 年）以降は耐震性が高い傾向がある。しかし、構造形式や平面的、立面的な耐震壁の配置により耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。

(注 2) 鉄筋コンクリート造建物は、建物の主体構造に影響を受けていない場合でも、軽微なひび割れがみられることがある。

第1部 災害リスクに関する資料

5 地震関係

(エ) 地盤・斜面等の状況

震度 階級	地盤の状況	斜面などの状況
5 弱	亀裂(※1)や液状化(※2)が生じることがある。	落石やがけ崩れが発生することがある。
5 強		
6 弱	地割れが生じることがある。	がけ崩れや地すべりが発生することがある。
6 強	大きな地割れが生じることがある。	がけ崩れが多発し、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある(※3)。
7		

※1 亀裂は、地割れと同じ現象であるが、ここでは規模の小さい地割れを亀裂として表記している。

※2 地下水位が高い、ゆるい砂地盤では、液状化が発生することがある。液状化が進行すると、地面からの泥水の噴出や地盤沈下が起こり、堤防や岸壁が壊れる、下水管やマンホールが浮き上がる、建物の土台が傾いたり壊れたりするなどの被害が発生することがある。

※3 大規模な地すべりや山体の崩壊等が発生した場合、地形などによっては天然ダムが形成されることがある。また、大量の崩壊土砂が土石流化することもある。

(オ) ライフライン・インフラ等への影響

ガス供給の停止	安全装置のあるガスメーター(マイコンメーター)では震度 5 弱程度以上の揺れで遮断装置が作動し、ガスの供給を停止する。 さらに揺れが強い場合には、安全のため地域ブロック単位でガス供給が止まる(※)。
断水、停電の発生	震度 5 弱程度以上の揺れがあった地域では、断水、停電が発生することがある(※)。
鉄道の停止、高速道路の規制等	震度 4 程度以上の揺れがあった場合には、鉄道、高速道路などで、安全確認のため、運転見合わせ、速度規制、通行規制が、各事業者の判断によって行われる。(安全確認のための基準は、事業者や地域によって異なる。)
電話等通信の障害	地震災害の発生時、揺れの強い地域やその周辺の地域において、電話・インターネット等による安否確認、見舞い、問い合わせが増加し、電話等がつながりにくい状況(ふくそう)が起こることがある。そのための対策として、震度 6 弱程度以上の揺れがあった地震などの災害の発生時に、通信事業者により災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板などの提供が行われる。
エレベーターの停止	地震管制装置付きのエレベーターは、震度 5 弱程度以上の揺れがあった場合、安全のため自動停止する。運転再開には、安全確認などのため、時間がかかることがある。

※ 震度 6 強程度以上の揺れとなる地震があった場合には、広い地域で、ガス、水道、電気の供給が停止することがある。

(カ) 大規模構造物への影響

長周期地震動(※)による超高層ビルの揺れ	超高層ビルは固有周期が長いため、固有周期が短い一般の鉄筋コンクリート造建物に比べて地震時に作用する力が相対的に小さくなる性質を持っている。しかし、長周期地震動に対しては、ゆっくりとした揺れが長く続き、揺れが大きい場合には、固定の弱い OA 機器などが大きく移動し、人も固定しているものにつかまらないうと、同じ場所にいられない状況となる可能性がある。
石油タンクのスロッシング	長周期地震動により石油タンクのスロッシング(タンク内溶液の液面が大きく揺れる現象)が発生し、石油がタンクから溢れ出たり、火災などが発生したりすることがある。
大規模空間を有する施設の天井等の破損、脱落	体育館、屋内プールなど大規模空間を有する施設では、建物の柱、壁など構造自体に大きな被害を生じない程度の地震動でも、天井等が大きく揺れたりして、破損、脱落することがある。

※ 規模の大きな地震が発生した場合、長周期の地震波が発生し、震源から離れた遠方まで到達して、平野部では地盤の固有周期に応じて長周期の地震波が増幅され、継続時間も長くなることがある。

(4) 大規模な地震に関する情報の種類と発表条件

ア 南海トラフ地震に関連する情報

「南海トラフ地震に関連する情報」は、南海トラフ全域を対象に大規模地震が発生する可能性が平常時と比べて相対的に高くなっていることなどをお知らせするもので、この情報の種類と発表条件は以下のとおりです。

「南海トラフ地震に関連する情報」の種類及び発表条件

「南海トラフ地震に関連する情報」は、以下の2種類の情報名で発表します。

情報名	情報発表条件
南海トラフ地震臨時情報	- 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合 - 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合
南海トラフ地震関連解説情報	- 観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合 「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし南海トラフ地震臨時情報を発表する場合を除く） ※すでに必要な防災対応がとられている際は、調査を開始した旨や調査結果を南海トラフ地震関連解説情報で発表する場合があります

気象庁 HP から抜粋

イ 「南海トラフ地震臨時情報」に付記するキーワードと各キーワードを付記する条件
情報名の後にキーワードを付記して「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」等の形で情報発表します。

発表時間	キーワード	各キーワードを付記する条件
地震発生等から5～30分後	調査中	下記のいずれかにより臨時に「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」を開催する場合 - 監視領域内^(注1)でマグニチュード6.8以上^(注2)の地震^(注3)が発生 1カ所以上のひずみ計^(注4)での有意な変化と共に、他の複数の観測点でもそれに関係すると思われる変化が観測され、想定震源域内のプレート境界で通常と異なるゆっくりすべりが発生している可能性がある場合など、ひずみ計で南海トラフ地震との関連性の検討が必要と認められる変化を観測 - その他、想定震源域内のプレート境界の固着状態の変化を示す可能性のある現象が観測される等、南海トラフ地震との関連性の検討が必要と認められる現象を観測
地震発生等から最短で2時間後	巨大地震警戒	想定震源域内のプレート境界において、モーメントマグニチュード8.0以上の地震が発生したと評価した場合
	巨大地震注意	- 監視領域内において、モーメントマグニチュード7.0以上の地震^(注3)が発生したと評価した場合（巨大地震警戒に該当する場合は除く） - 想定震源域内のプレート境界面において、通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合
	調査終了	（巨大地震警戒）、（巨大地震注意）のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合

（注1） 南海トラフの想定震源域及び想定震源域の海溝軸外側50km程度までの範囲。

（注2） モーメントマグニチュード7.0の地震をもれなく把握するために、マグニチュードの推定誤差を見込み、地震発生直後の速報的に求めた気象庁マグニチュードでM6.8以上の地震から調査を開始する。

（注3） 太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除く。

（注4） 気象庁及び静岡県により東海地域に設置されたひずみ計、産業技術総合研究所により愛知県、三重県、和歌山県、高知県、愛媛県に設置されたひずみ計を使用します。

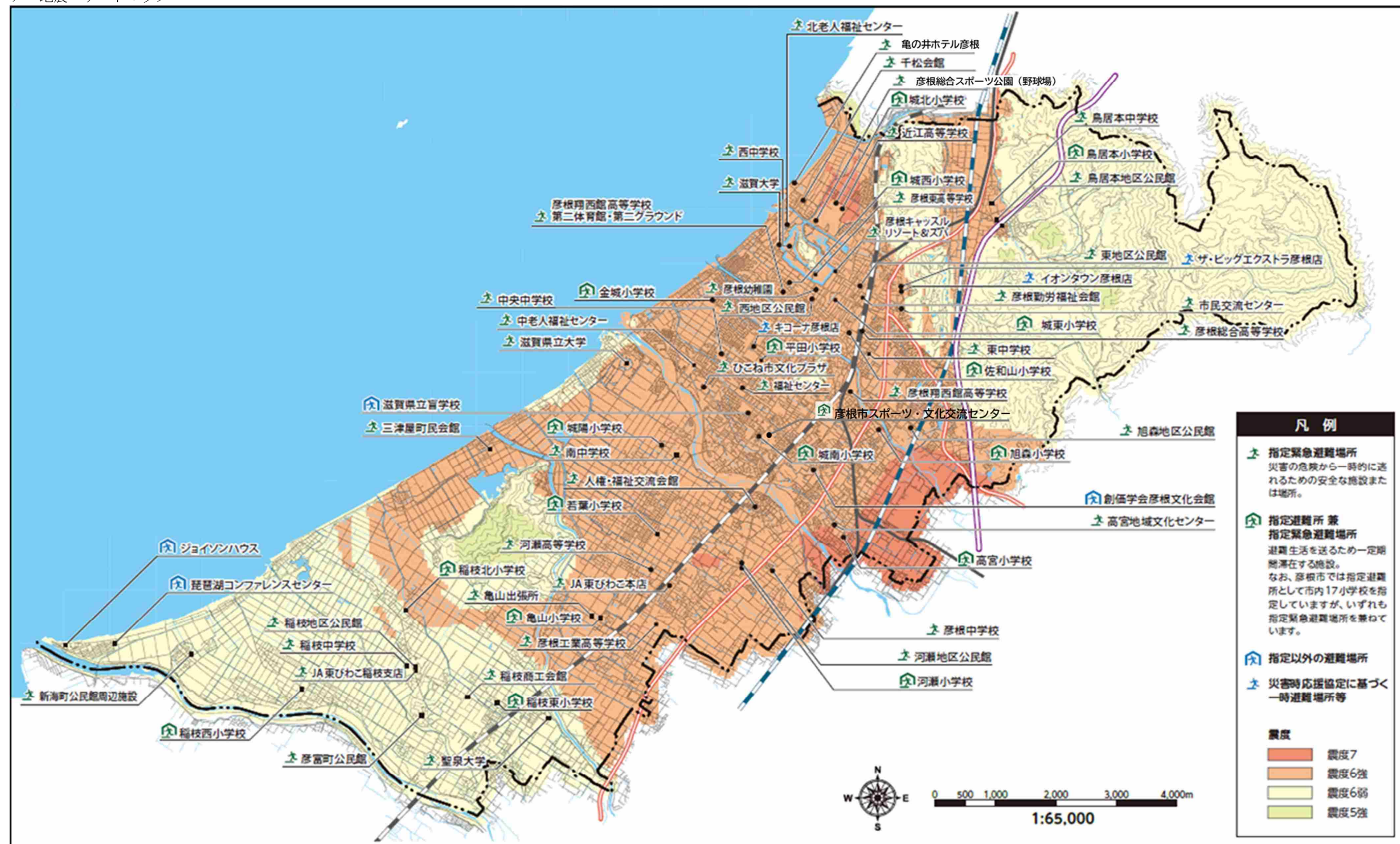
気象庁HPから抜粋

第1部 災害リスクに関する資料

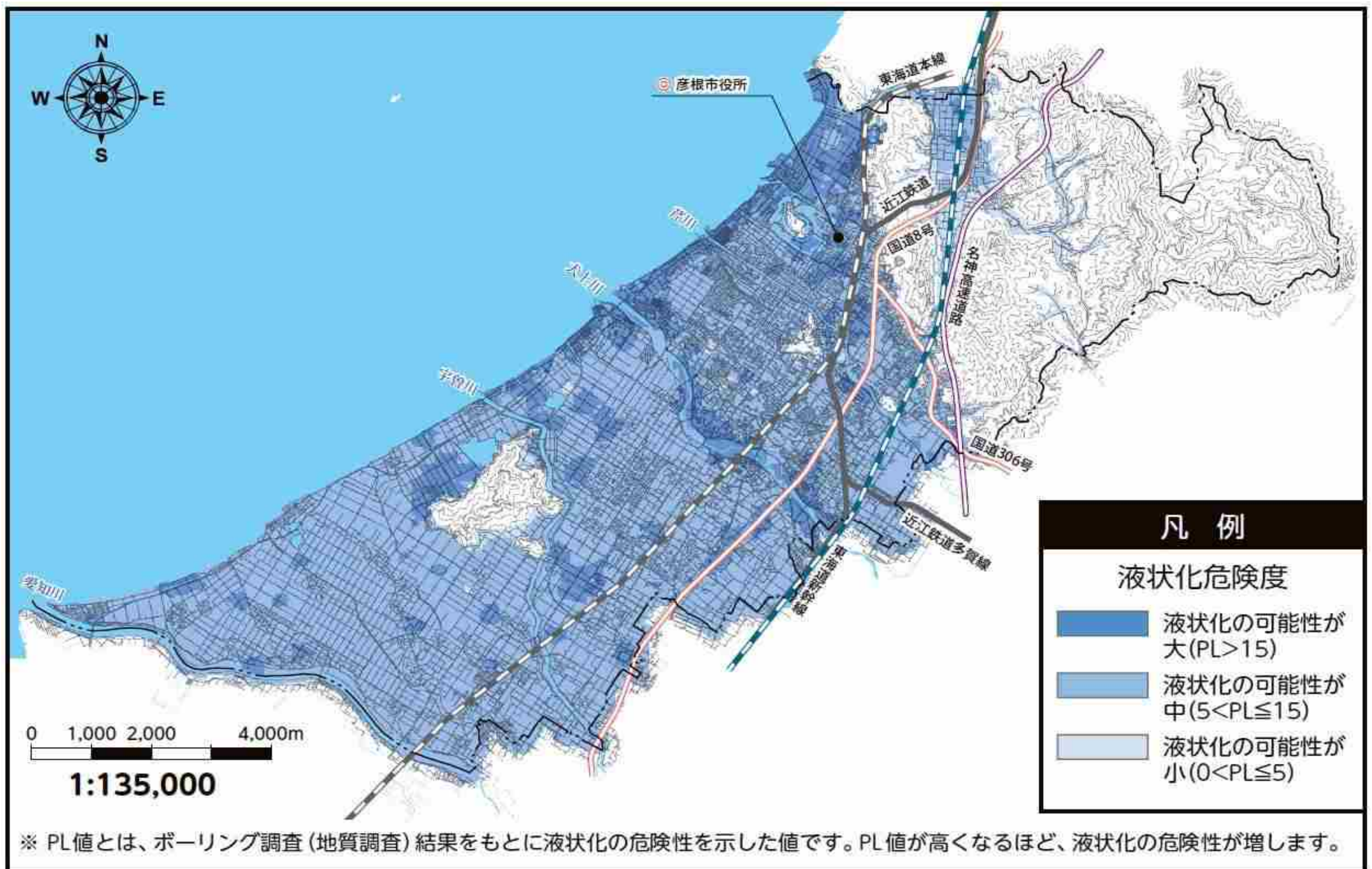
5 地震関係

(5) 地震ハザードマップ等

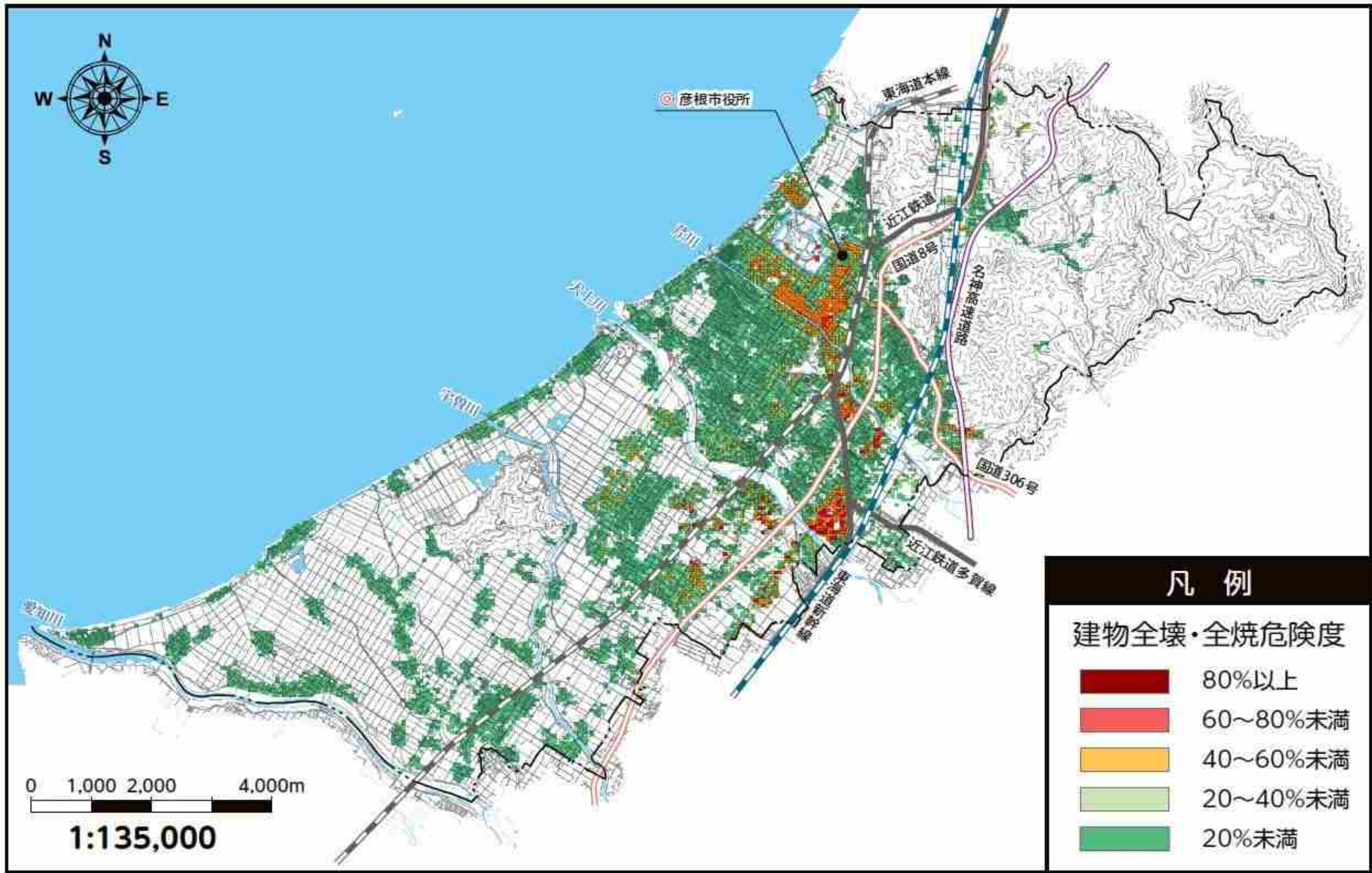
ア 地震ハザードマップ



イ 液状化マップ

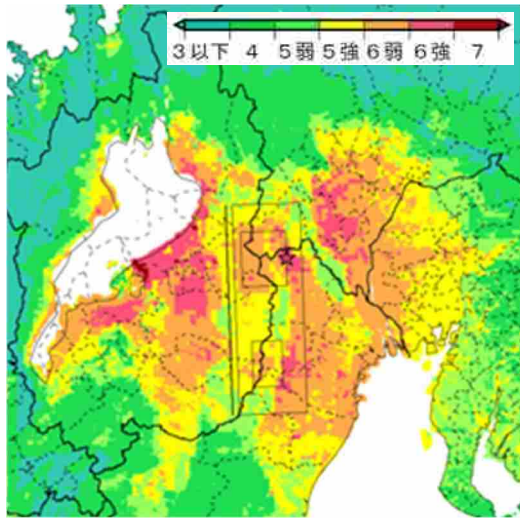


ウ 家屋倒壊マップ



(6) 本市近辺の主な活断層

鈴鹿西縁断層帯



マグニチュード：7.6

活断層の位置：市より東方向およそ 8km

最大震度：7

市域震度分布：

平野部全域で 6 強、山地部で 5 強

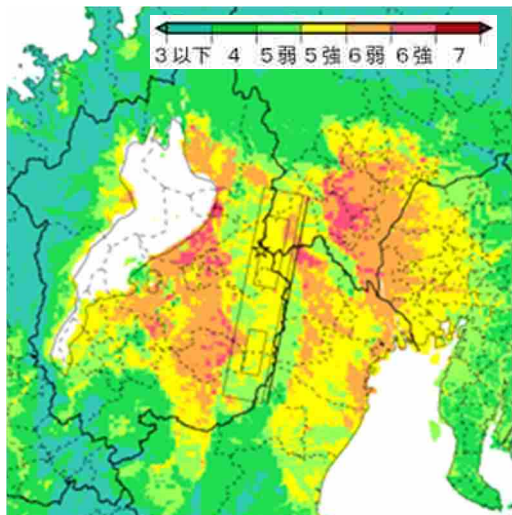
広域震度分布：

県内では東近江など彦根周辺部が 6 強以上と特に大きく、県外では岐阜県南西部や三重県北部等で 6 弱以上となっている。

想定：

平野部全域で家屋倒壊の発生、東海地域への交通遮断などが想定される。

鈴鹿東縁断層帯



マグニチュード：7.5

活断層の位置：市より東方向およそ 19km

最大震度：6 強

市域震度分布：

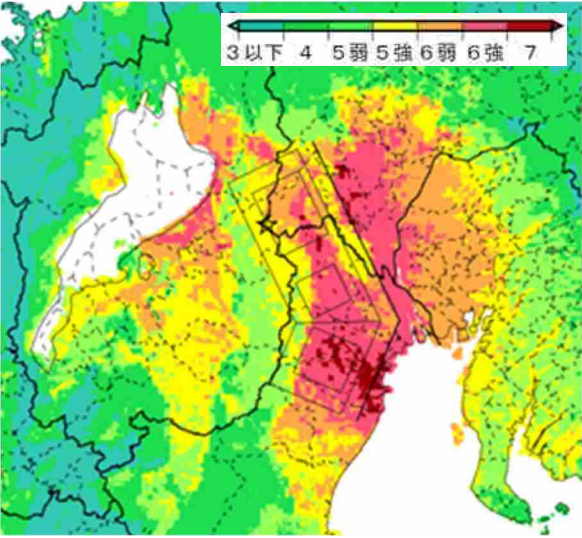
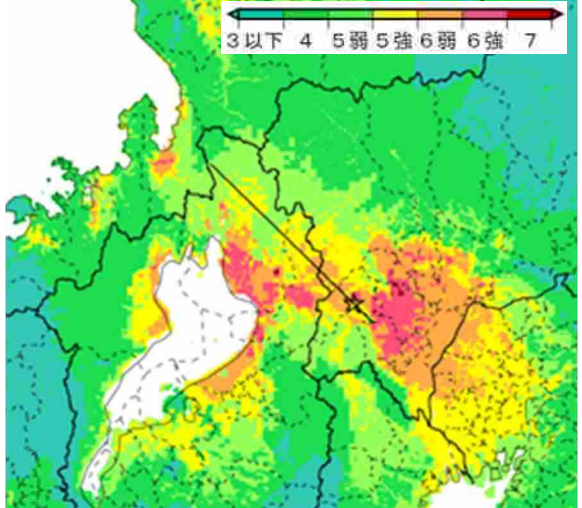
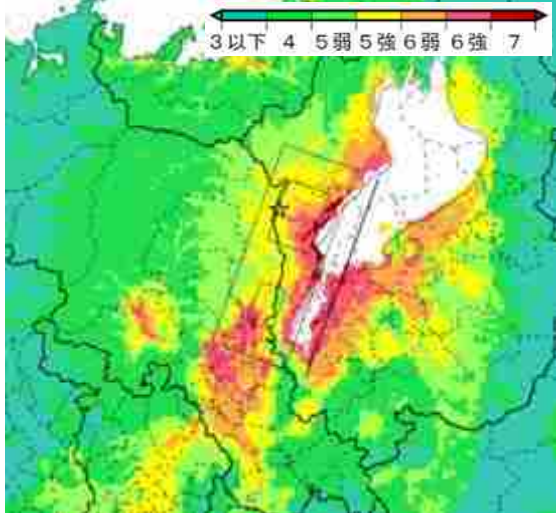
西部で 6 弱、中部で 6 強、東部で 5 強～弱

広域震度分布：

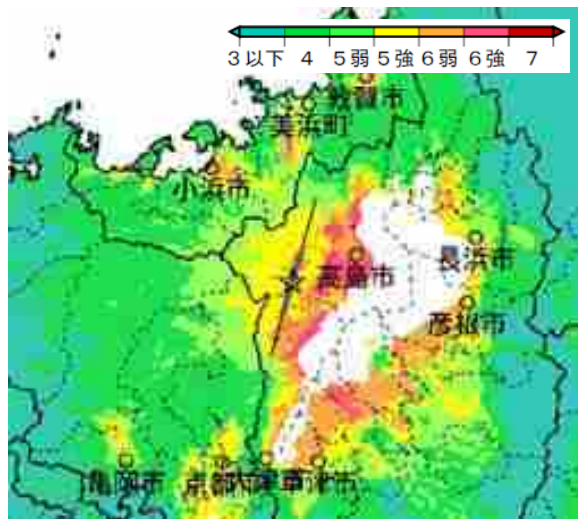
県内では彦根周辺から日野町付近まで 6 弱以上、県外では岐阜県南西部や三重県北部等で 6 弱以上となっている。

想定：

平野部全域で家屋倒壊の発生、東海地域への交通遮断などが想定される。

養老-桑名-四日市断層帯	
	マグニチュード：8 活断層の位置：市より東方向およそ 21km 最大震度：6 強 市域震度分布： 平野部の大部分で 6 強、山間部で 5 強～弱 広域震度分布： 県内では彦根周辺から長浜付近まで 6 弱以上、 県外では岐阜県南西部や三重県北部等で 6 強以上となっている。 想定： 平野部全域で家屋倒壊の発生、東海地域への交通遮断などが想定される。
柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯（主部南部）	
	マグニチュード：7.6 活断層の位置：市より北東方向およそ 22km 最大震度：6 強 市域震度分布： 平野部の大部分で 6 弱、一部 6 強、山間部で 4 広域震度分布： 県内では長浜・米原付近で 6 強以上、県外では 岐阜県南西部等で 6 強以上となっている。 想定： 平野部全域で家屋倒壊の発生、東海道本線、名神高速経由での東海地域への交通困難などが想定される。
琵琶湖西岸断層帯（南部）	
	マグニチュード：7.5 活断層の位置：市より西方向およそ 25km 最大震度：6 弱 市域震度分布： 平野部大部分で 6 弱、東側・山間部で 5 強～4 広域震度分布： 県内では大津など琵琶湖南部沿岸地域で 6 強以上、 県外では京都市域等で 6 弱以上となっている。 想定： 平野部で家屋倒壊の発生、京阪神への交通遮断や県との連絡困難などが想定される。

三方・花折断層帯（花折断層帯〔北部〕）



マグニチュード：7.2

活断層の位置：市より西方向およそ 30km

最大震度：6 弱

市域震度分布：

平野部大部分で 6 弱、東側・山間部で 5 強～4

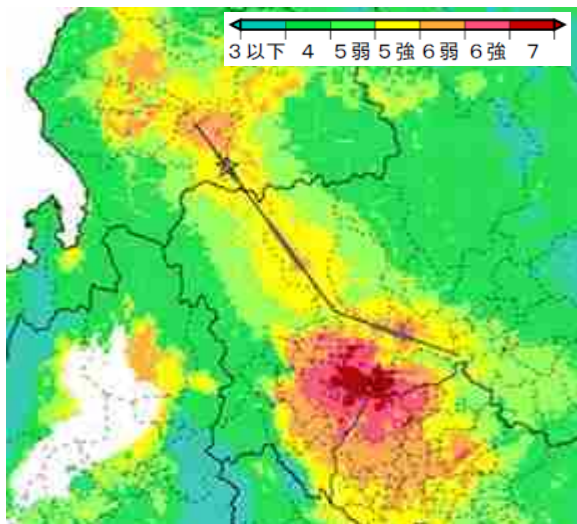
広域震度分布：

県内では高島など琵琶湖西部沿岸地域で 6 強以上、県外では京都市域等で 5 強以上となっている。

想定：

平野部で家屋倒壊の発生、京阪神への交通遮断などが想定される。

濃尾断層帯（1891 年濃尾地震〔温見北西＋根尾谷＋梅原〕）



マグニチュード：8.0

活断層の位置：市より東方向およそ 49km

最大震度：5 強

市域震度分布：

平野部で 5 強、山間部で 5 弱～4

広域震度分布：

県内では長浜、米原などで震度 6 弱、県外では岐阜県と愛知県境界付近で 6 強以上となっている。

想定：

家屋が倒壊する程の被害はほとんど発生しない、東海地域への交通遮断などが想定される。

(7) 海溝型地震（南海トラフを震源域とする地震）

ア 南海トラフ巨大地震について

内閣府中央防災会議では、「南海トラフの巨大地震モデル検討会」を設置し、過去に南海トラフのプレート境界で発生した地震に係る科学的知見に基づく各種調査について防災の観点から幅広く整理・分析し、想定すべき最大クラスの地震について検討を行っている。

以下に当検討会において検討された想定震源域、想定津波波源域を示す。

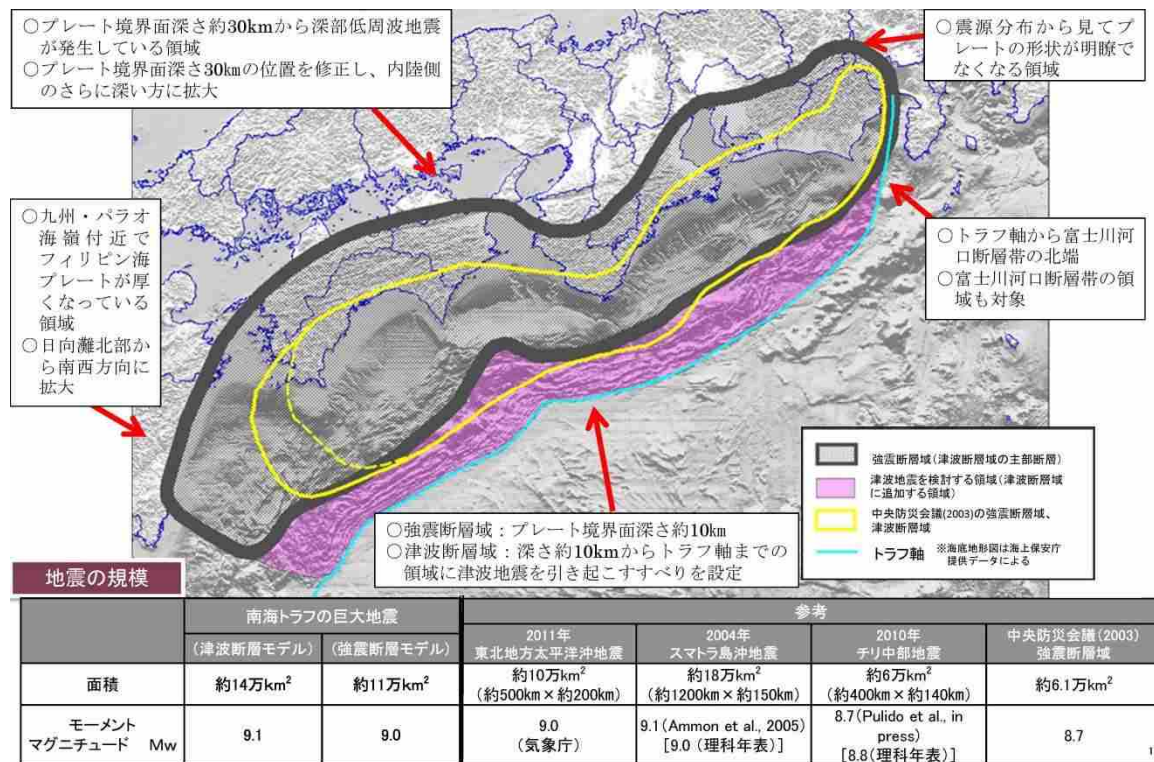


図 南海トラフ巨大地震の想定震源域モデル

(「南海トラフの巨大地震による津波高・震度分布等」南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ H24. 8)

また、この想定震源域において、「南海トラフの巨大地震モデル検討会」では強震動生成域について、過去の地震時の強震動生成域と概ね同じ場所に位置する可能性が示唆されるが、その周辺で少し位置が変わる可能性や、やや深い場所にある可能性も考えられるため、以下 4 つのケースについて検討が行われている。その 4 ケースを次頁に示す。このうち、もっとも滋賀県に大きな揺れをもたらすのは、強震動生成域を、可能性がある範囲で最も陸域側に移動したケース（通称陸側ケース）の場合である。

よって、海溝型地震では南海トラフ巨大地震の陸側ケースについて後の地震危険度評価を行う。

- (ア) 基本ケース：中央防災会議による東海地震、東南海・南海地震の検討結果を参考に設定したもの

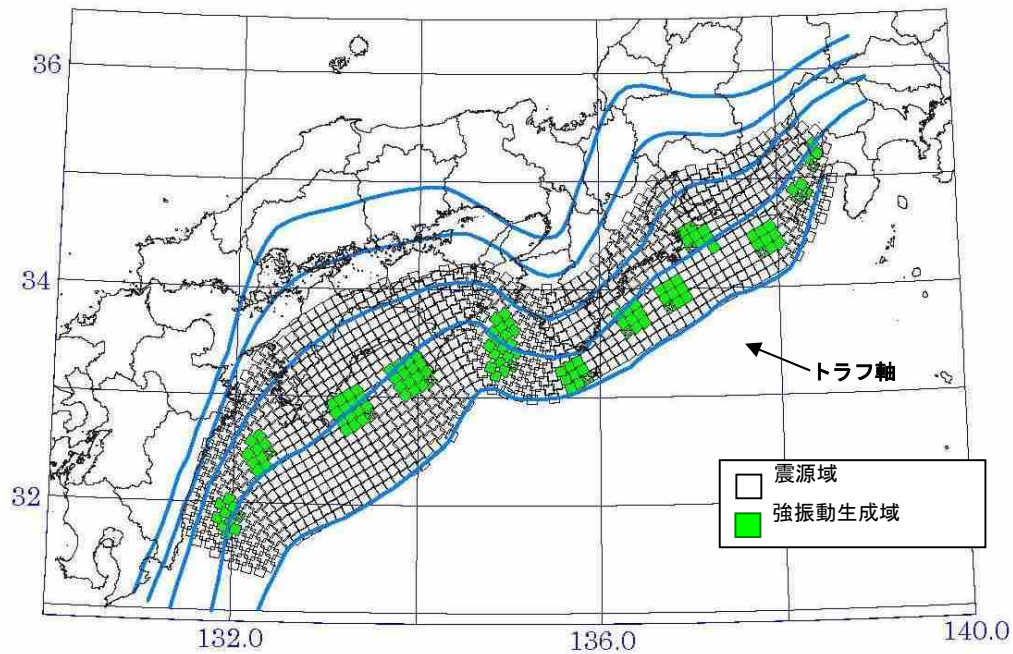


図 震源域設定（基本ケース）

(「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）」南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ H24. 8)

- (イ) 東側ケース：基本ケースの強振動生成域を、やや東側（トラフ軸から見て、トラフ軸に概ね平行に右側）の場所に設定したもの

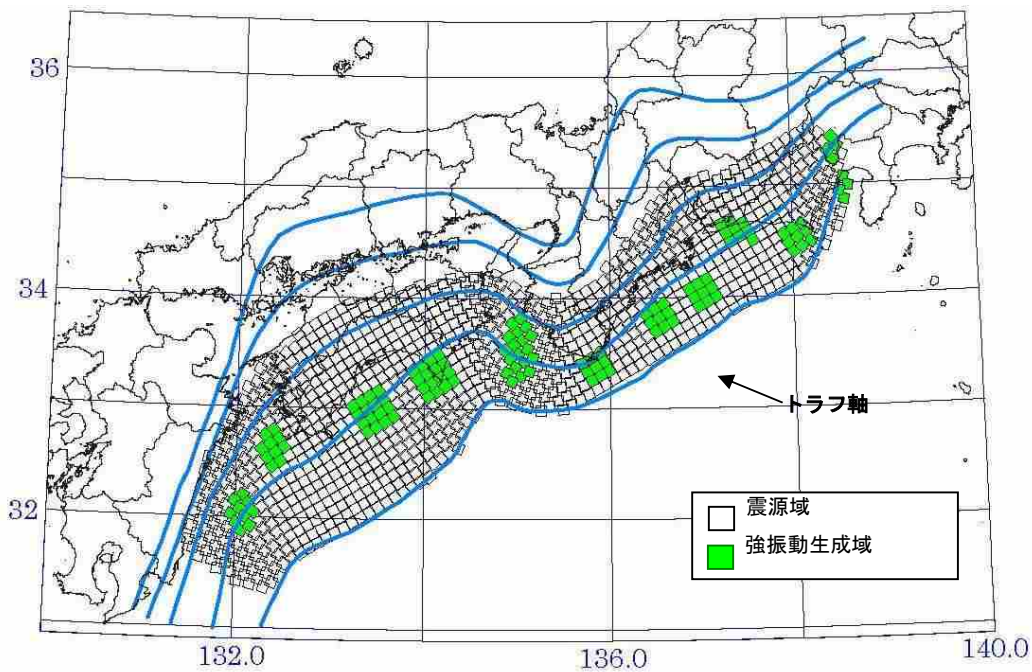


図 震源域設定（東側ケース）

(「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）」南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ H24. 8)

第1部 災害リスクに関する資料
5 地震関係

- (ウ) 西側ケース：基本ケースの強震動生成域を、やや西側（トラフ軸から見て、トラフ軸に概ね平行に左側）の場所に設定したもの

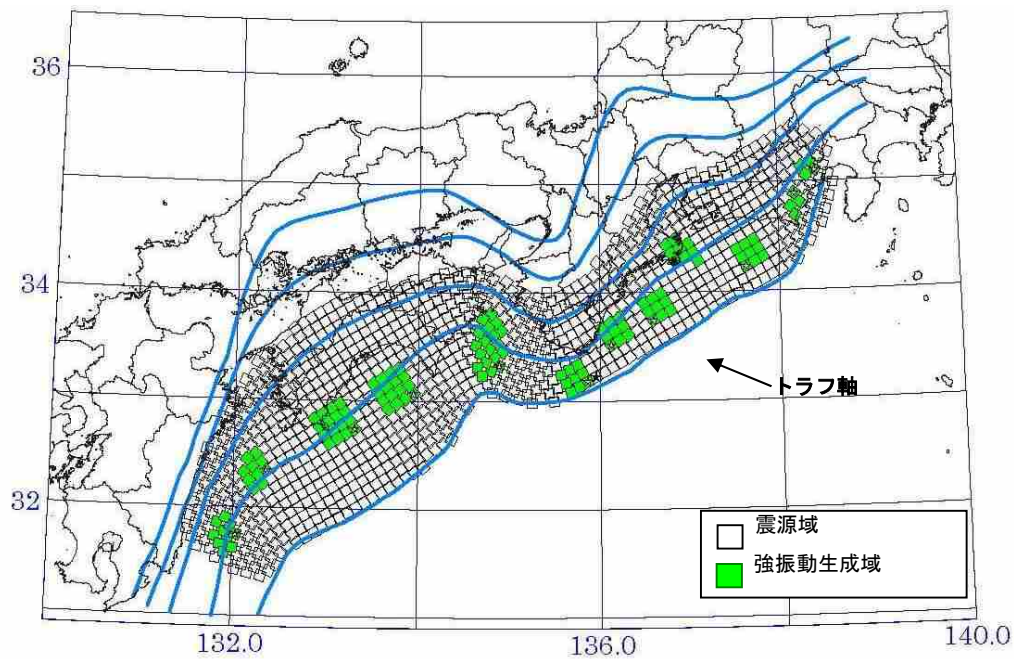


図 震源域設定（西側ケース）

（「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）」南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ H24. 8）

- (エ) 陸側ケース：基本ケースの強震動生成域を、可能性がある範囲で最も陸域側（プレート境界面の深い側）の場所に設定したもの

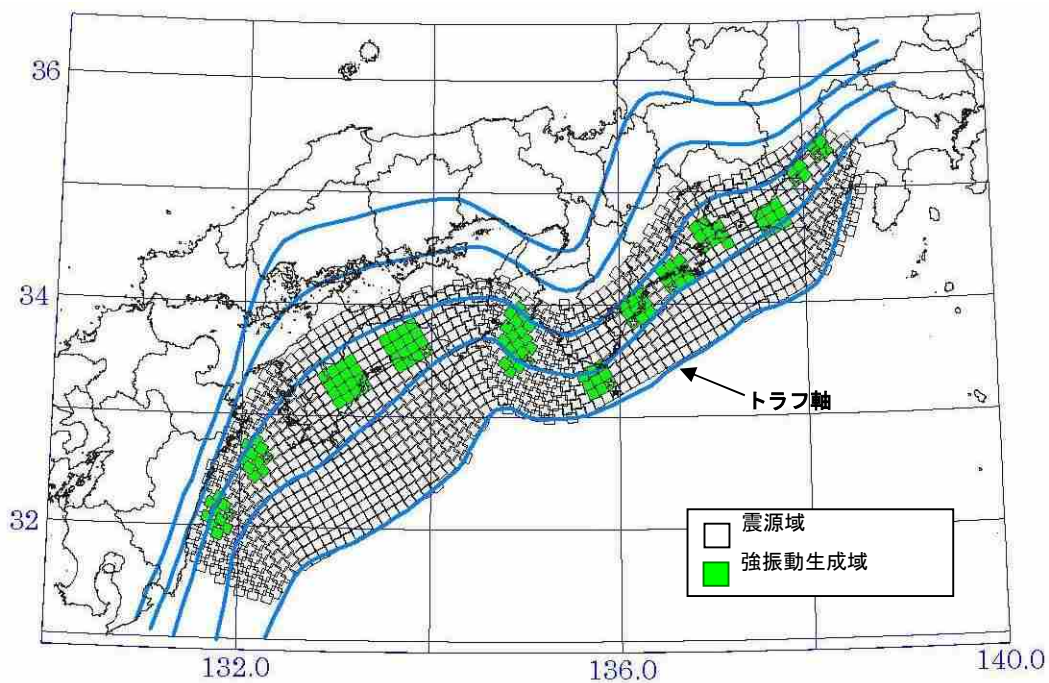


図 震源域設定（陸側ケース）

（「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）」南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ H24. 8）

6 災害履歴

本市の災害形態別の主な災害履歴は、次のとおりである。

(1) 風水雪害（土砂害を含む。）

ア 昭和50年（1975年）以前の被害

細かな被害数量等の記録が残っていない室町時代から高度経済成長期までの被害を示す。

年号 (西暦)	月日	気象条件 等	災害概要・被害等	雨量・風速等
享禄元 (1528)	11.29	寒波	寒気のため、琵琶湖の水が岸から6、7町（約700m）まで凍ったとの情報が京に伝わる。	-
延宝2年 (1674)	4.	洪水	近江国が大洪水に見舞われ、彦根で浸水6尺4寸（約194cm）におよぶ。	-
延宝4年 (1676)	7.4	洪水	洪水。彦根城下の西ヶ原あたりでは船で往来する。	-
元文元年 (1736)	8.	洪水	近江国が洪水に見舞われ、彦根城下では浸水が5尺（約150cm）を超える。四十九町まで船にて往来する。北野寺前まで水1丈余。	-
元文2年 (1737)	5～6	長雨	5月7日より6月3日まで降雨続き、彦根大水、定尺より5尺2寸高く、四十九町も船で往来し、尾末町・東町で7寸（約27cm）浸水。	-
元文3年 (1738)	6.1	洪水	定水より5尺2寸（約198cm）高く、尾末町・京町で7寸（約27cm）浸水。	-
延享2年 (1745)	11.2	大雪	この年の冬から翌年にかけて、5尺（約150cm）余りの大雪に見舞われる。	-
宝暦6年 (1756)	9.16	大雨	この日から翌日にかけての大風雨のため彦根藩領内で4万9000石の損耗が出る。芹川堤防2箇所決壊し、新町あたり水2階に至る。	-
宝暦6年 (1756)	10.	洪水	愛知川と宇曽川の堤防が切れ、下岡部村では、22日間も水田が水に浸かった。洪水被害による稲の不作のため下岡部村が彦根藩に検使の派遣を願う。	-
明和2年 (1765)	8.2	風雨	大風雨のため彦根藩領内で5万石の損耗が出る。	-
明和5年 (1768)	7.21	洪水	彦根の浸水4尺8寸（約182cm）。	-
明和6年 (1769)	12.	大雪	彦根大雪、壊家多し。	-
安永7年 (1778)	7.	大雨	この月から翌閏7月まで大雨が繰り返し降り甚大な被害が出る。	-
寛政3年 (1791)	8.20	風雨	大風雨のため城下町・農村部で甚大な被害が出る。侍屋敷51軒、足軽町・扶持人共270軒、番所3か所、堂・宮拝殿・寺69か所、釣鐘堂8か所、町屋25軒、百姓家286軒、百姓小屋844軒等の家屋倒壊・半倒壊の被害有り。死者9人、負傷者6人。	-
享和2年 (1802)	6.29	風雨	大風雨のため善利川（芹川）が決壊したほか城下で家屋が倒壊するなど各地で被害が出る。溺死人多く、切通し番所流れ、新町辺所々壊家有り。芹川1升1合半・芹川石橋落下死者23名	-
文化4年 (1807)	6.	大雨	長雨のため彦根で浸水が6尺1寸（約185cm）に及ぶ。	-
文化6年 (1809)	7.9	大雨	大雨による愛知川堤決壊で神埼郡田附村国領などが被害にあう。家屋のほとんどが壊れ、残った家屋も砂礫で埋まってしまった。この洪水で多くの人命が失われた。	-
文政元年 (1818)	12.晦	大雪	この日から降り始めた雪のため、翌年正月に家屋倒壊の被害が出る。	-

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年号 (西暦)	月日	気象条件 等	災害概要・被害等	雨量・風速等
文政2年 (1819)	1.	大雪	彦根・長浜、積雪最も甚だしという	-
文政4年 (1821)	12. 7	洪水	この年、彦根地域の洪水による被害者救済のための 囲米が放出される。	-
文政7年 (1824)	11. 21	大雪	大雪。彦根・長浜積もること7、8尺なりという。	-
天保7年 (1836)	6-8.	風雨	大雨・大風がくりかえし起こり、多くの水田が被害 にあう。 彦根にては四十九町・内船町・石ヶ崎町・中藪等浸 水し、弘道館勝手口の柵門通30日ばかり浸水する。	-
嘉永元年 (1848)	8. 12	風雨	大風雨のため犬上川や芹川が決壊するなど被害が 出る。芹川南切れ、大藪村まで白川になる。	-
嘉永5年 (1852)	正. 3	大雪	前年からの大雪で倒壊家屋が発生し、屋根の雪下ろ しを彦根藩筋奉行が命じる。	-
万延元年 (1860)		洪水	城下大洪水・四十九町大手橋まで舟。	-
文久3年 (1863)	11.	大雪	6日雪降り始め3尺(約114cm)ばかり積もる。26日 から28日にかけて降る。深さ5尺(約190cm)に 達し、その後も降りつづき、冬から春にかけて容 易に融けず。稀有の雪害なり。	-
明治元年 (1868)	閏4.	水害	この月から翌月にかけて、琵琶湖沿岸が水害に見舞 われる。	-
明治3年 (1870)	9. 17	風雨	この日から翌日にかけて、暴風雨により犬上川や宇 曾川などの堤防が決壊する。 大橋・岡・沼波・芹中・橋向・後三条・中藪等芹川 沿岸に甚しい。高宮町倒壊家屋137戸、溺死32人、 農作物の被害多し。	-
明治17年 (1884)	7.	大雨	この年、琵琶湖沿岸が水害に見舞われる。 一週間以上昼夜降雨が続き、琵琶湖は平常より五尺 (約1.5メートル)も増水した。 石寺村では田畑とも水に浸かった。	-
明治18年 (1885)	6.	大雨	この月から翌月にかけて、彦根地方が水害に見舞わ れる。 愛知川・宇曾川・犬上川・矢倉川などの堤防が破壊 された。 広野村は21戸が流失。松原村では18戸の家屋が潰 れた。 松原・長曾根・中藪・大藪・八坂・甘呂・開出今の 村々の浸水は一尺四、五寸から五尺(0.4~1.5メ ートル)に至った。 宇曾川が決壊し、賀田山村の田畑は土砂に埋もれ て、見る影もなくなった。 古西法寺村(現佐和山町)では朝鮮人街街道が10 間(約18メートル)余りにわたって破壊された。 宮田村の田畑は過半が湖のようになった。 鳥居本村では矢倉川が決壊で家屋7、80戸が流失し た。	-
明治22年 (1889)	9.	台風	台風により芹川・犬上川などの堤防が決壊する。	-
明治25年 (1892)	6.	大雨	長雨により琵琶湖沿岸が水害に見舞われる。	-
明治25年 (1892)	9.	台風	台風により彦根地方が水害に見舞われる。	-

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年号 (西暦)	月日	気象条件 等	災害概要・被害等	雨量・風速等
明治29年 (1896)	9.	停滞前線 による豪雨	琵琶湖沿岸が大洪水に見舞われる。 犬上川は開出今集落の東南で、200メートル近く決壊し、田畑はことごとく冠水し、多くの家も倒壊した。 開出今、大藪、須越、八坂などに多くの被害をもたらした。 長曾根村は浸水八、九尺（2.4～2.7メートル）に及んだ。 彦根城下の大半は湖面水量の増加に浸水し、一方、芹川の堤防決壊して、東南各町を害し市街は舟を浮かべて航行し、人は2階の窓から出入りした。 犬上郡の被害は死者3人・床上浸水20戸・床上浸水3856戸・床下浸水2459戸他	総雨量：1018.8mm 【観測史上1位】 日雨量：596.9mm（9/7） 【観測史上1位】
大正元年 (1912)	9.23	台風	※彦根市内の被害状況については不明。要調査。	最大風速：24.0m/s 【観測史上5位】 最低気圧：961.1hPa 【観測史上3位】
大正6年 (1917)	1～3	大雪	2月の雪は、彦根測候所創立以来未曾有の大雪で、彦根付近でも約90cmに達し、湖北の山間部では3mを越えた所もあった。	最低気温：-7.1℃（2/2） 最深積雪：83cm（2/3） 【観測史上3位】
大正6年 (1917)	9.29～ 30	台風	台風により、愛知川・宇曾川などの流域が水害に見舞われる。	総雨量：191.1mm（9/28～30） 最大風速：12.5m/s（9/30）
大正10年 (1921)	9.15	洪水	千本村大堀、久徳村で芹川の堤防決壊	総雨量：65.4mm
昭和9年 (1934)	9.21	室戸台風	風台風で建物の倒壊が多かった。 犬上郡の被害は死者1・全壊住家20・半壊住家57他	総雨量：15.0mm 最大風速：31.2m/s 【観測史上1位】 最大瞬間風速：39.3m/s 【観測史上4位】 最低気圧：966.7hPa 【観測史上4位】
昭和25年 (1950)	9.3	ジェーン 台風	彦根市でジェーン台風の被害がでる。宇曾川の堤防決壊。 民家全壊9棟、家屋一部破壊751箇所、電柱倒壊95本、倒木96本、納屋・作業所全壊12棟	総雨量：64.9mm（9/2～4） 最大風速：27.8m/s 【観測史上2位】 最大瞬間風速：42.5m/s 【観測史上2位】
昭和26年 (1951)	7	豪雨	松原干拓田全滅・旧市内100戸浸水	総雨量：293.7mm（7/8～17） 日雨量：55.5mm（7/15）
昭和28年 (1953)	9.25	台風13号	彦根市城を台風13号が襲い、芹川等の堤防決壊、家屋損壊などの被害がでる。 芹川決壊により大橋町（仏具店街）を中心に1mの床上浸水。池州橋付近で越水し、市内冠水。 災害救助法適用：彦根市（日夏町・開出今町・鳥居本町）	総雨量：182.9mm（9/23～25） 最大風速：21.0m/s 【観測史上9位】 最大瞬間風速：29.0m/s
昭和33年 (1958)	8.25	台風17号	台風17号が彦根市域を襲い、堤防決壊、家屋の浸水などの被害が出る。 浸水家屋627戸 他	総雨量：116.2mm（8/24～25） 最大風速：15.5m/s 最大瞬間風速：28.3m/s

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年号 (西暦)	月日	気象条件 等	災害概要・被害等	雨量・風速等
昭和34年 (1959)	8.13	台風7号	台風7号が彦根市域を襲い、堤防決壊、家屋損壊などの被害が出る。 死者1人・床上浸水385戸・床下浸水3778戸 他	総雨量：280.0mm (8/12～14) 最大風速：12.9m/s (8/14) 最大瞬間風速：16.2m/s (8/14)
昭和34年 (1959)	9.26	伊勢湾 台風	伊勢湾台風(台風15号)で甚大な被害をうける。 この影響により、この年の城まつり行事が中止となる。 清崎地先の宇曾川堤防が決壊。 芹川が多賀町中川原で6m決壊、彦根市にも被害。 芹川支流、および本流で被害が大きく、上流の山間部では河川に並行した道路は殆どずたずたに切断された。 旧稲枝町などに災害救助法が適用された。 床上浸水804戸・床下浸水5754戸 他	総雨量：337.5mm (9/24～26) 日雨量：195.8mm (9/26) 【観測史上3位】 最大風速：21.9m/s 【観測史上7位】 最大瞬間風速：36.0m/s 【観測史上10位】 最低気圧：949.2hPa 【観測史上1位】
昭和36年 (1961)	6.26	梅雨前線 豪雨	堤防決壊、橋りょう流失などの被害が出る。稲枝町などの田畑の冠水。	総雨量：376.2mm (6/24～29)
昭和36年 (1961)	9.16	第2室戸 台風	第2室戸台風(台風18号)が彦根市域を襲い、家屋損壊の被害が出る。この影響で城まつりが中止となる。 負傷者30人、住家全壊60戸、住家半壊485戸、床下浸水15戸、非住家全壊683戸、非住家半壊859戸	総雨量：65.7mm (9/14～16) 最大風速：25.7m/s 【観測史上第3位】 最大瞬間風速：38.9m/s 【観測史上5位】 最低気圧：954.5hPa 【観測史上2位】
昭和40年 (1965)	9.17	台風24号	台風24号により、芹川・宇曾川などが氾濫し、彦根市域で家屋流失、床上・床下浸水などの被害が出る。 芹川白山神社付近で溢水。国道8号旭橋上流左岸で堤防法面20m崩壊。 後三条橋下流左岸で堤防法面10m崩壊。後三条橋の橋脚流失。 床上浸水292戸・床下浸水2698戸 他	総雨量：321.8mm 日雨量：174.2mm 【観測史上6位】 最大風速：21.0m/s 【観測史上8位】 最大瞬間風速：32.0m/s
昭和40年 (1965)	12.17	大雪	大雪により彦根市内の交通が麻痺する。	降雪の深さの日合計： 33cm (12/17) 最深積雪：35cm (12/17) 最低気温：-2.2℃
昭和41年 (1966)	1.19 ～21	大雪	彦根地方が大雪に見舞われる。	降雪の深さの日合計： 50cm (1/20) 【観測史上3位】 最深積雪：40cm (1/20、1/21) 最低気温：-4.8℃ (1/21)
昭和41年 (1966)	2.8	寒波	寒波に見舞われ、彦根市内で水道管の破裂が相次ぐ。	最低気温：-8.8℃ 【観測史上7位】
昭和43年 (1968)	8.25	台風10号	床下浸水38戸、彦根城石垣高さ4m、巾8mにわたり崩壊、水稻300ha	総雨量：213.0mm (8/24～8/29) 最大1時間降水量：54.5mm (8/25) 【観測史上5位】 最大風速：10.7m/s (8/29) 最大瞬間風速：16.8m/s (8/29)

第 1 部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年号 (西暦)	月日	気象条件 等	災害概要・被害等	雨量・風速等
昭和 46 年 (1971)	7.6～8	台風 13 号	この日から 8 日まで、台風 13 号と梅雨前線による集中豪雨があり、宇曾川が氾濫する。	総雨量:136.5mm (7/6～8) 最大 1 時間降水量:63.0mm (7/8) 【観測史上 2 位】 最大風速:10.7m/s (7/8) 最大瞬間風速:20.9m/s (7/8)

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

イ 昭和51年（1975年）以降の被害

市町村別の被害状況が整理されている昭和51年以降、彦根市に被害をもたらした風水雪害を以下に示す。

年	月 日	気象 条件 等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考								
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位									
			総雨量 (mm)	最大 日雨 量 (mm)	最大 1 時間 雨量 (mm)	最大 風速 (m/s)	最大瞬間 風速 (m/s)	最低 気圧 (hPa)												
昭和 54 年 (1979 年)	9 月 30 日 ～ 10 月 1 日	台 風 16 号	33.5	30.5	12.5	23.9 観測史上 6 位	41.5 観 測 史 上 3 位	974.9	軽傷	3	人	－								
									住家一部 破損	7	棟	－								
									非住家 公共建物	4	棟	－								
									非住家 その他	49	棟	－								
昭和 55 年 (1980 年)	7 月 23～ 24 日	前線 豪雨	74.5	60.0	17.0	－	－	－	道路	2	箇所	－								
									8 月 19～ 20 日	大雨	36.5	32.0	21.0	－	－	－	河川	18	箇所	－
																	8 月 26～ 27 日	豪雨	67.5	50.5
	道路	3	箇所	－																
昭和 56 年 (1981 年)	11 月 2 日	強 風	－	27.0	6.5	9.5	19.5		ビニール ハウス	1	件	－								
									農作物	0.16	ha	－								
昭和 57 年 (1982 年)	8 月 1 ～ 2 日	台 風 10 号	158.0	124.0	19.5	11.6	19.4	979.7	床上浸水	1	棟	肥田町								
									床下浸水	9	棟	北甲田町、稲里町、三津町、 善光寺町、金沢町、甘呂町 3 棟 他								
									田冠水	0.2	ha	－								
									畑冠水	12.5	ha	－								
									道路	11	箇所	野田山町、笹尾町 他								
									崖崩れ	3	箇所	日夏町 他								
	9 月 12 日	台 風 18 号	－	101.0	22.5	13.8	25.2	989.4	田冠水	0.01 5	ha	笹尾町								
昭和 58 年 (1983 年)	6 月 20～ 21 日	大雨	139.5	88.0	21.0	－	－	－	畑冠水	5.07	ha	－								
									道路	1	箇所	－								
									橋りょう	5	箇所	－								
									河川	1	箇所	－								
	崖崩れ	2	箇所	－																
9 月 27～ 28 日	台 風 10 号	143.5	90.5	13.0	11.7	22.0		畑冠水	20.4	ha	－									
昭和 59 年 (1984 年)	1～3 月	昭和 59 年 豪雪	330cm 総降雪量 1～3 月	73 cm 最深積 雪 (2/1 0) 観測史上 9 位	－	－	－	－	重傷	2	人	－								
									住家一部 破損	13	棟	京町 1 丁目、京町 2 丁目、 河原 2 丁目、後三条町、長 曾根南町、船町、佐和町、 極楽寺町、開出今町、幸町、 本町 1 丁目、東沼波町、西 葛籠町								
									非住家	1	棟	－								
昭和 60 年 (1985 年)	6 月 21 日 ～ 7 月 19 日	台 風 6 号 と 梅 雨 前線 豪雨	522.5	88.0	47.0	10.0	17.7		道路	3	箇所	－								
									河川	1	箇所	－								

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月日	気象条件等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位	
			総雨量 (mm)	最大日雨量 (mm)	最大1時間雨量 (mm)	最大風速 (m/s)	最大瞬間風速 (m/s)	最低気圧 (hPa)				
昭和 62 年 (1987 年)	7 月 14～21 日	梅雨前線豪雨	253.0	100.5	34.0	－	－	－	床下浸水	6	棟	－
	10 月 16～17 日	台風 19 号	25.0	17.0	5.0	13.4	29.9		住家 その他	1	棟	－
									非住家一部損壊	2	棟	－
									学校	7	箇所	－
									電話	1	回線	－
電気	2	戸	－									
昭和 63 年 (1988 年)	6 月 2 ～ 3 日	豪雨	112.5	91.5	12.5	－	－	－	道路	1	箇所	－
									河川	8	箇所	－
	6 月 8 日～7 月 16 日	梅雨前線豪雨	－	90.0	34.5	－	－	－	田冠水	100	ha	－
									河川	1	箇所	－
									崖崩れ	3	箇所	－
	9 月 11～12 日	大雨・雷雨	31.0	17.5	23.5	－	－	－	電話不通	136	回線	－
									電気（停電）	300	回線	－
平成 元年 (1989 年)	4 月 27～28 日	風浪	9.5	8.5	8.5	12.4	20.6		河川	3	箇所	－
	8 月 26～28 日	台風 17 号	57.5	53.0	19.5	10.1	21.3		崖崩れ	1	箇所	－
	9 月 2 ～ 7 日	豪雨	213.5	89.5	24.5	－	－	－	道路	2	箇所	－
崖崩れ									2	箇所	－	
平成 2 年 (1990 年)	7 月 24～25 日	大雨	52.0	51.0	46.5	13.3	26.1	－	床下浸水	1	棟	－
	9 月 15～20 日	秋雨前線・台風 19 号	279.0	172.0 観測史上 8 位	44.5	16.6	30.1	972.5 観測史上 8 位	住家一部破損	18	棟	京町三丁目、堀町他
									床上浸水	27	棟	鳥居本町、下矢倉町、古沢町、松原町(大洞)、外町、八坂町(八坂北)、野田山町、小泉町、野瀬町、地蔵町
	雨台風であり、愛知川・犬上川・芹川・矢倉川等で溢水などの他、用水で内水氾濫が多かった								床下浸水	349	棟	辻堂町、船町、高宮町日の出、野田山町、小野町、鳥居本町、外町、下矢倉町、古沢町、原町、芹橋二丁目、西今町、八坂北町、日夏町(安田・泉)、松原町(千原・大洞北)、野瀬町、新海町、戸賀町、荘厳寺町、小泉町、地蔵町、後三条町、中藪一丁目、矢倉町、宮田町、安清町、安清東町他
									非住家公共建物	3	棟	八坂北町会館、(社)シルバー人材センター車庫兼倉庫シャッター、辻堂町公民会館
									非住家その他	114	棟	床上3、床下104、流失1(荘厳寺町)、半壊 3(荘厳寺町他)、一部破損 3

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月 日	気象 条件 等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考						
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位							
			総雨量 (mm)	最大 日雨 量 (mm)	最大 1 時間 雨量 (mm)	最大 風速 (m/s)	最大瞬間 風速 (m/s)	最低 気圧 (hPa)										
平成 2 年 (1990 年) [続 き]									田流失・ 埋没	1	ha	鳥居本地区(甲田町、仏生 寺町、中山町)						
	9 月 15～ 20 日	秋雨 前線 ・ 台風 19 号	279	172	44.5	16.6	30.1	972.5	田冠水	505	ha	市内一円						
									畑冠水	2	ha	松原地区、北青柳地区、八 坂町北						
									学校	19	箇所	城南小、平田小、城北小、 旭森小、金城小、河瀬小、 高宮小、稲枝東小、稲枝西 小						
									病院	1	箇所	彦根市立病院						
									道路	24	箇所	男鬼町 14、野田山町 1、中 山町 3、荘厳寺町 1、善谷町 1、仏生寺町 3、古沢町 1						
									雨台風であり、愛知川・犬上川・芹川・矢倉川等で溢水 などの他、用水で内水氾濫が多かった						橋りょう	2	箇所	八坂町 1、鳥居本町 1
									河川	10	箇所	八坂町 1、田附町 1、中山町 5、小野町 2、下矢倉町～鳥 居本町 1						
									崖崩れ	3	箇所	中山町 2、甲田町 1						
									鉄道不通	2	箇所	近江鉄道(鳥居本町区内)、 JR(愛知川付近)						
									水道	4	戸	八坂町						
									電話	1	回線	八坂町						
									電気	5	箇所	－						
									ブロック塀	9	箇所	地藏町他						
									その他	87	箇所	－						
									平成 3 年 (1991 年)	9 月 27～ 28 日	台風 19 号	1.0	1.0	1.5	13.2	26.1	992.4	住家一部 損壊
学校	4	箇所	金城小学校、高宮小学校、 稲枝東小学校、彦根南中 学校															
ビニール ハウス	42	箇所	松原町 他															
平成 5 年 (1993 年)	3 月 28～ 29 日	風 浪	20.0	13.5	2.5	13.2	25.2		河川	1	箇所	－						
平成 6 年 (1994 年)	9 月 28～ 30 日	台風 第 26 号	123.0	115.5	28.5	14.1	32.1	973.2	住家半壊	1	棟	三津町						
									住家一部 損壊	2	棟	京町 1 丁目、正法寺町						
									床下浸水	17	棟	鳥居本町 5 棟、京町 1 丁目 4 棟、安清町 1 棟、外町 3 棟、古沢町 2 棟、野田山町 1 棟、佐和山町 1 棟						
									非住家公 共建物	5	棟	鳥居本町 3 棟、野田山町 1 棟、葛籠町 1 棟、竹ヶ鼻町 1 棟、里根町(天寧寺)1 棟						
									非住家そ の他	7	棟	彦根総合地方卸売市場、彦 根城天秤櫓、楽々園、市庁 舎 2 棟						
									文教施設	3	箇所	城北小学校、鳥居本小学 校、稲枝北小学校						
									道路	13	箇所	男鬼町、善谷町、笹尾町、 中山町、甲田町、下矢倉町、 後三条町 他						

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月日	気象条件等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位	
			総雨量 (mm)	最大日雨量 (mm)	最大1時間雨量 (mm)	最大風速 (m/s)	最大瞬間風速 (m/s)	最低気圧 (hPa)				
平成 6 年 (1994 年) 〔 続 き 〕									河川	16	箇所	男鬼町、中山町、荘厳寺町、鳥居本町、小野町、古沢町、野田山町、笹尾町 他
									電気（停電）	1090	箇所	金亀町 30 箇所、葛籠町 60 箇所、正法寺町 1000 箇所
									ブロック塀	4	箇所	金亀町
平成 7 年 (1995 年)	1 月 13～15 日	大雪	63cm 総降雪量	46 cm 最深積雪 1/15	-	-	-	-	パイプハウス	9	棟	-
	1 月 30 日～2 月 1 日	大雪	76 cm 総降雪量	41 cm 最深積雪 2/1	-	-	-	-	彦根－竜王間 通行止め			-
	5 月 11～15 日	大雨	221.0	86.5	13.0	-	-	-	田冠水	5.2	ha	-
									畑冠水	0.2	ha	-
									道路	1	箇所	-
									河川	5	箇所	-
	7 月 20～22 日	梅雨前線豪雨	97.5	77.0	44.0	-	-	-	床下浸水	20	棟	-
									非住家その他	1	棟	-
	12 月 24～27 日	大雪	56 c m 総降雪量	36 c m 最深積雪 12/27					電気	20	戸	-
									ビニールハウス	13	棟	-
平成 8 年 (1996 年)	1 月 8～10 日	大雪	41cm 総降雪量	29 cm 最深積雪 1/10	-	-	-	-	電話	2500	回線	-
	8 月 14～15 日	台風 12 号	17.5	11.0	12.5	14.8	29.4	990.3	非住家公共建物	1	棟	-
平成 8 年 (1996 年)	9 月 20～22 日	台風 17 号	14.5	10.5	5.0	13.0	23.4	995.3	ビニールハウス	3	棟	-
平成 9 年 (1997 年)	1 月 21～23 日	寒波	16cm 総降雪量	12 cm 最深積雪 1/22	最低気温 -4.5℃	14.4	25.4	-	電気（停電）	900	戸	-
	7 月 26～28 日	台風 9 号	81.5	63.0	14.5	10.8	28.7	992.2	ビニールハウス	6	棟	松原町
	9 月 16～17 日	台風 19 号	34.0	32.0	14.0	11.2	23.6	1001.8	ビニールハウス	5	棟	松原町
平成 10 年 (1998 年)	9 月 21～23 日	台風 7 号 台風 8 号	74.0	37.0	16.0	16.6	36.6 観測史上 8 位	980.0	軽傷	4	人	宮田町、松原町、南川瀬町 2 件
						6.7	12.4		住家一部破損	9	棟	高宮町 2 棟、地蔵町 2 棟、清崎町、西今町、須越町、古沢町、甘呂町
						非住家公共建物	5		棟	玄宮園、佐和口多聞櫓、楽々園、金亀公園テニスコート、彦根城(天秤櫓)		
						非住家その他	1		棟	彦根城内(金亀町)		

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月 日	気象 条件 等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考		
			雨量			風速・気圧								
			総雨量 (mm)	最大 日雨 量 (mm)	最大 1 時間 雨量 (mm)	最大 風速 (m/s)	最大瞬間 風速 (m/s)	最低 気圧 (hPa)	種類	数量	単位			
平成 13 年 (2001 年)	7 月 17 日	大雨 ・ 強 風 ・ 雷	－	64.0	63.5 観 測 史 上 1 位	9.4	24.5	1004.2	床上浸水	4	棟	日夏町、外町、城町 1 丁目、古沢町		
									床下浸水	344	棟	松原町、松原 2 丁目、古沢町、外町、幸町、西沼波町、佐和町、京町 1 丁目、安清町、錦町、本町 1 丁目、城町 1・2 丁目、栄町 1・2 丁目、正法寺町、中藪 1 丁目、後三条町、大藪町、高宮町、平田町、西今町、開出今町、大方町、南川瀬町、日夏町、辻堂町、安食中町、賀田山町茂賀		
									発達した大規模な積乱雲による雨により、野瀬川、安食川、平田川等で家屋浸水の被害が出た					
									非住家その他	3	棟	古沢町、栄町 1 丁目、西今町		
									田冠水	45.4	ha	大藪町、西今町、楡町		
									畑冠水	4.2	ha	賀田山町大山、葛籠町、金剛寺町、千尋町、清崎町		
									パイプハウス	1	棟	金沢町		
									文教施設	24	箇所	－		
									水道	1000	戸	彦根市東部地域(正法寺町、野田山町、地藏町、原町、小野町、鳥居本町一部)		
									電気(停電)	450	戸	開出今町、中藪町		
平成 15 年 (2003 年)	5 月 31 日	台風 4 号	21.0	21.0	6.0	11.3	24.1	992.1	電気(停電)	1020	戸	－		
	8 月 8 ～ 9 日	台風 10 号	70.0	39.5	14.0	14.5	31.4	979.7	電気(停電)	150	戸	－		
平成 16 年 (2004 年)	6 月 21 日	台風 6 号	－	26.5	11.0	16.2	36.4	981.0	非住家その他	1	棟	古沢町		
									道路	3	箇所	－		
									電気(停電)	2030	戸	大東町、野瀬町、松原町、尾末町、金亀町、城町、高宮町、下岡部、小泉町 等		
									ビニールハウス	70	棟	鳥居本町、松原町、甘呂町、石寺町、薩摩町、本庄町、服部町、金沢町、上岡部 他		
	8 月 30～ 31 日	台風 第 16 号	31.5	23.0	7.0	12.4	26.6	989.1	重傷	1	人	鳥居本町		
									ビニールハウス	2	棟	松原町、三津屋町		
	10 月 19～ 21 日	台風 23 号	105.5	57.5	9.0	15.0	28.5	977.3	道路	3	箇所	－		
平成 17 年 (2005 年)	6 月 4 日	雹	14 時 3 分から 8 分にかけて、直径 1cm のひょうを観測			－	－	－	農作物全般	753.5	ha	高宮町、甘呂町、葛籠町、大方町、金剛寺町、清崎町、千尋町、稲枝一帯		
平成 18 年 (2006 年)	7 月 2 日	大雨	－	38.5	35.0	－	－	－	道路冠水	4	箇所	馬場 1 丁目、開出今町、八坂町、小泉町		
									床下浸水	2	棟	新海町、大藪町		
	7 月 15～ 25 日	大雨	334.5	76.5	30.5	－	－	－	道路	1	箇所	馬場 1 丁目		
									法面崩壊	4	箇所	石寺町、野田山町、仏生寺町、日夏町		

第 1 部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月 日	気象条件等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位	
			総雨量 (mm)	最大日雨量 (mm)	最大1時間雨量 (mm)	最大風速 (m/s)	最大瞬間風速 (m/s)	最低気圧 (hPa)				
平成 19 年 (2007 年)	7 月 12～15 日	大雨・台風 4 号	167.5	82.0	47.5	12.3	28.5	983.4	床下浸水	38	棟	西今町 4 棟、栄町 1 丁目 11 棟、立花町 1 棟、西沼波町 1 棟、平田町 12 棟、馬場 1 丁目 2 棟、芹川町 1 棟、開出今町 4 棟、高宮町 1 棟、京町 1 丁目 1 棟
									道路冠水	23	箇所	京町、栄町、平田町 他
									電気（停電）	10	戸	甘呂町付近
平成 20 年 (2008 年)	7 月 8～9 日	大雨	44.0	41.5	23.0	－	－	－	道路冠水	3	箇所	開出今町
	9 月 21～22 日	大雨	79.0	78.5	44.0	－	－	－	床下浸水	19	棟	栄町 1 丁目 13 件、中藪 1 丁目 2 件、城町 1 丁目 3 件、錦町 1 件
									道路冠水	4	箇所	栄町 1 丁目、中藪 1 丁目、開出今町、日夏町
平成 21 年 (2009 年)	10 月 5～8 日	台風 18 号	91.5	44.0	11.0	15.5	23.8	980.2	倒木	5	件	石寺町 2 件、本庄町 3 件
									土砂崩壊	1	箇所	野田山町
									文化財被害	2	箇所	特別史跡彦根城 1 箇所（石垣崩落）、太鼓門櫓（白壁崩落）1 箇所
平成 22 年 (2010 年)	7 月 11～16 日	前線による大雨	261.5	101.0	45.5	－	－	－	道路冠水	6	箇所	平田町、錦町、安清町、岡町、開出今町、日夏町
									床下浸水	3	棟	錦町、安清町、松原 2 丁目
									がけ崩れ	3	箇所	日夏町、野田山町、中山町
平成 23 年 (2011 年)	5 月 10～13 日	大雨	174.5	117.5	20.0	－	－	－	道路冠水	3	箇所	外町、開出今町、稲里町
									路肩崩落	4	箇所	仏生寺町 2 箇所、男鬼町 2 箇所
									公園冠水	1	箇所	金亀町
									土砂崩れ	3	箇所	野田山町、仏生寺町、稲里町
	7 月 18～21 日	台風 6 号	41.5	36.0	5.5	13.5	22.8	986.1	倒木	18	件	5 件（新海浜 1 丁目、開出今町、野口町、芹橋 1 丁目、中山町）、7 件（小野町、芹川町、金亀公園、蔵ノ町公園 A、庄堺公園、玄宮園・中堀）、6 件（芹川町、正法寺町、武奈町、男鬼町）
									土砂崩落	2	件	岡町 1 件、仏生寺町 1 件
平成 23 年 (2011 年)	9 月 1～5 日	台風 12 号	205.5	87.5	16.0	15.9	34.0	993.9	負傷者	3	人	重傷 2 人（甲良 1 件、高宮町 1 件）、軽傷 1 人（芹橋 2 丁目 1 件）
									停電	1,040	軒	高宮町、葛籠町、法士町、西葛籠町、犬方町
									倒木	10	件	中山町、後三条町、芹橋 2 丁目、竹ヶ鼻町、小野町、山之脇町、尾末町、開出今町、金亀町、鳥居本町
	9 月 19～22 日	台風 15 号	110.0	70.5	17.5	13.5	19.4	983.4	停電	70	軒	肥田町
道路冠水									2	箇所	稲里町、開出今町	
平成 24 年 (2012 年)	4 月 3 日	竜巻	23.5	23.5	13.0	15.4	24.1	983.9	建物被害	6	件	後三条町 1 件、薩摩町 1 件、金亀町 1 件、西今町 1 件、彦根市立病院（八坂町）2 件

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月日	気象条件等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位	
			総雨量 (mm)	最大日雨量 (mm)	最大1時間雨量 (mm)	最大風速 (m/s)	最大瞬間風速 (m/s)	最低気圧 (hPa)				
平成 24 年 (2012 年) 〔 続 き 〕	9 月 29 日 ～10 月 1 日	台風 17 号	67.5	65.5	13.0	16.6	23.8	993.0	軽傷	1	人	岡町
									倒木被害	1	件	三津屋町
									軽微な建物被害	8	棟	雨漏りや外壁剥離（西沼波町 7 棟、鳥居本町（鳥居本地区公民館）1 棟）
									倒木被害	4	件	小泉町 1 件、西今町 1 件、石寺町 1 件、金亀町 1 件
									土砂崩落	1	件	仏生寺町
									ビニールハウス	13	棟	本庄町、薩摩町、甲崎町（全壊 1 棟、一部損壊 1 棟、ビニール破損 11 棟）
平成 25 年 (2013 年)	9 月 15～ 16 日	台風 18 号	159.5	102.5	22.0	16.6	24.4	985.1	軽傷	3	人	金亀町、野瀬町、
									床下浸水	4	棟	鳥居本町
									一部損壊	1	棟	古沢町
									文化財被害	3	箇所	彦根城天守、西の丸三重櫓の漏水、鹿島家住宅の萱葺屋根のトタン一部損壊
									道路冠水	4	箇所	仏生寺、甲田町、下岡部町、男鬼町
									大雨特別警報が発表された			
	9 月 15～ 16 日	台風 18 号	159.5	102.5	22.0	16.6	24.4	985.1	公園冠水	3	箇所	金亀町、須越町、甘呂町
									河川	4	箇所	本庄町 1 箇所、中山町 3 箇所
									がけ崩れ	5	箇所	仏生寺町 2 箇所、日夏町 1 箇所、中山町 2 箇所
									倒木被害	6	件	新海町、清崎町、芹橋 2 丁目、野口町、京町 2 丁目、下石寺町
									ビニールハウス	33	棟	全壊（松原町 1 棟、本庄町 3 棟）、半壊（松原町、本庄町 2 棟）、一部破損（松原町 2 棟、石寺町 2 棟、薩摩町 8 棟、本庄町 8 棟、稲里町 2 棟、金沢町 1 棟、賀田山町 2 棟、海瀬町 1 棟）
									農作地浸水	37.5	ha	須越町、日夏町、甘呂町、三津屋町、本庄町、田附町、甲崎町、普光寺町、石寺町他
	10 月 15～ 16 日	台風 26 号	65.0	39.5	9.5	14.7	21.8	988.5	がけ崩れ	2	箇所	笹尾町
									ビニールハウス	1	棟	松原町
平成 26 年 (2014 年)	8 月 8 ～ 10 日	台風 11 号	194.5	79.5	37.0	14.9	28.9	985.3	軽傷	1	人	中薮 2 丁目
									一部損壊	2	棟	西沼波町 1 棟、大東町 1 棟
									倒木	17	件	宇尾町、葛籠町、佐和町ほか市内一円
									ブロック塀	1	件	原町
									通行障害	4	件	笹尾町
									ビニールハウス	1	件	松原町
									梨園冠水	1	ha	石寺町
平成 26 年 (2014 年)									文化財被害	4	件	彦根城天秤櫓の漆喰壁剥落 2 箇所、西の丸前広場竹矢垣の倒壊、史跡内外の樹木倒木、大手門券売所案内板支柱折れて倒れる

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月日	気象条件等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位	
			総雨量 (mm)	最大日雨量 (mm)	最大1時間雨量 (mm)	最大風速 (m/s)	最大瞬間風速 (m/s)	最低気圧 (hPa)				
〔続き〕	8月14～18日	大雨	139.5	57.5	49.0	－	－	－	床下浸水	6	棟	外町2棟、日夏町2棟、東沼波町、平田町
									林道通行止め	1	箇所	上岡部町（小規模土砂災害により）
									文化財被害	1	箇所	彦根城石垣崩れる
		8月23日	大雨	－	46.5	31.0	－	－	－	床下浸水	3	棟
平成27年 (2015年)	7月16～18日	台風11号	96.0	45.0	13.0	13.8	24.7	998.0	倒木	1	箇所	千尋町
									文化財被害	3	箇所	彦根城内の倒木、金亀児童公園の樹木枝折れ、国指定重要文化財有川家住宅（壁崩落）
									林道	4	箇所	（滝谷武奈線）倒木1箇所、落石1箇所、法面崩落1箇所、看板破損1箇所
									ビニールハウス	1	棟	松原町（1棟倒壊）
									梨落果	2000～3000	個	石寺町
									一部損壊	8	箇所	中藪町、元町、開出今町2箇所、松原町2箇所、本町、森堂町
									公園	1	箇所	本町（元町公園）塀倒壊
	9月8～9日	台風18号	126.0	100.5	26.5	11.3	16.1	1000.8	文化財被害	3	箇所	金亀町 土砂崩れ（国特別史跡彦根城跡）、倒木2箇所（市指定史跡山崎山城跡の登山道）、壁落ち4箇所（重要文化財西の丸三重櫓
									河川	2	箇所	小野町（泉水谷川）石垣崩壊及び断面阻害
									林道	2	箇所	（滝谷武奈線）道路陥没及び倒木
									塀倒壊	1	箇所	栄町
平成28年 (2016年)	9月20日	台風16号	65.0	65.0	17.5	13.7	18.3	998.8	一部損壊	1	箇所	鳥居本町（公民館）
									農業被害 陸上交通一時不通	161	箇所件	
平成29年 (2017年)	1月23日～1月25日	大雪	66 cm 総降雪量	60 cm 最深積雪 (1/24)	－	－	－	－				
平成29年 (2017年)	9月17日～18日	台風18号	6.5	5.0	4.0	13.4	24.6	981.0	倒木	1	箇所	市道通行止め
									一部破損	1	箇所	ソーラーパネルおよび屋根瓦
									梨園	2.7	ha	防鳥ネット破損
									ビニールハウス	4	棟	薩摩町3棟一部破損 甲崎町1棟全部破損
平成29年 (2017年)	10月21日～23日	台風21号	228.5	200.0 観測史上2位	26.5	19.6	30.3	978.4	文化財被害	4	箇所	・彦根城跡：倒木14本、板塀倒壊（木俣屋敷27.5㎡、旧滋賀大学弓道場90㎡） ・多聞櫓の外壁漆喰剥落 ・旧彦根藩松原下屋敷庭園：倒木1本 ・金亀会館：壁倒壊

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月日	気象条件等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位	
			総雨量 (mm)	最大日雨量 (mm)	最大1時間雨量 (mm)	最大風速 (m/s)	最大瞬間風速 (m/s)	最低気圧 (hPa)				
									公共施設被害	9	箇所	・市営住宅 15 戸 ・学校：倒木 6 本、屋根破損 3 箇所、庇 1 箇所、フェンス 3 箇所、看板 2 箇所、壁面 2 箇所、太陽光パネル欠落 1 箇所 ・幼稚園等：倒木 6 本、フェンス 2 箇所、物置転倒 ・公園等：倒木 13 本 ・市民体育センター：倒木 1 本 ・啓発塔：看板剥離 1 塔 ・防犯灯：架線切断 1 箇所 ・野田沼周辺施設：冠水 1 箇所、倒木 7 本 ・農村下水道施設：電線断線 1 箇所、フェンス一部破損 1 箇所、倒木 1 本
									市道	23	件	・斜面崩落 3 件 ・倒木 9 件 ・倒木、架線断線、電柱倒壊 1 件 ・ごみ集積場転倒 2 件 ・カーブミラー損壊 3 件 ・冠水 1 件 ・路面洗掘 1 件 ・土砂堆積 1 件 ・舗装隆起 1 件
									農道	1	件	・倒木 1 件
									林道	11	箇所	・斜面崩落 1 件 ・倒木 3 件 ・滝谷武奈線 7 箇所（斜面崩落、路肩崩壊、倒木）
									河川	3	件	・護岸崩壊 3 件
									住家	8	件	・一部破損
									民間施設	1	箇所	・ガソリンスタンド：天井の一部および照明 3 台剥落
									ビニールハウス	208	棟	・全壊 23 棟 ・半壊 11 棟 ・一部破損 22 棟 ・ビニール破損 152 棟
									床上浸水	1	棟	・野田山町（集合住宅 4 戸）
									床下浸水	3	棟	・平田町 1 棟、鳥居本町 1 棟、宮田町 1 棟
平成 30 年 (2018 年)	6 月 29 日	大雨	64.5	64.5	33.5				文化財被害	1	箇所	・黒門山道山側法面崩壊
	7 月 5 日～7 月 8 日	平成 30 年 7 月 豪雨	279.0	177.5 (7/5) 観測史第 5 位	47.5 (7/5)				林道	2	箇所	・倒木 1 本（高根町） ・土砂崩れ（林道滝谷武奈線 笹尾町）
									崖崩れ	1	箇所	・荒神山神社駐車場
									文化財被害	2	箇所	・内堀沿い腰巻石垣崩壊 ・桜の木枝折れ 1 本
	7 月	台風	29.5	27.0	10.5	12.7	23.7	989.8	市道	1	箇所	・倒木（立花町）

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月 日	気象条件等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考
			雨量			風速・気圧						
			総雨量 (mm)	最大日雨量 (mm)	最大1時間雨量 (mm)	最大風速 (m/s)	最大瞬間風速 (m/s)	最低気圧 (hPa)	種類	数量	単位	
	28 日 ～7 月 29 日	12 号							文化財被害	2	箇所	・冠木門かんぬきの金具破損（名勝旧彦根藩松原下屋敷（お浜御殿）庭園冠木門） ・冠木門の下部破損（博物館正門玄関横冠木門）
	8 月 23 日 ～8 月 24 日	台風 20 号	45.0	25.5	13.0	17.3	34.0	996.6	文化財被害	12	箇所	・漆喰壁剥落（彦根城天秤櫓・彦根城二の丸佐和口多聞櫓） ・倒木 6 本 ・歴史的建造物障子窓等のき損（1 枚）歴史的建造物の内壁の雨水侵入によるき損、歴史的建造物以外の建物の壁板の剥落（名勝玄楽々園） ・後補門扉の倒壊（名勝旧彦根藩松原下屋敷（お浜御殿）庭園）
									市営住宅	4	箇所	・窓ガラス破損、アンテナ破損、街路灯転倒、ベランダ間仕切り破損
									学校	11	箇所	・旭森小学校、佐和山小学校、城東小学校、鳥居本小学校、平田小学校、亀山小学校、稲枝西小学校、西中学校、中央中学校、南中学校、稲枝中学校
									公園	2	箇所	・倒木（金亀公園）
									彦根商工会議所	3	箇所	街灯破損、倉庫シャッター破損、駐車場案内板破損
									市立みはた児童遊園	1	箇所	・倒木 1 本
									公民館	2	箇所	・森地区公民館、東地区公民館
									天王山配水池	2	箇所	・有刺鉄線断裂
									農業集落排水施設	1	箇所	・地下室浸水害
									市道	17	箇所	・倒木 13 本、ごみ集積場転倒 1 件、カーブミラー損壊 2 件、標識損壊 1 件
									ビニールハウス	22	箇所	・全壊 1 棟、半壊 1 棟、ビニール剥がれ 15 棟、梨園の防虫ネット剥がれ 4 園、水稻倒伏被害（1 ha）（南三ツ谷町）

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月日	気象条件等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位	
			総雨量 (mm)	最大日雨量 (mm)	最大1時間雨量 (mm)	最大風速 (m/s)	最大瞬間風速 (m/s)	最低気圧 (hPa)				
	9月3日～9月5日	台風21号	68.5	68.0	29.0	24.9 観測史上4位	46.2 観測史上1位	974.3	文化財被害	84	箇所	・漆喰壁剥落（彦根城天守、附櫓及び多聞櫓、彦根城天秤櫓、彦根城二の丸佐和口多聞櫓、市指定文化財旧彦根藩足輕組辻番所） ・倒木43本（表門山道、大手山道、鐘の丸便所横、特別史跡内40本以上） ・登録有形文化財旧石橋家住宅入口シャッター、塀倒壊 ・市指定文化財旧彦根藩足輕組辻番所の東面壁剥落 ・市指定文化財金亀会館の本堂入口木建具破損、書院東側建具破損 ・二の丸休憩所 鉄板葺屋根破損 ・木塀破損（旧職員会館旧弓道場、楽々園作業小屋） ・名勝玄宮楽々園内楽々園建造物の建具（9枚）、屋根一部破損 ・名勝玄宮楽々園内臨池閣（旧八景亭）の建具（14枚）、屋根一部破損 ・名勝旧彦根藩松原下屋敷（お浜御殿）庭園内建造物の建具（1枚）板壁破損 ・市指定文化財旧井伊神社社殿の覆屋の波板
									彦根城博物館	12	箇所	・博物館庭園入口木戸屋根瓦（5枚） ・庭園内梅木倒木1本 ・外庭園倒木1本および枝折れ（数本） ・屋外灯破損1灯 ・警備用赤外線センサー ・彦根城天守引き込み用電柱1本 ・彦根城表門券売所側土塀破損 ・彦根城表門山道側外周フェンス破損

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月 日	気象 条件 等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位	
			総雨量 (mm)	最大 日雨 量 (mm)	最大 1 時間 雨量 (mm)	最大 風速 (m/s)	最大 瞬 間 風速 (m/s)	最低 気圧 (hPa)				
									学校	20	箇所	・城北小学校、平田小学校、城南小学校、佐和山小学校、稲枝北小学校、金城小学校、稲枝東小学校、亀山小学校、城西小学校、若葉小学校、城東小学校、城陽小学校、河瀬小学校、高宮小学校、稲枝西小学校、鳥居本小学校、彦根中学校、南中学校、中央中学校、稲枝中学校
									公民館	8	箇所	・河瀬地区公民館、東地区公民館、南地区公民館、旭森地区公民館、鳥居本地区公民館、西地区公民館、中地区公民館、稲枝地区公民館
									公共施設 関係	47	箇所	・学校給食センター、荒神山自然の家、武道場、図書館、ひこね市文化プラザ、みずほ文化センター、ふれあいの館、市立旭森幼稚園、市立金城幼稚園、市立高宮幼稚園、市立城北幼稚園、彦根市発達支援センター、市立彦根幼稚園、市立稲枝東幼稚園、稲枝地区青少年健全育成塔、市立高宮児童遊園、市立みはた児童遊園、市立ふたば保育園、市立西保育園、市立東保育園、市立平田こども園、彦根市福祉センター別館、北デイサービスセンター、中老人福祉センター、彦根市障害者福祉センター、北老人福祉センター、清掃センター、中蔵倉庫、市営広野墓地、人権・福祉交流会館、猿ヶ瀬川河川計画用地、彦根市立病院、市庁舎・喫煙室、市庁舎耐震補強・増築・改修工事現場、中央町仮庁舎・車庫、旧 芹橋二丁目 1 部自治会集会所貸付地、市庁舎別館、高宮出張所、稲枝商工会館、夢京橋あかり館、農村環境改善センター、観光駐車場、松原水泳場管理事務所、湖岸緑地松原、佐和山城跡、俳遊館
									公園	8	箇所	・庄堺公園、千鳥ヶ丘公園

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月 日	気象条件等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考	
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位		
			総雨量 (mm)	最大日雨量 (mm)	最大1時間雨量 (mm)	最大風速 (m/s)	最大瞬間風速 (m/s)	最低気圧 (hPa)					
													園、金亀公園、新海浜公園、東山公園
									改良住宅	3	箇所		・西部団地、堀団地、地区内団地
									市営住宅	10	箇所		・開出今団地、西沼波住宅、肥田団地、中藪団地、堀団地、春日団地、里根団地、和田西団地、高宮竹之腰団地、稲枝西団地
									市道	89	箇所		・倒木 42 箇所 65 本 ・カープミラー 11 本 ・標識 2 基 ・塀倒壊 7 箇所 ・倉庫倒壊 4 庫 ・その他被害箇所 11 箇所
									農業集落排水施設	2	箇所		・下石寺地区処理場、両浜農村集落排水処理場
									梨園	3 万	個		・豊水の収穫量の約 2 割程度（約 3 万玉に相当する量）が落下被害 ・7～8 園で防虫ネット破
									ビニールハウス	258	棟		損被害 ・全壊（70%以上の破損）36 棟 ・半壊（30～70%の破損）37 棟 ・一部破損（30%未満の破損）13 棟 ・ビニールハウス破れ 172 棟
									倒木	34	箇所		・野田沼、神上沼、林道日夏山線、林道荒神山線、林道滝谷武奈線
									マンホールポンプ	5	箇所		・停電によるマンホールポンプの機能停止
									住家被害	35	件		・半壊 7 件 ・一部損壊 1 件 ・その他 27 件
	9 月 29 日～9 月 30 日	台風 24 号	62.0	31.5	8.5	16.8	29.8	972.3 観測史上第 7 位	市営住宅	1	棟		・屋根の破損
									学校	4	箇所		・平田小学校、高宮小学校、西中学校、彦根中学校
									公民館	4	箇所		・河瀬地区公民館、西地区公民館、鳥居本地区公民館、東地区公民館
									市道	6	箇所		・倒木 3 本 カープミラー 2 本 標識 1 基
									ビニールハウス	4	棟		・ビニールハウス破れ
									倒木等	4	箇所		・野田沼、林道日夏山線、林道荒神山線、稲村山農道

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月日	気象条件等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位	
			総雨量 (mm)	最大日雨量 (mm)	最大1時間雨量 (mm)	最大風速 (m/s)	最大瞬間風速 (m/s)	最低気圧 (hPa)				
									農業集落排水施設	4	箇所	・新海地区処理場 服部地区処理場 下石寺地区処理場 下石寺地区No.1中継ポンプ場
									住家被害	1	件	・一部損壊
令和元年 (2019 年)	8 月 9 日～8 月 16 日	台風 10 号	74.5	44.0	15.5	13.7	26.2	987.8	人的被害	1	件	中軽症
									建物被害（公共施設）	2	件	図書館屋根剥離、福祉施設屋根瓦剥離
									その他被害	8	件	倒木 5 本、法面崩落、防鳥ネット破損、農作物被害
	10 月 7 日～10 月 13 日	台風 19 号	108.0	100.0	12.0	19.4	29.2	986.3	建物被害	5	件	公共施設：市民交流センター、大藪浄水場、河瀬駅前西口自転車駐車場 民間施設：エレベーター停止、フェンス倒壊
									その他被害	7	件	公共施設：福満公園 文化財：彦根城跡内石垣一部崩落 民間施設等：シート離脱、倒木 3 本、ビニールハウス破損
令和 3 年 (2021 年)	8 月 11 日～8 月 20 日	大雨	275.0	118.5	39.0	9.2	15.5	1003.6	床上浸水	1	棟	高宮町 1 棟
									床下浸水	9	棟	安食中町 4 棟、稲枝町 2 棟、服部町 2 棟、日夏町 1 棟
令和 3 年 (2021 年)～ 令和 4 年 (2022 年)	12 月 26 日～ 1 月 1 日	大雪	57 cm （降雪の深さの日合計） 12/26 観測史上 1 位	73 cm （最深積雪） 12/27 観測史上 8 位	—	—	—	—	人的被害	30	件	除雪作業後の体調不良、転倒による負傷者等
									建物被害（文化財関係）	6	件	彦根城域の停電・倒木・屋根破損等 お浜御殿、いろは松、旧魚屋町長屋、旧石橋家住宅、彦根城博物館のフェンス、屋根、街路灯、雨樋等の破損
									建物被害（公共施設）	38	件	小学校、中学校、幼稚園、保育所、こども園、公園、市営住宅、市立病院、稲枝地区体育館、松原湖岸水泳場管理事務所、大藪浄水場、障害者福祉センター、庄堺公園管理事務所、ひこね燦ばれず、野田沼、荒神山自然の家、西地区公民館のフェンス・屋根・瓦・樹木・雨樋等の破損多数
									その他			住家被害 134 件 非住家被害 53 件 パイプハウス等 8 件
									その他被害			道路・防犯灯 2 件
									市有設備等			公用車破損多数 救急車破損箇所多数

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年	月 日	気象条件等	気象状況（彦根地方気象台）						被害状況			備考
			雨量			風速・気圧			種類	数量	単位	
			総雨量 (mm)	最大 日雨量 (mm)	最大 1 時間 雨量 (mm)	最大 風速 (m/s)	最大瞬間 風速 (m/s)	最低 気圧 (hPa)				
令和 6 年 (2024 年)	4 月 16 日 ～17 日	降雹 突風 雷	—	—	—	7.2	11.2	—	建物被害	1	件	天王山配水池の水位計交換機（落雷）
	7 月 15 日 ～7 月 17 日	大雨	156.0	116.5	40.5	8.5	14.6	—	文化財関係	3	件	倒木 1 件、枝折れ 1 件、特別史跡彦根城跡内米蔵水門石垣の崩壊
									建物被害	2	件	雨漏れ 2 件
									その他被害	2	件	倒木 1 件、法面崩壊
	8 月 30 日 ～31 日	台風 10 号	29.5	27.0	8.5	6.6	11.8	—	その他	1	件	倒木 2 本によるガードレール、NTT 柱破損
令和 7 年 (2025 年)	2 月 7 日～9 日	大雪	33cm (総降雪量)	27cm (最深積雪) 2/9	—	15.4	23.3	—	人的被害	9	件	除雪作業中の体調不良、転倒による負傷者等
									建物被害	3	件	雨どいの変形、換気扇、給湯器の不調
									その他被害	4	件	倒木によるガードレール損傷、除雪作業により仕切弁ボックスの鉄蓋が破損
	2 月 18 日 ～24 日	大雪	68 cm (総降雪量)	27 cm (最深積雪) 2/20	—	10.8	16.3	—	人的被害	2	件	軽トラックが側溝に転落（不搬送）、転倒による負傷
建物被害									1	件	幼稚園天井の雨漏り	
その他被害									2	件	倒木、管理用資機材の破損	

（注）基にした資料は次のとおりである。

- ・『彦根市史 第2巻・第3巻・第4巻・第8巻・第9巻・第11巻』2008, 2009, 2015, 2003, 2005, 2012 彦根市史編集委員会
- ・『彦根地域防災計画』2014 彦根市
- ・『滋賀県災害誌 第1部～第5部』1966, 1979, 1990, 2000, 2011 滋賀県
- ・『平成24年度 大雨・台風・雷・竜巻被害』2012 彦根市
- ・『平成25年度 大雨・台風・雷・竜巻被害 No.1、2』2013 彦根市
- ・『平成26年度 大雨・台風・雷・竜巻被害 No.1、2』2014 彦根市

(2) 地震

過去 1000 余年間で、滋賀県下に被害をもたらせた地震は、次のとおりである。

年月日	『地震名称』 地域	震央	規模 M	震度分布	震源 深さ	前震・余震	全体の被害状況	滋賀県の被害状況 (彦根市近辺の被害は下線)
745 年 6 月 5 日 (天平 17 年)	美濃	岐阜県 西部 北緯 35.2 東経 136.6	7.9	震度 5 以上 岐阜県南部		余震は月を 越えて止ま ず。	家屋全壊多数。	—
976 年 7 月 22 日 (貞元元年)	山城・近江	京都府 南部 北緯 34.9 東経 135.8	6.7 以上	震度 6 滋賀県南部 京都府南部		余震あり。	死者 50 人以上、家屋 全壊多数。 京都で寺社の倒壊多 数。	近江の国府庁並びに雑屋 30 余棟転倒す。
1185 年 8 月 13 日 (文治元年)	近江・山城・大 和	滋賀県 中部 北緯 35.0 東経 135.8	7.4	震度 6 滋賀県南部 京都府南部		余震が 2 ヶ 月ほど続く。	死者多数、家屋全壊 多数。 京都で社寺の倒壊多 数。	近江の湖水大いに減じ、 傍近の田、陥落して深淵と なる。
1325 年 12 月 5 日 (正中 2 年)	近江北部	福井県 南部 北緯 35.6 東経 136.1	6.5 ± 1/4	震度 6 滋賀県北部 福井県南部		余震が年末 まで続く。	家屋全壊有。	琵琶湖北方に山崩れあ り。竹生島の一部が崩れ る。
1586 年 1 月 18 日 (正平 13 年)	畿内・東海・東 山・北陸	岐阜県 西部 北緯 35.6 東経 136.8	7.8 ± 0.1 (8.2 と する文 献もあ る)	震度 6 滋賀県中東部 岐阜県全域 愛知県西部 三重県北部 富山県西部		余震が翌年 まで続く。	推定死者 1,500 人 余、家屋全壊多数。	近江長浜で城・城下に被 害甚大。1,000 戸の人家の うち半分は顛覆し、半分は 出火で焼滅。
1596 年 9 月 5 日 (慶長元年)	『慶長伏見地 震』 京都および畿 内	兵庫県 南部 北緯 34.8 東経 135.4	7 1/2 ± 1/4	震度 6 京都府南部 大阪府 兵庫県東南部 和歌山県北部 徳島県東部		余震が翌年 春まで続く。	死者 1,500 人余、家 屋全壊多数。 伏見城の天守大破、 石垣崩れる。	栗田郡葉山村(現・栗東 市)でも死者多数、家屋全 壊多数。

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年月日	『地震名称』 地域	震央	規模 M	震度分布	震源 深さ	前震・余震	全体の被害状況	滋賀県の被害状況 (彦根市近辺の被害は下線)
1662年6月16日 (寛文2年)	『寛文地震』 山城・大和・河内・和泉・摂津・丹後・若狭・近江・美濃・伊勢・駿河・三河・信濃 【滋賀県下最大級の地震】	比良山の東麓琵琶湖畔 北緯35.3 東経135.9	7 1/4 ～ 7.6	震度6～7 滋賀県中部			死者 883 人、家屋全壊 4,000～4,700 棟。	比良岳付近を中心に被害甚大。 佐和山(彦根):地震強く、大分破損、城ゆがみ、石垣5～600間崩れ、櫓土崩れ、家1,000軒余壊れ、或いは破損し、死人30人余りあり。 死者は大溝(現・高島市)で37人、榎村300人余、町居村260人余。 家屋全壊3,600棟以上。
1707年10月28日 (宝永4年)	『宝永地震』 五畿七道	北緯33.2 東経135.9	8.6	震度6 滋賀県全域 震度7 山梨県中部 静岡県南部 大阪府中部 高知県南部 愛知県南部		余震あり。	死者 5,000 人余、家屋全壊 6 万棟余、家屋流失 1 万 8,000 棟余。 津波が伊豆半島から九州に至る太平洋沿岸および大阪湾、播磨、伊予、周防に襲来。	死者 1 人、家屋全壊 80 棟。
1819年8月2日 (文政2年)	近江・伊勢・美濃	滋賀県中部 北緯35.2 東経136.3	7 1/4 ± 1/4	震度6 滋賀県中部 三重県北部		同日、揺れあり。	家屋全壊310棟。	近江八幡で家屋全壊82棟、半壊160棟、死者5人。 彦根城の石垣が損壊。甘呂(彦根の西)では70棟余り潰れる。 琵琶湖西北岸の大溝で被害甚大。
1830年8月19日 (天保元年)	『文政京都地震』 京都および隣国	京都府南部 北緯35.1 東経135.6	6.5 ± 0.2	震度5 滋賀県南西部 震度6 京都府南部		余震は非常に多かった。	死者300人。	大津で死者1人、負傷者2人、家屋全壊6棟。
1854年7月9日 (安政元年)	『伊賀上野地震』 伊賀・伊勢・大和および隣国	三重県西部 北緯34.75 東経136.1	7 1/4 ± 1/4	震度6 滋賀県南部 奈良県北部 三重県北西部 京都府南部		7月7日に前震が発生。 7月15日までは規模の大きな余震が多かった。	死者 1,352 人、家屋全壊 7,603 棟。	甲賀・野洲・蒲生で家屋全壊264棟、半壊352棟、山崩れ80箇所など。 膳所で死者8人、家屋全壊96棟。 水口で死者9人、家屋全壊181棟。
1854年12月23日 (安政元年)	『安政東海地震』 東海・東山・南海諸道	東海道沖 北緯34.0 東経137.8	8.4	震度5 滋賀県 震度7 静岡県南部 山梨県中部			死者 2,634 人、家屋全壊 5 万 5,173 棟、家屋焼失 1 万 4,496 棟、津波による家屋流失 1 万 8,485 棟、その他分類不能多数。	彦根で家屋全壊 140 棟、半壊 250 棟。

第 1 部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年月日	『地震名称』 地域	震央	規模 M	震度分布	震源 深さ	前震・余震	全体の被害状況	滋賀県の被害状況 (彦根市近辺の被害は下線)
1854 年 12 月 24 日 (安政元年)	『安政南海地震』 北陸・南海・畿内・東海・東山・山陰・山陽道	北緯 33.0 東経 135.0	8.4	震度 6 高知県南部 徳島県東南部 和歌山県南部				
1891 年 10 月 28 日 (明治 24 年)	『濃尾地震』 愛知県・岐阜県	岐阜県南西部 北緯 35.6 東経 136.6	8.0	震度 6 滋賀県東部 愛知県・岐阜県 静岡県西部 三重県北部 福井県南部		余震数は非常に多く、岐阜では 10 月中に 720 回にも達した。	死者 7,273 人、負傷者 17,175 人、全壊 14 万 2,177 棟、半壊 8 万 324 棟。 美濃国大野・本巢両郡に跨る根尾谷近傍の根尾谷断層で生じた。	死者 6 人、負傷者 47 人、家屋全壊 404 棟、半壊 776 棟、道路破裂 47 箇所、橋りょう損落 7 箇所、堤防崩壊 177 箇所、山崩れ 1 箇所 <u>彦根町 2 名、北青柳村 1 名の死者。</u> 犬上郡では負傷者 10 名、 建物の全壊 101 棟、半壊 223 棟、一部破損 3302 棟にのぼった。 東海道線では米原・彦根間で貨物列車が脱線して不通となった。
1899 年 3 月 7 日 (明治 32 年)	『紀和地震』 奈良県・三重県	紀伊半島南東部 北緯 34.1 東経 136.1	7.0	震度 5 彦根			死者 7 人、負傷者 62 人、全壊 35 棟、半壊 40 棟。 奈良県吉野郡南部では山岳の崩壊、地面の亀裂などが甚だしかった。	滋賀県全域で家屋全壊 1 棟、半壊 2 棟、破損 149 棟。 犬上郡で全壊 1 棟、破損 53 棟 蒲生郡では、家屋半壊 2 棟、破損 25 棟。
1909 年 8 月 14 日 (明治 42 年)	『姉川地震』 滋賀県姉川付近	姉川流域 北緯 35.4 東経 136.3	6.8	震度 6 彦根 岐阜県西南部		8 月 18 日までに余震数は彦根において 88 回。	死者 41 人、負傷者 784 人、住家全壊 978 棟、半壊 2,444 棟	琵琶湖北岸付近を中心に被害。 死者 35 人、負傷者 643 人、住家全壊 972 棟、半壊 2,367 棟。 彦根町で全壊 2 戸、半壊 2 戸。松原村で半壊 2 戸。
1923 年 9 月 1 日 (大正 12 年)	『関東大震災』 関東地方	相模湾 北緯 35° 20' 東経 139° 08'	7.9	震度 4 彦根	23km	余震あり。	死者 9 万 9,3631 人、負傷者 10 万 3,733 人、行方不明者 4 万 3,476 人、家屋全壊 12 万 8,266 棟、半壊 12 万 6,233 棟、焼失 44 万 7,128 棟。	彦根市内では人畜に死傷は無く、家屋にも大きな被害は無かったが、所々に古い壁が落ちたり、振り子時計が停止した。

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年月日	『地震名称』 地域	震央	規模 M	震度分布	震源 深さ	前震・余震	全体の被害状況	滋賀県の被害状況 (彦根市近辺の被害は下線)
1927年3月7日 (昭和2年)	『北丹後地震』 京都北部	北丹後福田 川流域 北緯 35° 38′ 東経 134° 56′	7.3	震度4 彦根	18km		死者2,925人、負傷者多数、家屋全壊4,986棟、全焼2,019棟。	負傷者2人。 彦根地方:時計が止まる、電燈・電話線の切断、ガラスの破損、壁に亀裂が生じる。
1944年12月7日 (昭和19年)	『東南海地震』 東海道沖	紀伊半島南 東沖 北緯 33° 34′ 東経 136° 11′	7.9	震度5 彦根 震度6 静岡県南部 愛知県南部 三重県東部 岐阜県南部	40km		死者998人、負傷者3,059人、家屋全壊2万6,130棟、半壊4万6,950棟、流失3,059棟。 津波が伊豆半島から紀伊半島の間を襲った。	負傷者1人、家屋全壊13戸、半壊20戸
1946年12月21日 (昭和21年)	『南海地震』 南海道沖	潮岬沖 北緯 32° 56′ 東経 135° 51′	8.0	震度5 彦根 和歌山県 奈良県 三重県南部 大阪府南東部 高知県・徳島県 香川県・大分県	24km	21～31日の間に有感余震が183回あった	死者・行方不明者1,464人、負傷者3,3632人、家屋全壊1万392棟、半壊1万7,949棟、流失家屋2,109棟。 津波は房総半島から九州に至る沿岸を襲った。	彦根地方 死者2人、家屋全壊2戸、半壊3戸、納屋全壊1戸 大津地方 家屋全壊1戸 その他の地方 八幡町で民家破損1戸、蒲生郡苗村神社の門倒壊、速野村水保で住宅全壊1戸、死者1人、重傷者1人
1948年6月28日 (昭和23年)	『福井地震』 福井県	福井市 付近 北緯 36° 10′ 東経 136° 17′	7.1	震度4 彦根 震度6 福井県	0km		死者3,769人、負傷者2万2,203人、全壊3万6,184棟、半壊1万1,816棟、焼失3,851棟。	彦根地方:民家全壊1棟、石灯籠転倒。 近江八幡地方:時計が止まり、壁が落ち、ガラス戸の破損したところあり。
1952年7月18日 (昭和27年)	『吉野地震』 奈良県中部	奈良県 北部 北緯 34° 27′ 東経 135° 46′	6.7	震度5 彦根 奈良県北部	61km	余震は少なく4回のみ	死者9人、負傷者136人、家屋全壊20棟、半壊26棟。	死者1人、負傷者13人、住家全壊6棟、半壊6棟、一部損壊240棟。 八幡地方:八幡町の帝澤寺本堂倒壊、同町新町で石燈籠倒れ死亡者1人、重傷者1人、その他燈籠多数倒壊。
1994年5月28日 (平成6年)		滋賀県 北部 北緯 35° 19.6′ 東経 136° 16.7′	5.3	震度4 彦根市 三重県四日市市	44km			彦根市内:棚から皿が落ち幼児が顔に軽いけが。民家や商店の一部で陳列棚等から商品・箱等落下。

第1部 災害リスクに関する資料
6 災害履歴

年月日	『地震名称』 地域	震央	規模 M	震度分布	震源 深さ	前震・余震	全体の被害状況	滋賀県の被害状況 (彦根市近辺の被害は下線)
1995年1月17日 (平成7年)	『兵庫県南部地震』	淡路島 北部 北緯 34° 35.9′ 東経 135° 02.1′	7.2	震度5 彦根 京都府南部 震度7 兵庫県南部	16km	前震と思われる地震が3回。 余震(有感)は3月31日までに286回。	死者6,434人、負傷者4万3,792人、家屋全壊10万4,906棟、半壊14万4,274棟。	負傷者9人、家屋一部破損91棟。 負傷者2人。
2004年9月5日 (平成16年)	紀伊半島南東沖	三重県 南東沖 北緯 33° 08.3′ 東経 137° 08.5′	7.4	震度4 彦根 震度5弱 和歌山県南部 奈良県南部 三重県中部	44km	本震発生約5時間前にM7.1の前震あり 9月7日M6.5 9月8日M6.5の余震あり	負傷者36人。	負傷者1人。
2018年6月18日 (平成30年)	大阪府北部を震源とする地震	大阪府北部 北緯 34° 50.6′ 東経 135° 37.3′	6.1	震度4 彦根 震度6弱 大阪市北部	13km		死者6名 負傷者462人	負傷者3人

(注) 基にした資料は次のとおりである。
 ・『彦根市史 第3巻・第12巻』 2009, 2013 彦根市史編集委員会
 ・『彦根地域防災計画』 2014 彦根市
 ・『滋賀県災害誌 第1部～第5部』 1966, 1979, 1990, 2000, 2011 滋賀県
 ・『琵琶湖ハンドブック』 2008.3 滋賀県琵琶湖環境部
 ・『日本被害地震総覧 599-2012』 2013 宇佐美龍夫 東京大学出版会

6 災害履歴

(3) その他の災害

ア 雪害

大正 7 年(1918) 1 月 9 日 豪雪	月最深積雪 93cm	彦根～河瀬間で列車が運転不能となった。
昭和 59 年(1984) 1 月～3 月 豪雪	月最深積雪 73cm(2/10) 降雪の深さ日合計 43cm(2/7)	2 月 7 日路線バスが運休し、県・市で雪害対策本部・除雪対策本部が設置された。
平成 29 年 (2017) 1 月 豪雪	月最深積雪 60cm(1/24) 降雪の深さ日合計 37cm(1/14)	1 月 14 日に 770 軒の停電が発生した。 1 月 23 日～25 日の大雪では、転倒等により 11 人の負傷者が発生した。
令和 3 年 (2021) 12 月～1 月 豪雪	月最深積雪 73 cm (12/27) 降雪の深さ日合計 57 cm (12/26)	市災害警戒本部が設置された。 家屋被害・負傷者が発生した。

(参考) 降雪ランキング

	月最深積雪 (cm)	発生年月日
1 位	93	1918/1/9
2 位	85	1936/2/3
3 位	83	1917/2/3
4 位	80	1927/1/31
5 位	80	1922/1/21
6 位	78	1952/2/6
7 位	77	1940/2/9
8 位	73	2021/12/27
9 位	73	1984/2/10
10 位	71	1923/1/4

資料：彦根地方気象台（1893 年 10 月～2026 年 3 月）

(注) 月最深積雪（1893 年 10 月～2026 年 3 月）

降雪の深さ日合計（1953 年 1 月～2026 年 3 月）

イ 雹害

大正 15 年(1926) 9 月 14 日 降雹	直径 4～5cm(稲枝村) 範囲東西 57km 南北 7km 時間 1 時間 15 分程	愛知川河口から三重県境にかけて降雹があり、 農作物に大きな被害があった。
令和 6 年(2024) 4 月 16 日 降雹、雷、突風	稲枝地区の一部(雹) 市内の一部(雷、突風)	降雹および突風により、家屋、倉庫、カーポート等の屋根、窓、雨どいが一部破損した。 天王山配水池(上水道タンク)2, 3 号池の水位計交換機(落雷により誤作動)

ウ 市街地延焼火災

江戸時代には、焼失家屋 100 戸以上の大火が度々あったが、その後は明治 19 年の八坂村火災（焼失 40 戸）以降、大規模な延焼火災は起きていない。また、地震による火災の記録はない。